

百 福

上 三

黄炎培：生涯

编者说明

本书是供文理工医农等各类专业使用的新教材,可以作专业技术人员参加职称晋升日语水平考试的参考用书,还可以作成人教育用书。本书精选 2800 个左右最常用的词汇,精选语法内容和规范的课文。

本书上册由以下几大部分构成:

一、语音部分,约 16 学时可以学完。

二、第 1 课~第 21 课,教授基础词汇、基本句型、基础语法,约 105 学时(每课平均 5 学时)~126 学时(每课平均 6 学时)可以学完。

以上两部分可以用作大学日语(第二外语)教材。

三、第 22 课~27 课,扩大词汇量、加强基本训练、教授句法。约 30~36 学时可以学完。

以上三部分可以用作零起点、180 学时左右用的大学日语(第一外语)教材。书末有供准备参加中级专业技术职称日语水平考试的同志使用的“自测题”。

本书下册在继续扩大词汇量、加强基本训练的同时,教授以下内容(共分四个阶段):

一、第 28 课~第 32 课,讲授篇章法。

二、第 33 课~第 35 课,讲授惯用型。

三、第 36 课~第 38 课,讲授翻译技巧。

四、第 39 课~第 42 课,加强阅读理解训练。第 42 课之后有供准备参加高级专业技术职称日语水平考试的同志使用的“自测题”。

下册约 90 学时可以学完,各校可以根据学时多少以至上述四个阶段的某一阶段为止。例如至第 32 课为止大体相当于《大学日

语教学大纲》所规定的预备三级水平。

下册书末有以下附录：

一、全书总词汇表，

二、全书课文、课外读物的参考译文，

三、全书练习答案、自测题答案。

本书由周炎辉主编，由王诗荣、王呈尧、于爱贞、周飞帆、李刚、陶芸编写，张穗、蓝巾帼作编写辅助工作。

编写本书主要参考了如下教材：

高等学校教材第二版《日语》(理工科用)1~3册 周炎辉主编
高等教育出版社 1985年~1986年出版

高等学校试用教材《日语》(理工科用)1~3册 周炎辉编
高等教育出版社 1978年~1979年出版

广播教材《中级日语》上册、下册 周炎辉主编 高等教育出版社
1983年~1985年

大学日语①顾明耀、徐祖琮主编 高等教育出版社 1991年

赴日实用会话及指南 翁佩君等编 华东师范大学出版社
1988年

编 者

1991年12月30日

目 次

字母与发音	1
日语基础知识	3
第 1 课	8
课 文:一、これは なんですか	8
二、日本は アジアに あります	9
课外读物:一、それは 本です	11
二、ここは どこですか	12
语 法:一、句子成分	14
二、句子的类别	16
三、こそあと系 词汇	17
第 2 课	21
课 文:一、日本の 首都	21
二、昨日は 水曜日でしたか	22
三、わたしは 学生です	23
课外读物:一、わたしの うち	25
二、わたしは 大学生です	25
语 法:一、敬体判断句的各种句型	27
二、宾语和宾格助词を	28
三、提示助词は、も	28
四、人称代词	29
第 3 课	32
课 文:一、田中さんは 会社員だ	32
二、あなたは 会社員ですか	33
课外读物:一、李君の 大学生活	36
二、工業展覧会の ある 展示場で	37
语 法:一、简体判断句的各种句型	38
二、助词	39

第 4 课	44
课 文:一、日本と 日本人	44
二、数を 数える 方法	45
三、今年は 何年ですか	46
课外读物:ふるさと	49
语 法:一、文章体判断句与判断句小结	50
二、并列助词と与接续助词と	53
三、补格助词から,まで	54
第 5 课	57
课 文:一、中国と 日本	57
二、あなたは 日本語が できますか	58
三、あなたは 兄弟が ありますか	58
课外读物:砂漠でも 平気な ラクダ	61
语 法:一、形容词动词和以形容词动词作谓语的描写句	63
二、主谓谓语句	64
三、接续助词し	65
第 6 课	67
课 文:一、日本の 季節	67
二、昨日は 暑かったですか	68
三、いの 字の 歌	68
课外读物:昼気楼	70
语 法:一、形容词和以形容词作谓语的描写句	71
二、补格助词より	73
第 7 课	77
课 文:一、空は なぜ 青いのですか	77
二、季節風	78
三、台風の 注意報と 警報	78
四、こんばんは	79
课外读物:一、動物の 夏対策	82
二、南極は どんな ところですか	82

语	法:一、形式体言こと、もの、の	84
	二、形容词、形容动词变化总表	85
第 8 课	88
课	文:一、仕事の虫	88
	二、交通規則	89
	三、しばらくでした	89
课外读物:	一、交流と直流	93
	二、電気の種類	94
语	法:一、动词的分类	95
	二、五段活用动词的活用	96
	三、接续助词ので	98
第 9 课	101
课	文:一、田舎	101
	二、ビールのお金	102
	三、あなたは何をしていますか	102
课外读物:	分子と原子	105
语	法:一、五段活用动词的音变	106
	二、接续助词て	107
	三、补助动词いる	108
第 10 课	111
课	文:一、眠りと夢	111
	二、物質のもとについて	112
	三、はじめまして	112
课外读物:	安全器の仕組み	116
	二、ヒューズの働き	116
语	法:一、一段活用动词的活用	118
	二、副助词ぐらい	120
	三、提示助词でも	120
	四、接续助词のに	120
第 11 课	123

課	文:一、ガムと運転	123
	二、数学問題	124
	三、新しい車ですね	124
課外读物:	一、車両の中でのジャンプ	127
	二、慣性について	127
語	法:一、サ行変格活用动词的活用	128
	二、过去、完了助动词た	130
	三、提示助词しか	131
	四、副助词だけ	131
	五、传闻助动词そうだ	131
第 12 課	136
課	文:一、バスはまだ来ない	136
	二、渡り鳥の道	137
	三、バスで行きましょう	137
課外读物:	一、日本の四季	141
	二、電気製品の扱い方	141
語	法:一、カ行変格活用动词	142
	二、补助动词くる、ゆく、みる、しまう	143
	三、并列助词たり	144
	四、接续助词ても	145
第 13 課	148
課	文:一、文化の日	148
	二、看板	148
	三、ひどい目にあった	149
課外读物:	一、静電気	152
	二、手紙を出してから届くまで	153
語	法:一、被动语态与被动助动词	154
	二、接续助词から	156
第 14 課	159
課	文:一、インタビュー	159
	二、日本語の授業	160

課外読物：一、新しい技術革命	163
二、電子計算機	164
語 法：一、使動語態与使動助動詞	165
二、副助詞ばかり	167
三、敬体助動詞ます	168
第 15 課	171
課 文：一、「ありがとう」の意味	171
二、力のモーメント	172
三、京都見物	173
課外読物：一、さおばかり	176
二、図書館で	177
語 法：一、補助動詞もらう、やる、くれる	178
二、接續助詞ながら	180
三、样態助動詞そうだ	180
第 16 課	182
課 文：一、音の伝わりかた	182
二、住んでいる所	183
三、なかなか覚えられません	183
課外読物：位置エネルギー	187
語 法：一、可能語態与可能助動詞	187
二、補助動詞おく	189
第 17 課	192
課 文：一、バスの中のできごと	192
二、牛乳屋の問題	193
三、日本人の家庭について	193
課外読物：温度と熱量	197
語 法：一、比況助動詞ようだ	198
二、推量助動詞う、よう	199
三、提示助詞さえ	199
第 18 課	202

課	文:一、科学と人の心	202
	二、病院で	203
课外读物:	一、摩擦電気	206
	二、植物の世界のうつりかわり	207
語	法:一、提示助词こそ	208
	二、副助词か,并列助词か,とか	208
	三、副助词ほど	208
	四、推量助动词らしい	209
第 19 課	212
課	文:一、就職	212
	二、旅行に行きたい	213
课外读物:	一、電流計や電圧計を使うときの注意	215
	二、健康のありがたさ	216
語	法:一、愿望助动词たい,たがる	217
	二、被使动句	218
第 20 課	221
課	文:一、発明と練習	221
	二、蜜柑	222
实用会话(1):	出迎え	223
课外读物:	一、植物の生成のもととは何か	226
	二、植物は光合成をして生きている	227
語	法:一、否定助动词ない,ぬ	227
	二、推量助动词まい	229
	三、补助动词ある	229
第 21 課	232
課	文:一、お礼の手紙	232
	二、手紙	233
实用会话(2):	初対面のあいさつ	233
课外读物:	いろいろな書式	235
語	法:敬语表示法	240

第 22 课:	244
课 文:緑と青の自然	244
实用会话(3):交通機関	245
语 法:一、句素	248
二、扩展的句素	249
三、阅读指导(一)	250
第 23 课	255
课 文:川と人間	255
实用会话(4):道を尋ねる	256
语 法:一、句子成分	260
二、阅读指导(二)	262
第 24 课	269
课 文:音とは	269
实用会话(5):切手を買う	271
语 法:一、陈述方式	274
二、阅读指导(三)	276
第 25 课	281
课 文:動物の数学	281
实用会话(6):買物	283
语 法:一、简单句的分析	285
二、阅读指导(四)	288
第 26 课	293
课 文:天動説と地動説	293
实用会话(7):理髪	294
语 法:一、包孕句的分析	296
二、阅读指导(五)	298
第 27 课	305
课 文:水平面	305
实用会话(8):病氣	307

语 法：一、主从句的分析	309
二、并列句的分析	310
三、阅读指导(六)	311
中级阶段自测题(一)	316
中级阶段自测题(二)	322

字母与发音

日语字母叫“假名”(仮名),共有七十一个,分为清音(清音)、浊音(濁音)、半浊音(半濁音)、拨音(撥音)四种。假名是音节字母,基本上是每个假名代表一个音节。

每个假名都有两种写法,分别叫“平假名”(平仮名)和“片假名”(片仮名)。平假名由汉字草书演变而成,一般用于印刷和书写;片假名由汉字楷书的偏旁盖底发展而成,一般用来标记外来语和某些特殊词汇。此外,还可以用罗马字来拼写,叫“罗马字”。这种拼写法一般用于国际电报、商标、名片等方面。

下面是清音、浊音、半浊音表。清音表叫“五十音表”(或叫“五十音图”)。

清音 五十音图(五十音図)

段 字 母 行	あ 段	い 段	う 段	え 段	お 段
	平 片 罗 假 假 马 名 名 字	平 片 罗 假 假 马 名 名 字	平 片 罗 假 假 马 名 名 字	平 片 罗 假 假 马 名 名 字	平 片 罗 假 假 马 名 名 字
あ行	あ ア a	い イ i	う ウ u	え エ e	お オ o
か行	か カ ka	き キ ki	く ク ku	け ケ ke	こ コ ko
さ行	さ サ sa	し シ shi	す ス su	せ セ se	そ ソ so
た行	た タ ta	ち チ chi	つ ツ tsu	て テ te	と ト to
な行	な ナ na	に ニ ni	ぬ ヌ nu	ね ネ ne	の ノ no
は行	は ハ ha	ひ ヒ hi	ふ フ fu	へ ヘ he	ほ ホ ho
ま行	ま マ ma	み ミ mi	む ム mu	め メ me	も モ mo
や行	や ヤ ya	(いイ)i	ゆ ュ yu	(えエ)e	よ ヨ yo
ら行	ら ラ ra	り リ ri	る ル ru	れ レ re	ろ ロ ro
わ行	わ ワ wa	(いイ)i	(うウ)u	(えエ)e	を ヲ o
ん ン n					

か、さ、た、は各行假名,都有相对的浊音,浊音是在清音假名的右肩加“两点”来表示。は行还有半浊音,半浊音在清音假名右肩加“小圆圈”来表示。

浊音和半浊音表

浊音	が行	がガ ga	ぎギ gi	ぐグ gu	げゲ ge	ごゴ go
	ざ行	ざザ za	じジ ji	ずズ zu	ぜゼ ze	ぞゾ zo
	だ行	だダ da	ぢヂ ji	づヅ zu	でデ de	どド do
	ば行	ばバ ba	びビ bi	ぶブ bu	べベ be	ぼボ bo
半浊音	ぱ行	ぱパ pa	ぴピ pi	ぷプ pu	ぺペ pe	ぽポ po

把一个假名的元音拉长一拍发出的音叫长音。标记的方法是:あ段假名后加あ,い段假名加い,う段假名后加う,え段假名后加い或え,お段假名后加う或お。外来语一律用长音符号“—”表示。罗马字用“^”或“-”符号表示。

发音的时候,用发音器官的某一部分堵住气流,形成一个短促的顿挫,然后再使气流急冲而出。这种音叫促音。促音只能在か、さ、た、ぱ四行假名的前面,用小写的“っ”表示。“っ”不发音,只作促音符号。

い段假名辅音与や,ゆ,よ相拼而构成的音叫“拗音”。拗音音节的读音长度与清音相同,都为一拍。横写时,や、ゆ、よ要写得小而靠下(竖写时要靠右)。

把拗音音节的读音拉长一拍,叫拗长音。や拗音的长音以あ表示,ゆ拗音的长音和よ拗音的长音以う表示。

拗音后面出现促音叫“拗促音”,如:ちゅっと。拗音后面出现拨音叫“拗拨音”,如:じゅんぴ。

拗音表

平假名	片假名	罗马字
きゃ きゅ きょ	キャ キュ キョ	kya kyu kyo
ぎゃ ぎゅ ぎょ	ギャ ギュ ギョ	gya gyu gyo
しゃ しゅ しょ	シャ シュ ショ	sha shu sho
じゃ じゅ じょ	ジャ ジュ ジョ	ja ju jo
ちゃ ちゅ ちょ	チャ チュ チョ	cha chu cho
にゃ にゅ にょ	ニャ ニュ ニョ	nya nyu nyo
ひゃ ひゅ ひょ	ヒャ ヒュ ヒョ	hya hyu hyo
びゃ びゅ びょ	ビャ ビュ ビョ	bya byu byo
ぴゃ ぴゅ ぴょ	ピャ ピュ ピョ	pya pyu pyo
みゃ みゅ みょ	ミャ ミュ ミョ	mya myu myo
りゃ りゅ りょ	リャ リュ リョ	rya ryu ryo

日语基础知识

一、日语中的汉字

日语中的汉字有音读(音読 ^{おんどく})和训读(訓読 ^{くんどく})两种读法。训读是按汉字的意义来读,音读是按汉字的字音来读。

训读:桜 桃 梅

音读:世界地図

中日两国使用的汉字都有一些进行了简化,两国使用的汉字不尽相同。例如:

汉语:处 读 广 艺 对 团 发 传……

日语:处 読 広 芸 対 団 発 伝……

日本人还创造了一些日本特有的汉字,叫“国字”。例如:烟 ^{はたけ}、峠 ^{とうげ}……

日语中的汉字词汇,有很多和汉语词义相同,但也有不少词和汉语的词义不同,不能望文生义。如:“下手”并非现代汉语的“助手”,而是“拙劣”。

古代日语,汉字用得很多,后来逐渐减少。1964年,日本政府公布了1850个“当用汉字”,1981年日本又公布了“常用汉字表”,共收汉字1945个。

二、日语词汇的来源与分类

日语词汇根据其来源可分为三类：

1. 日语固有的词汇，例如：かお(顔)，いけ(池)，いく(行く)，あさい(浅い)，しかし，そこ，ひとり，すこし等。

2. 来自汉语的词汇，或者利用汉字造的词汇。例如：駅，機械，地下鉄。

3. 外来语，即从汉语以外的语言中吸收的词汇，其中以来自英语的为最多。外来语用片假名标记。例如：ナイフ(小刀)来源于英语的 Knife。

日语是用汉字和假名混合书写的，有的单词要用汉字写，有的单词要用假名写，还有的单词在汉字后跟一个或几个假名(日语叫：送假名)。记单词的时候一定要同时把写法也记下来。

根据词的意义、形态和语法性质，日语的词可分为十二类，见下表：

词 (単語)	实词 (概念語)	1. 名词(名詞)	体言 (体言)
		2. 代词(代名詞)	
		3. 数词(数詞)	
		4. 动词(動詞)	用言 (用言)
		5. 形容词(形容詞)	
		6. 形容动词(形容動詞)	
		7. 副词(副詞)	
		8. 连体词(連体詞)	
		9. 接续词(接続詞)	
		10. 感叹词(感動詞)	
	虚词 (関係語)	11. 助动词(助動詞)	
		12. 助词(助詞)	

体言可以做主语、宾语、补语，也可以和指定助动词结合做谓语。用言可以单独或结合助动词做谓语。助词、助动词只能接于实词之后，表示词与词之间的关系，或增添某种意义。

生词(新出語)

- | | | |
|---|---------|-------|
| 1 | あおい[青い] | (形)蓝的 |
| 2 | いえ[家] | (名)家 |

3	かう[買う]	(他五)买, 购买
4	くつ[靴]	(名)鞋
5	えき[駅]	(名)火车站, 车站
6	いけ[池]	(名)池子, 池塘
7	ここ	(代)这里
8	しかし	(接)可是, 不过
9	いす	(名)椅子
10	せ かい[世界]	(名)世界
11	き そ[基礎]	(名)基础
12	そこ	(代)那里
13	たかい[高い]	(形)高的
14	ちかい[近い]	(形)近的
15	き せつ[季節]	(名)季节
16	ち か てつ[地下鉄]	(名)地铁
17	ことし[今年]	(名)今年
18	はな[花]	(名)花
19	しぬ[死ぬ]	(自五)死
20	つねに[常に]	(副)经常
21	この	(连体)这, 这个
22	のむ[飲む]	(他五)喝, 服(药)
23	はなし[話]	(名)话
24	ひとつ[一つ]	(数)一个, 一岁
25	ふたつ[二つ]	(数)二个, 二岁
26	へた[下手]	(形动)不好, 拙劣
27	ほそい[細い]	(形)细的
28	まち[町]	(名)城镇, 街
29	みみ[耳]	(名)耳
30	あめ[雨]	(名)雨
31	もの[物]	(名)物品, 东西
32	やま[山]	(名)山
33	ゆき[雪]	(名)雪
34	ならう[習う]	(他五)学习
35	ふたり[二人]	(数)二人
36	よむ[読む]	(他五)读
37	くる[来る]	(力变)来, 到来
38	かれ[彼]	(代)他
39	わたくし[私]	(代)我
40	はる[春]	(名)春天
41	いろいろ[色々]	(副・形动)各种
42	せん たく[洗濯]	(名・他サ)洗涤, 洗衣服

43	のんびり	(副・自サ)舒舒服服,自由自在
44	ひがし[東]	(名)东面
45	ぎもん[疑問]	(名)疑问
46	いそぐ[急ぐ]	(自五)急于,赶紧
47	てんき[天気]	(名)天气
48	げき[劇]	(名)戏剧
49	ごご[午後]	(名)下午
50	かざん[火山]	(名)火山
51	アジア[Asia]	(名)亚洲
52	なぜ[何故]	(副)为何,为什么
53	かず[数]	(名)数,数目
54	かぞえる[数える]	(他一)数
55	だす[出す]	(他五)提出,伸出
56	ちちめる[縮める]	(他一)缩小
57	つづく[続く]	(自五)继续
58	でる[出る]	(自一)出去,离开
59	どこ	(代)哪里
60	テレビ(ジョン)[television]	(名)电视
61	しばしば	(副)常常,屡屡
62	ぶんか[文化]	(名)文化
63	たべる[食べる]	(他一)吃
64	ぼく[僕]	(名)我
65	パン[葡 pao]	(名)面包
66	えんぴつ[鉛筆]	(名)铅笔
67	きっぷ[切符]	(名)票
68	ペン[pen]	(名)(沾墨水的)钢笔
69	しんぽ[進歩]	(名・自サ)进步
70	こっか[国家]	(名)国家
71	がっこう[学校]	(名)学校
72	ざっし[雑誌]	(名)杂志
73	よっつ[四つ]	(数)四个
74	はっぴょう[発表]	(名・他サ)发表
75	いいえ	(感)不(是),不对
76	おばあさん[御祖母さん]	(名)祖母,奶奶;外祖母,姥姥
77	おいしい	(形)好吃的,味美的
78	すうし[数詞]	(名)数词
79	えいが[映画]	(名)电影
80	こうつう[交通]	(名)交通
81	めいしょ[名所]	(名)名胜(古迹)
82	けいざい[経済]	(名)经济

83	せい せき[成績]	(名)成绩
84	こう えん[公園]	(名)公园
85	ほう こう[方向]	(名)方向
86	とお[十]	(数)十个
87	きのう[昨日]	(名)昨天
88	おじいさん[御祖父さん]	(名)祖父,爷爷,外祖父及其他祖父辈的人
89	ほう ふ[豊富]	(名・形动)丰富
90	(お)ちゃ[(お)茶]	(名)茶
91	と しょ かん[図書館]	(名)图书馆
92	りょ こう[旅行]	(名)旅行
93	じゅ ぎょう[授業]	(名・自サ)课,上课
94	ニュース[news]	(名)新闻,消息
95	じゅう[十]	(数)十
96	じょうず[上手]	(名・形动)(某种技术)好,高明,能手
97	きょう だい[兄弟]	(名)兄弟,姊妹
98	びょう き[病气]	(名)病
99	ちゅう ごく[中国]	(名)中国
100	さく[咲く]	(自五)开(花)

缩略语:

(名)	名词	(代)	代词
(数)	数词	(自)	自动词
(他)	他动词	(五)	五段动词
(一)	一段动词	(力变)	力行变格活用动词
(サ)	サ行变格活用动词	(形)	形容词
(形动)	形容动词	(副)	副词
(连体)	(连体词)	(接)	接续词
(感)	感叹词		

第 1 課(第 1 課)^{だいいつか}

本 文:一、これは なんですか
二、日本は アジアに あります
課外読物:一、それは 本です
二、ここは どこですか
文 法:一、句子成分
二、句子的类别
三、こそあと系词汇

课文(本文)^{ほんぶん}

一、これは なんですか

これは なんですか。

それは ^{さくら}桜 です。

それは なんですか。

これは ^{もも}桃の ^{はな}花 です。

あれは なんですか。

あれは ^{うめ}梅の ^{はな}花 です。

その ^{ちず}地図は どんな ^{ちず}地図 ですか。

これは ^{せかいちず}世界地図 です。

^{ちゅうごく}中国は どこに ありますか。

^{ちゅうごく}中国は ことです。

^{にほん}日本は どちら ですか

^{にほん}日本は そちら です。 ^{ちゅうごく}中国の ^{ひがしがわ}東側 です。

二、日本は アシアに あります

日本は アシアに あります。

日本は 島国です。

主な 島は 四つ あります。

いちばん 大きい 島は 本州です。

次は 北海道です。

それから 九州, 四国です。

また 小さい 島が たくさん あります。

面積は だいたい 中国の 二十 六分の 一です。

しかし、人口は 多いです。

約 一億二千万人 います。

全体に 山が 多いです。

火山が たくさん あります。

いちばん 高い 山は 富士山です。

日本の 首都は 東京です。

東京は 本州に あります。

生词(新出語)

- | | |
|------------|-----------|
| 1 これ | (代) 这个 |
| 2 なに・なん[何] | (代) 什么 |
| 3 さくら[桜] | (名) 樱, 樱花 |
| 4 それ | (代) 那个 |
| 5 もも[桃] | (名) 桃 |
| 6 あれ | (代) 那个 |
| 7 うめ[梅] | (名) 梅 |
| 8 その | (连体) 那个 |
| 9 ち ず[地図] | (名) 地图 |

10	どんな	(连体)什么样的
11	ある[有る]	(自五)有,在
12	にほん[日本]	(名)日本
13	どちら	(代)哪边
14	そちら	(代)那边
15	がわ[側]	(名)側,一旁
16	しまぐに[島国]	(名)岛国
17	おもな[主な]	(连体)主要的,重要的
18	しま[島]	(名)岛
19	いち ばん[一番]	(数)第一,(副)最
20	おおきい[大きい]	(形)大的
21	ほん しゅう[本州]	(名)本州
22	つぎ[次]	(名)其次,下一个
23	ほっ かい どう[北海道]	(名)北海道
24	それから	(接)其次,接着
25	きゅう しゅう[九州]	(名)九州
26	し こく[四国]	(名)四国
27	また[又]	(接)又,还有
28	ちいさい[小さい]	(形)小的
29	たくさん	(副)很多
30	めん せき[面積]	(名)面积
31	だい たい[大体]	(副)差不多,大致
32	に[二]	(数)二
33	ろく[六]	(数)六
34	ふん[分]	(接尾)(时间单位,一小时的 1/60)分
35	いち[一]	(数)一
36	じん こう[人口]	(名)人口
37	おおい[多い]	(形)多的
38	やく[約]	(副)大约,大体
39	おく[億]	(数)亿
40	せん[千]	(数)千
41	まん[万]	(数)万
42	にん[人]	(接尾)人,……人
43	いる[居る]	(自一)(人、动物)有,在;居住;活着
44	ぜん たい[全体]	(名)全体,整个
45	ふ じ さん[富士山]	(名)富士山
46	しゅ と[首都]	(名)首都
47	とう きょう[東京]	(名)东京
48	どれ	(代)哪一个

49	あそこ	(代)那里
50	こっち	(代)这边
51	そっち	(代)那边
52	あちら	(代)那边
53	あっち	(代)那边
54	どっち	(代)哪边
55	こんな	(连体)这样的
56	そんな	(连体)那样的
57	あの	(连体)那个
58	あんな	(连体)那样的
59	どの	(连体)哪(个)
60	こう	(副)这样
61	こんなに	(副)这样
62	そう	(副)那样
63	そんなに	(副)那样
64	あんなに	(副)那样
65	どう	(副)怎样
66	どんなに	(副)怎样
67	おる〔(居)る〕	(自五)有,在

課外読物(課外読物)^{かがいよみもの}

一、それは ^{ほん}本です

これは なんで、^{ほん}が。
それは ^{ほん}本です。
それは なんで、^{ほん}が。
これは ^{まんねんひつ}万年筆です。
あれは なんですか。
あれは ノートです。
これは ^{ざっし}雑誌ですか。
はい、それは ^{ざっし}雑誌です。
この ^{ざっし}雑誌は なんの ^{ざっし}雑誌ですか。
それは ^{すうがく}数学の ^{ざっし}雑誌です。

あれは ^{しんぶん}新聞ですか。

はい、あれは ^{しんぶん}新聞です。日本語の ^{しんぶん}新聞です。

これは なんの ^{はな}花ですか。

それは ^{さくら}桜の ^{はな}花です。

^{もも}桃の ^{はな}花は きれいですか。

はい、きれいです。

どれが ^{もも}桃の ^{はな}花ですか。

あれが ^{もも}桃の ^{はな}花です。

ここは どこですか。

ここは ^{だいがく}大学です。

この ^{だいがく}大学は ^{おお}大きいですか。

はい、大きいです。

^{ちゅうがっこう}中学校は どちらですか。

^{ちゅうがっこう}中学校は あちらです。

あなたは ^り李さんですか。

はい、わたくしは ^り李です。

^り李さんは ^{せんせい}先生ですか。

いいえ、わたくしは ^{がくせい}学生です。

どなたが ^{せんせい}先生ですか。

あのかたが ^{せんせい}先生です。

あの ^{ひと}人は だれですか。

どの ^{ひと}人ですか。

あの ^{おとこ}男の ^{ひと}人です。

あの ^{ひと}人は ^{ちよう}張さんです。

どなたが ^{たなか}田中さんですか。

あの ^{かた}方が ^{たなか}田中さんです。あの ^{おんな}女の ^{かた}方です。

选自《日语(理工科用)》第二版第一册 第六课

二、ここは どこですか

ここは どこですか。

ここは 教室^{きょうしつ}です。
 教室^{きょうしつ}には 何^{なに}が ありますか。
 つくえが あります。
 つくえの 上^{うへ}に 何^{なに}が ありますか。
 万年筆^{まんねんひつ}が あります。
 あなたの 万年筆^{まんねんひつ}は どれですか。
 これです。
 これは あなたの 本^{ほん}ですか。
 はい、それは わたしのです。
 図書館^{としよかん}は どちらですか。
 図書館^{としよかん}は あちらです。
 図書館^{としよかん}には 本^{ほん}が たくさん ありますか。
 はい、たくさん あります。
 日本語^{にほんご}の 雑誌^{ざっし}は ありますか。
 はい、あります。
 実験室^{じつけんしつ}は どこに ありますか。
 実験室^{じつけんしつ}は 研究棟^{けんきゆうどう}の 中^{なか}に あります。
 実験室^{じつけんしつ}に だれか いますか。
 はい、います。
 だれが いますか。
 李^りさんが います。

选自《日语(理工科用)》第二版第一册第七课

注 釈

- | | | |
|---|---------------|------------|
| 1 | ほん[本] | (名)书 |
| 2 | まん ねん ひつ[万年筆] | (名)钢笔 |
| 3 | ノート[note] | (名)笔记本 |
| 4 | はい | (感)是,对 |
| 5 | しん ぶん[新聞] | (名)报纸,报,新闻 |
| 6 | き れい[奇麗] | (形动)美丽,干净 |
| 7 | あなた[(貴方)] | (代)您,你 |

8	さん	(接尾)先生,老……,小……
9	どなた	(代)哪一位
10	かた[方]	(名)人,位
11	だれ[誰]	(代)谁
12	つくえ[机]	(名)(书)桌
13	けん きゅう とう[研究棟]	(名)研究楼

课文注释(本文の注釈)

1. “何”后面接です、だ和接の等时,读成なん。
2. 日语的标点符号的一般用法是:一个句子完了加“.”;句子中间加“、”(横排的一般加“,”);疑问句一般也用句号。
3. 日语和汉语的写法一样,词与词之间,句子成分之间不空格。本书第一课至第七课为了教学上的方便,采用按句子成分空格的办法。

语法(文法)

一、句子成分

句子由句子成分构成,本课先学五种句子成分。

1. 主语:由体言加主格助词が或提示助词は(读音为わ)构成,例如:

富士山が 高い。/富士山很高。

これは いすです。/这是椅子。

が是主格助词,其作用是接在体言后表示主格。は是提示助词,可以顶替が,表示说话人将在后面对主语的情况加以强调的叙述。在有疑问词的疑问句中,疑问词在主语(包括主语中的定语)里时,要用が;回答这句问话也用が。例如:

どこが 駅ですか。/哪里是火车站?

あそこが 駅です。/那里是火车站。

如果疑问词在谓语(包括谓语中体言所带的定语等)部分时,要用は,回答这句问话也用は。例如:

これは なんですか/这是什么?

それは 雑誌です。/那是杂志。

2. 谓语:

日语句子的谓语最常见的有两种:

- (1)体言加指定助动词だ、です、である。

これは 雪^{ゆき}です。/这是雪。

かれは 大^{だい}学^{がく}生^{せい}です。/他是大学生。

(2)用言:

その 図^と書^{しょ}館^{かん}は 大^{おお}きいです。/那个图书馆很大。

谓语句后面加终助词か表示疑问:

これは お茶^{ちや}ですか。/这是茶吗?

3. 补语

补充谓语句语义的不足之处的成分叫补语,补语由体言加补格助词构成,补格助词有七个,本课先学的一个用法。

に接在体言后,表示存在的位置,后面的谓语句常见的是表示存在的ある、いる一类词。例如:

山に ある。/在山上。

家^{いえ}に いる。/在家。

4. 定语

修饰体言的成分叫定语。定语同它修饰的体言一起构成词组,该词组的性质同体言一样。例如:

わたしの テレビ/我的电视机(词组)

それは わたしの テレビです。/那是我的电视机。(词组わたしの テレビ 加です作谓语)

最常见的定语有三种:

(1)体言加领格助词の:

わたしたちの 学^{がっこう}校^{こう}は 大^{おお}きいです。/我们的学校大。

それは かれの 鉛^{えんぴつ}筆^{びつ}ですか。/那是他的铅笔吗?

(2)连体词:

あの 花^{はな}は どんな 花^{はな}ですか。/那种花是什么花?

(3)用言:

用言作定语时,词尾要发生变化,但形容词、动词作定语时,其词尾和基本形(没有发生变化的形态)相同。只有形容动词作定语时,其词尾和基本形不同,以后再学。用形容词、动词组成的词组,如:

青^{あお}い 鉛^{えんぴつ}筆^{びつ}/蓝铅笔

縮^{ちぢ}める 面^{めん}積^{せき}/缩小的面积

要注意的是,不能因为汉语说“蓝的铅笔”时有个“的”字,就把日语也说成“青^{あお}いの 鉛^{えんぴつ}筆^{びつ}”。

5. 状语:

修饰用言的成分叫状语。副词、数词、表示时间的名词可以直接作状语。例如:

たくさん ある/有很多

よっ
四つ ある/有四个

二、句子的类别

日语句子可以根据谓语构成、语言使用场合、句子结构等,从不同角度来分类。根据谓语构成可以分成:

1. 判断句:判断主语所代表的人或事物是什么,谓语由体言加指定助动词だ、です、である构成。例如:

そこは 図書館^{としよかん}です。/那里是图书馆。

あれは 地図^{ちず}です。/那是地图。

2. 描写句:描写主语所代表的人或事物的性质、状态,用形容词、形容动词作谓语。例如:

この お茶^{ちや}が おいしい。/这儿的茶很香。

3. 叙述句:叙述主语所代表的人或事物的行为、动作,用动词作谓语。例如:

梅^{うめ}の 花^{はな}が 咲^さく。/梅花开。

4. 存在句:表示主语所代表的人或事物的存在,用表示存在的动词作谓语。

表示存在的动词,常用的有三个:有る(在る)、居る、おる。其用法如下:

(1)ある表示非动物的存在,いる、おる表示动物的存在,いる和おる的意义相同。ある的否定形式是用形容词ない(没有),いる、おる的否定形式以后再学。ある的敬体形式はあります,いる的敬体形式はいます,おる的敬体形式はおります。这三个动词都是自动词,不能带宾语。例如:

富士山^{ふじさん}は 本州^{ほんしゅう}に あります。/富士山在本州。

かれは 図書館^{としよかん}に いる。/他在图书馆。

(2)ある、いる、おる可以译作“有”或“在”。什么时候译作“有”,什么时候译作“在”,要视语言环境或上下文来定;如果句中有补语,则视句子成分的序列而定,“主语——补语——谓语”时,译作“在”,“补语——主语——谓语”时译作“有”。例如:

図書館^{としよかん}は 東側^{ひがしがわ}に ある。/图书馆在东边。

そこに 図書館^{としよかん}が ある。/那儿有图书馆。

李^りさんは 図書館^{としよかん}に いる。/小李在图书馆。

あそこに 学生^{がくせい}が ふたり いる。/那里有两个学生。

存在句的基本句型是:

(1)体言は+体言に+ある(いる、おる)=……在……

(2)体言に(は)+体言が+ある(いる、おる)=……有……

根据语言的使用场合,又可以分为简体和敬体两种。简体句用于普通的

或与较亲近的人谈话的情况，敬体用于社交场合或与不太亲密的人谈话的情况。简体句与敬体句的谓语常见的是：

简体	敬体
判断句：体言＋だ・である	体言＋です
描写句：形容词	形容词＋です
叙述句：动词	动词＋ます
存在句：ある	あります
いる	います
おる	おります

动词接ます时，词尾要发生变化。

三、こそあど系词汇

有几组带有指示性的词汇都是以こそあど四个假名开头的，它们叫做こそあど系词汇。这些词属于不同的词类，但有一个共同的特点，就是带有指示性，见下表。

こそあど系词汇表

称 词类		近称	中称	远称	不定称
代词	事物	これ	それ	あれ	どれ
	场所	ここ	そこ	あそこ	どこ
	方向	こちら こっち	そちら そっち	あちら あっち	どちら どっち
连体词		この こんな	その そんな	あの あんな	どの どんな
副词		こう こんなに	そう そんなに	ああ あんなに	どう どんなに

学习这些词汇必须注意以下几点：

1. 所谓近称、中称、远称是指谈话双方同所指事物的相对距离。离谈话人近的用近称，离听话人近的用中称，离两人都远的用远称。写文章时，刚提到的用近称，早提过的用中称或远称。

2. こそあど系词汇属三个词类，不能混用。例如：三组代词可作主语、宾语、补语、谓语等，而两组连体词就不行。反之，两组连体词可直接作定语，而三组代词和两组副词就不能直接作定语。例如：

正：これは ^{きかい}機械です。/这是机器。

誤:このは 機械^{きかい}です。

正:この 農場^{のうじょう}は 大きいです。/这农场大。

誤:これ 農場^{のうじょう}は 大きいです。

誤:こう 農場^{のうじょう}は 大きいです。

3. 两组连体词意义有所不同;この一组只有单纯的指示意义,而こんな一组有类比的意义。例如:

この 鉛筆^{えんぴつ}/这支铅笔

こんな 鉛筆^{えんぴつ}/这样的铅笔

4. こう这一组副词,可以接です作谓语。例如:

はい,そうです。/是,是那样。

あなたたちの 図書館^{としょかん}は どうですか。/你们的图书馆怎么样?

5. こんなに这一组副词也有类比的意义,意思是“这样地……”,“那样地……”。例如:

あなたたちの 図書館^{としょかん}は そんなに 大きい^{おお}ですか。/你们的图书馆是那样的大吗?

练习(練習)^{れんしゅう}

一、朗读下列单词,注意清、浊音和长、短音的区别:

ここ 这里——ここ 下午 つち 土——つうち 通知

しかし 但是——ひがし 东边 ゆき 雪——ゆうき 勇气

あける 打开——あげる 举起 また 又——まだ 还、尚(未)

バス 通过、合格——バス 公共汽车

いえ 家——いいえ 不是(用于回答)

おじさん 叔叔、伯伯、姑父、姨父、舅母——おじいさん 祖父、外祖父

おばさん 婶婶、伯母、姑母、舅母——おばあさん 祖母、外祖母

二、给下列汉字注上假名:

花 桜 桃 梅 地図 中国 日本 世界 東側 島国 本州 北海道 九州 四国 面積 火山 首都 東京 富士山

三、朗读并翻译下列单词:

これ それ あれ ここ どこ どちら そちら その どの ど

んな アジア いちばん それから たくさん だいたい また
しかし おもな つぎ やく ぜんたい

四、按例句完成句子：

例：これは 切符^{きつぷ}です。(昨日^{きのう})

→ これは 昨日^{きのう}の 切符^{きつぷ}です。

1. これは 鉛筆^{えんぴつ}です。(私^{わたし})

→

2. それは 雑誌^{ざっし}です。(学校^{がっこう})

→

3. あれは 靴^{くつ}です。(彼^{かれ})

→

4. これは 映画^{えいが}です。(中国^{ちゅうごく})

→

5. それは 家^{いえ}です。(ぼく)

→

五、根据答句，并使用下列疑问词中的一个写出问句：

どんな どちら どこ 何^{なん} だれ

1. 問：

答：中国^{ちゅうごく}は アジアに あります。

2. 問：

答：日本^{にほん}は アジアに あります。

3. 問：

答：これは 地図^{ちず}です。

4. 問：

答：図書館^{としょかん}は ここです。

5. 問：

答：これは 私の ペンです。

六、填助词、助动词：

1. これ()世界地図^{せかいちず}()か。

2. それ()桜^{さくら}()花^{はな}()か。

3. 日本(^{にほん}) 首都(^{しやと}) 北海道(^{ほつかいどう}) ありますか。

4. 彼は 図書館(^{としよかん}) います。

5. 桃(^{もも}) 花は どこ(^{はな}) ありますか()。

6. この 地図(^{ちず}) アジア(^{あしあ}) 地図です()。

七、将下列词组译成日语：

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 最大の岛国 | 2. 最小的岛屿 |
| 3. 最高的火山 | 4. 最近的车站 |
| 5. 最好吃的东西 | 6. 最大的图书馆 |

八、将下列句子译成日语：

1. 什么地方有樱花？
2. 他在日本。
3. 中国有许多山。
4. 日本人口众多，有一亿二千万人。
5. 日本的面积是中国的二十六分之一。

第2課(第2課)^{だいに か}

本文：一、日本の 首都
二、昨日は 水曜日でしたか
三、わたしは 学生です
課外読物：一、わたしの うち
二、わたしは 大学生です
文法：一、敬体判断句的各种句型
二、宾语和宾格助词を
三、提示助词は, も

课文(本文)^{ほんぶん}

一、日本の 首都^{にほん しゅと}

日本の 首都は 東京です。
東京は 日本の 政治の 中心です。
また 経済の 中心でもあります。
東京の 交通も とても 便利です。
電車が あります。
地下鉄も あります。
東京の 人口は 多いです。
1000万人以上も います。
昔は 日本の 首都は 東京ではありませんでした。

ある ^{じだい}時代は ^{きょうと}京都でした。

^{きょうと}京都の ^{れきし}歴史は ^{なが}長いです。

^{きょうと}京都の まわりには ^{やま}山が あります。

^{きょうと}京都の ^{まち}町には ^{めいしょ}名所が ^{たくさん}たくさん あります。

^{きょうと}京都は ^{うつく}とても ^{まち}美しい ^{まち}町です。

二、^{きのう}昨日は ^{すいようび}水曜日でしたか

おはようございます。

おはようございます。

^{きのう}昨日は ^{すいようび}水曜日でしたか。

いいえ、^{きのう}昨日は ^{すいようび}水曜日ではありませんでした。

^{きのう}昨日は ^{もくようび}木曜日でした。

では、今日は ^{きょう}今日は ^{きんようび}金曜日で、^{かがく}化学の ^{じゆぎょう}授業が ありますね。

はい、そうです。

^{せんしゅう}先週の ^{ごがく}語学の ^{じゆぎょう}授業は ^{きゅうこう}休講でしたね。

^{きゅうこう}休講の ^{じかん}時間は ^{どようび}土曜日でしたか。

いいえ、^{どようび}土曜日ではありませんでした。

それでは、^{げつようび}月曜日だったでしょう。

はい、そうです。

^{らいしゅう}来週の ^{かようび}火曜日は ^{じつけん}実験が ありますね。

はい、^{じつけん}実験を します。

あしたは ^{なんようび}何曜日ですか。

あしたは ^{にちようび}日曜日です。

あしたは ^{なに}何を しますか。

あしたは ^{やす}お休みです。

三、わたしは ^{がくせい} 学生です

あなたは ^り 李さんですか。

はい、わたしは ^り 李です。

李さんは ^{せんせい} 先生ですか。

いいえ、わたしは ^{がくせい} 学生です。

どなたが ^{せんせい} 先生ですか。

あの ^{かた} が ^{せんせい} 先生です。

あの ^{ひと} 人は ^{だれ} ですか。

どの ^{ひと} 人ですか。

あの ^{おとこ} 男の ^{ひと} 人です。

あの ^{ひと} 人は ^{たなか} 田中さんです。

どなたが ^{いとう} 伊藤さんですか。

あの ^{かた} が ^{いとう} 伊藤さんです。あの ^{おんな} 女の ^{かた} 方です。

生词(新 ^{しんしゅつご} 出語)

- | | | |
|----|------------|---------------|
| 1 | せい じ[政治] | (名)政治 |
| 2 | ちゅう しん[中心] | (名)中心 |
| 3 | とても | (副)很,极 |
| 4 | べん り[便利] | (名・形动)方便 |
| 5 | でん しゃ[電車] | (名)电车 |
| 6 | い じょう[以上] | (名)以上,上面,超过…… |
| 7 | むかし[昔] | (名)以前,往昔 |
| 8 | ある | (连体)某,有的 |
| 9 | じ だい | (名)时代 |
| 10 | きょう と[京都] | (名)京都 |
| 11 | れき し[歴史] | (名)历史 |
| 12 | ながい[長い] | (形)长的,长久的 |
| 13 | まわり[周り・回り] | (名)周围,附近 |
| 14 | うつくしい[美しい] | (形)美丽的 |

15	おはよう[御早う](おはようございます之略)	(早上寒暄语)早安,您早
16	すい よう び[水曜日]	(名)星期三
17	もく よう び[木曜日]	(名)星期四
18	では	(接)那么
19	きょう[今日]	(名)今天,今日
20	きん よう び[金曜日]	(名)星期五
21	か がく[化学]	(名)化学
22	はい	(感)是,有
23	せん しゅう[先週]	(名)上周,上星期
24	ご がく[語学]	(名)外语,语言学
25	きゅう こう[休講]	(名・自他サ)停课
26	じ かん[時間]	(名)时间,时刻
27	ど よう び[土曜日]	(名)星期六
28	それでは	(接)那么,那么说
29	げつ よう び[月曜日]	(名)星期一
30	らい しゅう[来週]	(名)下星期
31	か よう び[火曜日]	(名)星期二
32	じっ けん[実験]	(名・他サ)实验
33	する	(自・他サ)做
34	あした	(名)明天
35	なん よう び[何曜日]	(名)星期几
36	にち よう び[日曜日]	(名)星期日
37	やすみ[休み]	(名)休息,休假
38	がく せい[学生]	(名)学生
39	り[李]	(名)李
40	あなた	(代)你
41	せん せい[先生]	(名)老师,先生
42	どなた	(代)哪一位
43	かた[方]	(名)人,位
44	ひと[人]	(名)人
45	だれ	(代)谁
46	おとこ[男]	(名)男子,男人
47	たなか [田中]	(名)田中
48	さん	(接尾)先生,老……,小……
49	い とう[伊藤]	(名)伊藤
50	おんな[女]	(名)女(人),女性
51	ない[(無)い]	(形)没有,不在
52	たち	(接尾)接在人称代词或表示人的名词后表示复数

53	わたし[私]	(代)我
54	きみ[君]	(代)你
55	かのじょ[彼女]	(代)她
56	ら[等]	(接尾)(表示复数)们;等

课文注释(本文の注 釈)

1. です要加も表示追提时要用でもあります的形式。例如：
東京は 日本の 経済の 中心でもあります。/东京也是日本经济的中心。
2. します是する敬体。
3. 日语中有一种自己不能独立运用，而只能接在某些单词前面或后面与该词一起构成一个新词的构词成分，这种构词成分叫“接词”。专接在别的单词前面的叫“接头词”，专接在别的单词后面的叫“接尾词”。本课学的さんは接尾词，接在别人的姓名或职称等后面表示敬意，但不能接在自己的姓名后。
4. 终助词ね接在句末表示征询同意、要求证实、确认、委婉等语气。例如：
あしたは お休みですね。/明天休息，对吧。

课外读物(課外読物)

一、わたしの うち

わたしの うち^{こうじよう}は 工場^{ちか}の 近く^{よにんかぞく}に あります。四人家族^{ちち}です。父^{ちち}はもと この 工場^{こうじよう}の 技師^{ぎし}でした。いまは 大学^{だいがく}の 先生^{せんせい}です。母^{はは}は 看護婦^{かんこふ}です。姉^{あね}は 郵便局^{ゆうびんきょく}の 職員^{しよくいん}で、わたしは 大学生^{だいがくせい}です。わたしたちは ほんとうに 幸^{しあわ}せです。

しかし、むかしは そうではありませんでした。その とき 祖父^{そふ}は 労働者^{ろうどうしや}でした。家族^{かぞく}は 八人^{はちにん}で、うち^{うち}は たいへん 貧乏^{びんぼう}でした。

选自《日语(理工科用)》第二版第一册第八课

二、わたしは 大学生^{だいがくせい}です

わたしたちの 大学^{だいがく}は 公園^{こうえん}の 近く^{ちか}に あります。とても 大きい^{おお}です。学生^{がくせい}が 約^{やく} 一万人^{いちまんにん} います。

学校のキャンパスはきれいです。高い建物がたくさんあります。

キャンパスのまんなかに九階建ての図書館があります。図書館の東側に教室棟があります。西側に研究棟があります。その中には実験室がたくさんあります。講堂は図書館の南側にあります。寮は北側にあります。

毎朝六時に起きます。そしてグラウンドでスポーツをやりまます。それからラジオのニュースを聞きます。八時に教室に行きます。ときには実験室で実験をします。夜はたいてい図書館で勉強します。日曜日は休みです。

选自《日语(理工科用)》第二版第一册第七课

注 釈

- | | | |
|----|-----------------|--------------|
| 1 | うち | (名)家,家庭 |
| 2 | こう じょう[工場] | (名)工厂 |
| 3 | ちかく[近く] | (名)附近 |
| 4 | もと[元] | (名)原来 |
| 5 | いま[今] | (名)现在,当前 |
| 6 | かん ご ふ[看護婦] | (名)护士 |
| 7 | ゆう びん きょく[郵便局] | (名)邮局 |
| 8 | ほん とう[(本当)] | (名・形动)真正,真实 |
| 9 | しあわせ[幸せ] | (名・形动)幸福,幸运 |
| 10 | とき[時] | (名)时候 |
| 11 | ろう どう しゃ[労働者] | (名)工人 |
| 12 | たい へん[大変] | (副・形动)不容易,费力 |
| 13 | びん ぼう[貧乏] | (形动)贫穷 |
| 14 | キャンパス[campus] | (名)校园 |
| 15 | たてもの[建物] | (名)建筑物 |
| 16 | まんなか[真ん中] | (名)中央 |
| 17 | きゅう かい だて[九階建て] | (名)九层楼 |
| 18 | きょう しつ とう[教室棟] | (名)教学楼 |
| 19 | こう どう[講堂] | (名)礼堂 |
| 20 | りょう[寮] | (名)集体宿舍 |
| 21 | まいあさ[毎朝] | (名)每天早上 |

22	ろく じ[六時]	(名)六点钟
23	おきる[起きる]	(自一)起床,起来
24	そして	(接)然后,而,又,而且
25	グラウンド[ground]	(名)运动场
26	スポーツ[sport]	(名)运动,体育
27	やる[やる]	(他五),做,干
28	ラジオ[radio]	(名)收音机
29	ニュース[news]	(名)新闻,消息
30	きく[聞く]	(他五)听,问
31	いく[行く]	(自五)去,往
32	ときに[時に]	(副)有时候
33	たい てい[大抵]	(副)大体,大都
34	べん きょう[勉強]	(名・自他サ)学习,用功
35	する	(自・他サ)做,干
36	むかし[昔]	(名)从前,过去

语法(文法)^{ぶんぽう}

一、敬体判断句的各种句型

敬体判断句的基本句型是…は…です,可以译作“……是……”。这个句型用于现在或将来的肯定判断。例如:

きょうは 月曜日です。/今天是星期一。

あしたは 火曜日です。/明天是星期二。

这个句型可以衍化出许多形式,分述如下:

1. 推测:…は…でしょう。

用以表示说话人对现在或将来的推测,也可以表示一种委婉的疑问,可以译作“大概是(可能是)……”,“……吧”。如果表示对过去的推测,则要用…だったでしょう。的句型。例如:

あれは 火山でしょう。/那是火山吧。

あしたは 雨でしょう。/明天会下雨吧。

2. 过去肯定:…は…でした。

用以表示对过去的事物的肯定判断,可以译作“……(过去)是……”。例如:

きのうは 木曜日でした。/昨天是星期四。

3. 现在否定:…は…ではありません。

用以表示对事物的否定判断,可以译作“……不是……”。谓语中的は读わ,它是插在谓语中表示强调的提示助词。例如:

きょうは 土曜日ではありません。/今天不是星期六。

4. 过去否定:…は…ではありませんでした。

用以表示对于过去事物的否定判断,可以译作“……(过去)不是……”。

例如:

きのうは 水曜日ではありませんでした。/昨天不是星期三。

5. 中顿:…は…で, …。

一个句子有两个谓语或两个句子并列时,前面的谓语要用中顿的形式。这个句型表示肯定判断,但不表示时态,时态由状语或后面的谓语决定。例如:

あしたは 日曜日で、休みです。/明天是星期天,是休息日。。

ここは 図書館で、あそこは 実験室です。/这儿是图书馆,那儿是实验室。

6. 疑问:各种句子后面加终助词か都表示疑问。否定句加か,除了疑问外,还可以表示反诘。到底是疑问还是反诘,要由语调、语言环境或上下文来决定。例如:

きょうは 何曜日ですか。/今天是星期几?

きのうは 金曜日でしたか。/昨天是星期五吗?

かれは 先生ではありませんか。/他不是老师吗?(疑问或反诘)

二、宾语和宾格助词を

动词所表示的对象或结果,便是动词的宾语。日语的宾语由体言加宾格助词を构成。日语的宾语放在动词的前面,这与汉语的词序不同。例如:

日本語を 習う。/学日语。(对象)

字を 書く。/写字。(结果)

日语动词分自动词和他动词两种,自动词不要求宾语,他动词要求宾语。

例如:

花が 咲く。/开花。(自动词)

本が ある。/有书。(自动词)

お茶を 飲む。/喝茶。(他动词)

三、提示助词は、も

は表示一种提示作用,即把某一已知的、确定的人或事物单独提出来加以着重的叙述,或者表示此事物与其它事物有区别。は除了顶替が以外,还可以顶替を,或接在补语、状语之后,还可以插在谓语当中。例如:

ぼくは 日本語は ならう……。/日语我是要学……。 (顶替を、提示宾语,言外有“其它外语不一定学”的意思。)

金曜日には 実験を しますか。/星期五做实验吗?(提示补语,与别的日子区别。)

かれは いまは 学生です。/现在他是学生。(强调状语,与过去区别。)

今日は 日曜日ではありません。/今天不是星期天。(加强否定的语气)。

も也是提示助词,它的语法意义是表示追加,即在其它事物的基础上,再追加一事物。这个も可以译作“也”。但在汉语句子中,“也”字的位置比较固定,因此,汉译日时,要根据加的是什么成分,而把も分别加在日语句子的主、宾、补、状语后。も可以顶替が,を,也可以和を重叠。例如:

ぼくたちも 日本語を ならう。/我们也学日语。(表示:别人学,我们也学。)

ぼくたちは 日本語も 習う。/我们日语也学。

ぼくたちは 日本語をも 習う。/我们日语也学。(上二例表示:既学其它功课,也学日语。)

ここも 日本語を 習う。/下午也学日语。(表示下午也和上午一样。)

そこにも ペンが あります。/那里也有钢笔。(表示那里和这里等处一样。)

先週の 化学の 授業は 月曜日ではありませんでした。それでは火曜日だったでしょう。いいえ、火曜日でもありませんでした。/上周的化学课不是星期一,那末是在星期二吗?不,也不是在星期二。(追加一个否定。)

も还可以表示兼提,即用 AもBも……的形式表示“A也……B也……”、“A和B都……”的意思。例如:

王さんも 李さんも 学生です。/小王和小李都是学生。

四、人称代词

人 称 数	第一人称	第二人称	第三人称	不定称
单 数	わたくし わたし	あなた	このかた そのかた あのかた	どなた
	ぼく	きみ	かれ かのじょ	だれ
复 数	わたくしたち わたしたち	あなたがた あなたたち	このかたがた そのかたがた あのかたがた	
	ぼくたち ぼくら	きみたち きみら	かれたち かれら かのじょたち かのじょら	
	われわれ			

学习人称代词必须注意：

1. 分清敬谦与简慢。一般来说，わたくし一组对于长辈或比较疏远的人谈话，ぼく一组用于对平辈、晚辈或比较亲近的人谈话，是男性用的。われわれ一词用于演说和写文章。

2. たち，がた，ら等表示复数的接尾词也有敬简之分，不能随便搭配。这些接尾词还可以接在表示职业、职称等的名词后表示复数。如：

先生がた/各位老师

练习(練習)

一、朗读下列单词，注意促音和平音(非促音)，拗音与拗长音的区别：

1. いち 位置——いっち 一致
2. かこ 過去——かっこ 括号
3. まち 城镇，街道——マッチ 火柴
4. せかい 世界——せっかい 石灰
5. しゅにん 主任——しゅうにん 就任
6. りょうこう 旅行——りょうこう 良好
7. きょうだい 巨大——きょうだい 兄弟
8. じゅうよう 需要——じゅうよう 重要
9. スパイ 间谍——すっぱい 酸的

二、给下列汉字注上假名：

政治 経済 交通 中心 電車 地下鉄 京都 名所 町 昔 時代
便利 時間 授業 休講 実験 化学 語学

三、朗读并翻译下列单词：

きょう あした きせつ どなた あなた わたし かた はい
いいえ では それでは とても ある(連体) まわり

四、完成下列敬体判断句句型表：

方 式 \ 时 间	现在	将来	过去
肯定	…は…です		
否定			
推测	…は…でしょう		

五、仿照例句完成句子：

例：(1) あれは 春の 花ですか。(はい)

→はい、あれは 春の 花です。

- (2) それは 伊藤さんのペンですか。(いいえ)
 → いいえ,これは 伊藤さんの ペンではありません。
1. あの人 は 学生 ですか。(はい)
 →
 2. そのかた も 先生 ですか。(はい)
 →
 3. きょう は 日曜日 ですか。(いいえ)
 →
 4. 水曜日の 授業 は 休講 でしたか。(いいえ)
 →
 5. あした は お休み ですか。(いいえ)
 →

六、填助词、助动词：

1. そこ() テレビ() あります。雑誌() いろいろ あります。
2. この 国家の 交通 は 便利(),その 国家の 交通() 便利で
 す。
3. 富士山 は 火山(),日本の 一番 高い 山で()あります。
4. 今日 は 日曜日(),休講()か。
 いいえ,今日は 月曜日(),歴史の 授業() あります。
5. あれ() 学校() いすです()。
 どの いすです()。
 あの あおい いすです。
 あの あおい いす() 学校() いす()。
6. あの 池 は 図書館() 池 ですか。はい そう()。
7. この 映画() 長い です()。

七、将下列句子译成日语：

1. 中国的历史很悠久。
2. 昨天是星期几?昨天是星期天。停课了吗?虽然是星期天,但是没有停课。
3. 以前日本的首都是京都吧。是的,日本以前的首都是京都。但现在的首都是东京。
4. 东京的交通过去也很方便吗?
5. 这个城市的周围有很多高山。
6. 日本的交通很方便。

第3課(第3課)^{だいさんか}

本文:一、田中さんは 会社員だ
二、あなたは 会社員ですか
課外読物:一、李君の 大学生活
二、工業展覧会の ある 展示場で
文法:一、簡体判断句的各种句型
二、助词

课文(本文)^{ほんぶん}

一、田中さんは 会社員だ^{たなか かいしやいん}

田中さんは 会社員だ。田中さんの 妻も 会社員だったが、今は 専業主婦だ。二人の 間に かわいい 子供が ふたり いる。一番目は 女の 子で、小 学校の 一年生だ。二番目は 男の 子で、まだ 幼稚園に いる。田中さんの 出身は 名門校ではなかったが、自分の 子を 名門校に 入れるつもりだ。それで、子供たちの ために いっしょうけんめい 働く。

田中さんの 会社は 貿易会社だ。仕事の ために いっしょうけんめいに 語学を 勉強する。田中さんは 勉強家で、頭も いい。毎朝 六時に 起きる。英語や 中国語の 朗読の 練習をする。夜は また 夜学に 出る。田中

さんの 英語は とても うまい。中国語も よく できる。
やさしい 話 なら、もう 中国語で 話すことができる。

田中さんの 家は 横浜に あるが、会社は 東京に ある。
毎日 電車で 通勤する。それで、毎朝 七時に 家を出る。
それから、夜は 十時ごろに 帰る。田中さんの 仕事は とても 忙しい。

土曜日や 日曜日は お休みだ。よく 子供たちと 一緒に 公園へ 行く。

二、あなたは 会社員ですか

こんにちは。

こんにちは。

あなたは 会社員ですか。

はい、わたしは 会社員です。

会社は どこに ありますか。

東京に あります。

何の 会社ですか。

貿易会社です。

お仕事は 忙しいですか。

はい、とても 忙しいです。

生词(新出語)

- | | | |
|----|-------------------|---------------|
| 1 | かい しゃ いん[会社員] | (名)公司职员 |
| 2 | つま[妻] | (名)妻子 |
| 3 | いま[今] | (名)现在 |
| 4 | せん ぎょう しゅ ふ[専業主婦] | (名)家庭主妇 |
| 5 | あいだ[間] | (名)中间 |
| 6 | かわいい | (形)可爱的,好玩的 |
| 7 | こども[子供] | (名)小孩,儿童 |
| 8 | ばんめ[番目] | (接尾)第…… |
| | いちばんめ[一番目] | (数)第一,第一个 |
| 9 | こ[子] | (名)孩子 |
| 10 | しょう がっこう[小学校] | (名)小学校 |
| 11 | いち ねん せい[一年生] | (名)一年级学生 |
| 12 | まだ | (副)还,尚 |
| 13 | よう ち えん[幼稚園] | (名)幼儿园 |
| 14 | しゅつ しん[出身] | (名)毕业学校,籍贯 |
| 15 | めい もん こう[名門校] | (名)名牌学校 |
| 16 | じ ぶん[自分] | (名)自己 |
| 17 | いれる[入れる] | (他一)放进,放入 |
| 18 | つもり[積(も)り] | (名)想法,打算 |
| 19 | それで | (接)因此,所以 |
| 20 | ため | (名)为了,因为 |
| 21 | いっしょう けん めい[一生懸命] | (名・副・形动)拼命,努力 |
| 22 | はたらく[働く] | (自五)工作,劳动 |
| 23 | かい しゃ[会社] | (名)公司 |
| 24 | ほう えき がい しゃ[貿易会社] | (名)贸易公司 |
| 25 | しごと[仕事] | (名)工作,职业 |
| 26 | べん きょう[勉強] | (名・自他サ)学习,用功 |
| 27 | べん きょう か[勉強家] | (名)学习用功的人 |
| 28 | あたま[頭] | (名)头,头脑 |
| 29 | いい | (形)好 |
| 30 | まい[毎] | (接头)每 |
| 31 | あさ[朝] | (名)早晨,早上 |
| 32 | じ[時] | (接尾)…点钟,…时 |
| 33 | ご[語] | (接尾)…语 |
| 34 | ちゅう ごく ご[中国語] | (名)汉语 |

35	ろう どく[朗読]	(名)朗读
36	れん しゅう[練習]	(名)练习
37	や がく[夜学]	(名)夜校
38	よる[夜]	(名)夜晚,晚上
39	うまい	(形)高明的、巧妙的
40	よく	(副)好好地,经常
41	できる[出来る]	(自一)能,会
42	やさしい[易しい]	(形)容易的
43	もう	(副)已经,再,又
44	はなす[話す]	(他五)说,谈
45	こと[事]	(名)事,事情
46	よこはま[横浜]	(名)横浜
47	まい にち[毎日]	(名)每天
48	つう きん[通勤]	(名・自サ)上下班,通勤
49	しち[七]	(数)七
50	ごろ[頃]	(接尾)(时间、日期)前后、左右、时候
51	かえる[帰る]	(自五)回来
52	いそがしい[忙しい]	(形)繁忙的,忙(碌)的
53	いっしょに[一緒に]	(副)一起
54	いく[行く]	(自五)去,往
55	こんにちは[今日は]	(感)您好(昼间的寒暄语)

课文注释(本文の注 釈)

1. 接头词“お”用以表示尊敬或亲昵。如:お仕事/您的工作,お休み/休息,お茶/茶。

2. “家を 出る”中的を不是宾格助词,是补格助词。因为“出る”是自动词,自动词不能带宾语。补格助词を表示移动的起点或范围。这里是移动的起点,是“从家里离开”、“离家”的意思。

惯用型(慣用型)

1. …つもりだ[补助惯用型]

这是一个惯用型。惯用型是一种习惯使用的,可以构成一个句子成分或句子的型式。惯用型分四种;可以构成一个句子的叫“惯用句型”,可以构成状语或定语的叫“修饰惯用型”,可以成为谓语的一部分的叫“补助惯用型”。在句子中前后呼应的叫“呼应惯用型”。这个惯用型接在动词后面,与前面的动词一起构成谓语,表示“打算……”的意思。

田中さんつ 出身は 名門校ではなかったが、自分の 子を 名門校に 入れるつもりだ。/田中不是毕业于名牌学校,但他打算把自己的孩子送入名牌学校。

2. …ために[修饰惯用型]

这个惯用型接在体言加の或用言后构成状语,表示目的或原因,可译为“为了……”或“因为……”。

子供たちの ために いっしょうけんめい 働く。/为了孩子们而拼命干活。

語学を 勉強するために 夜学に 出る/为了学外语而上夜校。

3. …ことができる[补助惯用型]

这个惯用型接在动词后构成谓语,表示“可以……”“能……”的意思。

易しい 話なら,もう 中国語で 話すことができる。/如果是简单的话,已经能用汉语说了。

課外読物(課外読物)

一、李君の 大学生活

李君は A大学の 電子工学科の 一年生だ。入試の ときの 第一志望校は B大学で、A大学は 第二志望校だった。A大学は 名門校ではないが、その電子工学科は 有名だ。それで、彼は 大喜びだった。

李君は 勉強家で、頭も いい。彼は 毎朝 六時に 起きる。ラジオ体操や ジョツギングを する。それから すぐ 日本語の 朗読の 練習を 始める。彼は 同じ ところを 何回も 何回も くり返し 読む。今、日本語の 成績は クラスで トップだ。易しい 話なら、もう 日本語で 話すことができる。

午前中 李君は 数学や 物理の 授業に 出る。午後は たいてい 図書館で 過ごす。勉強は 疲れるが、実に おもしろい。

李君は 音楽に 興味が ある。いま、大学の オーケストラの メンバーだ。夕食前の 一時間は その 練習で 忙しい。

夕食後は 明るい 寮の 部屋で 宿題を やる。本も 読む。みんな いっしょうけんめい 勉強する。

土曜日の晩は音楽会によく行く。日曜日は洗濯や買い物をする。

李君の生活は実に充実している。

选自《日语(理工科用)》第二版第一册第九课

二、工業展示会のある展示場で

王君、これはポンプ工場の製品だ。あの電子計算機と自動
盤とカメラもみんな地元の製品だ。その変圧器は町工場
の製品で、大工場の製品ではない。町工場の製品もりっぱだ。
町工場の製品なら、あちらにもまだたくさんある。これらの
製品はみんなデザインが新しい。質もよい。

むかし、この工業製品はとても貧弱だった。いま、この
工業の発展ぶりはとてもすばらしい。では、次の展示場へ…

选自《日语(理工科用)》第一版第一册第九课

注 釈

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1 くん[君] | (接尾)接在同輩,晚辈的姓名后略表敬意 |
| 2 でんしこうがくか[電子工学
科] | (名)电子工程系 |
| 3 だいいちしほうこう[第一志
望校] | (名)第一志愿学校 |
| 4 おおよろこび[大喜び] | (名)非常高兴 |
| 5 ジョギング[jogging] | (名)放松慢跑 |
| 6 すぐ | (副)立刻 |
| 7 はじめる[始める] | (他一)开始 |
| 8 おなじ[同じ] | (形动・连体)相同的,同一 |
| 9 ところ[处・所] | (名)地方 |
| 10 なんかい[何回] | (数)几次 |
| 11 くりかえし[繰り返し] | (名)反复,重复 |
| 12 クラス[class] | (名)班,组 |
| 13 トップ[top] | (名)第一名,首位 |
| 14 ごぜんちゅう[午前中] | (名)上午 |
| 15 すこす[過(こ)す] | (他五)过,度过 |
| 16 つかれる[疲れる] | (自一)疲倦 |

17	おもしろい[面白い]	(形)有趣的
18	きょう み[興味]	(名)兴趣
19	オーケストラ[orchestra]	(名)管弦乐团
20	メンバー[member]	(名)成员
21	ゆう しょく[夕食]	(名)晚饭
22	いそがしい[忙しい]	(形)忙碌的
23	あかるい[明るい]	(形)明亮的
24	へや[部屋]	(名)房间,屋子
25	しゅく だい[宿題]	(名)课外作业
26	みんな・みな[(皆)]	(名・副)大家,都
27	かいもの[買(い)物]	(名)买东西
28	てん じ ば[展示場]	(名)展厅
29	ポンプ[pump]	(名)泵
30	じ もと[地元]	(名)本地,当地
31	やはり	(副)仍然,同样
32	じ どう ばん[自動盤]	(名)自动车床
33	カメラ[camera]	(名)照相机
34	まちこうば[町工場]	(名)街道工厂
35	りっ ぱ[立派]	(形动)漂亮,优秀
36	デザイン[design]	(名)设计图,设计
37	あたらしい[新しい]	(形)新的
38	ぶり	(接尾)情况
39	すばらしい[(素晴)らしい]	(形)极好的

ふんぽう 语法(文法)

一、简体判断句的各种句型

简体判断句的基本句型是…は…だ。它和…は…です意义相同。例如：

きょうは 月曜日だ。/今天是星期一。

あすは 火曜日だ。/明天是星期二。

以上是对现在、将来的情况的肯定判断。这个句型同样可以衍化出许多形式来：

1. 推测：…は…だろう。=…は…でしょう。(過去推测是…は…だっただろう)例如：

あの人は 会社員だろう。/那个人是公司职员吧。

2. 过去肯定：…は…だった。=…は…でした。例如：

彼女も 会社員だった。/她过去也是公司职员。

きのうは 土曜日^{どようび}だった。/昨天是星期六。

3. 现在否定;…は…ではない。=…は…ではありません。ではない中的は也是为了强调而插进去的提示助词。例如;

それは ペンではない。/那不是钢笔。

きょうは 木曜日^{もくようび}ではない。/今天不是星期四。

4. 过去否定;…は…ではなかった。=…は…ではありませんでした。例如;

それは 今年^{ことし}の 秋^{あき}の ことではなかった。/那不是今年秋天的事。

5. 中顿;与敬体判断句相同。例如;

これは 新聞^{しんぶん}で、それは 雑誌^{ざっし}だ。/这是报纸,那是杂志。

かのじょは 一年生^{いちねんせい}で いっしょうけんめい 日本語^{にほんご}を 勉強^{べんきょう}する。/她是一年级学生,努力学习日语。

6. 现在、将来假定;用…が(は)…なら(ば)…的句型,表示“假如……是……的话,就……”的意思。…なら也可以用来提出一个话题,可译作“说到……”“至于……”。这个なら还可以接到动词、形容词的后面。例如;

今週^{こんしゅう}の 実験^{じつけん}の 時間^{じかん}が 木曜日^{もくようび}なら、来週^{らいしゅう}も 同じ^{おな}でしよう。/如果本周的实验课是星期四的话,下周也是一样的吧。

日本語^{にほんご}なら 話^{はな}すことができる。/如果是日语就能说。

7. 疑问;除中顿、假定外,各种句型后加终助词か都可以构成疑问句,但现在肯定句型不是直接加か,而是把だ去掉,再加か。例如;

これは なにか。/这是什么?

それは 雪^{ゆき}か。/那是雪吗?

二、助词

助词没有词形变化,不能独立使用,只能附在实词后面表示一定的语法意义。

助词按其职能分成六类;

1 格助词;主要接在体言后,表示该体言同句中其它词的关系,共有十个,按其表示的关系又分为四种;

(1)主格助词が,与所附体言一起构成主语。

(2)宾格助词を,与所附体言一起构成宾语。

(3)领格助词の,与所附体言一起构成定语。

(4)补格助词に、で等七个,与所附体言一起构成补语。

2. 接续助词;接在用言或句子后,连接前后两个词或两个句子,起承上启下的作用。

3. 并列助词;连接处于同等地位的词或词组,起并列的作用。

4. 提示助词;起提示作用的助词,可以顶替格助词或者与格助词重叠。例如;は可顶替が。

5. 副助词:接在种种词语后,增添一定的语法意义。

6. 终助词:接在句子的末尾表示疑问、禁止、咏叹等语气。例如:か表示疑问等。

学习助词,注意从两个方面来掌握:(一)接续法,即该助词接在什么词的后面;(二)作用意义,即该助词起什么语法作用和表示什么语法意义。

补格助词に

接在体言后,与该体言一起构成补语,可以表示:

1. 动作行为发生的时间,可译作“在”。例如:

わたしは 朝六時に 起きる。/我早上六点起床。

2. 存在的位置,可译作“在”;“于”。例如:

わたしの ちは 東京に ある。/我的家在东京。

3. 动作的目的地、着落点、结果。例如:

八時に 会社に 行く。/八点去公司。

子供を 名門校に 入れる。/把孩子送进名牌学校。

春に なる。/到了春天。

4. 动作的目的。例如:

授業に 出る。/去上课。

补格助词で

接在体言后,与该体言一起构成补语,可以表示:

1. 动作行为发生的场所,可译作“在”,例如:

実験室で 実験を する。/在实验室里做实验。

で与に的区别是:で表示动作的场所,而に表示存在的位置。使用时要根据动词去确定。

2. 动作行为所使用的工具、方法、材料、手段等,可译作“用”、“以”等。例如:

ペンで 書く。/用钢笔写。

日本語で 話す。/用日语说话。

3. 表示动作的原因、理由,可译作“由于”、“因为”。例如:

病気で 休む。/因病休息。

补格助词へ

接在体言后面,与该体言一起构成补语,表示动作进行的方向,可以译作“向”、“朝”、“往”、“到”等。读音为え。例如:

どこへ 行くか。/到哪儿去?

町へ 行く。/进城去。

补格助词と

接在体言后,与该体言一起构成补语,表示动作的共同行动者或对手,可译作“同”、“与”、“和”、“跟”等,例如:

田中さんと 朗読の 練習を する。/和田中一起作朗读练习。

并列助词や

接在体言后面,把两个以上体言并列起来,构成一个词组。也表示例示性质的列举,可以译作“……啦……啦”“……和……等”。例如:

日本語や 英語/日语和英语等

这种词组中的最后面一个体言还可以再接一个副助词など,表示列举未尽。例如:

ペンや 鉛筆など/笔记本啦,铅笔等等。

用や连接成的词组仍当作一个体言使用。词组后面可以接が作主语,接の作定语,接を作宾语,接补格助词作补语,接だ,です,である作判断句谓语等。例如:

午後は 化学や 語学などの 授業 に 出る。/下午上化学课、外语课等。

接续助词が、けれども

が和けれども(或用けれど、けど)是用来连接两个句子的接续助词,接在第一个句子的末尾,起一种承上启下的作用,使此句和后面一句联系起来,常见的有如下几种用法:

1. 上句和下句是转折关系,或者说的是两种相反的情况,这时が和けれども可译为“但是”或“而”。例如:

李さんは 一年生だが(けれど),日本語も じょうずだ。/小李虽然是一年级学生,但是日语也很好。

2. 上句和下句在意义上并无转折,が和けれども只是把两个有关的句子联系在一起,此时可译一个“而”字或根本不译。例如:

私は 図書館へ 行きますが(けれど),あなたは どう しますか。/我去图书馆,你干什么?

3. が、けれども也可以用在句子的后面,象一个终助词一样。此时给人一种转折的或有所保留的语感。例如:

わたしは 王ですが。/我姓王,……

私は あした 町へ 行くつもりですけれど。/明天我想进城……
会话中很少使用けれども,一般用けれど、けど、が。

练习(練習)

一、朗读下列单词,注意ゆ和よ、ら行和な行的区别:

ゆく 去——よく 好好地、经常

ゆか 地板——よか 闲暇

から 空闲——かな 假名

あり 蚂蚁——あに 哥哥
しる 知道——しぬ 死
ころ 时候——この 这个

二、标出下列划线部分汉字的假名：

1. 田中さんの 妻は 会社員です。
2. この 貿易会社の 幼稚園は どこに ありますか。
3. 李さんと 一緒に 横浜へ 行く。
4. 一年生の ころ この 子供は 勉強家でした。
5. 先生は 一生懸命 働く。
6. あの人は 中国語で 話すことができる。
7. この 二人の 子は 毎朝 英語の 練習を する。

三、朗读下列单词，写出其当用汉字并说出其词义。

めいもんこう せんぎょうしゅふ ろうどく あいだ しゅっしん
じぶん しごと よる やがく つうきん もくようび せんしゅ
う らいしゅ きょうだい びょうき せいせき ほうこう かず
じょうず なぜ

四、从 B 栏内选择与 A 栏搭配得当的动词将其序号填入 A 栏()中，并在
_____上填入适当的助词。

- | A | B |
|---------------|------|
| (1)くつ____() | ①する |
| (2)実験____() | ②咲く |
| (3)花____() | ③食べる |
| (4)パン____() | ④飲む |
| (5)かず____() | ⑤習う |
| (6)お茶____() | ⑥出る |
| (7)六時____() | ⑦起きる |
| (8)日本語____() | ⑧買う |
| (9)ざっし____() | ⑨数える |
| ⑩夜学____() | ⑩読む |

五、将下列敬体句改写为简体句：

1. 一番 近い 地下鉄の 駅は あちらです。
2. 昔 日本の 首都は 京都でした。
3. あの人は テレビで 英語や 日本語を 勉強します。
4. ここは 図書館ではありませんでした。
5. 家に いすが 二つ あります。
6. そこに 男の 先生や 女の 学生が います。
7. 今日は 金曜日で、経済の 授業や 化学の 授業が あります。
8. 彼は 小学校の 一年生で 頭が いいです。

六、填空：

1. この 国家は アジア() ある。
2. 彼は だいたい 六時() 起きる。それから、英語()日本語

- () 朗読() 練習() する。
3. 来週の 火曜日の 午後,私は おばあさん() 一緒に 公園
() 行く。
4. 易しい 実験(),彼も できる。
5. 田中さんは 朝 七時に 家() 出る、夜 六時に 夜学()
出る。
6. 仕事の() あの人() 日本語() 勉強する。

七、将下列各句译成日语(用简体):

1. 东京是日本的首都,是日本政治、经济和文化的中心。
2. 星期一你打算做什么? 我打算坐电车去京都看名胜古迹。
3. 最美丽的公园在哪儿?
4. 要是简单的日语,我会说。
5. 小李虽然是小学生,但是英语也不错。
6. 以前,那两个人是这所学校的学生,但是,现在是公司职员。

第4課(第4課)

本文：一、日本と日本人
二、数を数える方法
三、今年は何年ですか

課外読物：ふるさと

文法：一、文章体判断句与判断句小结
二、并列助词と与接续助词と
三、补格助词から、まで

課文(本文)

一、日本と日本人

日本はアジアの国である。日本には、人口百万人以上の都市が十ある。日本の首都である東京は、日本の政治、経済、文化の中心である。しかし、昔のある時代は日本の首都は京都であった。東京ではなかった。京都にはお寺や古い町がたくさんある。外国のお客さんがよく京都へ旅行に行く。

日本には桜の木がたくさんある。東京では四月になると、桜の花が咲く。九州では三月の終わりごろ、北海道では五月の初めごろ、桜の花が咲く。桜の時期には、おおぜいの日本人がお花見に行く。桜の名所であれば花見に行く人でいっぱい

なる。人々は 桜の木の 下で お酒を 飲む。また 歌
を 歌う。花見も 日本文化の 一つであろう。

日本には、春・夏・秋・冬がある。春になると 花が
たくさん 咲く。夏になると、人々は 海岸や 山へ 行
く。秋になると、果物が たくさん とれる。冬になると、
雪が 降る。

日本には 多くの 外国人が 来る。日本人も 外国へ
行く。日本人は 外国に 自動車・テレビ・カメラなどを
たくさん 売る。外国から 原料を たくさん 買う。日本
人は 魚を よく 食べる。

二、数を 数える 方法

日本語で 数を 数える 方法は 二通り ある。つま
り、漢語の 数え方と 和語の 数え方だ。漢語の 数え方
に 使う 数詞は 音読の 数詞で、和語の 数え方に 使
う 数詞は 訓読の 数詞だ。

音読数詞の 言い方は 易しい。つまり、一、二、三、四、五、
六、七、八、九、十、百、千、万、億…

訓読数詞の 言い方は 少し 難しい。よく 覚える
必要がある。つまり、一つ、二つ、三つ、四つ、五つ、六つ、七つ、
八つ、九つ、十だ。

人数を 数える 時は、始めは 訓読数詞を 使う。後は
音読数詞を 使う。つまり、一人、二人、三人、四人、五人、六
人、七人、八人、九人、十人、十一人…

三、今年^{ことし}は 何年^{なんねん}ですか

今年^{ことし}は 何年^{なんねん}ですか。

今年^{ことし}は 一^{せん} 九^{きゅう} 九^{きゅう} 二年^{にねん}です。

来年^{らいねん}は 何年^{なんねん}ですか。

来年^{らいねん}は 一^{せん} 九^{きゅう} 九^{きゅう} 三年^{さんねん}です。

今^{いま}は 何月^{なんがつ}ですか。

今^{いま}は 二月^{にがつ}です。

桜^{さくら}の 花^{はな}は 何月^{なんがつ}に 咲^さきますか。

四月^{しがつ}に 咲^さきます。

生 詞(新 出 語)^{しんしゅつご}

- | | | |
|----|------------|-----------------|
| 1 | じん[人] | (接尾)……人 |
| | にほんじん[日本人] | (名)日本人 |
| 2 | くに[国] | (名)国, 国家 |
| 3 | ひゃく[百] | (数)百, 一百 |
| 4 | とし[都市] | (名)都市, 城市 |
| 5 | てら[寺] | (名)寺院, 佛寺 |
| 6 | ふるい[古い] | (形)旧的, 古老的 |
| 7 | がい こく[外国] | (名)外国 |
| 8 | お[御] | (接头)表示尊敬、亲切或郑重 |
| 9 | きゃく[客] | (名)客人 |
| 10 | き[木] | (名)树木 |
| 11 | がつ[月] | (接尾)月 |
| | しがつ[四月] | (数)四月 |
| 12 | し・よ・よん[四] | (数)四 |
| 13 | なる[成る] | (自五)变, 成, (时间)到 |
| 14 | さん[三] | (数)三 |
| 15 | おわり[終わり] | (名)终了, 结束 |
| 16 | ご[五] | (数)五 |
| 17 | はじめ[初め] | (名)开头, 最初, 起初 |
| 18 | じ き[時期] | (名)时期 |

19	おおぜい[大勢]	(副・名)许多人,众人
20	はなみ[花見]	(名)观樱花,赏樱花
21	ゆく[行く]	(自五)去,走,进行
22	いっぱい	(副)满满地
23	ひとびと[人々]	(名)人们
24	した[下]	(名)下,下面
25	さけ[酒]	(名)酒
26	うた[歌]	(名)歌(曲)
27	うたう[歌う]	(他五)唱歌
28	なつ[夏]	(名)夏天
29	あき[秋]	(名)秋天
30	ふゆ[冬]	(名)冬天
31	かい がん[海岸]	(名)海岸,海滨
32	くだもの[果物]	(名)水果
33	とれる[取れる]	(自一)取得,获得
34	ふる[降る]	(自五)下,降,落
35	おおく[多く]	(名)多
36	じ どう しゃ[自動車]	(名)汽车
37	カメラ[camera]	(名)照相机,摄影机
38	うる[売る]	(他五)卖,(出)售
39	げん りょう[原料]	(名)原料
40	さかな[魚]	(名)鱼
41	ほう ほう[方法]	(名)方法
42	とおり[通り]	(名)街道;如……一样;(接尾)种,套,遍
	ふたとおり[二通り]	(名)两种
43	つまり	(接)即,就是
44	かん ご[漢語]	(名)汉语
45	かた[方]	(接尾)……方法(接动词连用形)
	かぞえかた[数え方]	(名)数数的方法
	いいかた[言い方]	(名)说法
46	わ ご[和語]	(名)和语,日语固有词汇
47	つかう[使う]	(他五)使用
48	おん どん[音読]	(名)音读
49	くん どん[訓読]	(名)训读
50	はち[八]	(数)八
51	く・きゅう[九]	(数)九
52	すこし[少し]	(副)一点

53	むずかしい[難しい]	(形)难的
54	おぼえる[覚える]	(他一)记,记忆
55	ひつ よう[必要]	(名・形动)必要,必需
56	みっつ[三つ]	(数)三个,三岁
57	いっつ[五つ]	(数)五个,五岁
58	むっつ[六つ]	(数)六个,六岁
59	ななつ[七つ]	(数)七个,七岁
60	やっつ[八つ]	(数)八个,八岁
61	ここのつ[九つ]	(数)九个,九岁
62	にん すう[人数]	(名)人数
63	とき[時]	(名)时,时候
64	はじめ[始め]	(名)开始
65	あと[後]	(名)以后,之后
66	ひとり[一人]	(名)一人
67	なんねん[何年]	(数)几年,哪一年,多少年
68	らい ねん[来年]	(名)明年
69	なんがつ[何月]	(数)几月,哪个月
70	ちょう[兆]	(数)兆,万亿
71	おう[王]	(名)王

课文注释(本文の注 釈)

1. 两个或两个以上主谓结构并列而成的句子叫并列句。并列句中如果前后部分完全相同时,前一分句中的该部分可以省略。例如:

九州では 三月の 終りごろ(桜の 花が 咲く),北海道では 五月の 初めごろ 桜の 花が 咲く。(括号内为省略部分)/在九州,三月底前后开樱花;在北海道,五月初开樱花。

2. 咲きます是咲く的敬体。

3. 日语基数词

日语数词有两套:一套是日本固有的,一套是来自汉语的。

日本固有的:

ひとつ 二つ 三つ 四つ 五つ 六つ 七つ 八つ 九つ 十
いく 幾つ

来自汉语的:

いち 二 三 四 五 六 七 八 九 十 百 千 万 億
ちょう 兆

日语表示计量单位的词(助数词)有的与汉语的量词相同,有的不同。

数人时,“一个人”、“两个人”用训读,其他用音读:ひとり,ふたり,三人,四人……

数年、月用来自汉语的数词,如“一九九二年二月”读成“千九百九十二年二月”,即“せんきゅうひゃくきゅうじゅうにねんにがつ”。

課外読物(課外読物)

ふるさと

わたしの ふるさとは 小さな 港町である A町の
近くに ある。大きな 村ではないが、景色が いい。村の うしろは
山で、春、山には 桃や 桜の 花が 咲く。そして、まもなく 山全
体が 緑色に なる。

夏は 暑いが、よく 潮風が 吹く。それで わりあい 涼しい。村か
ら 海辺まで 約 一キロ ある。村の 子どもたちは よく 海へ 行
く。そこで 泳ぐ。それは 子どもたちの 楽しみの 一つである。

秋、山の ふもとの みかんの 木には 大きな みかんが いっぱ
い なる。わたしの ふるさとは、もと 米の 産地であったが、いまは
お茶の 産地でもあり、また みかんの 産地でもある。お茶と みか
んの 生産高は おそらく 全国一であろう。

冬、山の 上に 雪が 降る。そして お正月が 来る。農家の 人
たちは みかんや おいしい 魚などで 友だちを もてなす。

最近 村に 小型発電所が できた。農作業は もちろん、力仕
事であれば、みな 電気を 使う。家庭でも よく 電気を 使う。それ
で、いま 村の 人たちの 表情も 心も みな とても 明る
い。

选自《日语(理工科用)》第二版第一册第十课

注 释

1 ふるさと[故里]	(名)故乡
2 ちいさな[小さな]	(连体)小的
3 みなと[港]	(名)海港,港口
みなとまち[港町]	(名)海港城市
4 おおきな[大きな]	(连体)大的
5 まもなく	(副)不久
6 しおかぜ[潮風]	(名)海风
7 わりあい[割合]	(副)比较
8 すずしい[涼しい]	(形)凉爽的
9 キロ	(接尾)公里,公斤
10 およぐ[泳ぐ]	(自五)游泳
11 たのしみ[楽しみ]	(名)乐趣
12 ふもと[(麓)]	(名)山麓
13 みかん[(蜜かん)]	(名)桔子
14 せい さん だか[生産高]	(名)产量
15 おそらく[恐らく]	(副)恐怕,大概
16 ぜん こく いち[全国一]	(名)全国第一
17 ともだち[友達]	(名)朋友
18 もてなす[持て成す]	(他五)招待
19 のう き ぎょう[農作業]	(名)农活
20 もちろん	(副)当然,不用说
21 ちからしごと[力仕事]	(名)费力的工作
22 でん き[電気]	(名)电,电气

语法(文法)^{ぶんぽう}

一、文章体判断句与判断句小结

文章体判断句也分简体、敬体两类,简体主要用于写文章,敬体用于演说或写文章。

简体的现在、将来肯定句型是…は…である,敬体的现在、将来的肯定句型是…は…であります。例如:

日本の^{にほん}首都^{しゅと}は 東京である(であります)/日本の首都是东京。

这两个句型也可以衍化出许多形式来,分述如下(简体在前,敬体在后):

1. 推测:…は…であろう;…は…でありましょう。=…は…だろう;…は…でしょう。例如:

それは ^{うめ}梅の ^き木であらう。/那是梅树吧。

あの ^{がっこう}学校は ^{めいもんこう}名門校でありましょう。/那个学校是名牌学校吧。

2. 过去肯定: …は…であった, …は…でありました。= …は…だった, …は…でした。例如:

かのじょは ^{せんぎやうしゆふ}もと専業主婦であった。/她原来是个家庭主妇。

あの ^{ひと}人は ^{べんきやうか}勉強家でありました。/他曾经是一个用功的人。

3. 现在否定: …は…ではない, …は…ではありません。和上两课所学句型相同。例如:

^{おうくん}王君は ^{がくせい}学生ではない(ではありません)。/小王不是学生。

4. 过去否定: …は…ではなかった, …は…ではありませんでした。与上两课所学句型相同。例如:

きのうは ^{かようび}火曜日ではなかった。(ではありませんでした)。/昨天不是星期二。

5. 中顿: …は…であり…=…は…で…。例如:

それは ^{さくら}桜であり, これは ^{うめ}梅である。/那是樱花, 这是梅花。

6. である还有一个だ和です所没有的用法, 即接在体言之后构成定语。

“体言である体言”的格式翻译成汉语时, 其定语部分可译成同位语, 也可以把である译成一个破折号“——”。例如:

^{にほん}日本の ^{しやと}首都である ^{とうきやう}東京は ^{いちばん}いちばん ^{しや}大きい ^{しま}島である ^{ほんしゅう}本州に ^ああります。/日本首都东京在日本最大的岛屿——本州。

7. 假定: であれば=なら。例如:

^{ほっかいどう}北海道であれば, ^{じゅうがつ}十月から ^{ゆき}雪が ^ふ降る。/如果在北海道, 十月就开始下雪。

8. 疑问: 除了中顿、假定和定语以外, 都可以加终助词か构成疑问句。

判断句的各种句型可以归纳整理为下页的表。

<div> <div> <div>句子类别</div> <div>句型</div> </div> </div>	判 断 句			
	だ型	です型	である型	であります型
推测	…は… だろう	…は… でしょう	…は… であろう	…は… でありま しょう
过去肯定	…は… だった	…は… でした	…は… であった	…は… であり ました
现在否定	…は… ではない	…は… ではあり ません	…は… ではない	…は… ではあり ません
过去否定	…は… ではな かった	…は… ではありま せんでした	…は… ではな かった	…は… ではありま せんでした
中顿	…は… で, …	…は… で, …	…は… であり, …	…は… であり, …
现在肯定	…は… だ	…は… です	…は… である	…は… であります
定语			…は(が) …である …である	
假定	…は(が) …なら(ば)	…は(が) …でしたら…	…は(が) …であれ ば…	…は(が) …であれ ば…

判断句的基本句型 是…は…だ、…は…です、…は…である(であります)。だ、です、である这些助动词叫“指定助动词”。它们的主要作用是表示判断。句型的衍化都是由这些助动词变化后再接其他词而来的。指定助动词有未然形、连用形、终止形、连体形、假定形、命令形等六个形态。其变化,后续词如下页的指定助动词形态变化表。

形 态 词 别	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
だ	だろ	だっ(1) で(2)(3)	だ	○	なら	○
です	でしょ	でし(1)	です	○	○	○
である	であろ	であっ(1) であり(2)	である	である	であれ	であれ
后续 词	う	(1)た (2)中顿 (3)(は)ない		体言	ば	

二、并列助词と和接续助词と

并列助词と接在体言后面,把两个以上的体言构成一个词组,表示并列。这个词组的最后面一个体言可以再跟一个と,也可以不加。例如:

きみと かのじょ/你和她

这个词组的性质相当于一个体言,可以后续各种格助词(或提示助词)或助动词构成主语、谓语、宾语、补语、定语等。例如:

李さんと 王さんは 会社員だ。/小李和小王是公司职员。

木曜日は 物理と 化学の 実験を する。/星期四做物理和化学实验。

并列词组的最后个体言后面加不加工と,在意义上是没有差别的。不加工と的较常见,但在下面几个句子中,一般要加:

1. 有可能发生歧义时,例如:

水曜日の 金曜日の 午後は 化学の 実験を する。

这句话可以有两种理解:“星期三的下午和星期五的下午做化学实验。”或“星期三一天和星期五的下午做化学实验。”为了避免歧义,如果是前一种意思,最好说成“水曜日の 金曜日の 午後とは…”。

2. 如果最后个体言带有较长的定语,为了使并列的体言之间的关系更明确一些,可以再加一个と。例如:

この木と 山の うえに ある 木とは 桜の 木だ。/这颗树和山上的树是樱花树。

3. 并列词组后面省略了格助词。例如:

王さんと 李さんと ふたりで 町へ 行く。/小王和小李两人进城。

并列助词と和并列助词や的区别是:と表示的是一种范围比较确定的事物的并列。や表示的是一种举例性质的列举。

接续助词と接在用言终止形后,构成表示条件的状语或从句。可译作“如果……就……”、“一……就……”。例如:

夜学に 出ると 英語を 習うことが できる。/如果上夜校就可以学英语。

春に になると 花が 咲く。/一到春天花就开。

注意补格助词と、并列助词と、接续助词と这三个助词的区别:

1. 补格助词与并列助词的区别:

田中さんは 子供と 公園へ 行く。/田中同孩子去公园。(叙述田中的动作行为)

田中さんと 子供は 公園へ 行く。/田中和孩子去公园。(叙述田中和孩子两人的动作行为。)

2. 接续助词是接在用言后面的,比较容易区别。

三、补格助词から、まで

接在体言后,构成补语,表示时间、空间或人、事物的起迄。から表示起点,是“从……”的意思,まで表示终点,是“至……为止”的意思。例如:

月曜日から 金曜日まで 毎日 化学の 授業がある。/从星期一到星期五每天有化学课。

わたしは あしたから 夜学に 出るつもりです。/我打算从明天开始上夜校。

练习(練習)

一、朗读下列单词,注意が行假名在词首与在其它位置时发音的区别:

がくせい/学生——ひがし/东	がっこう/学校——えいが/电影
ぎもん/疑問——かいぎ/会议	ぎろん/争论——ろんぎ/议论
ぐたい/具体——いそぐ/急于	ぐあい/状况——しまぐに/岛国
げき/戏剧——かげ/影子	げんりょう/原料——じょうげ/上下
ごがく/语言(学)——ごご/下午	ごみ/垃圾——ちゅうごく/中国

二、朗读下列各句,并写出划线部分的汉字:

- あの おきやくさんは 東京の ひとである。
- この としの 周りには 古い てらが たくさん ある。
- ひとびとは こうえんで はなみを する。また うたを 歌う。
- いえに ざっしを 読む 人が いる。しごとを する 人も い

- る。
5. その くにに さくらの きは たくさん ある。さくらの じきは だいたい はるである。
 6. らいしゅうの げつようび、わたしは じどうしゃで かいがんへ りょこうに 行くつもりである。
 7. 日本語で かずを 数える ほうほうは 二通り ある。つまり かんごの 数え方と わごの 数え方である。
 8. かれは まいあさ 六時に 起きる。がいこくごの ろうどくを する。
 9. ほんと かれは つねに やがくに 出る。
 10. ももの はなが 咲くと 多くの めいしょへ 行く 人が いっぱいに なる。

三、完成下列文章体判断句句型表：

句 型 \ 时 间 体 别		现 在	将 来	过 去
肯定	简体		…は…である。	
	敬体			
否定	简体			
	敬体			
推测	简体			
	敬体	…は…であります。		
假定	简体			(…は)…であれば…であった
	敬体			
中顿	简体			
	敬体			…は…であり、(…は)…でありました。

四、填空：

1. 彼は 病気() になると、授業() 出ません。
2. あなたは 毎朝 電車() 会社() 行きますか。
3. 池の 東側に 梅() 桜() 木が あります。
4. 土曜日の 夜は 映画() テレビなど() 見る。
5. 田中さんは 自分の 子() 名門校() 入れるつもりです。それで、子供たちの ため() いっしょうけんめい 働きます。
6. 李さん() 経済学() 成績は どうですか。
7. あなたは 毎朝 何時に 起きます()。それから 何() します()。

五、将下列文章体简体句改成敬体句：

1. その子は 勉強家である。
2. 伊藤さんは 貿易会社の 会社員であった。
3. この 学校は 日本語の 学校であり、有名である。
4. あした 雨が 降るであろう。
5. おじいさんと おばあさんは 会社員ではなかった。

六、将下列句子译成汉语：

1. 日本人は 外国に 自動車・テレビ・カメラなどを たくさん 売る。外国から 原料を たくさん 買う。
2. あの 人は 日本語を 話すことができる。
3. これは えんぴつであり、それは ペンである。
4. 昨日は 火曜日ではなかった。
5. 桜の 名所であれば 花見に 行く 人で いっぱいになる。
6. ここでは 冬に になると 雪が 降るだろう。

第5課(第5課)

本文:一、中国と 日本

二、あなたは 日本語が できますか

三、あなたは 兄弟が ありますか

課外読物:砂漠でも 平気な ラクダ

文法:一、形容词动词和以形容词动词为谓语的描写句

二、主谓谓语句

三、接续助词し

课文(本文)

一、中国と 日本

中国は人口が多いです。中国は土地が広いです。資源も非常に豊富です。中国は歴史が長いです。古い文化がたくさんあります。中国は自然が非常に美しいです。高い山や長い川がたくさんあります。北京は中国の首都で、とてもきれいな町です。中国料理は世界でも有名です。

日本は中国の東にあります。日本は島国で、大きい島が四つあります。小さい島が三千あまりあります。そのうち三百あまりの島に人がいます。日本は山が多いです。富士山は日本で一番有名な山です。日本は川も多いです。でも、長い川は少

ないです。日本人は 魚が 好きで、ほとんど 毎日 魚
を 食べます。今、東京は 日本の 首都です。しかし、昔
東京は 小さな 町で、にぎやかではありませんでした。
京 都は 古い 都 で、静かな 町です。日本は 国土が狭
いし、資源も 豊富ではありません。しかし、日本人は 商 売
が 得意です。日本の 製品も 品質が わりあい いいで
す。

二、あなたは 日本語が できますか

あなたは 日本語が できますか。

はい、すこし できますが、まだ へたです。

話す ことが できますか。

易しい 話 なら、話す ことが できます。

あなたは 日本語が すきですか。

はい、たいへん すきです。

ところで、あなたは 日本語の ほかに 何語が できます
か。

英語が できます。

英語が 難しいですか。

はい、本当に 難しいです。

三、あなたは 兄弟が ありますか

あなたは 兄弟が ありますか。

はい、あります。

何人 いますか。

三人 います。

あなたは 何^{なんばんめ} 番目ですか。

わたしは 二^{にばんめ} 番目です。

一^{いちばんめ} 番目は お兄^{にい}さんですか、お姉^{ねえ}さんですか。

うえは 兄^{あに}です。

お兄^{にい}さんは ことし おいくつですか。

兄^{あに}は ことし はたちです。

三^{さんばんめ} 番目は 弟^{おとうと} さんですか。

いいえ、三^{さんばんめ} 番目は 妹^{いもうと} です。

妹^{いもうと} さんは いくつですか。

妹^{いもうと} は 十六^{じゅうろくさい} 歳です。

生词(新出語)^{しんしゅつご}

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. とち[土地] | (名)土地 |
| 2. ひろい[広い] | (形)宽的 |
| 3. しげん[資源] | (名)资源 |
| 4. ひじょう[非常] | (形动)非常 |
| 5. しぜん[自然] | (名)自然 |
| 6. かわ[川] | (名)河, 河流 |
| 7. ぺきん[北京] | (名)北京 |
| 8. きれい[奇麗] | (形动)美丽, 干净 |
| 9. りょうり[料理] | (名, 他サ)菜; 做菜 |
| 10. ゆうめい[有名] | (形动)有名 |
| 11. あまり | (接尾)(接数字之下表示)余, 多 |
| 12. うち[内] | (名)内, 中 |
| そのうち[その内] | (词组)其中 |
| 13. でも | (接)可是, 不过 |
| 14. すくない[少ない] | (形)少的 |
| 15. すき[好き] | (形动)喜爱, 喜欢 |
| 16. ほとんど | (副)几乎, 大部分 |
| 17. ちいさな[小さな] | (连体)小的 |
| 18. にぎやか | (名・形动)热闹 |
| 19. みやこ[都] | (名)京城, 都市 |

20.	しずか[静か]	(形动)平静,安静
21.	こく ど[国土]	(名)国土
22.	せまい[狭い]	(形)狭小的,狭窄的
23.	しょう ばい[商売]	(名)买卖,生意,交易
24.	とく い[得意]	(形动)拿手,擅长
25.	せい ひん[製品]	(名)产品,制品,成品
26.	ひん しつ[品質]	(名)质量
27.	わりあい[割合]	(名)比例 (副)比较
28.	たい へん[大変]	(副)很,非常
29.	ところで	(接)可是
30.	ほか[外]	(名)其他,另外
31.	なにご[何語]	(名)什么语言,哪种语言
32.	ほん とう[本当]	(名・形动)真正,真实
33.	にいさん[兄さん]	(名)哥哥,令兄
34.	ねえさん[姉さん]	(名)姐姐,令姊
35.	うえ[上]	(名)上面
36.	あに[兄]	(名)哥哥,家兄
37.	いくつ[幾つ]	(数)几个,几岁
38.	はたち[二十歳]	(数)二十岁
39.	おとうと[弟]	(名)弟弟
40.	いもうと[妹]	(名)妹妹
41.	さい[歳]	(接尾)……岁

课文注释(本文の^{ほんぶん}注^{ちゆうしやく}釈)

- 表示方位的名词也可以直接作状语,如课文中的
そのうち 三百あまりの 島に 人が います。/其中,三百多个岛上有人。
- “たべます”是“食べる”的敬体。
- 序数词:
表示顺序,是用由基数词和一些接头词或接尾词组合而成的序数词,如:
番(ばん); 一^{いちばん}番(一号,第一),二^{にばん}番(二号,第二),三^{さんばん}番(三号,第三)
……

目(め):ひとつめ(第一个),ふたつめ(第二个),三^{さん}人^{にん}目^め(第三个人)、四^よ時間^{じかん}目(第四个钟头)……

番目(ばんめ):一^{いちばんめ}番目(第一个)、二^{にばんめ}番目(第二个)……

第(だい)、第一、第二……

4. 年齢的数法:

一至十岁既可用日本固有的数词(ひとつ/一岁, ふたつ/两岁)も可以用汉语数词加“歳^{さい}”。十一岁以上的用汉语数词加“歳”。用汉语数词时读音要注意, 有的要变成促音: いっさい/一岁, はっさい/八歳, じっさい/十歳, じゅういっさい/十一歳

“二十岁”的读音特殊, 要读“はたち”, 一般不写汉字。

课外读物(課外読物)

砂漠でも 平気な ラクダ

ラクダは 足の うらが 大きい。しかも 柔らかだ。ちょうど 座布団^{ざぶとん}みたいで、砂の 中に 埋まる 恐れが ない。

そのうえ、ラクダは 一度に 多量の 水を 飲む ことができるし、背中の こぶは 脂肪分^{しぼうぶん}が 豊かだ。この 水や 脂肪を 長い旅の 間に 少しずつ 使う。

砂漠では ときどき ひどい 砂あらしがある。でも ラクダの鼻の 穴は 閉じることが できるし、まつげも 非常に 長い。少しぐらいの 砂あらしなら、平気だ。

だから、ラクダは 厳しい 砂漠の 環境でも 生きることができる。また 長い 間 重い 荷物を 運ぶことができる。

この ように ラクダの 体は 砂漠の 環境に よく 適応している。

选自《日语(理工科用)》第二版第一册第十二课

注 释

1 へい き[平気]

(名・形动)不在乎

2 ラクダ

(名)骆驼

3 うら[裏]

(名)背面、反面

- 4 しかも (接)而且,并且
- 5 やわらか[柔らか] (形动)柔软的
- 6 ちょう ど[丁度・恰度] (副)恰好
- 7 ざ ぶ とん[座布団] (名)坐垫
- 8 うまる[埋まる] (自五)埋上
- 9 おそれ[恐れ] (名)担心,可能
- 10 いち ど に[一度に] (副)一下子
- 11 せなか[背中] (名)脊背,脊梁
- 12 こぶ (名)瘤子
- らくだのこぶ (名)骆驼峰
- 13 し ほう ふん[脂肪分] (名)脂肪成分
- 14 ゆたか[豊か] (形动)丰富
- 15 ときとき[時々] (副)有时,时常
- 16 ひどい[酷い] (形)残酷的,厉害的
- 17 すなあらし[砂(嵐)] (名)大风砂,砂暴
- 18 あな[穴] (名)孔
- 19 とじる[閉じる] (自他一)关闭
- 20 まつげ[(睫)(睫毛)] (名)睫毛
- 21 だから (接)因此
- 22 きびしい[厳しい] (形)严格的,严厉的
- 23 いきる[生きる] (自一)活,生存
- 24 おもい[重い] (形)重的
- 25 にもつ[荷物] (名)行李,货物
- 26 はこぶ[運ぶ] (他五)搬运
- 27 からだ[体] (名)身体
- 28 ちょうど 座布団みたいで,砂の 中に 埋まる 恐れがない。/就象坐垫一样,不会埋没在沙中。
 みたいだ是一个助动词,接在体言或用言连体形后面,表示比喻、不确切的判断、举例等,可译作“象……一样”“……似的”“……之类的”。其形态变化与形容词相同;常用的是连用形みたいで,みたいに,终止形みたいだ(です),连体形みたいな。
- 29 ラクダは 一度に 多量の 水を 飲むことができるし,背中のこぶは 脂肪分が 豊かだ。/骆驼可以一下子喝很多的水,而且背上的驼峰的脂肪含量丰富。
 在日文中,表示生物的名词常用片假名书写,所以“骆驼”写作“ラクダ”。
- 30 このように ラクダの 体は 砂漠の 環境に よく 適応している。/(象)这样(如上所述)骆驼的身体很适应沙漠环境。ように是比况助动词ようだ的连用形,ようだ接在用言连体形,指示连体词,“体言+の”的后面,表示“象……一样”的意思。句中“適応している”是用

“…ている”的形式表示状态。

语法(文法)

一、形容词和以形容词作谓语的描写句

表示事物的性质、状态,以だ(です,である)为词尾的一种词,叫形容词。形容词的词尾都是だ(です,である)。所以词典、教科书中,一般只列它的词干部分。例如:じょうず,へた。

形容词变化表

例 词	词 干	词 尾				
		未然形	连用形	终止形	连体形	假定形
豊富だ	豊富	だろ	だっ(1) で(2)(3) に(4)	だ	な	なら
へたです	へた	でしょ	でし(1)	です	○	○
有名である	有名	であろ	であっ(1) であり(2)	である	○	であれ
后续词和 主要用法		う	(1)た (2)中顿 (3)ない (4)状语	结句 けれども が か	体言	ば

由上表可以看出,形容词的词尾变化与指定助动词的变化不完全相同。与指定助动词相比较,形容词的连用形多一个に,连体形用な,而一般不用である。

以形容词和形容词作谓语的句子叫“描写句”,本课先学以形容词作谓语的描写句。这种句子中谓语的各种形式是分别以形容词的五个形态加上其它词构成的。

1. 未然形:

だ变成だろ,です变成でしょ,である变成であろ,后接推量助动词う构成推测形式的谓语,与判断句推测形式谓语相似。例如:

この お茶は 全国でも 有名だろう(であろう)。/这种茶叶全国都有名吧。

そのうち 富士山は いちばん 有名でしょう。/其中富士山最有名。

名吧。

2. 连用形：

だ有三种变化，です只有一种，である有两种。

(1)だっ、でし、であっ后接过去完了助动词た表示过去，与判断句过去式谓语相似。例如：

昔^{むかし}、かれの 日本語^{にほんご}は とても じょうずだった(でした、であった)。/过去他的日语很好。

(2)だ变成で、である变成であり表示中顿，です则要借用だ的连用形来表示中顿、与判断句表示中顿的谓语相似。例如：

かのじょは きれいで 頭^{あたま}も いい。/她又漂亮又聪明。

(3)だ变成で以后，可以接形容词ない(中间还可以插入は、も)表示否定，である也是用这种否定形式，但です的否定形式要用ではありません，与判断句否定形式谓语相似。例如：

魚^{さかな}は すきではありません(ではない)/不爱吃鱼。

形容词ない变成过去形式なかった就变成过去否定形式。例如：

昔^{むかし}、その 町^{まち}は にぎやかではなかった。/过去那个城市不热闹。

(4)だ变成に可以作状语。判断句谓语无此形式。例如：

この 交通^{こうつう}は 非常^{ひじょう}に 便利^{べんり}です。/这儿的交通很方便。

3. 终止形：

用来表示现在或将来的肯定。其后接终助词か即可构成疑问形式。例如：

中国^{ちゅうごく}は 資源^{しげん}が 豊富^{ほうふ}です。/中国资源丰富。

4. 连用形：

だ变成な作定语。判断句作定语是用である。例如：

京都^{きょうと}は きれいな 町^{まち}です。/京都是个美丽的城市。

5. 假定形：

だ变成なら、である变成であれば、构成假定式，但なら也可以不接ば。例如：

ほんとうですか。ほんとうなら、それは いいですね。/真的吗？如果是真的，那就好了。

二、主谓谓语句

有一种句子，它的谓语本身就是一个具备主语、谓语两个成分的句子，也就是说，这种谓语是主谓结构的谓语，所以叫“主谓谓语句”。

在这种句子里，全句的主语叫“总主语”或叫“大主语”，一般用は表示，谓语中的主语叫“小主语”，一般用が表示。

小主语与总主语的关系，常见的有：

1. 部分与整体的关系，例如：

日本^{にほん}は 島^{しま}が 多^{おほ}い/日本岛屿很多。

2. 小主语是总主语的心理活动或意愿(如:会,懂得,喜欢,讨厌,羡慕,害怕,想要)的对象。例如:

わたしは ^{にほんご}日本語が できます/我会日语。

あなたは ^{かがく}化学が すきですか。/你喜欢化学吗?

由于是可以顶替表示位置的,所以使一些“补——主——谓”形式的主谓句也变成了主谓谓语句。例如:

わたしは ^{きょうだい}兄弟が あります。/我有兄弟姊妹。(由わたしに ^{きょうだい}兄弟が あります变来。不是表示具体存在,而是表示“有无”时,人或动物也可以用ある。

三、接续助词し

接续助词し接在用言终止形后,可以并列两个谓语或两个句子,可译成“又……又……”,“……,而且……”。例如:

^{きょうと}京 都は ^{まち}町も ^{きれい}きれいですし、^{めいしよ}名 所も たくさん あります。/京都的街道又漂亮,名胜古迹也多。

^{にほんじん}日本人も ^{いこく}行くし、^{がいこく}外国の ^{きやく}お 客 さんも 行く。/日本人也去,外国客人也去。

练 习(練習)

一、朗读下列句子。

1. これは わたしの えんぴつです。あなたではありません。
2. それは どんな 地図ですか。これは この 町の 交通の 地図です。地下鉄の 交通の 地図ですね。はい、そうです。
3. 日本は アジアに あります。面積は だいたい わたしの 国の 二十六分の 一です。しかし 日本は 人口が 多いです。
4. 日本で 一番 高い 山は 何ですか。富士山でしょう。富士山はどこに ありますか。本州に あります。
5. その 公園は 有名でしょうか。そうです。桃の 花で 有名です。桃の 花の 時期は だいたい 三月ですね。はい、そうです。春に になると、桃の 花が たくさん 咲きます。とても きれいですよ。
6. あなたは お茶が 好きですか。はい、たいへん 好きです。その お茶は おいしいですよ。これですね。
7. おはようございます。おはようございます。
いい お天気ですね。いい お天気ですね。

二、写出下列句中划线单词的假名。

1. 中国は 土地が 広いです。資源も 非常に 豊富です。
2. 弟さんは 今年 おいくつですか。
弟は 今年 二十歳です。
3. あなたは 兄弟が ありますか。はい、あります。
4. 日本人は 商売が 得意です。日本の 製品も 品質が いいです。
5. あの 学生は 英語の 成績が いいです。また、日本語で 話すことも 上手です。
6. あしたは 化学の 実験を しますか。あしたは 雨なら、実験を しません。

三、从ア、イ、ウ、エ中选择正确的一个填在横线内：

1. 人々は 桜の 木の 下で、お酒を 飲む。 歌を 歌う。
ア ところで イ 次は ウ また エ まだ
2. 彼は 経済の 授業に 出ません。
ア もう イ まだ ウ とても エ また
3. 日本には、山が たくさん ある。また 木が いろいろ ある。
 自然が 非常に 美しい。
ア それから イ それで ウ とても エ しかし
4. 国の 面積なら、世界 どの 国が 一番 大きいてすか。
ア も イ を ウ に エ で
5. 昨日は 火曜日ではありませんでした。 、昨日は 水曜日
 でしょう。
ア では、です イ それでは、でした
ウ それでは、だった エ それで、だった

四、从B栏中选择与A栏中的词的词义相反的词，将序号填入括弧里：

- | | |
|-----------|-----------|
| A. 易しい() | B. (1)少ない |
| 多い() | (2)狭い |
| 広い() | (3)下手 |
| にぎやか() | (4)難しい |
| 上手() | (5)小さい |
| 大きい() | (6)静か |

五、将下列句子译成日语。

1. 小李很喜欢日语，而且，日语说得很好。
2. 你会说中国话吗？要是简单的话，我会说一点点。
3. 你有兄弟姊妹吗？有，有两个。你是最大的吗？不，我是老二。另外有个哥哥和妹妹。
4. 日本在我国东面，是个岛国，较大的岛屿有四个，是北海道、本州、四国、九州。
5. 这里虽然是都市的中心，但是很安静呢。
6. 老师大约有五百人。
7. 北京秋天最好。
8. 一到春天，就经常下雨。

第6課(第6課)^{だいろっか}

本文：一、日本の 季節
二、昨日は 暑かったですか
三、いの 字の 歌

課外読物：蜃気楼

文法：一、形容词和以形容词作谓语的描写句
二、补格助词より
三、接续助词て

课文(本文)^{ほんぶん}

一、日本の 季節^{にほん きせつ}

日本の 一年には、春と 夏と 秋と 冬の 四つの 季節^{きせつ}があります。三月と 四月と 五月の 三カ月は 春です。春は 暖かくて いい 季節です。桃・桜など、いろいろな 花が 美しく 咲きます。人人は 四月に 花見に行きます。

六月から 八月までは 夏です。夏は たいへん 暑くて、私は きれいです。七月と 八月は 夏休みで 若い人たちは 海や 山へ 行きます。あの 有名な 富士山にも おおぜいの 人が のぼります。富士山は かたちが よくて、うつくしい 山です。

九月と 十月と 十一月の 三カ月は 秋です。秋の

庭は 静かで 涼しくて、私は 大好きです。このごろ
月が きれいで、十五夜には お月見を します。十一
月から 二月までは 冬です。日本の 南の ほうでは 冬
は あまり 寒く ありません。北の ほうでは たいへん 寒
くて、雪が たくさん 降ります。去年の 冬は 東京も
たいへん 寒かったです。今年は そんなに 寒く ないでし
ょう。寒ければ 人人は 暖房を 使います。

わたしの 国は、夏は あまり 暑く なく、冬は 暖か
いです。でも、東京よりは 寒いでしょう。

二、きのうは 暑かったですか

きのうは 暑かったですか。

いいえ、きのうは 暑く なかったです。涼しかったです。

きょうは 暑い ですか。

はい、きょうは たいへん 暑い です。

あしたは どう でしょう か。

あしたは たぶん 涼しく なる でしょう。

三、いの 字の 歌

早く 起きると、野道を 歩く。

歌は 「いの 字」で、楽しく 歌う。

空は 青いが、朝日は 赤い。

雲は 白いが 小鳥は 黒い。

山は 高いが 林は 低い。

松は 太いが、竹は 細い。

^{はら}原は ^{ひろ}広いが、^{こみち}小道は ^{せま}狭い。
^{かわ}川を ^{わた}渡ると ^{のうか}農家が ^み見える。
^いいの ^じ字の ^{うた}歌は ^{たの}楽しい ^{うた}歌だ。
^{さと}里の ^{すず}涼しい ^{かぜ}風の ようだ。

生词(新出語)

- | | | |
|----|-----------------|-----------------------|
| 1 | かげつ[か月] | (接尾)……个月 |
| 2 | あたたかい[暖かい] | (形)暖和的 |
| 3 | あつい[暑い] | (形)(天气)热的 |
| 4 | きらい[嫌い] | (形动)不喜欢,讨厌 |
| 5 | なつやすみ[夏休み] | (名)暑假 |
| 6 | わかい[若い] | (形)年青的 |
| 7 | うみ[海] | (名)海 |
| 8 | のぼる[上る・登る・升る] | (自五)爬,登,攀,上 |
| 9 | かたち[形] | (名)形状,样子 |
| 10 | すずしい[涼しい] | (形)凉爽的 |
| 11 | だいすき[大好き] | (形动)很喜欢 |
| 12 | このごろ | (名)近来 |
| 13 | つき[月] | (名)月,月亮 |
| 14 | じゅうごや[十五夜] | (名)(农历)十五晚上 |
| 15 | つきみ[月見] | (名)赏月 |
| 16 | みなみ[南] | (名)南,南边 |
| 17 | ほう[方] | (名)方,方面 |
| 18 | さむい[寒い] | (形)冷的,寒冷的 |
| 19 | きた[北] | (名)北 |
| 20 | きょねん[去年] | (名)去年 |
| 21 | だんぼう[暖房] | (名)暖气设备 |
| 22 | たぶん[多分] | (副)(多与推量形式谓语呼应);恐怕,大概 |
| 23 | じ[字] | (名)字 |
| 24 | はやい[早い]
[速い] | (形)早
(形)快 |
| 25 | のみち[野道] | (名)原野上的道路 |
| 26 | あるく[歩く] | (自五)走,行走 |
| 27 | たのしい[楽しい] | (形)快乐的,愉快的 |
| 28 | そら[空] | (名)天空 |

29	あさひ[朝日]	(名)朝阳,旭日
30	あかい[赤い]	(形)红的,红色的
31	くも[雲]	(名)云
32	しろい[白い]	(形)白的,白色的
33	ことり[小鳥]	(名)小鸟
34	くろい[黒い]	(形)黑的,黑色的
35	はやし[林]	(名)树林
36	ひくい[低い]	(形)低的
37	まつ[松]	(名)松,松树
38	ふとい[太い]	(名)粗的,胖的
39	たけ[竹]	(名)竹子
40	ほそい[細い]	(形)细小的,狭窄的
41	はら[原]	(名)原野
42	みち[道]	(名)道路
43	わたる[渡る]	(自五)渡,过
44	のう か[農家]	(名)农户,农家
45	みえる[見える]	(自一)看得见
46	さと[里]	(名)乡村,乡间
47	かぜ[風]	(名)风

课文注释(本文の注 釈)

1. 副词あまり与形容词ない或助动词ない呼应时,表“不太……”的意思。如:あまり 寒くない/不太冷;あまり 暑くない/不太热。
2. 野道を 歩く中を的用法与第二课の家を出る相同,を表示移动的起点或范围。
3. 里の涼しい風のようなだ。/象乡下的清凉的风。ようだ是比况助动词,表示“好象……”的意思。

课外读物(課外読物)

暖氣楼

あなた 暖かい 空気と つめたい 空気が 対流を 起こします。これが 空気の 普通の 状態です。ところが、下の 方の 空気が つめたく、

上の 方の 空気が 暖 かければ、対 流 は 起きにくいです。この
 とき 風が なければ、空気の 暖 かい 層と 冷たい 層が きれ
 いに 二つに なります。それで 二つの 層の あいだに 境界面
 が できます。

この 境界面が 鏡の 働きを します。それで 遠くの もの
 が すぐ 近くに 逆さまに 映ることがあります。これが 蜃気楼
 です。

选自《日语(理工科用)》第二版第一册第十二课

注 釈

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 しん き ろう[蜃気楼] | (名)海市蜃楼 |
| 2 つめたい[冷たい] | (形)冷的,凉的 |
| 3 おこす[起こす] | (他五)发生,使……立起 |
| 4 ところが | (接)可是,不过 |
| 5 おきにくい[起きにくい] | (形)难以发生 |
| 6 はたらき[働き] | (名)作用 |
| 7 とおく[遠く] | (名)远处 |
| 8 さかさま[逆様] | (名・形动)倒(的),逆(的) |
| 9 うつる[映る] | (自五)映,照 |

语法(文法)

一、形容词和以形容词作谓语的描写句

形容词是描写事物的性质、状态的词。用形容词作谓语的句子也叫描写句。

日语形容词分成词干、词尾两部分,词干不变,词尾(原形为い)有变化,变化如下:

例词	词干	词 尾				
		未然形	连用形	终止形	连体形	假定形
寒い	寒	かろ	かつ(1) く(2)	い	い	けれ
后续词和 主要用法		う	(1)た (2) { 状語 中頓 ない	結句 けれども が か	体言	ば

各个形态的用法如下：

1. 未然形：词尾かろ接う表示推测。ろ和う拼读成ろ的长音。

あすは 暑かろう。/明天热吧。

2. 连用形：有两个词尾，かつ接た表过去；く可作状语或表示中顿，也可接形容词ない表否定。例如：

きのうは 涼しかった。/昨天凉快。(过去)

楽しく 歌を 歌う。/愉快地唱歌。(状语)

冬の 夜は 長く，夏の 夜は 短い。/冬夜长夏夜短。(中顿)

あの 通りは 広く ない。/那条道不宽。(否定)

这个ない除了能接在其他形容词连用形后面以外，也能接在形容动词和指定助动词的连用形后面。以前学过的以形容动词作谓语的描写句的否定形式谓语和判断句的否定形式谓语…ではない就是这样构成的。过去否定…は…なかった就是ない变成了过去式なかった。同样，形容词加ない后要变过去式时，也要靠ない来变。例如：

きのうは 寒く なかった。/昨天不冷。

同だ的连用形で与ない之间可以插进は、も(ではない、でもない)一样，其他形容词的连用形词尾く与形容词ない之间也可以插进は、も。例如：

あの 町は 広くは ないが、とても きれいだ。/那条街虽不宽，但很漂亮。

ここは 暑くも なく，寒くも ない。/这儿既不热又不冷。

形容词变成连用形(词尾く)后续なる，构成惯用型，表示情况的变化。例如：

天気が あつく なる。/天气热起来了。

形容词表中顿,除可直接用连用形(词尾く)外,还可以用在连用形词尾く的后面接接续助词て的方法。例如:

冬の夜は長くて、夏の夜はみじかい。/冬夜长夏夜短。

3. 终止形:结束句子的形态,用以描写现在或将来的情况、状态。

きょうは風がない。/今天无风。

あの川は広くて長い。/那条河又宽又长。

4. 连体形:作定语形态。例如:

おいしい お酒/香醇的酒

5. 假定形:接接续助词ば构成假定形式,表示假设条件。

午後は授業がなければ、図書館へ行く。/下午如果没有课,就去图书馆。

以形容词作谓语句的句子要变成敬体句时,原则上是在句末加です;否定形式可以直接加です,也可以把ない换成ありません。例如:

きょうは寒い^{さむい}です。/今天冷。

ここは寒^{さむ}くないです。(寒^{さむ}くありません)/这儿不冷。

あすは寒^{さむ}いでしょう。/明天冷吧。

きのうは寒^{さむ}かったです。/昨天冷。

きのうは寒^{さむ}くなかったです。(寒^{さむ}くありませんでした)/昨天不冷。

有些形容词词干加さ,可以变成名词。例如:

寒^{さむ}い(冷的)——寒^{さむ}さ(寒冷)

高^{たか}い(高的)——高^{たか}さ(高度)

広^{ひろ}い(宽的)——広^{ひろ}さ(宽度)

大^{おお}きい(大的)——大^{おお}きさ(大小)

明^{あか}るい(明亮的)——明^{あか}るさ(亮度)

形容词ない既可接在其他形容词连用形(く)后面,共同构成否定表现,也可以单独使用。单独使用时是存在动词ある的反义词,表示“没有”的意思。

二、补格助词より

接在体言、用言连体形之后,构成补语,表示比较的标准,可译作“比……”。表示比较,日语有两种惯用方法,意义相同,只有语感稍有不同。

(甲)は (乙)より…… (甲比乙……)

(乙)より (甲)の 方が… (与乙相比, 甲方面……)

例如:

弟^{おとうと}は 妹^{いもうと}より 英語^{えいご}が じょうずです。/ 弟弟的英语比妹妹好。

海^{うみ}へ 行くより 山^{やま}へ 行く ほうが すきだ。/ 与去海边相比, 更喜欢去山里。

より后面还可以接は, も, 例如:

わたしは 桃^{もも}の 花^{はな}よりは 桜^{さくら}の 花^{はな}の ほうが すきです。/
比起桃花来, 我更喜欢樱花。

ここは 北京^{ぺきん}よりも 寒^{さむ}い。/ 这儿比北京都冷。

练 习 (練 習)

一、朗读:

1. 一年には、春と 夏と 秋と 冬の 四つの 季節が あります。
2. 春は 暖かくて いい 季節で、花の 季節でもあります。
3. 夏は 暑くて、私は あまり 好きではありません。
4. 秋は 涼しくて、私は 大好きです。十五夜には お月見に 行く人
が おおぜいです。
5. 冬に になると、寒くなります。雪も 降ります。
6. 東京は 日本の 首都で、日本の 政治、経済、文化の 中心です。今
東京には 電車や 地下鉄などが あります。それで 交通は
昔より 便利です。
7. 京都には お寺や 古い 町が たくさん あります。外国の お
客さんが 多く 京都へ 旅行に 行きます。
8. 先週の 天気は あまり よく なかったです。今週は いい 天
気に なりました。来週も いい 天気でしょう。

二、仿照例句改换句型:

1. 例: この 魚は おいしいです。
→ これは おいしい 魚です。
(1) この いすは 赤いです。
→
(2) この 幼稚園は いいです。
→
(3) この 小道は 長いです。
→

(4)この 木は 高いです。

→

(5)この 竹は 細いです。

→

2. 例:その へやは 広いです。

→ その へやは 広く ないです。狭いです。

(1)その 貿易会社は 大きいです。

→

(2)時間が 少ないです。

→

(3)訓読が 易しいです。

→

(4)雲が 黒いです。

→

(5)その 人は 低いです。

→

三、写出下列各句中划线汉字的假名

1. 京都の 町には 名所が たくさん あります。

2. 昨日は 月曜日でした。今日は 火曜日で、あしたは 水曜日です。

3. 田中さんの 妻は 洗濯を して、それから、家を出て、店りを 歩いて、八時頃 帰ります。

4. その 先生は 自分の 子を この 名門校に いれるつもりです。

5. 朝八時から 十二時まで 授業の 時間で、午後二時三十分から五時まで 仕事があります。夜は 夜学で 英語や 日本語などを 勉強します。

6. 夏休みになると、あなたは どこへ 旅行に 行くつもりですか。

7. 十五夜には お月見を しますか。

8. こちらは 南の 方で、そこらは 北の 方です。

9. 毎朝、小鳥は わたしの 家の 周りの 林で 楽しく 歌を 歌います。

10. この 川を 渡ると、里の 美しい 山が 見えます。

四、从所给形容词中选择一个适当的改变形态后填入句子(每个词只能用一次)。

早い 寒い 忙しい うまい 青い 長い いい 美しい

1. ____ 起きると、野道を 歩く。

2. 古い 寺の まわりに 梅の 木が ____。

3. 空が ____て、とても きれいです。

4. お妹さんは 何語が ____ですか。

5. 天気が ____ければ、私は 子供たちと 一緒に 海や 山へ 行

く。

6. 北京の 歴史は この 町より ____。

7. 来週は そんなに ____ないでしょう。

8. 先週は とても ____た。

五、将下列句子译成日语

1. 他二十岁,比我年轻。

2. 从早到晚都有事,所以很忙。

3. 你坐电车上下班吗。

4. 都市中心比公园热闹。

5. 明天要是时间多的话,我打算回家。

6. 还没有到冬天,不会那么冷吧。

第7課(第7課)^{だいななか}

本文：一、空は なぜ 青いのですか
二、季節風
三、台風の 注意報と 警報
四、こんばんは

課外読物：一、動物の 夏対策
二、南極は どんな ところですか

文法：一、形式体言こと、もの、の
二、形容词、形容动词变化总表

课文(本文)^{ほんぶん}

一、空は ^{そら}なぜ ^{あお}青いのですか

^{あか}赤い ^{くつ}靴は ^{あか}なぜ ^{あか}赤いのでしょうか。

^{あお}青い ハンカチは ^{あお}なぜ ^{あお}青いのでしょうか。

^{あか}赤い ^{くつ}靴が ^{あか}赤く ^み見えるのは ^{あか}赤い ^{ひかり}光を わたした
ちの ^め目に ^{おく}送るからです。

^{あお}青い ハンカチが ^{あお}青く ^み見えるのは ^{あお}青い ^{ひかり}光を わ
たしたちの ^め目に ^{おく}送るからです。

^{くら}暗やみでは ^{あか}赤い ^{くつも} ^{あお}青い ハンカチも まるで
^み見えません。^{くら}暗やみには ^{あか}赤い ^{ひかり}光も ^{あお}青い ^{ひかり}光も ない
からです。

では、^{そら}空には、どんな ^{あお}ものが ^{ひかり}青い ^{ひかり}光を ^{おく}送るのでしょ

うか。水^{みづ}の なかに あわが あるように、空気^{くうき}の なかにも あわのような ものが あります。

水^{みづ}の中^{なか}の泡^{あわ}は、形も色も見えます。空気^{くうき}の中の泡は小さくて目には見えませんが、色は見えます。その色は青いのです。

空が青く見えるのは、空気^{くうき}の中の小さな泡が青い光を送るからです。

二、季節風^{きせつふう}

季節^{きせつ}によって 風向^{かざむ}きを 変^かえる 風^{かぜ}を 季節風^{きせつふう}と いう。
日本^{にほん}では 夏^{なつ}と 冬^{ふゆ}と 風^{かぜ}の 吹^ふく 方向^{ほうこう}が ほぼ 正^{せい} 反^{はん}対^{たい}と なる。

大陸^{たいりく}は 海^{うみ}に 比^{くら}べると 冬^{ふゆ}は 冷^ひえるし、夏^{なつ}は 暖^{あた}まる。そのため、冬^{ふゆ}は 大陸^{たいりく}の 気圧^{きあつ}が 高^{たか}く なる。それで、大陸^{たいりく}から 暖^{あた}かい 海^{うみ}へ 風^{かぜ}が 吹^ふく。夏^{なつ}は 陸地^{りくち}が 暖^{あた}まる。そのため、気圧^{きあつ}が 低^{ひく}く なる。それで 海^{うみ}から 陸^{りく}へ 南^{みなみ}の 風^{かぜ}が 吹^ふく。

冬^{ふゆ}の 季節風^{きせつふう}は 強^{つよ}い 風^{かぜ}だが、夏^{なつ}の 季節風^{きせつふう}は あまり 強^{つよ}くない。

三、台風^{たいふう}の 注意報^{ちゅういほう}と 警報^{けいほう}

台風^{たいふう}の 季節^{きせつ}に なる と よく 耳^{みみ}に する のが 注意報^{ちゅういほう}と 警報^{けいほう}だ。しかし 自分^{じぶん}に 関係^{かんけい}が ない と 思^{おも}う と、 うっかり 聞^ききの が す。そのため に 災害^{さいがい}を もたらす ことが しばしば ある。天気予報^{てんきよほう}を 出^だす のは 予報官^{よほうかん}の 仕事^{しごと} だが、警報^{けいほう}を 出^だす のは 地方気象台長^{ちほうきしょうだいちょう}の 仕事^{しごと}である。 もちろん 予報官^{よほうかん}の 判断^{はんだん}が 基礎^{きそ}に なる。その 基準^{きじゆん} な ども なかなか 厳^{きび}しい もの だ。

注意報^{ちゅういほう}や 警報^{けいほう}は 災害^{さいがい}が 起^おこる おそれの ある とき に 発表^{はつぴよう}する もの だが、具体的^{くたい}な 数字^{すうじ}は 地域^{ちいき}に よ

って 決めるものなのだ。

四、こんばんは

こんばんは。
こんばんは。
明日の天気はどうですか。
明日は晴れです。
それでは、暖かいですね。
はい、暖かいです。
あさってはどうぞでしょう。
あさっても晴れでしょう

生词(新出語)

- | | | |
|----|--------------------|--------------------------|
| 1 | ハンカチ[handkerchief] | (名)手帕 |
| 2 | ひかり[光] | (名)光, 光线 |
| 3 | め[目・眼] | (名)眼, 眼睛 |
| 4 | おく[送る] | (他五)送, 度(日) |
| 5 | くらやみ[暗やみ] | (名)黑暗, 暗处 |
| 6 | まるで | (副)完全, 简直 |
| 7 | みず[水] | (名)水 |
| 8 | なか[中] | (名)中, 中间, 里面 |
| 9 | あわ[泡] | (名)泡, 沫, 水花儿 |
| 10 | くう き[空気] | (名)空气 |
| 11 | いろ[色] | (名)色, 颜色, 色彩 |
| 12 | き せつ ふう[季節風] | (名)季节风 |
| 13 | よる[因る・由る・依る] | (自五)(常接在に后面), 由于, 因为, 根据 |
| 14 | かざむき[風向き] | (名)风向 |
| 15 | かえる[変える] | (他一)改变, 变更 |
| 16 | いう[言う] | (他五)说 |
| 17 | ふく[吹く] | (自・他五)刮, 吹 |
| 18 | ほぼ | (副)大致, 大体上 |
| 19 | せい はん たい[正反対] | (名・形动)正相反, 完全相反 |
| 20 | たい りく[大陸] | (名)大陆 |

21	くらべる[比べる・較べる・競べる]	(他一)比较,比赛
22	ひえる[冷える]	(自一)变冷
23	あたたまる[暖まる]	(自五)温暖,变暖
24	き あつ[气压]	(名)气压
25	りく ち[陆地]	(名)陆地
26	りく[陸]	(名)陆地
27	つよい[強い]	(形)强的,强大的
28	たい ふう[台風]	(名)台风
29	ちゅう い ほう[注意報]	(名)警报(日本天气预报术语),比「警报」轻一些
30	けい ほう[警報]	(名)紧急警报
31	かん けい[関係]	(名)关系,方面
32	おもう[思う]	(他五)想
33	うっかり	(副)漫不经心,不留神
34	ききのがす[聞き逃す]	(他五)听漏
35	さい がい[災害]	(名)灾害
36	もたらす	(他五)带来
37	てん き よ ほう[天気予報]	(名)天气预报
38	よ ほう かん[予報官]	(名)预报员
39	ち ほう き しょう だい ちょ [地方气象台長]	(名)地方气象台长
40	もちろん[無論]	(副)当然,理所当然
41	はん だん[判断]	(名・他サ)判断
42	き じゅん[基準]	(名)基准,标准
43	なかなか	(副)很,相当
44	きびしい[厳しい]	(形)严格的,严厉的
45	おこる[起こる]	(自五)发生
46	おそれ[恐れ]	(名)担心,可能
47	ぐ たい てき[具体的]	(形动)具体的
48	すう じ[数字]	(名)数字
49	ち いき[地域]	(名)地域,区域,地区
50	きめる[決める]	(他一)决定
51	こんばんは[今晚は]	晚上好,您好 (黄昏后的寒暄语)
52	あす[明日]	(名)明天
53	はれ[晴(れ)]	(名)晴,晴天
54	あさって[明後日]	(名)后天

课文注释(本文の注釈)

1. 赤い 靴が 赤く 見えるのは 赤い 光を わたしたちの
目に 送るからです。/红鞋子之所以红,是因为红色光线送到了我们眼
里。

惯用句型…のは…からです。用以表达导致某一结论或结果的原因、理
由是什么,可译作“之所以……是因为……”。……のは部分是叙述结果或结
论的,也可以去掉のは独立成句,后面紧接着用……からです来补叙原因或
理由。

2. 見えます是見える的敬体。

見えません是見えます的否定形式。

まるで…ません(ない)这种呼应形式表示彻底否定,是“完全不……”、
“根本不……”的意思。

3. 水の 中に あわが あるように 空気の なかにも あわのよ
うな ものが あります。/就象水中有水泡一样,空气中也有水泡一样的
东西。

4. 台風の 季節に になると、よく 耳に するのが 注意報と
警報だ。/一到台风季节,经常听到的是警报与紧急警报。

…に する前面出现表示感官、肢体的名词时,整个词组相当于一个他
动词,表示一个与此感官、肢体有关的动作。例如:

耳に する/听到

目に する/看到

口に する/说到,吃到

手に する/拿,得到

惯用型(慣用型)

1. (体言)によって[修飾慣用型]

在句子中作状语,表示“根据……”、“由于……”等意思。例如:

季節^{きせつ}によって 風向^{かざむき}を 変える。/根据季节而改变风向。

2. (体言)を(体言)という[惯用句型]

这个惯用句型用来命名,表示“把……叫做……”的意思。例如:

こんな 風^{かぜ}を 季節風^{きせつふう}と いう。/把这种风叫做季节风。

(课外读物)課外^{かがいよみもの}読物

一、動物^{どうぶつ}の 夏対策^{なつたいさく}

人間^{にんげん}が 夏^{なつ}になると、涼しい 海^{うみ}や 山^{やま}へ 旅行^{りょこう}に 行くように、
鳥^{とり}や 魚^{さかな}にも、夏^{なつ}になると 移動^{いどう}する ものが 多い。

鳥^{とり}は、自分の 好きな 気温^{きおん}の 地方^{ひがは}へ 渡り^{わた}りを するし、魚^{いかな}も、好きな 水温^{すいおん}を 求めるために 仲間^{なかま}と 一緒に 回避^{かいゆう}するのだ。

犬^{いぬ}や 猫^{ねこ}など 毛^けの 多い 動物^{どうぶつ}は 自然^{しぜん}に 毛^けが ぬける。暑い 日^ひに 犬^{いぬ}は 体温^{たいおん}を 下げるために 舌^{した}を 出す。

ラクダは、暑^{あつ}さに 強く 体温^{たいおん}が 40度^{よんじゅうど}まで 上がる ときでも 平気^{へいき}だ。それ以上 暑^{あつ}く になると、やっと 汗^{あせ}を かく。

この ほかに まだ 例^{れい}が あるだろうが、これは 動物^{どうぶつ}の 夏対策^{なつたいさく}というものだ。

选自《日语(理工科用)》第二版第一册第十四课

二、南極^{なんきょく}は どんな ところですか

南風^{みなみかぜ}は 暖^{あたた}かい 風^{かぜ}です。

南風^{みなみかぜ}は 南^{みなみ}の 国^{くに}から 来る 風^{かぜ}です。

だから、南^{みなみ}の 国^{くに}は 暖^{あたた}かいわけですね。

ところが、南^{みなみ}の 暖^{あたた}かい 国^{くに}の もっと 南^{みなみ}へ 行くと、おしまいに 南極^{なんきょく}に 着^つきます。

南極^{なんきょく}は どこよりも 寒^{さむ}い ところ^{ところ}です。広い 水^{みづ}の 大陸^{たいりく}です。

南極^{なんきょく}では、半年^{はんとし}が 昼^{ひる}で、半年^{はんとし}が 夜^{よる}です。

南極^{なんきょく}は ほんとうに おもしろい ところですね。

选自《日语(理工科用)》第二版第一册第十五课

注 釈

- 1 わたり[渡り] (名)过渡,迁徙
- 2 もとめる[求める] (他一)求,要求
- 3 なかま[仲間] (名)伙伴,同事,同僚
- 4 ぬける[抜ける] (自一)脱落,脱掉
- 5 さげる[下げる] (他一)降低,下降
- 6 あつさ[暑さ] (名)暑热
- 7 あがる[上がる] (自五)上升
- 8 それいじょう[それ以上] (名)超过这个,那以上
- 9 やっと (副)终于,勉勉强强
- 10 あせをかく[汗をかく] (词组)出汗
- 11 もっと (副)更,更加,进一步
- 12 おしまい[お仕舞い] (名)最后,最末
- 13 つく[着く] (自五)到达
- 14 ^{とり}鳥は ^{じぶん}自分の ^す好きな ^{きおん}気温の ^{ちほう}地方へ 「^{わた}渡り」を ^すするし、
^{さかな}魚も ^す好きな ^{すいおん}水温を ^{もと}求めるために ^{なかま}仲間と ^{いっしょ}一緒に 「^{かいゆう}回遊」
するのだ。/鸟“迁徙”到自己喜欢的那种气温的地方,鱼也为了寻找适宜的水温而与伙伴们一起“回游”。

句中,自分の好きな是主谓结构作定语,此时用の顶替が表示主格。这种情况课文中还有三处:毛の 多い(動物)、風の 吹く(方向),…おそれの ある(とき)

- 15 ラクダは 暑さに 強い。/骆驼耐热

形容词也可以带补语,句中的补格助词に表示评价的基准,相当于“对于……来说”的意思。

- 16 これは 動物の 夏対策^{なつたいさく}というものだ。/这就是动物过夏天的办法。

惯用型という接在体言后构成在定语,表示“……这一……”等意思。例如

「いの字^と」という 歌^{うた}/“い字”这首歌

- 17 だから 南^{みなみ}の 国^{くに}は 暖^{あたた}かい わけですね。/因此,南方的国度就应该是暖和的啦。

…わけです接在体言加の、用言后，结束句子，表示某一情况是理所当然、自然而然的，可译作“当然……”“自然……”等。

语法(文法)^{ぶんぽう}

一、形式体言こと、もの、の

体言是表示客观事物概念的词，而形式体言只是形式上是体言，并不表示具体的概念，主要起语法作用(有的人把它叫做“形式名词”)。形式体言接在用言、用言性词组、句子的后面，使之具有体言的性质，以便于连接规定要接在体言后面的助词(如格助词)和助动词(如指定助动词)。

こと^{こと}和もの^{もの}本是表示具体概念的体言，例如说“なにか ことがあると かれを 呼ぶ。/有什么事情时，就叫他。”的时候，こと^{こと}的意义是“事情。”但它们可能作形式体言，例如：果物^{くだもの}を 売る ことは 兄の 仕事だ。/卖水果是哥哥的工作。

一般说，用言(用言性词组、句子)是用来表达事情时，该用言后面接こと^{こと}；是用来表达人和物时接もの^{もの}，の^の在两种情况下都可以用。

読む ことは 書く ことより 易さしい。/读比写容易。

李さんは テレビを 見るのが すきです。/小李爱看电影。

有些惯用型是利用形式体言构成的，如：ことができる。/能够……；もの^{もの}だ(です である)/就是……，就会……；のだ(です である)/是……。

ものだ表示客观的结果或结论，也可以表示感叹。のだ表示说话人自己的看法。例如：

先生の 言う ことは 聞く ものだ。/老师说的应该听。

地下鉄は はやい ものだ。/地铁真快！

ものだ，のだ接在指定助动词后面时，指定助动词だ要变成“な”。例如：
春と 秋は 農家の いそがしい 時^{とき}なのだ。/春天和秋天是农户大忙的时候。

注意報^{ちゅういほう}と 警報^{けいほう}の 基準^{きじゅん}は 厳しい ものだ。/警报和紧急警报的标准是很严格的。

二、形容动词、形容词形态变化总表

例词	词干	词 尾				
		未然形	连用形	终止形	连体形	假定形
じょうずだ	じょうず	だろ	だっ(1) で(2)(3) に(4)	だ	な	なら
すきです	すき	でしょ	でし(1)	です	○	○
平気である	平気	であろ	であっ(1) であり(2)	である	○	であれ
みじかい	みじか	かろ	かっ(1) く(2)(3) (4)	い	い	けれ
みたら 新しい	みたら 新し	かろ	かっ(1) く(2)(3) (4)	い	い	けれ
	后续词和 主要用法	う	①た ②中顿 ③ない ④状语	结句 けれど がとか	体言	ば

练习(練習)

一、朗读下列句子

1. 日本語で 数を 数える 方法は 二通り あります。つまり、漢語の 数え方と 和語の 数え方です。
2. 中国の 南の 方は 二月の 初めに になると 花が たくさん 咲きます。八月の 終わりに になると、果物が たくさん とれます。
3. 数詞の 言い方は 少し 難しいです。しかし 覚える 必要が あります。
4. 中国は 土地が 広いです。日本は 国土が 狭いです。中国人は 商売が 得意です。製品の 品質が いいです。
5. 北京は とても きれいな 町です。東京は にぎやかな 町です。

京都は 古い 都で 静かな 町です。

6. 夏は たいへん 暑くて 多くの 人は きらいです。夏休みには
若い 人たちは 海や 山へ 行きます。冬は とても 寒いで
す。人人は 暖房を 使います。

7. 松は 太いが、竹は 細い。原は 広いが、小道は 狭い。

二、给下列相同汉字注假名

中国—中	農家—家	火山—山	夜学—夜
海岸—海	兄弟—兄	三人—人	時期—時
東京—東	時間—間	原料—原	空気—空
外国—外	学校—学	発表—発	自分—自
台長—長	多分—多	来週—来	休暇—休
季節風—風	地下鉄—下	北海道—北	水曜日—水
商売—売	暖房—暖	月—二 月—月	大勢—大
出る—出	出身—身	数—人 数—数	数—詞 数—数
日本—毎 日—朝 日—日			

三、给下例词组中的汉字注假名并译成汉语：

赤い光 目に送る 道を急ぐ 部屋を出る 風向きを変える 陸地が
暖まる 身にする 注意報と警報 関係がない 災害が起こる 基礎
になる 具体的な数字 地域によって決める 雪のように白い

四、用形式体言こと、もの、の填空

1. 好きな____は 化学実験です。
2. 台風のために 災害を もたらす____がある。
3. 兄は 歌を 歌う____が 大好きです。
4. 地下鉄は はやい____だ。
5. 空は なぜ 青い____ですか。
6. 注意報と 警報の 基準は なかなか 厳しい____なのだ。
7. 赤い ハンカチが 赤く 見える____は 赤い光を わたしたちの
目に 送るからです。
8. あなたは カメラを 使う____が できますか。

五、判断下列各句中打点的词是否与例句中打点的词用法相同。相同的划“0”，不同的划“×”

1. 好きな 外国語は 日本語と 英語です。
(1)() 兄は 弟と 一緒に 果物を 食べる。
(2)() 日本語が 難しいと 弟は 思う。
(3)() 音読と 訓読の 言い方を 覚える 必要がある。
(4)() 風が ないと 暑くなるでしょう。

だいはつか
第 8 課

- | | | |
|-------|----|-------------|
| 本 | 文； | 一、仕事の虫 |
| | | 二、交通規則 |
| | | 三、しばらくでした |
| 課外読物； | | 一、交流と直流 |
| | | 二、電気の種類 |
| 文 | 法； | 一、動詞的分类 |
| | | 二、五段活用動詞的活用 |
| | | 三、接續助詞ので |

本 文

一、仕事の虫

最近、日本でも日曜日以外に休日のある職場が多くなりました。土曜日も休日だという「週休二日制」の会社もあります。また2週間に1度土曜日を休日にするの也有ります。それに国民の祝・祭日が日曜と重なれば、三日間「連休」になることも有ります。

しかし、今まで自分の時間が少なかったサラリーマンが、きゅうに休みが多くなり、ぎゃくに困ると言うのです。

休みをどう過すかわからないと言うのです。

朝早く起きて会社へ行こうと思うと、台所の音がしない。おや、「へんだな」と思い、「ああ、今日は日曜だった」と気がつく、ということもよく有ります。土曜日が休日だったので「今日は会社だ」と言うのです。

会社へ行かないと、何か落ち着かない。どこかへ行こうと思うが、行き方がわからない、めんどうだ。それでつい仕事のことを考える。来週末までにやるべき仕事がある。週末は金曜日だ……。そう考えると会社のほうがいい、休日はいらないうこ

とになります。

でも、そう考えるのは多く中年サラリーマンで、若い人は、趣味を持つ者や、仲間で遊びに行く者が多いのです。そして「仕事こそ生きがい」と言う先輩を「仕事の虫」などと言い、ばかにします。

二、交通規則

車を運転する人も、道路を歩く人も、交通規則を守らなければなりません。日本では例えば、「車は左、人は右」という交通規則もあれば、道路の両側には、「急げ!」、「まっすぐ行け!」、「曲がるな!」など、いろいろな交通標識があります。また、交差点には交通信号というものもあります。交通信号に使うランプの赤は「止まれ、行くな!」青は「行け!」という意味です。車を運転する人はとくにこれらの信号に注意する必要があります。歩く人も、赤の時渡ると事故を起こすおそれがあり、危険です。

三、しばらくでした

A:しばらくでした。

B:しばらくでした。

A:お元気ですか。

B:ええ、おかげさまで、元気です。

A:あなたの会社は土曜日もお休みですか。

B:はい、そうです。

A:それはいいですね。うちの会社は日曜日だけ休みです。

B:そうですか。

新 出 語

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1 むし[虫] | (名)虫,昆虫 |
| 2 さい きん[最近] | (名)最近,近来 |
| 3 い がい[以外] | (名)以外,除……以外 |
| 4 きゅう じつ[休日] | (名)休息日,假日 |
| 5 しょく ば[職場] | (名)工作岗位,工作场所,车间 |
| 6 しゅう きゅうふつかせい[週休二日制] | 一周休息两天制 |

7	しゅう かん[週間]	(名)一个星期
8	ど[度]	(接尾)回,次
	いち ど[一度]	(数)一回,一次
9	それに	(接)而且,再加上
10	こく みんな[国民]	(名)国民
11	しゅく さい じつ[祝祭日]	(名)节假日
12	かさなる[重なる]	(自五)重叠,重复
13	かん[間]	(接尾)(接在名词、数词之后) 間,期间;中间
	みっかかん[三日間]	(数)三天
14	れん きゅう[連休]	(名)连放几天假
15	いままで[今迄]	①直到现在 ②从前,过去
16	サラリーマン[salaryman]	(名)靠薪金生活的人
17	きゅう[急]	(形动)突然,忽然;陡峭
18	ぎゃく[逆]	(名・形动)逆,倒,反
19	こまる[困る]	(自五)为难,难受,苦恼
20	すごす[過す]	(他五)过(时日),度(岁月)
21	わかる [分かる]	(自五)懂,理解,明白,知道
22	だいどころ[台所]	(名)厨房
23	おと[音]	(名)声音
24	おや	(感)(表示意外、惊呀等) 哎呀,哎哟
25	へん[変]	(形动)奇怪,异常
26	ああ	(感)(表示惊、喜、悲、叹等感情)啊,呀,唉
27	き[気]	(名)气,精神,心情
28	つく[付く]	(自五)感到;附着;跟随
	気がつく	(词组)发觉,理会到,想到
29	おちつく[落ち着く]	(自五)(心神、情绪等)沉着, 镇静
30	いきかた[行き方]	(名)去的方法
31	めん どう[面倒]	(名・形动)麻烦,费事
32	つい	(副)不知不觉地,无意中
33	まつ[末]	(接尾)末,底
	らい しゅう まつ[来週末]	(名)下周末
34	やる[やる]	(他五)做
35	かんがえる[考える]	(他一)想,思考,打算
36	いる[要る]	(自五)要,需要
37	おおく[多く]	(副)多半,大都

38	ちゅう ねん[中年]	(名)中年
39	しゅ み[趣味]	(名)兴趣,爱好
40	もつ[持つ]	(他五)拿,持有,具有
41	なかま[仲間]	(名)伙伴,同伴,同事
42	あそび[遊び]	(名)游戏,玩耍,游玩
43	もの[者]	(名)人,者
44	そして	(接)然后,而,又,而且
45	いきがい[生きがい]	(名)活着的价值,生存的意义
46	せん ばい[先輩]	(名)前辈,先辈;与自己同校 先毕业(入学)的人
47	ばか[馬鹿]	(名・形动)愚蠢,傻瓜,混蛋
48	き そく[規則]	(名)规则
49	くるま[車]	(名)车,汽车
50	うん てん[運転]	(名・自他サ)开,驾驶
51	どう ろ[道路]	(名)道路,公路
52	まもる[守る]	(他五)防守,保卫;遵守
53	たとえば[例えば]	(副)例如
54	ひだり[左]	(名)左,左边
55	みぎ[右]	(名)右,右边
56	りょうがわ[両側]	(名)两侧,两傍
57	まっすぐ	(副・形动)①笔直②正直
58	まがる[曲がる]	(自五)弯曲,拐弯
59	ひょう しき[標識]	(名)标志
60	こう さ てん[交差点]	(名)交差点,十字路口
61	しん ごう[信号]	(名)信号
62	ランプ[lamp]	(名)灯
63	あか[赤]	(名)红(色);红灯(危险信号, 停止信号)
64	とまる[止まる]	(自五)停止,停住
65	あお[青]	(名)绿色;绿灯(通行信号)
66	い み[意味]	(名・自他サ)意思,意义,意味
67	とくに[特に]	(副)特别,格外,尤其
68	ちゅう い[注意]	(名・自サ)注意,留神
69	じ こ[事故]	(名)事故
70	おこす[起こす]	(他五)发生,发动,使……站 立,唤醒
71	き けん[危険]	(名・形动)危险
72	しばらく[暫く]	(副)不久,一会儿
	しばらくでした	好久不见了,久违了

73 げん き[元気]

(名・形动)精力,精神,(身体)
结实,健康

74 ええ

(感)嗯,是

75 おかげ[お陰]

(名)托福,幸亏

おかげさまで

(词组)(对别人的好意、照顾等,表示略带感谢意味的一种习惯的客气说法)谢谢,多谢,托福

76 うち

(名)家,家庭;自己所属的组织、团体;自己的丈夫,自己的妻子

本文の注釈

1. 终助词な主要用在句子末尾,常表示两种语法意义:

①表示禁止。如课文中的:曲るな/不准转弯!行くな!/不准走。②表示惊奇、感叹、疑问等,也可以出现在句子中间。只有男子使用。如课文中的:へんだな。/真怪呀!

2. 过去完了助动词た用终止形时,也可以表示证实、发现等,此时并不表示过去。如课文中的:ああ,今日は日曜日だった。/啊,今天是星期天啦。

3. 副助词か接在体言,尤其是表示不定意义、疑问意义的体言后表示一种漠然、不明确语感,即漠然地指示一个事物。如课文中的:

何か落ちて着かない。/总有一点儿不安心。

どこかへ行こうと思うが……/想去什么地方……(不具体指一个地方,只漠然地指一个什么地方。)

4. 文语助动词べし,在现代日语中还有残留用法。它接在动词终止形后,表示“必须……”“应该……”等意思。べしの连体形はべき。如课文中的:やるべき仕事/必须干的事。

5. 提示助词こそ用法与は相同,语感比は更强。如课文中的:仕事こそ生きがい。/工作就是生存的意义。(句中生きがい后面省略了指定助动词だ。)

慣用型

1. (体言)を(体言)にする[惯用句型]

表示“使……变为……”“把……当作……”的意思;例如:

土曜日を休日にする/把星期六作假日。

2. (动词连体形)ことがある[补助惯用型]

表示“有时……”的意思,ことがある可以变为こともある(有时也……)、ことさえある(有时甚至……)。例如:

それに国民の祝・祭日が日曜と重なれば,三日間「連休」になることもあります。/而且固定节假日与星期天重叠时,有时甚至是三天“连假”。

3. (用言连体形)のだ[补助惯用型]

表示说话人的认定,述说原因、理由,或用以作归纳、总结、补充等。可译为“是……的”。例如:

週休二日制は,日曜日のほかに土曜日も休日にするのです。/周休两日制是除星期天外星期六也休息。

4. (动词终止形)かわからない[补助惯用型]

表示“不知(怎样)……”的意思。常和表示疑问的副词呼应。例如:

休みをどう過ごすかわからない。/假日不知怎么过。

5. (动词连体形)ことになる[补助惯用型]

用以表示事物客观发展的结果,或表示结论。可译作“……了”“就……了”“结果是……”“等于……”等。例如:

そう考えると会社のほうがいい,休日はいらないということになる。/这样一想,结果还是上班好,不要假日。

6. (动词未然形)なければなりません[补助惯用型]

表示“必须……”“应该……”的意思。例如:

交通規則を守らなければなりません。/必须遵守交通规则。

7. (动词连体形)必要がある[补助惯用型]

表示“有必要……”“必须……”的意思。

8. (动词连体形)おそれがある[补助惯用型]

表示“恐怕会……”“有……之虑”的意思。

課外読物

一、交流と直流

干電池から取れる電気は直流の電流であるが,家庭用コンセントやトランスから取れる電気は,交流の電流だ。

直流の電気では,導線の中を電子が一つの方角へ移動する。交流では,次の瞬間に逆にやり動き,これを一秒間に50回か60回くりかえしている。わたくしたちの目がその速さに追いつくなら,電球の光のまばたきも見えよう。

交流の電気では,コイルとコイルを近づけ,一方に電流を流すと,他方のコイルに電流が発生する。このとき,コイルの巻数によって,高い電圧も低

い電圧も自由に取り出せる便利さがある。この働きを利用して、変圧器をつることができる。

交流を直流に直すには、真空管やセレンやダイオードを使い、一つの方
向の電流だけを取り出せばよい。

二、電気の種類

電流に種類がいくつあるかみなさんは知っていますか。

——二種類あります。ひとつは直流の電流で、もうひとつは交流の電流
です。

交流の電流には家庭用のコンセントから取れるものがありますが、その
ほかはどのような電流がありますか。

——トランスで電圧を下げるだけの電流も交流の電流です。直流と交流
はどう違うのですか。

——直流は一つの方にだけ流れる電流で、交流は一定時間ごとに方向
を互い違いに変える電流です。

わたしたちの目に電球の光のまばたきが見えないのはどうしてですか。

——電子の移動のくりかえしがとても速いからです。

コイルとはどんなものですか、またどういう便利さがありますか。

——絶縁した細い針金をらせん状に巻いたものです。この巻数によって
いろいろ電圧を自由に取り出すことができます。

それでは、交流を直流になおすには何を使えばいいですか。

——真空管やセレンやダイオードなどを使えばいいです。

选自《日语(理工科用)》第二版第二册第二课

注 釈

- | | |
|---------------------|-----------|
| 1 コンセント[consent] | (名)插口,插座 |
| 2 トランス[transformer] | (名)変圧器 |
| 3 うつりうごく[移り動く] | (自五)移动 |
| 4 くりかえす[繰り返す] | (他五)反复 |
| 5 はやさ[速さ] | (名)速度 |
| 6 おいつく[追い付く] | (自五)赶上,到达 |
| 7 でん きゅう[電球] | (名)电灯泡 |
| 8 まばたき[〈瞬〉き] | (名)闪烁,眨眼 |
| 9 コイル[coil] | (名)线圈 |
| 10 ちかづける[近づける] | (他一)使接近 |
| 11 ながす[流す] | (他五)使流动 |

12	とりだす[取り出す]	(他五)取出
13	つくる[作る・造る]	(他五)做,造
14	なおす[直す]	(他五)修改,改变
15	しん くう かん[真空管]	(名)电子管
16	セレン[德 selen]	(名)硒(整流管)
17	ダイオード[diode]	(名)二极管
18	しる[知る]	(他五)知道
19	ちがう[違う]	(自五)不同,错误
20	ながれる[流れる]	(自一)流淌
21	ごと[每]	(接尾)每……
22	たがいちがい(に)[互い違い(に)]	(副)交错地
23	どうして	(副)怎样地,为什么
24	どういう	(连体)怎样的,什么样的
25	はりがね[針金]	(名)铁丝,金属丝
26	ら せん	(名)螺旋
27	まく[巻く]	(他五)卷

文 法

一、动词的分类

日语动词和形容词一样,每个词都分词干、词尾两部分。词干不变,词尾有变化。按照词尾变化的类型,日语动词分成几类。要掌握动词变化的规律,首先就要掌握分类的方法。

日语动词分成以下三大类:

1. 五段活用动词
2. 一段活用动词
3. 变格活用(不规则变化)动词

{	力行变格活用动词
	サ行变格活用动词

其中第三类只有两个词:来る(力行变格活用)和する(サ行变格活用)。其他动词都属于“五段”或“一段”。

五段活用动词和一段活用动词在形态上是有不同标志的。

一段活用动词的基本形词尾有两个假名,第一个はい段或え段假名,第二个是る。如:起きる,覚える。如果这个词只有两个假名,则第一个假名是词干兼词尾。如:見る。

五段动词词尾只有一个假名,基本形词尾都在う段上,如:

買^かう 出^だす なる 降^ふる 上^{のぼ}る

区分一段和五段的方法是：先看最末一个假名是什么，如果是る，而且る前面はい段或え段假名，是一段动词，除此之外都是五段动词。

但是也有少数例外，如：帰^{かえ}る、入^{はい}る、切^きる（切）、かぎ^きる（限于）、はし^いる（跑）、すべ^いる（滑动）、し^いる（知道）、要^いる（要）等，却都是五段动词。

二、五段活用动词的活用

五段活用动词词尾只有一个假名，分属于か、が、さ、た、な、ば、ま、ら、わ九行。其词尾的变化遍及于五个段，即遍及于该词尾所属行的五个假名，所以叫五段活用动词。

各个形态的用法分别例释如下：

词尾所属的行	例词	词干	词 尾					
			未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
か	書く	書	か① こ②	き	く	く	け	け
が	急ぐ	急	が① こ②	ぎ	ぐ	ぐ	げ	げ
さ	話す	話	さ① そ②	し	す	す	せ	せ
た	持つ	持	た① と②	ち	つ	つ	て	て
な	死ぬ	死	な① の②	に	ぬ	ぬ	ね	ね
ば	運ぶ	運	ば① ほ②	び	ぶ	ぶ	べ	べ
ま	読む	読	ま② も②	み	む	む	め	め
ら	上る	上	ら① ろ②	り	る	る	れ	れ
わ	買う	買	わ① お②	い	う	う	え	え
主要后续词 或 用 法			①ない (ぬ) ②う	用言、 ます、 中頓、 名詞	结句、が、 けれども し、と、 だろう、 終助词	体言	ば	

注：(1)词尾为う的五段动词的词尾出现在あ、わ两行，如、言う的变化为：いわ、いお、いい、いう、いう、いえ、いえ。

(2)ある的否定形式用形容词ない表示。

1. 未然形，

あ段词尾后面接否定助动词ない、ぬ表示否定,お段词尾后面接推量助动词う(与一段动词不同,一段动词是接よう)时拼成长音。意义与一段动词的情况相同。例如:

きょうはいかない。/今天不去。[表示否定,也可以说:行かぬ(ん)]

わたしはその本を読まない。/我不看那本书。[表示否定,也可以说:よまぬ(ん)]

あした私が行こう。/明天我去吧。(愿望)

わたしも日本語をならおう。/我也学日语吧。(愿望)

いっしょに行こう。/一起去吧。(祈使)

あしたは彼も行こう(行くだろう)。/明天他可能也会去吧。(推测)

2. 连用形

(1)用来接敬体助动词ます构成敬体叙述句。也可以接过去完了助动词た和接续助词て,但是除了サ行五段动词(基本形词尾为す)外,在发音上都要发生变化。例如:

台風は大きな災害をもたらした。/台风带来了大灾害。

朝早く起きて会社へ行きます。/早上很早起床,去公司。

(2)用来表示中顿。例如:

予報官は天気予報を出し、気象台長は注意報や警報を発表する。/预报员发布天气预报,气象台长发出警报或紧急警报。

(3)用以接某些动词、接尾词等构成复合词。例如:

聞く + 逃す^{のど} → 聞き逃す/听漏

作る + かた → 作りかた/做法

(4)变成连用形后转成名词,但并不是所有的五段动词都能这样变。例如:

働く → 働き/作用

休む → 休み/休息,假日

3. 终止形:用来结束句子或者后续终助词、某些接续助词(が、けれども、と、し等)以及だろう等。例如:

日本語で数を数える方法は二通りある。/用日语数数有两种方法。

田中さんはよく子供たちと一緒に公園へ行くだろう。/田中先生经常和小孩一起去公园吧。

4. 连体形:用以后续体言,使该动词或以该动词作谓语的句子、词组等作定语。例如:

桜の名所であれば、花見に行く人でいっぱいになる。/要是樱花胜地的话,就挤满了去赏樱花的人。

日本では、夏と冬で、風の吹く方向がほぼ正反対となる。/在日本,夏天和冬天的风向大体上正好相反。

5. 假定形:用来后续接续助词ば,表示假定。例如:

あなたが行けば、私も行きます。/你去的的话,我也去。

6. 命令形:用来对听话人表示命令。例如:

早く行け。/快去!

三、接续助词のので

接续助词のので接在用言连体形后面,使前面的用言、用言性词组变成状语,或使一个句子变成从句,用以表示后面的将要叙述的事项发生的客观原因。例如:

寒くなったので、暖房を使いました。/因为冷了,使上暖气了。

私の国は南のほうにあるので、冬は暖かいです。/我的家乡在南方,所以冬天暖和。

練習

一、次の文を朗読して、そして、下線をつけたことばの振仮名を付けなさい(朗读下例句子,然后写出划线单词的振假名)。

1. 最近,日本でも日曜日以外に休日のある職場が多くなりました。
2. 国民の祝・祭日が日曜日と重なれば,三日間「連休」になることもあります。
3. 若い人は「仕事こそ生きがい」と言う先輩を「仕事の虫」などと言って馬鹿にします。
4. 車を運転する人も,道路を歩く人も,交通規則を守らなければなりません。
5. 交差点には赤い信号や青い信号というものがあります。
6. 歩く人も,赤の時渡ると事故を起こすおそれがあり,危険です。

二、()の中に助詞を入れなさい(在括号内填入助词)。

1. そのうち三百あまりの島に人()います。
2. 夜()なる(),わたしたちは月見()行くつもりです。
3. 交通信号()注意しないと、事故を起こすことがある。
4. 李さん()毎日図書館()行っ(),勉強します。
5. 朝早く起き()会社()行こう()思う。
6. 赤()ランプは「止まれ,行くな!」,青()ランプは「行け!」()という意味です。
7. 2週間()1度土曜日()休日()する。
8. 山()登っ(),広い里の原()見えます。
9. あの映画が大好きだった(),いっしょに見()行きました。
10. 家()会社()近いですか。

三、活用の規則によって次の動詞を分類しなさい(按活用规则将下列动词分类)。

咲く 飲む 困る 思う 持つ 帰る 急ぐ 読む 続く 送る 話す
要る 出す 出る 吹く 死ぬ する 渡る 言う 遊ぶ やる
上る 歩く 来る 守る 動く 買う ある 考える 比べる 起

こす 重なる 見える 食べる 決める 変える できる 起きる
起こる 落ち着く 練習する 通勤する 実験する もたらす 旅行
する

四、例にならって次の文を書きなさい(仿照例句改写下文)。

1. 例:日本の製品を買う。私は思う。

→ 私は日本の製品を買おうと思う。

(1)静かな町へ行く。私は思う。

→

(2)その川を渡る。僕も思う。

→

(3)きれいな山に登る。僕は考える。

→

(4)夏休みを楽しく過す。私は思う。

→

2. 例:明日、家に帰る。

→ 明日、家に帰らない。

(1)ここでは日本のカメラを売る。

→

(2)注意報と警報が自分に関係がないと思う。

→

(3)田中さんはこの貿易会社で働く。

→

(4)今晚、弟は家に帰る。

→

3. 例:世界の人人は自然の資源を守る。

→ 世界の人人は自然の資源を守ります。

(1)いろいろな趣味を持つ。

→

(2)自動車は長い橋を渡る。

→

(3)歩く人が赤の時渡ると事故を起こす。

→

(4)伊藤さんは毎晩夜学で、中国語を習う。

→

4. 例:いい天気が続く。旅行に行く。

→ いい天気が続けば、旅行に行きます。

(1)風が吹く。涼しくなる。

→

(2)この仕事をこのようにやる。易しくなるでしょう。

→

(3)時間がある。雑誌を読む。

→
(4)毎日日本語で話す。日本語が上手になる。
→

五、次の慣用型の中から適当なものを選んで文を完成しなさい(从下列惯用型中选出适当的,完成句子)。

- …も…ば…も… …つもりだ …ことがある
…なければならない …ことができる …を…にする
1. 日本人は桜の花 ____ 国の花 ____
 2. この町では電車 ____ あれ ____, 地下鉄 ____ あります。
 3. あの日本人は北京へ行く ____。
 4. このごろ台風のために、災害を起す ____。
 5. その人は英語で話す ____。
 6. わたしたちは交通規則を守ら ____。

六、次の文を日本語に訳しなさい(将下列句子译成日语)。

1. 如果你去,我也去吧。
2. 我也打算去看美丽的大自然。
3. 这个产品质量不好,而且又贵,所以我不买。
4. 开车的人要特别注意红色和绿色的信号。
5. 走路的人也必须遵守交通规则。

だいきゅう か
第 9 課

本 文：一、田舎
二、ビールのお金
三、あなたは何をしていますか
課外読物：分子と原子
文 法：一、五段活用动词的音变
二、接续助词て
三、补助动词いる

本 文

一、田舎

きょうは、田舎に住んでいるおじいさんの家へ遊びに行く日です。朝は空がくもっていて、雨が降っていました。昼ごろから空が明るくなって、いい天気になりました。わたしは急いで昼ごはんを食べて田舎行きの汽車に乗りました。

いま、汽車は野原を走っています。窓の外には田畑が続いています。自動車が道路を走っています。鳥が空を飛んでいます。遠くに高い煙突から煙が立っています。

今度、汽車は長い橋を渡っています。下には川が流れています。川の水がきれいで、魚が泳いでいるのが見えます。川の岸でこどもが手を振っています。そのそばに草を食っている牛や馬もいます。

おじいさんの住んでいる村に着きました。おじいさんとおばあさんが門まで出て待っていました。おじいさんの家は山に建っていて木造の家です。わたしはおじいさんとおばあさんのあとについて、二階に上がって休みました。二階から海がすぐ目の前に見えます。海岸ではおおぜいの人が力いっぱい網を引いています。魚を捕っているのです。だんだん網が見えてきました。網には魚がたくさん入っています。

晩ごはんの時、おじいさんが、
「これはここで捕った魚だよ。それから、米もうちで作ったものだよ」と言いました。

都会と違って、田舎は本当に自然が美しいです。

二、ビールのお金

佐藤さんは、ある日、高校の時の友達と二人で銀座へ飲みに行った。

しばらく飲む所をさがし、ある飲み屋に入った。二人は、あまりたくさんのお金を持っていなかったのので、テーブルの上に全部お金を出してビールを飲んだ。

そして、最後の1本を飲みおわり、ちょうど四千円になる。二人はテーブルの上の四千円を全部持って払いに行った。

「お客さん、少し足りませんよ。3%の消費税がかかります」と店の人は言った。

三、あなたは何をしていますか

A: あなたは何をしていますか。

B: 新聞を読んでいます。

A: このごろ夜学に出ていますか。

B: もちろん行っています。

A: 何を勉強していますか。

B: 数学を勉強しています。

A: 失礼します。お休みなさい。

B: お休みなさい。

新 出 語

- | | |
|-------------|---------------------|
| 1 いなか[田舎] | (名) 乡下, 乡村; 田园 |
| 2 すむ[住む] | (自五) 住, 居住 |
| 3 ひ[日] | (名) 日子 |
| 4 ひる[昼] | (名) 中午, 白昼 |
| 5 あかるい[明るい] | (形) 明亮的 |
| 6 ごはん[御飯] | (名) 饭(食); 米饭 |
| 7 ゆき[行き] | (名) 去, 行; (接尾) 开往…… |

8	き しゃ[汽車]	(名)火车
9	のる[乗る]	(自五)乘,坐,骑
10	のはら[野原]	(名)原野,野地
11	はしる[走る]	(自五)跑,运行
12	まど[窓]	(名)窗,窗户
13	そと[外]	(名)外面,外边
14	た[田]	(名)田,水田
15	はたけ[畑]	(名)旱田,旱地
16	とぶ[飛ぶ]	(自五)飞,飞行,跳
17	とおく[遠く]	(名)远处
18	えん とつ[煙突]	(名)烟囱,烟筒
19	けむり[煙]	(名)烟
20	たつ[立つ]	(自五)站,上升,冒出
21	こん ど[今度]	(名)这次,这一回,下一次
22	はし[橋]	(名)桥
23	ながれる[流れる]	(自一)流(淌)
24	およぐ[泳ぐ・遊ぶ]	(自五)游泳
25	きし[岸]	(名)岸
26	て[手]	(名)手
27	ふる[振る]	(他五)挥,摇
28	そば[側・傍]	(名)旁边,附近
29	くさ[草]	(名)草
30	くう[食う]	(他五)吃
31	うし[牛]	(名)牛
32	うま[馬]	(名)马
33	つく[着く]	(自五)到达
34	もん[門]	(名)门,门口
35	まつ[待つ]	(他五)待,等待
36	たつ[建つ]	(自五)建,盖
37	もく ぞう[木造]	(名)木造,木制
38	かい[階]	(接尾)(楼房的)层
	にかい[二階]	(数)(楼房的)二层,二楼
39	あがる[上がる]	(自五)上,登,进入,上升
40	やすむ[休む]	(自他五)休息
41	すぐ	(副)立刻,马上
42	まえ[前]	(名)前面
43	ちから[力]	(名)力(气),体力,力量
44	つな[綱]	(名)缆绳,粗绳,绳索
45	ひく[引く]	(他五)拉,曳
46	とる[捕る・取る・撮る]	(他五)捕,捉;取,拿,照(相)
47	だんだん	(副)渐渐地,逐渐地

48	はいる[入る]	(自五)进入
49	こめ[米]	(名)米
50	つくる[作る・造る]	(他五)做,制造;栽培
51	ちがう[違う]	(自五)不同,不一致;错误,不正确
53	ビール[荷 bier]	(名)啤酒
54	かね[金]	(名)钱
55	こう こう[高校]	(名)高中
56	ともだち[友達]	(名)朋友,友人
57	ぎんざ[銀座]	(名)银座
58	ところ[所・处]	(名)地方,场所,地点
59	さがす[搜す]	(他五)(寻)找,搜查
60	のみや[飲み屋]	(名)小酒馆
61	テーブル[table]	(名)桌子,饭桌
62	ぜん ぶ[全部]	(名・副)全部,全体
63	さい ご[最後]	(名)最后,末尾
64	ほん[本]	(接尾)瓶,支,根,条
65	おわる[終(わ)る]	(自他五)终了,结束
66	ちょう ど[丁度]	(副)正好,恰好,正,整
67	えん[円]	(接尾)(日)元
68	はらう[払う]	(他五)支付,付钱,付给
69	たりる[足りる]	(自一)足够,足以
70	パーセント さんパーセント	(名)百分率 3%
71	しょう ひ ぜい[消費税]	(名)消费税
72	かかる[掛(か)る]	(自五)花费;挂,吊,架
73	みせ[店]	(名)商店,铺子
74	しん ぶん[新聞]	(名)报纸,报,新闻
75	このころ	(名・副)近来,这些天来
76	すう がく[数学]	(名)数学
77	しつ れい[失礼] しつれいします	(名・自サ)失礼,不礼貌 (词组)(分手时)告辞,再见
78	おやすみなさい	(词组)晚安

本文の注釈

1. “见えてきました”中的(て)くる是补助动词,表示动作由远到近,将在第12课继续学习。

2. 终助词よ接在句末,表示强调、提醒对方。如课文中的:

これはここで捕った魚だよ。/这是在这里捕的鱼呀!

少し足りませんよ。/少了一点儿呀!

3. 補助慣用型“…のです”在口头语言中可以略为“…んです”。如本课中的：“消費税がかかるんです。”就是“消費税がかかるのです。”

課外読物

分子と原子

物質を細かく砕いていくと、その物質の性質をもった最小の粒になる。これを分子と呼んでいる。酸素は酸素分子の集まりであり、水は水の分子、油は油の分子の集まりである。

科学の進歩につれて、この分子を作っているものは何かと研究が進んだ。そして、分子をつくっている小さな粒を原子と呼んだ。水素の分子は水素原子2個と酸素の分子は酸素原子2個で、水の分子は水素原子2個と酸素原子1個で、また二酸化炭素ガスは酸素原子2個と炭素原子1個とからできている、ということが分かった。

分子や原子は非常に小さなもので、ふつうの顕微鏡で見ても見えない。水素の原子はその原子の中でもいちばん小さい。

それぞれの原子は分子の中でたがいに引力をもって結び付き、安定した形になっている。原子はすべてその中心にプラス電気をもった原子核があり、そのまわりをマイナス電気をもった小さな電子がものすごい速さで飛びまわっている。

電子の数は原子によって違い、水素では1個だが、ウランは92個も持っているという。

さらに、原子核の構造の研究も進み、プラス電気をもった陽子や電気をもっていない中性子が見つかり、そのほかにも中間子などいくつもの粒があることも分かった。

いま科学の先端では、原子核のいちばんもとをつくっている基本の粒子はなにかということが問題になっている。

选自《日语(理工科用)》第二版第二册第三课

注 釈

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 こまかい[細かい] | (形)细小 |
| 2 くたく[砕く] | (他五)打碎 |
| 3 よぶ[呼ぶ] | (他五)呼唤,称为 |
| 4 さん そ[酸素] | (名)氧 |
| 5 あつまり[集まり] | (名)聚集 |
| 6 すすむ[進む] | (自五)进行,前进 |

7 すい そ[水素]	(名)氢
8 に さん か たん そ ガス [二酸化炭素 gas]	(名)二氧化碳气
9 ふ つう[普通]	(名・副)普通
10 それぞれ	(名・副)各自,分别
11 たがいに[互いに]	(副)互相
12 むすびつく[結び付く]	(自五)结合
13 すべて	(名・副)全部,都
14 プラス[plus]	(名・他サ)正,加
15 マイナス[minus]	(名・他サ)负,减
16 ものすごい	(形)惊人的,厉害的
17 とびまわる[飛び回る]	(自五)四处飞
18 ウラン[德 uran]	(名)铀
19 さらに[更に]	(副・接)更,再,还
20 みつかる[見付かる]	(自五)找到,发现

文 法

一、五段活用动词的音变

五段动词后续过去完了助动词た、接续助词て等的时候,サ行五段动词可以变成连用形直接相接,不发生音变。如:話して,持て成して。

其他各行五段动词的连用形接た、て时,在发音上都要发生变化,这叫“音便”。共分三种类型:

1 促音变:た・ら・わ三行五段动词的连用形接た,词尾变为促音,如:

た行 持つ 持ち+た→ 持った

ら行 成る 成り+た→ 成った

わ行 習う 習い+た→ 習った

2 拨音变:な・ま・ば三行五段动词的连用形接た时,词尾变为拨音,同时た要浊化,变成だ。如:

な行 死ぬ 死に+た→ 死んだ

ま行 読む 読み+た→ 読んだ

ば行 遊ぶ 遊び+た→ 遊んだ

3 い音变:か・が两行五段动词的连用形接た时,词尾变为い,同时が行动词后所接的た要浊化,变成だ。如:

か行 聞く 聞き+た→ 聞いた

が行 急ぐ 急ぎ+た→ 急いだ

所有的五段动词都按这个规律变化,只有一个唯一的例外,就是行く,它虽然是か行的动词,却不发生い音变,而是发生促音变,变成行った,(不说行

いた,也不说行いて)。

这些音变规律比较繁杂,我们可以利用这样一个口诀来帮助记忆:

た、ら、わ,要接た,变促音,都不差。

な、ま、ば,要接た,变拨音,た变だ。

か和が,い音变;が行后,た变だ。

唯いく,属例外,过去式,说いった。

发生了音变的五段动词要还原时,用以下方法:

1. 熟悉的动词可根据词干以及词尾的音变种类去判断。

2. 没学过的动词则要借助辞典去判断。假定遇到あがった这一形式,根据促音变,有三种可能:あがつ、あがる、あがう,但查阅辞典,只有上がる一词,于是就可以确定了。促音变有三种可能,拨音只有两种可能,因为な行动词只有死ぬ一个词,い音变则一见便知,因为が行后的た要变浊音だ,か行后的た仍为清音。

3. 遇到词干相同而又没写汉字时,要根据句子的意义去判断,如:行く和言う都可以变成いった,有る和会う都可以变成あった。

学会五段动词的形态变化和音变规律,再回头复习指定助动词である的形态变化就更好理解了。原来である是由で加ある构成,所以である的变化和ある的变化完全相同,连用形之所以有一であっ,就是因为ある接た时要发生促音变。

二、接续助词て

接续助词て接在形容词连用形词尾く、动词连用形后面。但接五段动词时除サ行五段动词外在发音上要发生变化。如:

形容词:多くて 強くて 新しくて

一段动词:覚えて 数えて 食べて

五段动词:話して 買って

它的语法作用是连接两个用言、用言性词组、句子等,表示下列意义:

1. 表示并列或对比。例如:

中国は土地が広くて、自然も非常に美しい。/中国地域广阔,自然也非常美丽。

2. 表示动作连续发生。例如:

朝早く起きて日本語を勉強する。/早上早早起来学习日语。

3. 作状语,表示前项是后项的原因或方式。例如:

秋の庭は静かで涼しくて、わたしは大好きです。/因为秋天的庭院寂静又凉爽,所以我很喜欢。

ご飯を食べないで出て行った。/没吃饭就出去了。

4. 将动词和补助动词连接起来。例如:

佐藤さんは飲み屋でビールを飲んでいきます。/佐藤先生在酒店里喝啤酒。

三、补助动词いる

补助动词いる通过て与前面的动词相接,即用…ている的形式。它主要表示以下语法意义:

1. 表示动作正在进行。可译作“正在……”、“一直在……”。例如:

かれは映画を見ている。/他正在看电影。

2. 表示动作的结果一直保留着,或者表示客观状态。例如:

かれは夜十二時まで起きている。/他一直到半夜十二点才睡。(保持着起床后的状态)

いま,汽車は野原を走っています。/现在,火车在原野上奔驰。

补助动词おる的接续方法与语法意义和いる相同,但语感要郑重一些。

練習

一、次の文を朗読して,そして,下線をつけたことばの漢字を書きなさい。(朗读下列句子,然后将划线部分单词改写成汉字)。

- 1 きしゃはのはらを走っています。まどのそとには,たやはたけがつづいています。
- 2 ことりがそらを飛んでいます。速くに高いえんとつからけむりが立っています。
- 3 かわははらのなかを流れています。うしやうまはそのきしでくさを食っています。
- 4 いなかはとかいと違って,ほんとうにしぜんが美しいです。
- 5 かれはまいにち,日本のしんぶんを読んで,日本語をべんきょうします。

二、()の中に助詞を入れなさい(在括号内填入助词)。

1. 今度,どこ()夏休み()過すつもりですか。
2. 暑い(),水をたくさん飲みます。
3. 彼は急い()切符()買っ(),田舎ゆきの汽車()乗りました。
4. 汽車は野原()走っています。遠くの松()竹の林が見えます。
5. 若い人たちは先生のあと()ついて,日本語の朗読の練習をしています。
6. 私はあなた()逢います。暑い季節()嫌いです。
7. 日本の製品は形()よく,品質()いい。
8. 天気予報()よると,明日は雨()降るそうです。
9. 二階()海()すぐ目の前()見えますよ。
10. わたしたちは門()出て待っていました。

三、例にならって文を書きなさい(仿照例句改写句子)。

1. 例：風が強く吹く。
 → 風が強く吹いている。
 (1) 伊藤さんは飲み屋でビールを飲む。
 →
 (2) その学生は中国語で先生と話す。
 →
 (3) 今日は空が曇る。
 →
 (4) 鳥が空を飛ぶ。
 →
 (5) 伊藤さんは自分の部屋で雑誌を読む。
 →
 (6) 李さんは夜学で化学や数学を習う。
 →
2. 例：おじいさんは田舎に住んでいる。
 → おじいさんは田舎に住む。
 (1) おばさんは門まで出てお客さんを待っている。
 →
 (2) 彼は家のまわりを走っている。
 →
 (3) 馬や牛が川の岸で草を食っている。
 →
 (4) 梅の花がたくさん咲いている。
 →
 (5) 伊藤さんは駅の前に立っている。
 →
3. 例：その人は大好きなカメラを買う。
 → その人は大好きなカメラを買った。
 (1) ねこが死ぬ。
 →
 (2) 子供たちは林の中で楽しく遊ぶ。
 →
 (3) 梅の花が咲く。
 →
 (4) 暑いので、川で泳ぐ。
 →
 (5) 「今晚は」と彼は言う。
 →
4. 例：わたしはこの車を買いました。
 → これはわたしの買った車です。
 (1) 姉はこの料理を作りました。

→

(2)私はその雑誌を読みました。

→

(3)田中さんはその小道を歩きました。

→

(4)兄はあの山に登りました。

→

四、次の文を日本語に訳しなさい(将下列句子译成日语)。

1. 伊藤老师正在北海道渡暑假吧。
2. 我正用你那只黑色的钢笔。
3. 我弟弟正在厨房里做菜。
4. 昨天,我和小李一起去了田中老师家。
5. 这是海里捕的鱼,那是自家产的米。
6. 我想明天早上早点起床去公司。

五、例文の点をつけた「て」と同じ意味の「て」を下の文から選んで、「0」か「×」を()の中につけなさい(从下列句子中选择与例句中打点的“て”相同的,在括号中划0或×)。

1. 例:このえんぴつは長くて、そのえんぴつは短い。
() (1)彼は毎朝早く起きて、学校へ行く。
() (2)これは大きくて、それは小さい。
2. 例:私は毎日八時ごろうちを出て、学校に行く。
() (1)あの人は銀座へ行って、果物をたくさん買った。
() (2)月が出ている。
3. 例:この仕事がとても難しくて、一人でできない。
() (1)夏は暑くて、冬は寒い。
() (2)お金がなくて困っている。
4. 例:彼は毎日歩いて会社へ行く。
() (1)研究が進むにつれてよく分るだろう。
() (2)伊藤さんは立って新聞を読む。

だいじつ か
第10課

- | | | |
|-------|----|---|
| 本 | 文： | 一、眠りと夢
二、物質のもとについて
三、はじめまして |
| 課外読物： | | 一、安全器の仕組み
二、ヒューズの働き |
| 文 | 法： | 一、一段活用动词的活用
二、副助词ぐらい
三、提示助词でも
四、接续助词のに |

本 文

一、眠りと夢

世の中には、自分は毎晩夢を見ると言う人もいれば、二、三か月に一度という人もいます。しかし、実際にはみんな毎晩夢を見ているのです。ただ、夢を見たことを覚えている人と覚えていない人がいるのです。私たちの睡眠には眼球の動きが活発になるレム睡眠と、そうならないノンレム睡眠の二つがあります。レムというのは、「急速に眼球が動く」という意味の英語の頭文字をとったものです。レム睡眠のとき、体はぐっすり眠っているのに脳は目覚めています。眼球が動くのもその一つの表れです。夢を見るのはこのレム睡眠のときです。一晩の眠りの様子はだいたいこうなっています。横になって眠りにはいると、眠りはどんどん深くなります。30分ぐらいで眠りはもっとも深くなり、それが30分ぐらい続いた後に、今度は急に眠りが浅くなります。そしてもっとも眠りの浅くなった状態が、レム睡眠です。このとき、急に眼球が動き出すのが、まぶたの上からもよくわかります。最初のレム睡眠が起こるのは眠ってから1時間半ぐらいの

ときです。これは5分ぐらいで終わり、また眠りは深くなります。これを一晚に三、四回繰り返します。一晚に7時間眠るとして、レム睡眠の時間は2時間ぐらいになります。つまり、私たちはだれでも一晚に2時間ぐらい夢を見ていることになります。このレム睡眠のときに起こして聞くと、夢を見ないと言っていた人でも、今夢を見ていたと答えるでしょう。

二、物質のもとについて

物質は何からできていますか。

——分子からできています。

分子とは何ですか。

——物質は分子の集まりですが、分子とはその物質の性質を失わないもっとも小さな粒です。

分子は何からできていますか。

——原子からできています。例えば、水素の分子は水素の原子2個からできています。それから、二酸化炭素ガスは酸素原子2個と炭素原子1個からできています。

分子や原子は非常に小さいものでしょう。

——そうです。普通の顕微鏡では見えません。

では、どんな顕微鏡で見れば見えますか。

——電子顕微鏡という顕微鏡がありますが、それで見ればはっきり見えます。

原子はどんな構造をもっていますか。

——原子のまん中に原子核があって、そのまわりを電子が飛びまわっています。

原子核はいちばん小さな粒ですか。

——いいえ、違います。研究が進むにつれて、原子核もさらに小さな粒からできているということが分かりました。

三、はじめまして

A: はじめまして、鈴木と申します。

B: 田中と申します。はじめまして、どうぞよろしく。

A: こちらこそ、どうぞよろしく。

B: 田中さんは、何を書いていますか。

- A: ドイツの友だちに手紙を書いています。
 B: 田中さんは、ドイツ語もできるのですか。
 A: はい、少しできます。
 B: フランス語はどうですか。
 A: フランス語は全然できません。

新 出 語

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. ねむり[眠り] | (名)睡眠 |
| 2. ゆめ[夢] | (名)梦; 梦想; 理想 |
| 3. よのなか[世の中] | (名)世上, 社会 |
| 4. まい ばん[每晚] | (名)每晚 |
| 5. みる[見る] | (他一)看, 观察 |
| ゆめをみる[夢を見る] | (词组)做梦 |
| 6. じっ さい[实际] | (名)实际 |
| | (副)的确, 确实 |
| 7. みんな | (名・副)皆, 全体, 大家 |
| 8. ただ | (副)只, 仅, 唯 |
| | (接)不过, 但是 |
| 9. すい みん[睡眠] | (名・自サ)睡眠 |
| 10. がん きゅう[眼球] | (名)眼球 |
| 11. うごき[動き] | (名)活动, 移动 |
| 12. かっ ぱつ[活発] | (形动)活泼, 活跃 |
| 13. レム[REM] | (名)眼球快速活动 |
| 14. ノンレム[non REM] | (名)眼球不转动 |
| 15. きゅう そく[急速] | (名・形动)迅速 |
| 16. うごく[動く] | (自五)动, 移动, 活动 |
| 17. かしらもじ[頭文字] | (名)首字母; 当头字母 |
| 18. からだ[体] | (名)身体 |
| 19. ぐっすり | (副)熟睡, 酣睡貌 |
| 20. ねむる[眠る] | (自五)睡觉, 安息 |
| 21. めざめる[目覚める] | (自一)睡醒, 觉醒 |
| 22. のう[脳] | (名)脑, 脑筋, 脑力 |
| 23. あらわれ[表れ] | (名)表现, 表示 |
| 24. ひとばん[一晚] | (名)一个晚上 |
| 25. よう す[様子] | (名)样子, 情况 |
| 26. よこ[横] | (名)横 |

27. どんどん	(副)接连不断,顺顺当当 很快的,迅速的
28. ふかい[深い]	(形)深的
29. ふん[分]	(接尾)(时间的)分
30. もっとも[最も]	(副)最,顶
31. あさい[浅い]	(形)浅的
32. じょう たい[状態]	(名)状态
33. まぶた	(名)眼皮
34. さい しょ[最初]	(名)最初,第一次
35. はん[半]	(接尾)半,二分之一
36. くりかえす[繰り返す]	(他五)反复,重复
37. きく[聞く]	(他五)听,问,打听
38. こたえる[答える]	(自一)回答,答复,解答
39. ぶっしつ[物質]	(名)物质
40. もと[元・本・基]	(名)基础,原来,原因
41. ぶん し[分子]	(名)分子
42. あつまり[集まり]	(名)集合,聚集
43. せい しつ[性質]	(名)性质
44. うしなう[失う]	(他五)失去,丢失
45. つぶ[粒]	(名)颗粒,粒子
46. げん し[原子]	(名)原子
47. すい そ[水素]	(名)氢
48. こ[個]	(接尾)个
49. に さん か たん そ ガス[二酸化炭素 gas]	(名)二氧化碳气
50. さん そ[酸素]	(名)氧,氧气
51. たん そ[炭素]	(名)碳
52. ふ つう[普通]	(名)普通,一般
53. けん び きょう[顕微鏡]	(名)显微镜
54. でん し[電子]	(名)电子
55. はっきり	(副・自サ)清楚,清晰,明朗,干脆
56. こう ぞう[構造]	(名)构造
57. まんなか[真(ん)中]	(名)正中间,中央,当中
58. げん し かく[原子核]	(名)原子核
59. とびまわる[飛び回る]	(自五)四处飞
60. すすむ[進む]	(自五)向前,进展,提高
61. けん きゅう[研究]	(名・他サ)钻研,研究
62. さらに[更に]	(副・接)更,再,还,而
63. はじめまして	初次见面

64. すずき[鈴木]	(名)鈴木
65. もうす[申す]	(他五)(いう的自谦语)告诉,叫做,说,讲
66. どうぞ	(副)请
67. よろしく[宜く]	(副)请关照,请问好
68. かく[書く]	(他五)写
69. ドイツ[荷 Duits]	(名)德国
70. てがみ[手紙]	(名)信
71. フランス[france]	(名)法国
72. ぜんぜん[全然]	(副)完全(不)

本文の注釈

1. “二、三か月に一度という人”是“二、三か月に一度夢を見るという人”之略。

2. “そうならない”中的“そう”替代的是“眼球の動きが活発に”。

慣 用 型

1. (体言)も(动词假定形)ば,(体言)も(动词)。[惯用句型]

这个句型用以兼提两个同时存在的情况,可译作“既……又……”,“既有……又有……”。例如:

桜もあれば,梅もある。/既有樱花,又有梅花。

毎晩夢を見るという人もいれば,見ないという人もいる。/既有人说每晚做梦,也有人说不做梦。

2. (体言)というのは……です。[惯用句型]

这个句型用于下定义,表示“所谓……是……”的意思。其简略形式是……とは……です。例如:

分子と(いうの)は その物質の性質を失わないもっとも小さな粒です。/所谓分子就是不失该物质性质的最小粒子。

3. (动词连用形)てから[修饰惯用型]

表示一个动作之后再做一个动作,例如:

昼ごはんを食べてから汽車に乗った。/吃过午饭后坐火车。

4. (用言终止形、词组、句)として [修饰惯用型]

构成表示假定条件的状语或从句,可译作“设……”“假定……”。如:

一晩に7時間眠るとして……/设一个晚上睡7个小时……。

5. (体言)について[修饰惯用型]

这个句型构成状语,作定语时用“についての”的形式,表示“关于……”“就……”的意思。例如:

物質のもとについての研究。/关于物质根源的研究。

6. (动词连体形)につれて[修饰慣用型]

构成状语,表示“随着……”的意思,例如:

研究が進むにつれて,いろいろなことが分かりました。/随着研究的进展,明白了许多问题。

課外読物

一、安全器の仕組み

電気の使用量が多すぎたとき,ブレーカーのスイッチが切れることがある。スイッチを上げれば,また電気が通じる状態になる。このブレーカーの横に安全器がある。安全器のふたを開け,中の仕組みを調べてみよう。手を入れては危険である。ふたを見ると,2本のヒューズがある。ふたを閉めれば,回路が続くようにできている。ふたの部分を開けて,細い1アンペア用ヒューズなどに取り替えてみればどうなるだろうか。大きな電流が流れると,溶けて切れてしまうだろう。ヒューズは系ヒューズやツメつきのものがあるが,ツメつきのほうが便利だ。ソケットの故障修理などのとき,2本の導線の片方をブレーカーで切ると電流は流れないように思うが,家庭用100V電源は,それだけでも,人体から地面へ電流が流れることがある。このようなとき,安全器は2本の導線を切る両切りスイッチの役をして危険を避ける働きをする。

二、ヒューズの働き

ヒューズはどんな働きをしますか。

——回路を電源から切り離す働きをします。

どんなとき,切り離すのですか。

——回路に過大な電流が流れたときです。それから,回路のどこかでショートしたときです。そのとき,ヒューズは溶けて自動的に切り離すのです。

ヒューズはどんな太さのものでも使うことができますか。

——いいえ,電流の量に応じた太さのものでなければなりません。もし,細すぎれば,必要でないときによく切れるし,太すぎれば,必要なときに切れないからです。

電気器具の中にも,屋内配線の安全器の中にも,ヒューズがありますね。

——はい、そうです。

そのヒューズが切れた場合、どのようにつけかえたらいいですか。

——つけかえ方は、次のとおりです。

1. ふたを開けて、切れたヒューズをはずす。

2. 新しいヒューズをねじの座金の下に入れて、ドライバーで強くしめつける。

3. 最後にふたをしっかりと閉じます。

ヒューズのかわりに針金などをつけてもいいですか。

——いいえ、それは非常に危険です。火災の原因にもなる恐れがあるからです。

选自《日语(理工科用)》第二版第二册第一课

注 釈

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| 1 あん ぜん き[安全器] | (名)保险盒 |
| 2 しくみ[仕組み] | (名)结构 |
| 3 すぎる[過ぎる] | (接动词连用形、形容词、
形容动词词干后)过于…… |
| おおすぎる[多過ぎる] | (自一)过多 |
| 4 ブレーカー[breaker] | (名)自动断路器 |
| 5 スイッチ[switch] | (名)开关,电门 |
| 6 きれる[きれる] | (自一)断,断开;能断开 |
| 7 つうじる[通じる] | (自他一)通,通过 |
| 8 ふた | (名)盖 |
| 9 あける[開ける] | (他一)打开 |
| 10 しらべる[調べる] | (他一)调查,研究 |
| 11 ヒューズ[fuse] | (名)保险丝 |
| 12 しめる[閉める] | (他一)关闭 |
| 13 アンペア[ampere] | (名)安(培)(符号为 A) |
| 14 とりかえる[取り替える] | (他一)更换 |
| 15 とける[溶ける] | (自一)溶化,熔化 |
| 16 つめつきヒューズ[爪つき fuse] | (名)带接线片的保险丝 |
| 17 ソケット[socket] | (名)插口,插座 |
| 18 かたほう[片方] | (名)一端,一方 |
| 19 りょう きりスイッチ[両切り switch] | (名)双刀开关 |
| 20 やく[役] | (名)作用 |
| 21 さける[避ける] | (他一)避免 |
| 22 きりはなす[切り離す] | (他五)切断,分开 |

23	ショート[short]	(名・自サ)短路
24	おうじる[応じる]	(自一)相应,根据
25	もし	(副)假如,如果
26	でん き き ぐ[電気器具]	(名)电器
27	おく ない はい せん[屋内配線]	(名)室内布线
28	つけかえる[付け替える]	(他一)换上,换接
29	はずす[外す]	(他五)取下,卸下
30	ねじ	(名)螺钉,螺丝
31	ざがね[座金]	(名)垫片
32	ドライバー[driver]	(名)螺丝刀
33	しめつける[締め付ける]	(他一)拧紧,紧固
34	しっかり(と)	(副・自サ)结实,坚固
35	かわり	(名)代替,替换
36	つける[付ける]	(他一)安上,加上

文 法

一、一段活用动词的活用

一段活用动词词尾的第一个假名不变,第二个假名有变化。变化规律如下表:

例词	词干	词 尾					
		未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
おきる	お	き	き	きる	きる	きれ	きろ きよ
みる	(み)	み	み	みる	みる	みれ	みろ みよ
おぼえる	おぼ	え	え	える	える	えれ	えろ えよ
出る	(で)	で	で	でる	でる	でれ	でろ でよ
主要后续词 或用法		よう、 ない、 ぬ	用言、 た、ます、 て、 表中顿 变名词	结句、が、 けれども、 と、し、 だろう、 终助词	体言	ば	

各个形态的用法分别例释如下:

1. 未然形：比形容词、形容动词未然形的用法广。

(1) 接推量助动词よう。よう接在动词后面时，可以表示推测、动作主体的愿望、对听话人的祈使以及同听话人商量共同进行动作等。例如：

かれもできよう。/他也会吧。表示推测，但是在会话中一般用动词终止形接だろう、でしょう的形式，即说成：かれもできるだろう(でしょう)。

ほくも見よう。/我也看吧。(表示愿望)

はやく起きよう。/快起床吧。(表示祈使或商量)

(2) 接否定助动词ない、ぬ，表示否定。ない和ぬ的语法意义相同，在口语中一般使用ない。ない的形态变化与形容词ない基本上相同，但接续方法不同，否定助动词ない是接在动词未然形后，而形容词ない是接在形容词、形容动词、指定助动词的连用形后，而且不能与ぬ互换。ぬ一般读作ん，与前面的词尾构成拨音节。例如：

暗やみでは、なにも見えない。/在黑暗中什么也看不见。

2. 连用形：比形容词、形容动词的用法广一些。

(1) 用来后续过去完了助动词た，表示过去或动作完了；后续敬体助动词ます，构成敬体叙述句；后续接续助词て，表示动作相继发生等。例如：

気象台長は警報を出すことを決めた。/气象台长决定发出警报。

水の中のあわは、形も色も見えます。/水中的小泡可以看到形状也可以看到颜色。

ごはんを食べて、テレビを見ます。/吃完饭，看电视。

(2) 用以表示中顿。例如：

夏になると、犬や猫など毛の多い動物は自然に毛が抜け、渡り鳥は自分の好きな気温の地方へ渡りをする。/一到夏天，狗和猫等毛多的动物就自然脱毛，候鸟就迁徙到有感到舒服的气温的地方去。

(3) 用以接某些动词，接尾词等构成复合词。例如：

見る+習う→見習う/见习

起きる+にくい→起きにくい/难以发生

おぼえる+かた→おぼえかた/记忆方法

(4) 有一些一段活用动词变成连用形后就转成名词，但并不是所有的一段动词都能这样变。如：

始める→始め/开始

疲れる→疲れ/疲劳

考える→考え/想法、思想

3. 终止形：用来结束句子或者后续终助词，某些接续助词(が、けれども、と、し等)以及だろう等。例如：

春になると、桜の花が咲き始める。/一到春天，樱花就开始开放。

あなたは朝何時に起きるか。/你早上几点起床？

かれも図書館にいるだろう。/他也在图书馆吧。

4. 连体形：用来后续体言，使该动词或以该动词作谓语的句子、词组等作定语，或后续某些接续助词。例如：

季節によって風向きを変える風を季節風という。/按季节改变风向的风叫季风。

5. 假定形:用来后续接续助词ば,表示假定。例如:

はやく決めれば いいでしょう。/早点儿决定的话,就好些吧。

6. 命令形:用来对听话人表示命令,一般不出现主语,形容词、形容动词无此形态。这是一种简慢的说法。例如:

起きろ。/起来!

見よ。/看吧!

二. 副助词くらい

くらい(或ぐらい)接在体言,用言连体形后,可以构成状语,还可以构成体言性词组,可以顶替主格助词が,宾格助词を,或与格助词、提示助词重叠,构成主语,宾语,补语、定语等成分,也可以出现在判断句谓语中,くらい和ぐらい 用法与意义完全相同。主要意义是表示大致的数量或程度,有时带有轻视的语气。例如:

夜は7時間くらい眠ります。/晚上睡7个小时左右。

それくらいのことは私にもできる。/那点儿事我也干得了。

三. 提示助词でも

でも来源于补格助词で加提示助词も,作提示助词用时可以顶替主格助词が,宾格助词を等,或与补格助词重叠,用来提示一个典型的事物,类推其他,可译作“连……也……”“甚至……也……”。例如:

自分でもその夢を覚えていない。/自己也不记得那个梦了。

だれでも行くことができる。/谁都可以去。

四. 接续助词のに

のに接在用言连体形或终止形后,表示一种转折关系,用のに连接两个事项时,表示后面提到的事项不受前边提到的事项所规定的条件的限制,有出乎意料之外,责怪,不满等语感。因此,のに与けれども在语感上有不同,けれども虽然也表示转折,但那种转折是意料之中的。のに大致相当于汉语的“尽管……偏偏却……”“……而竟……”一类的意思。例如:

もう一時間も待っているのに、かれはまだ来ない。/已经等了一个小时了,可是他却还不来。

日曜日なのになぜ遊びに行かないのか。/星期天干吗不去玩呀?

練習

一、次の単語の振仮名を付けなさい(写出下列单词的振假名)。

左 右 陸 虫 音 逆 昼 窓 畑 牛 馬 草 店 体 粒
網 外 田 橋 気圧 断定 基準 数字 最近 休日 連休 国
民 意味 事故 標識 両側 規則 信号 危険 台所 趣味 田
舎 最後 消費税 都会 高校 毎晩 実際 睡眠 様子 物質
普通 研究 構造 季節風 風むき 具体的 交差点 頻文字

二、助詞を()の中に入れなさい(在括号内填入助词)。

1. 季節()によって風向きを変える風()季節風()いう。
2. 大陸は海()比べる(), 冬は冷えるし, 夏は暖まる。
3. 物質は何()できていますか。
4. 私たちは二十分()東京駅()着いた。
5. ビールは一本どの()かかりますか。
6. そんなことは子供()分るだろう。

三、例にならって書きなおしなさい(仿照例句改写)。

1 例: ご飯が冷える。

→ ご飯が冷えない。

(1) お金が足りる。→

(2) 果物が取れる。→

(3) ここから富士山が見える。→

2 例: はやく起きる

→ 早く起きよう。

(1) ご飯を食べる。→

(2) よく考える。→

(3) はっきり覚える→

3 例: フランス語ができる。(フランスへ行くことができる。)

→ フランス語ができれば、フランスへ行くことができる。

(1) お金が足りる。(新しい車を買う)→

(2) 早く決める。(一緒に行くことができる)。→

(3) あなたがペンを食べる。(私もペンを食べる)。→

四、例にならって言い換えなさい(仿照例句变换说法)。

1 例: 私は毎日八時ごろ家を出ます。そして学校へ行きます。

→ 私は毎日八時ごろ家を出て、学校へ行く。

(1) あのサラリーマンは毎朝早く起きます。そして地下鉄で会社へ行きます。

→

(2) 田中さんは急いで晩ご飯を食べます。そして夜学に出ます。

→

(3) 伊藤先生は映画館で映画を見ます。そして五時ごろ家へ帰ります。

→

(4) 妹は家に帰ります。そして料理を作ります。

→

2 例: 私は昨日銀座でいいカメラを買った。

→ 私は昨日銀座でいいカメラを買いました。

(1) 彼は友達を送りに東京駅まで行った。

→

(2) 私は昨日の午後弟と川で泳いだ。

→

(3) あのフランス人は一万円ぐらい払った。

→

(4) 私の家では去年果物がたくさん取れた。

→

五. 次の慣用型を使って、文を作りなさい(用下列慣用型造句)。

1、……も……ば……も……

2、……というのは……

3、……につれて……

4、……という……

5、……について……

六. 次の文を日本語に訳しなさい(将下列句子译成日语)。

① 你经常作梦吗?

② 小李因为病了,正在睡觉。

③ 走路去车站的话,要花十分钟左右吧。

④ 时间够的话,我就上街。

⑤ 随着研究的进行,已经知道原子核也是由更小的粒子构成的。

⑥ 他一个星期吃一次日本菜。

だいじゅういつか
第 11 課

- | | | |
|-------|--------------|---------------|
| 本 | 文： | 一、ガムと運転 |
| | | 二、数学問題 |
| | | 三、新しい車ですね |
| 課外読物： | 一、車両の中でのジャンプ | |
| | 二、慣性について | |
| 文 | 法： | 一、サ行変格活用动词的活用 |
| | | 二、过去完了助动词た |
| | | 三、提示助词しか |
| | | 四、副助词だけ |
| | | 五、传闻助动词そうだ |

本 文

一、ガムと運転

車を運転している時のガムは、事故防止のためにいいそうである。最近ある大学の医学研究グループの実験でわかったことである。コンピューター・デラフィックスで町の画面を見せる。見ている人は、信号にしたがって、ブレーキやアクセルをふむ。信号を見てから反応するまでの時間を調べる。その結果、ガムをかんでいるときのほうが、反応が速いことがわかった。最大の効果の場合は、時速 100キロで運転している時、ガムをかんでいるほうが、約 4.2メートルてまえで、障害物を発見できたそうである。

これは、ガムをかむ運動が脳を刺激して、脳の活動を活発にするからである。脳の活動を活発にすれば、目がさめた状態になる。いねむり運転をへらすことができる。

最近、ものをよくかむことは、からだによいという人が多くなった。子どものために、かたいおかしを売りはじめた会社もある。大学や高校の教室でも、学生がガムをかめば、脳の活動が活

発になって、いねむりがなくなるかもしれない。

しかし、中年の人たちには、人のまえでガムをかむことは失礼だと思える人が多い。入学試験や社会の面接のとき、ガムをゆるすだろうか。

二、数学問題

ある会社で2種類の製品 A、Bを作ることになった。Aは高級品、Bは普及品で、1個を製作して販売するときの利益は、Aは4万円、Bは3万円である。

Aを一つ作るのに要する労力はBの2倍であり、Bだけを作るとすると、1000個作るだけの労力の供給が可能である。材料はA、Bとも同量を要し、供給量は合計800個分しかない。また、A、Bに必要な付属品は、それぞれ、400個、700個分ある。

このとき、最大の利益をうるには、A、Bをそれぞれどれだけ作ればよいか、計算せよ。

三、新しい車ですね

A: 新しい車ですね。いつ買ったのですか。

B: 先週買ったのです。

A: 車の運転は難しいですか。

B: いいえ、あまり難しくありません。

A: でも、一か月ぐらい練習しなければだめでしょう。

B: いいえ、ちょっと練習すると、すぐできますよ。

A: 運転の試験にパスしないとだめですね。

B: そうですね。

新 出 語

1 ガム[gum]	(名)口香糖
2 ぼう し[防止]	(名)防止
3 い がく[医学]	(名)医学
4 グループ[group]	(名)群组, 集团
5 コンピューター[computer]	(名)电子计算机
6 グラフィックス[graphic]	(名)时事画报, 屏幕画面
7 が めん[画面]	(名)画面

8	みせる[見せる]	(他一)给……看
9	したがう[従う]	(自五)随着,顺从
10	ブレーキ[brake]	(名)制动器
11	アクセラ[accelerator]	(名)(汽车、飞机)加速装置
12	ふむ[踏む]	(他五)踩,踏
13	はん のう[反応]	(名・自サ)反应
14	しらべる[調べる]	(他一)调查,研究
15	けっ か[結果]	(名・自サ)结果
16	かむ	(他五)咬,嚼
17	さい だい[最大]	(名)最大
18	こう か[効果]	(名)效果
19	ば あい[場合]	(名)场合,情形,情况
20	じ そく[時速]	(名)时速
21	キロ[kilo]	(名)公里,公斤
22	メートル[meter]	(名)米
23	てまえ[手前]	(名)眼前
24	しょう がい ぶつ[障害物]	(名)障碍物
25	はっ けん[発見]	(名・他サ)发现
26	うん どう[運動]	(名・自サ)运动,活动
27	し げき[刺激]	(名・他サ)刺激
28	かつ どう[活動]	(名・自サ)活动
29	さめる[覚める]	(自一)醒,醒悟
30	いねむり[居睡り]	(名・自サ)瞌睡
31	へらす[減らす]	(他五)减少
32	かたい[固い]	(形)硬的,坚固的
33	かし[菓子]	(名)点心,糕点
34	はじまる[始まる]	(自五)开始
35	だい がく[大学]	(名)大学
36	きょう しつ[教室]	(名)教室
37	にゅう がく[入学]	(名・自サ)入学
38	し けん[試験]	(名・他サ)考试
39	めん せつ[面接]	(名・自他サ)面晤,面试
40	ゆるす[許す]	(他五)许可,准许
41	しゅ るい[種類]	(名)种类
42	こう きゅう ひん[高級品]	(名)高级物品
43	ふ きゅう ひん[普及品]	(名)普通物品
44	せい さく[製作]	(名・他サ)制作
45	はん ばい[販売]	(名・他サ)贩卖
46	り えき[利益]	(名)利益
47	ようする[要する]	(他サ)必要,需要

48	ろう りょく[劳力]	(名)劳力
49	ばい[倍]	(名)倍,倍数
50	きょう きゅう[供給]	(名・他サ)供给,供应
51	か のう[可能]	(名・形动)可能
52	ざい りょう[材料]	(名)材料
53	とう りょう[等量]	(名)等量
54	きょう きゅう りょう[供給量]	(名)供应量
55	ごう けい[合計]	(名)合计
56	ぶん[分]	(名)份儿,份量
57	ふ ぞく ひん[付属品]	(名)附属品
58	それぞれ	(名・副)分别,每个
59	けい さん[計算]	(名・他サ)计算
60	あたらしい[新しい]	(形)新的,新式的
61	いつ[何時]	(数)何时,什么时候
62	だめ[駄目]	(形动)不行,不可以
63	ちょっと	(副)一会儿,暂且
64	パス[pass]	(名・自サ)合格,录取

慣 用 型

1. これは…からである。[惯用句型]

から前面填入用言(终止形)、词组、句子,这种句子表示“这是因为……”的意思,用于说明上文的原因。これ部分也可以是“(用言,词组,句子)のは”。这时译作“之所以……是因为……。”例如:

これは脳が目覚めているからです。/这是因为脑子是醒的。

夢を見るのは、脳が目覚めているからです。/之所以做梦,是因为脑子是醒的。

2. (动词连体形)には[修饰惯用型]

表示动作的目的、目标,可译作“要……就要……”。例如:

いねむり運転をへらすには、ガムをかめばよい。/要减少开车打瞌睡,可以嚼口香糖。

3. (用言终止形、词组、句)とする[修饰惯用型]

构成状语或表示假定条件的从句,可译作“设……”、“假如……”,与上课学的“(用言终止形、词组、句)として”意义、用法相同。例如:

Bだけを作るとすると…/设只制作B……

課外読物

一、車両の中でのジャンプ

いま、列車が時速 80 キロの速さで進行している。この列車の車内にいて、かりにあなたが 1 メートル以上飛びあがり、空中にまるまる 1 秒間とどまることに成功したと仮定しよう。そして、あなたが車内の床に降りたとき、あなたはどこにいるだろうか。もとの位置だろうか、それとも別のところだろうか。

もしも、別のところへ降りたとしたら、車内の前部よりだろうか、後部よりだろうか。

あなたは、飛びあがったところと同じ個所の床の上に降りるだろう。あなたが空中にいるあいだに車両が前進しているので、飛びあがった位置があなたを追い越してしまう、と考えてはいけない。もちろん、車両は前進しているが、飛びあがったあなたも、慣性によって車両と同じ速度をもって前方に進んでいるのだ。したがって、あなたはいつも、飛びあがったちょうどその位置の真上にいるわけである。

二、慣性について

よく「慣性がはたらく」「慣性がはたらいた」と言いますが、この慣性とは、物体のどのような性質をいうのですか。

——それは、その物体がもっている、自らの力では運動の状態を変えない性質のことです。つまり、物体は、すべて現在の運動の状態を続けようとする性質をもっているのです。私たちの日常の世界でも、この慣性の法則は常に働き、または働こうとしています。

外部から力が作用しないとき、物体はどのような運動をしますか。

——はじめから静止していた物体はいつまでも静止し、動いている物体はいつまでもそのままの速度で進みます。

ある物体が運動しているとか、静止しているとかいいますが、この場合私たちは何を問題にしているのですか。

——そのときは必ず何か基準となる位置に対して、物体の位置が変化しているかどうかを考えているのです。

相対的な運動とは、どういう意味ですか。

——つねにほかのものと関係があり、または比べた上で成り立つ運動で、これに対して、そういう基準を考えないで成り立つ運動を絶対的な運動といいます。

选自《日语(理工科用)》第二版第二册第四课

注 釈

1	しゃりょう[車両]	(名)车辆
2	ジャンプ[jump]	(名・自サ)跳跃
3	かりに[仮に]	(副)假定
4	とびあがる[飛び上がる]	(自五)跳起
5	まるまる	(副)完全,整整
6	とどまる	(自五)停留
7	ゆか[床]	(名)地板
8	おりる[降りる]	(自一)下(楼、船、车),落下
9	それとも	(接)或者,还是
10	もしも	(副)假若(“もし”的强调形式)
11	より	(接尾)偏向
12	かしょ[箇所]	(名)部位
13	おいこす[追い越す]	(他五)超越
14	したがって	(接)因此
15	いつも	(副)经常,总是
16	まうえ[真上]	(名)正上方
17	みずから[自ら]	(副)自己,自行
18	つづける[続ける]	(他一)继续
19	または[又は]	(接)或者
20	まま そのまま	(名)照……一样 照那样
21	かならず[必(ず)]	(副)一定,必定
22	たいする[対する]	(自サ)对,对于
23	なりたつ[成り立つ]	(自五)成立

文 法

一、サ行变格活用动词的活用

这是一种不规则活用动词,只有する这一个词,这个词没有词干、词尾之分,する的意思是“做”、“干”等,但する除单独使用外,还有一个构词功能,就是放在一些具有动作意义的名词后面,当词尾用,构成动词,如:

勉強→勉強する バス→バスする

するの形态变化如下:

动词	词干	词 尾					
		未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
する		せ(1) し(2)	し	する	する	すれ	せよ しろ
勉強する	勉強	せ(1) し(2)	し	する	する	すれ	せよ しろ
主要后续词 或用法		(1)ぬ(ん) (2)ない よう	中顿、 た、て、 ます	结句、が、 けれども、 し、と、 だろう、 终助词	体言	ば	

1. 未然形:せ接否定助动词ぬ(ん)表示否定,し接否定助动词ない表示否定。し接推量助动词よう表示动作主体的意愿,表示对听话人的祈使或邀请听话人同自己一起干什么事,也可以表示推测,但在会话中一般用するだろう(でしょう)代替。例如:

わたしは日本語を勉強しようと思っています。/我想学日语。

みんなでその問題を研究しよう。/大家都来研究那个问题吧。

その方面の技術はもっと進歩するだろう。/那方面的技术将会更加进步吧。

2. 连用形:

(1) 用来后续过去完了助动词た,接续助词て,ても,敬体助动词ます等,例如:

分子の中で,それぞれの原子は互いに引力をもって結びつき,安定した形になっている。/分子中,各个原子互相因引力而连在一起,形成稳定的形状。

これは,ガムをかむ運動が脳を刺激して,脳の活動を活発にするからである。/这是因为嚼口香糖的运动刺激大脑,使大脑活动活跃的缘故。

(2) 用来表示中顿

(3) 用以连接某些动词,接尾词等构成复合词。例如:

する+始める→し始める/开始干

する+かた→しかた/做法,方法

3. 终止形:用来结束句子或者后续终助词,某些接续助词(が,けれども,と,し等)以及だろう等。例如:

運転の試験にパスする。/通过驾驶考试。

4. 连体形:用以后续体言,使该动词或以该动词作谓语的句子、词组等作定语。例如:

Aを一つ作るのに要する労力はBの2倍である。/制作一个A产品所需劳力是B产品的二倍。

5. 假定形:用来后续接续助词ば表示假定。例如:

よく練習すれば、じょうずになるだろう。/好好练习就会长进。

6. 命令形:用来对听话人表示命令或表示号召。例如:

よく勉強しろ。/好好学习!

二、过去完了助动词た

1. 接续法:接用言、助动词连用形,其中五段动词有的要发生“音便”。
例如:

形 容 词:太かった 暖かった

形容动词:便利だった 豊富だった

五段动词:くりかえした 買った 持った 分かった

飛んだ 死んだ 進んだ 渡った 泳いだ 行った

一段动词:取れた 覚えた

サ变动词:した 練習した

助 动 词:だった でした であった なかった ました

2. 语法意义:

(1) 表示某个动作、状态是过去的,或过去实现了的。例如:

科学の進歩につれて、分子のもとには原子であることが分かった。/随着科学的进步,弄清楚了分子的组成成分是原子。

(2) 表示动作完成或某一情况出现了。例如:

きょうの新聞はもう読んだ。/今天的报纸已经看了。

月が出た。/月亮出来了。

(3) 表示某一状态已经存在或还在继续下去,但这一用法只限于作定语时的场合。例如:

しかし、今まで自分の時間が少なかったサラリーマンが、きょうに休みが多くなり、ぎゃくに困るというのです。/但是,据说从前自己的时间很少的白领职员突然休息时间多起来,反而觉得麻烦。

3. 形态变化:

形态	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
	たろ	○	た	た	たら	○
主要后续词或用法	う		结句、 が、けれども、 し、だろう、 か、ね	体言	(ば)	

未然形たら后续う表示推测,但会话中一般用ただろう的形式。假定形可以后续ば,也可以直接用たら表示假定。例如:

かれも行っただろう(行っただろう)。/他也去了吧。

いい天気だったら,町へ行くつもりです。/如果天气好,我想进城去。

三、提示助词しか

接续法和は相同,可以顶替が、を,也可和补格助词重叠。

其作用和意义是单提出一个事物来,对除此以外的一切事物都加否定,即表示“唯有”、“仅有”的意义。学习这个助词要注意的是,它后面的谓语一定要用否定形式与之呼应,即用否定的形式表示肯定的内容。例如:

かれしか行かない。/只有他去。(除他以外都不去)

かれは日本語(を)しか話すことができない。/他只会说日语。(除日语外都不会说)

わたしは一冊しか見ていない。/我只看了一本。

教室には学生が三人しかいない。/教室里只有三个学生。

四、副助词だけ

副助词だけ接续法与くらい相同。

だけの主要意义如下:

(1)表示程度。例如:

これだけあればじゅうぶんだ。/有这些就足够了。

それだけ知っていればいい。/知道那么多就行了。

(2)限定范围。例如:

私だけが知っている。/只有我知道。

あるだけの本を持ってきた。/把所有(尽其所有)的书都拿来了。

(3)用[用言假定形+ば+同一用言连体形+だけ]的惯用型表示“越……越……”的意思,例如:

位置が高ければ高いだけ位置エネルギーは大きくなる。/位置有多高,位能就有多大。

くらい(くらい)接在体言、用言连体形后,くらい和くらい完全相同,主要意义是表示大致的数量或程度,有时带有轻视的语气。例如:

本は五冊くらい残してある。/大约留下了五本书。

それくらいのことは私にもできる。/那点事儿我也干得了。

五、传闻助动词そうだ

传闻助动词そうだ接在用言、助动词的终止形后面,它的形态变化已不完全,只有连用形そうで(そうでし)和终止形そうだ(そうです)。这个助动词表示传说,可译作“据说……”、“听说……”。例如:

王さんはあした田舎へ帰るそうだ。/听说老王明天要回乡下去。
あのかたは昔学校の先生だったそうです。/听说那一位过去是老师。

練習

一、次の単語の振仮名をつけなさい(写出下列单词的振假名)。

画面 反応 結果 最大 効果 場合 大学 時速 手前 発見
運動 刺激 葉子 面接 教室 種類 製作 販売 利益 労力
伝統 可能 材料 等量 失礼 合計 危険 最近 休日 両側
標識 先輩 面倒 仲間 夜学 全部 高校 眼球 急速 放棄
物質 一晚

二、次の助詞を()の中に入れなさい(将下列助词填入括号内)。

で に から まで のに ぐらい だけ

1. 車を運転している時のガムは事故防止のため()いいそうです。
2. 信号()したがってブレーキやアクセルをふむ。
3. 家を出て()会社に着く()一時間()かかる。
4. ある会社()2種類の製品を作ること()なった。
5. 鈴木さんは二時間()電車()乗った。
6. これはガムをかむ運動が脳の活動を活発()する()である。
7. もう十二時だ()彼はまだ帰らない。

三、例にならって言い換えなさい(仿照例句变换说法)。

1. 例:私は日本語を勉強する。

→私は日本語を勉強しようと思っています。

(1) 鈴木さんはドイツに行って、ドイツの文化を研究する。

→

(2) 田中さんは毎日電車で通勤する。

→

2. 例:わたしはフランス語を勉強する。

→わたしはフランス語を勉強しない。

(1) あしたは化学の実験をする。

→

(2) 今日は新しい製品の試験の結果を発表する。

→

3. 例:よく勉強する。

→よく勉強しろ。

→よく勉強せよ。

(1) よく計算する。

→

→

(2) よく練習する。

→

→

4. 例:よく練習する。上手になるだろう。

→よく練習すれば、上手になるだろう。

(1) 脳の活動を活発にする。目がさめた状態になる。

→

(2) いねむり運転をする。交通事故を起こす。

→

四、例にならって次の文を書きなおしなさい(仿照例句改写下列句子)。

例:あの方はその医学研究グループの先生だ。

→あの方はその医学研究グループの先生だそうです。

1. 昔のある時代は日本の首都は京都だった。

→

2. 土曜日も休日だという「週休二日制」の会社もある。

→

3. 自分の時間が少なかったサラリーマンが、きゅうに休みが多くなり、ぎゃくに困る。

→

4. 会社の面接の時、ガムを許さない。

→

五、次の文を日本語に訳しなさい(将下列句子译成日语)。

1. 听说下午有雨。

2. 佐藤正在给在中国的弟弟写信。

3. 小李好象一点都不懂法语。

4. 这次入学考试可能很难。

だいじゅうにか
第 12 課

- | | | |
|-------|----|---|
| 本 | 文： | 一、バスはまだ来ない
二、渡り鳥の道
三、バスで行きましょう |
| 課外読物： | | 一、日本の四季
二、電気製品の扱い方 |
| 文 | 法： | 一、力行変格活用动词
二、補助动词くる, ゆく, みる, しまう
三、并列助词たり
四、接續助词ても |

本 文

一、バスはまだ来ない

夏休みのある日、太郎は次郎といっしょに駅へお母さんを迎えに行った。二人はバス停まで歩いて、そこでバスの来るのを待っていた。バスはなかなか来なかった。1分、2分、3分、…10分すぎた。

「おそいね」と、太郎が言った。

「小さい町だからね。」と次郎が答えた。30分すぎた。まだバスは来ない。

「タクシーで行こうか。そうしなければ、まにあわないなあ」と太郎が母からの駅まで迎えに来いという電報を見ながら言った。

「遅くても大丈夫だよ。お母さんが来れば、お父さんも一緒だから」と、次郎が答えた。

「でもお父さんは来るかどうか分からない。やはりタクシーを呼ぼうよ」と太郎は言った。

そこへタクシーが来た。結局、二人は、タクシーに乗ることに

した。車に乗ってすぐ、後ろを見ると、遠くからバスの走って来るのが見えた。

二、渡り鳥の道

五月になると、遠い南の国からツバメがやってきて、家の軒下などに巣をつくり、卵を産みます。そして、秋になり、寒い冬が近づいてくると、また、南の国へ帰っていきます。

ガンやカモは、春や夏のあいだ、北の国で暮らし、秋になると、南にやってきて、冬を過ごします。

ツバメやガンやカモのような鳥を“渡り鳥”といいます。渡り鳥は、遠いところから、広い海や野や山を越えてやってきますが、どうして道を間違えずに、同じところを行ったり来たりすることができるのでしょうか。ほんとうに不思議ですね。

高い山や大きな川や、森や灯台、広い道、列車の線路などは、目印になるでしょう。しかし、広広とした海には、目印になるようなものはなにもありません。

渡り鳥のことを研究している学者たちはいろいろのことを考えていますが、まだ渡り鳥のなぞをはっきりと解いてはいません。しかし、こんなおもしろいこともあります。

ヨーロッパとアフリカのあいだに、地中海という海があります。ヨーロッパとアフリカのあいだを行き来する渡り鳥は、この海の上を飛んでいくのですが、どういうわけか、いちばん幅の広いところを渡っていくのです。不思議に思って調べてみると、この幅の広いところには、大昔たくさんの島が並んでいたことが分かりました、ですから大昔には、この並んでいる島で休み休み飛んでいけば、ほかのところを渡っていくより楽だったわけです。この島は後に海の底に沈んでしまい、いまではなくなってしまっています。しかし、渡り鳥たちは、いまでも島が並んでいたところを飛んでいるわけです。

目印がなくても飛んでいくことができるのは、渡り鳥が決まった方向に決まった距離だけ飛ぶような性質を生まれつき備えているからかもしれません。

三、バスで行きましょう

A:バスで行きますか、タクシーで行きますか。

B: まだ早いから、バスで行きましょう。
 A: このバスはどこから来るのですか。
 B: 銀座から来るのです。
 A: なかなか来ないようですね。
 B: おそいですね、もう少し待ちましょう。
 A: あっ、バスが来ました。
 B: 込んでいないようです。よかったですね。

新 出 語

- | | |
|------------------|-----------------------------|
| 1 バス[bus] | (名)公共汽车 |
| 2 た ー ろ う [太郎] | (名)太郎, 长子 |
| 3 じ ろ う [次郎] | (名)次郎, 次子 |
| 4 おかあさん[お母さん] | (名)母亲 |
| 5 むかえる[迎える] | (他一)迎接 |
| 6 バステい[バス停] | (名)公共汽车站 |
| 7 なかなか | (副)(下接否定)怎么也…… |
| 8 すぎる[過ぎる] | (自一)(时间、日期、期限等)过, 经过,
越过 |
| 9 おそい[遅い] | (形)迟的 |
| 10 タクシー[taxi] | (名)出租车, 的士 |
| 11 まにあう[間に合う] | (自五)(时间)赶得上, 来得及 |
| 12 はは[母] | (名)母亲 |
| 13 でん ぼう[電報] | (名)电报 |
| 14 だい じょう ぶ[大丈夫] | (名・形动)不要紧, 靠得住, 没错儿 |
| 15 おとうさん[お父さん] | (名)父亲 |
| 16 いっ しょ[一緒] | (名)一同, 一起, 同时 |
| 17 やはり | (副)仍然, 也, 毕竟 |
| 18 よぶ[呼ぶ] | (他五)呼唤; 邀请; 称为 |
| 19 けっ きょく[結局] | (名)结局, 结果, 最后 |
| 20 うしろ[後ろ] | (名)后面 |
| 21 わたりどり[渡鳥] | (名)候鸟 |
| 22 ツバメ[燕] | (名)燕子 |
| 23 やってくる[やって来る] | (自力)来(“くる”的强调说法) |
| 24 のきした[軒下] | (名)屋檐下 |
| 25 す[巢] | (名)巢 |
| 26 たまご[卵] | (名)卵, 蛋 |
| 27 うむ[産む] | (他五)产 |

28	ちかづく[近づく]	(自五)接近
29	ガン	(名)雁
30	カモ	(名)野鴨
31	くらす[暮(ら)す]	(自五)生活
32	とおい[遠い]	(形)远的
33	の[野]	(名)原野
34	こえる[越える]	(他一)越过,超过
35	どうして	(副)为什么,如何地,怎样地
36	まちがえる[間違える]	(他一)弄错
37	おなじ[同じ]	(连体・形动)同一,相同
38	ふしぎ[不思議]	(形动)奇怪,不可思议
39	おおきな[大きな]	(连体)大的
40	もり[森]	(名)树林,森林
41	とう だい[灯台]	(名)灯塔
42	れっ しゃ[列車]	(名)列车
43	せん ろ[線路]	(名)线路
44	めじるし[目印]	(名)记号
45	ひろびろ(と)[広広(と)]	(副・自サ)宽广
46	がく しゃ[学者]	(名)学者
47	なぞ	(名)谜
48	とく[解く]	(他五)解开,解
49	おもしろい[面白い]	(形)有趣味、有意义的
50	ヨーロッパ[Europe]	(名)欧洲
51	アフリカ[Africa]	(名)非洲
52	ち ちゅう かい[地中海]	(名)地中海
53	いきき[行き来]	(名・自サ)来往
54	わけ[訳]	(名)道理,缘故
55	はば[幅]	(名)宽度,幅度
56	おおむかし[大昔]	(名)远古,古代
57	ならぶ[並ぶ]	(自五)排列,并列
58	ですから	(接)所以,因此
59	らく[楽]	(名・形动)愉快,轻松,轻易
60	のち[後]	(名)后,后来
61	そこ[底]	(名)底
62	しずむ[沈む]	(自五)下沉,沉
63	きまる[決まる]	(自五)决定,规定
64	きょ り[距離]	(名)距离
65	うまれつき[生まれつき]	(名・副)生来
66	そなえる[備える]	(他一)具备
67	もうすこし[もう少し]	(副)再稍微,再稍许

68 こむ[込む]

(自五)人多,拥挤、混杂

69 よい[良い・善い・好い]

(形)好,优秀,漂亮

本文の注釈

1. どういうわけか、…/不知是什么缘故……

这是どういうわけであるかの省略,か是副助词,表示疑惑,不安。

2. …休み休み飛んでいけば、/歇一歇飞一飞,这样往前飞的话……

休み休み是用动词连用形的形式重叠起来作状语,是表示“休息一会儿飞一会儿……”、“间歇地”的意思。

3. 込んでいないようです。/好象不挤。

ようだ是比况助动词,将在以后系统学习,它是接在用言连体形之后,或接在体言加の之后,形态变化与形容动词相同,它表示“好象……”“如同……”一类意义。如课文中的:

ツバメやガンのような鳥を“渡り鳥”といいます。/燕子和雁之类的鸟叫“候鸟”。

目印になるようなものは…/如同记号一样的东西……

慣用型

1. (动词连体形)ことにする[补助惯用型]

用以表示主观决定,可译作“决定……”“于是就……”。例如:

バスで行くことにした。/决定坐公共汽车去。

2. (用言终止形)かどうか[修饰惯用型]

表示“是否……”的意思,如:

できるかどうか分からない。/不知道会不会。

3. (动词未然形)ずに…[修饰惯用型]

这个惯用型用以构成表示方式的状语,可译作“不……地……”,“不……而……”。例如:

渡り鳥は道を間違えずに,同じところを行ったり来たりすることができ。/候鸟能够不迷路地在同一个地方来来往往。

4. (句)かもしれない。[补助惯用型]

这个惯用型用以表示说话人的不确切的判断,可译作“也许……”“可能……”。一个句子句末如果是だ(指定助动词、形容动词终止形词尾)时,だ常常省略。例如:

かれは来ないかもしれない。/他也许不会来。

あすは雨かもしれない。/明天也许会下雨。

目印がなくても飛んでいくことができるのは、渡り鳥が決まった方向

に決まった距離だけ飛ぶような性質を生まれつき備えているからかもしれません。/没有记号也能往前飞,这可能是因為候鸟生来就有按一定的方向飞一定的距离的天性的缘故。

5. (句)わけです[補助慣用型]

用以说明作出上述叙述的理由,原因,或用以作总结。翻译时要灵活处理。例如:

渡り鳥は目印がなくても飛んでいくことができるわけだ。/候鸟(按理说)没有记号也能飞去。

課外読物

一、日本の四季

日本は四季——つまり春,夏,秋,冬がはっきりしています。

春になれば,雪がとけ,暖かくなって,きれいな花もたくさん咲き出します。五月は新緑の季節で,野山の若葉をわたる風もさわやかです。

六月の梅雨から夏に入り,七月と八月は,学校では夏休みになります。海へ泳ぎに行く人,山に行く人,また故郷に帰省する人も多いです。

九月は残暑が続きますが,だんだん涼しくなり,秋を迎えます。農作業もいちばん忙しい季節です。野山の木の葉も紅葉し,各地の行楽地もたくさんの人出でにぎわいます。また,秋はくだものもいちばんおいしい季節です。

そして,冷たい風が吹きはじめると,冬がやってきます。寒い地方では十一月ごろから雪も降りはじめます。山では,スキーがさかんです。

二、電気製品の扱い方

最近は電気製品もずいぶんいろいろ増えて,便利になりましたね。

——そうですね。でも,正しい扱い方を知らないと,ときどき困ることがあります。

例えば,どんなときですか。

——一度にたくさんの電気を使って,ヒューズが飛んだりした場合,修理できなければ不便です。

ひとつの電源からいくつもコードを引いたり,また,乱暴に引っばって電線がいたんで漏電したりすることがないように注意しなければなりません。また,ぬれた手で電気に触れると感電する危険性があります。

このほか,電気製品を使う場合には,説明書をよく読み,また日ごろから電気についての知識を身につけておかなければなりません。

选自《日语(理工科用)》第二版第二册第六课

注 釈

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1 さきだす[咲き出す] | (自五)开始开(花) |
| 2 わかば[若葉] | (名)嫩叶 |
| 3 さわやか | (形动)爽快 |
| 4 つゆ[梅雨] | (名)梅雨 |
| 5 き せい[帰省] | (名・自サ)回乡,探亲 |
| 6 このは[木の葉] | (名)树叶 |
| 7 こう よう[紅葉] | (名・自サ)红叶,树叶变红 |
| 8 こう らく ち[行楽地] | (名)旅游点 |
| 9 ひとで[人出] | (名)外出的人群 |
| 10 にぎわう | (自五)热闹 |
| 11 スキー[ski] | (名)滑雪 |
| 12 さかん[盛ん] | (形动)盛行,旺盛 |
| 13 あつかう[扱う] | (他五)操作,处理 |
| あつかいかた[扱い方] | (名)使用方法 |
| 14 ずい ぶん[(随分)] | (副)相当,很 |
| 15 ふえる[増える] | (自一)增加 |
| 16 ただしい[正しい] | (形)正确的 |
| 17 コード[cord] | (名)软线 |
| 18 らん ぼう[乱暴] | (名・自サ・形动)粗暴,马虎 |
| 19 ひっぱる[引っ張る] | (他五)拉,用力曳,拖 |
| 20 いたむ[(傷)む] | (自一)破损,弄坏 |
| 21 ぬれる[濡れる] | (自一)弄湿 |
| 22 ふれる[触れる] | (自他一)接触 |
| 23 かん でん[感電] | (名・自サ)触电 |
| 24 ひごろ[日ごろ] | (名)平日,平时 |
| 25 みにつける[身に付ける] | (词组)掌握 |

文 法

一、力行变格活用动词的活用

力行变格活用动词只有一个词:来る,而且没有する那样的构词功能,这也是一种不规则活用的动词,没有词干词尾之分,形态变化如下:

形 态 词	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
来る	こ	き	くる	くる	くれ	こい
主要后续 词或用法	ない(ぬ) よう	用 言 て、た、 ます	结句、が、 けれども し、と、 だろう 终助词	体言	ば	

1. 未然形:接ない,ぬ(ん),よう都是用こ。例如:
かれは来ない。[来ぬ(ん)]/他不来。(否定)
僕も来よう。/我也来。(愿望)
いっしょに来よう。/一起来吧!(祈使)
彼も来よう(来るだろう)。/他可能也会来吧。(推测)
2. 连用形:用来后续た,て,ます等。例如:
わたしは北京に来て大学にはいった。/我来到北京进了大学。
きょうは兄が北京に来ます。/今天哥哥来北京。
李さんがここに来た。/老李到这儿来了。
3. 终止形:用来结句或后续终助词、だろう等。例如:
あしたはくの友達が来る。/我的朋友明天来。
かれも来るだろう。/他也会来吧。
4. 连体形:后续体言作定语。例如:
北京に来る外国人はよくその公園へ行きます。/到北京来的外国人常去那个公园。
5. 假定形:后续ば表示假定。例如:
彼が来れば、ぼくも来る。/他来我也来。
6. 命令形:用以对听话人表示命令。例如:
早く来い。/快来!

二、 补助动词くる,ゆく,みる,しまう

补助动词くる通过接续助词て与前面的动词相接,用以表示动作状态在时间上、空间上、发展趋势上由远及近的发展,或表示某一状况逐渐出现。大致相当于汉语的补语“……起来”“……来”的作用,根据情况也可译作“越来越……了”,“渐渐……了”。例如:

雨が降ってきた。/下起雨来了。

科学の進歩につれて、分子を作っている小さな粒は原子であることが分かってきた。/随着科学的进步,逐渐弄清了构成分子的微粒子是原子。

五月になると、ツバメはまた帰ってくる。/到了五月,燕子又回来。

补助动词いく(ゆく)通过接续助词て与前面的动词相接,用以表示动作、状态在时间上、空间上、发展趋势上由近向远的发展。大致相当于汉语的补语“……下去”,“……过去”。例如:

これからは寒くなっていくだろう。/今后会要冷起来了吧。

かれは図書館へはいっていった。/他走进图书馆了。

不一定采取…ていく的形式的都是补助动词,如果前面的动词不是表示发展、移动等方面的意义的动词,有时候いく就仍是实义动词。例如:

かれは新聞を買って行った。/他买了报纸走了。

みる作实义动词用时,其意义是“看”,作补助动词用时表示动作的短暂或尝试。汉语表示短暂一般用动词的重叠式(如:研究研究,读一读),表示尝试一般用“……看”的形式(如:数数看)。例如:

いっしょに調べてみないか。/我们一起来研究研究,好吗?

池にいる魚を数えてみよう。/数数池子里的鱼看。

不一定凡是采取…てみる形式的都是补助动词。要注意区分,例如:

ふたを開けて見ると,りんごが二個ある。/打开盖子一看,有两个苹果。

“開けて見る”是两个动作相继发生。一般说,补助动词在习惯上不写汉字。

しまう作实义动词用时,其基本意义是“使完结”的意思,作补助动词用时表示动作全部结束,或表示不能恢复原状,有时带有一种遗憾的语气。例如:

バスが出てしまった。/公共汽车开出去了(しまった是しまう的过去形式)

三、 并列助词たり

たり接在用言、某些助动词连用形后面,接续方法与た・て相同。如:

形容词 暑い→暑かったり

形容动词 相対的だ→相対的だった

五段动词 話す→話したり

繰り返す→繰り返したり

買う→買ったり

進む→進んだり

動く→動いたり

泳ぐ→泳いだり

行く→行ったり

一段动词 覚える→覚えたり

取れる→取れたり

サ变动词 する→したり

進歩する→進歩したり

力変动词 来る→来たり

指定助动词 だ→だったり

である→であったり

否定助动词 ない→なかったり

たりの用法和意义如下:

1. 列举同类的动作或状态,表示动作或状态的交替发生或同时发生。一般说,动作主体为单数时,是表示交替发生,可译作“或者……或者……”、“有时……有时……”;当动作主体为复数时,也可表示有的是这种情况,有的是那种情况,可译作“有的……有的……”、“或……或……”。用言由たり并列起来后构成的是体言性词组,因此常常在后面接一个する,即用“……たり…たりする”的形式,其用法基本上与サ变动词相同。例如:

きのうわたしはラジオを聞いたりテレビを見たりして日本語を勉強しました。/昨天我听收音机学日语,又看电视学日语。

学生たちは本を読んだり,練習をしたりしている。/学生在看书或者作练习。

2. 举出一个代表性的动作和状态作例子,以概括其他,此时用…たりする的形式。例如:

今年の夏休みは海へ泳ぎに行ったりしてとても楽しかった。/今年暑假我们去海滨游泳什么的,过得愉快。

四、接续助词ても

ても接在用言连用形(五段动词有音变,形容词词尾く)后面,表示一种让步意义的转折关系,相当于汉语的“即使……也……”、“尽管……也……”
例如: あなたが行っても、ぼくは行かない。/即使你去,我也不去。

遅くても大丈夫だ。/迟到也不要紧。

如果前面用表示不定的词(どこ,どれ,どの,なに,どんな,いくら等)与之呼应,就表示全面的肯定(谓语用肯定形式)或全面的否定(谓语用否定的形式),相当于汉语的“无论……都……”“不论……也……”。例如:

なにをしてもいい。/干什么都行。

いくら説明しても分からない。/怎么解释也不明白。

練習

一、次の文を朗読して、そして、下線をつけたことばの振仮名を付けなさい
(朗读下列句子,然后写出划线单词的振假名)。

1. 五月になると、遠い南の国からツバメがやってきて、家の軒下などに巣をつくり、卵を産みます。

2. 広広としに海には、目印になるようなものは何もありません。
3. 渡り鳥が決まった方向に決まった距離だけ飛ぶような性質を生まれつき備えているでしょう。
4. 海岸で大勢の人が力いっぱい網を引いています。
5. 二酸化炭素ガスは酸素原子二個と炭素原子1個からできています。
6. 分子や原子は非常に小さいものですから、普通の顕微鏡では見えません。
7. 研究が進むにつれて、原子核もさらに小さな粒からできているということが分かりました。

二、ア、イ、ウから最も適当な助詞を一つ選んで____の上書きなさい(从ア、イ、ウ中选择一个最合适的助词填在横线上。)

1. 今日はおじいさんの家へ遊び____行った。
ア で イ に ウ へ
2. わたしは汽車____乗ります。
ア を イ に ウ で
3. 鳥は空____飛んでいる。
ア を イ で ウ に
4. 人々は網____魚を捕っています。
ア を イ で ウ に
5. これはドイツの新聞です。それ____ドイツの新聞です。
ア は イ が ウ も
6. その人は駅の前に立って私たちに手____振っている。
ア が イ で ウ を
7. 田中さんは毎日歩い____学校へ行く。
ア て イ で ウ に
8. 佐藤さんはある日、高校の時の友だち____二人____銀座へ飲みに行った。
ア で、と イ と、が ウ と、で
9. おじいさんの家は山____建っていて、木造____家です。
ア で、の イ に、で ウ に、の
10. 横____なって眠りにはいる____、眠りはどんどん深くなるでしょう。
ア を、と イ に、で ウ に、と

三、次の助詞の中から適当なものを選んで()中に入れなさい(从下列助词中选出合适的填入括号中)。

から まで へ でも で ても や など

1. 彼は貿易会社()働きながら、夜学()フランス語を勉強する。
2. わにしは七時()八時()兄の帰るのを待っている。
3. もっと高い所()登って見ましょう。

4. よく米()お酒を作る。
5. 私たちはだれ()一晩に2時間夢を見る。
6. コンピューター・グラフィックス()町の画面を見せる。
7. 遅く()大丈夫だよ。
8. 伊藤さんはあのバス停()行って、バスの来るのを待っていた。
9. ツバメが南の国へ帰っていったのは、寒い冬が近づいてきた()です。
10. 高い山()大きな川(), 森(), 灯台, 広い道の線路()は、目印のものになるでしょう。

四、次の文を完成しなさい(完成下列句子)。

1. 僕が____(くる)ば、彼も____(くる)だろう。
2. みんないっしょに____(くる)よう。
3. 明日、彼は____(くる)ないだろう。
- 4.きのう李さんが学校に____(くる)た。
5. 鳥は空へ飛んで____(いく)た。
6. 春が____(くる)と桜の花が咲き始めます。
7. 雨が降って____(くる)ました。早く帰りましょう。
8. その人は日本から____(くる)たのです。
9. もう一回日本へ____(くる)ようと思っています。

五、例にならって次の文を完成しなさい(仿照例句完成下列句子)。

例: 渡り鳥は道を間違えずに同じところを(行く)たり(来る)たりしている。

→ 渡り鳥は道を間違えずに同じところを行ったり来たりしている。

1. このごろは(寒い)たり、(暖かい)たりします。→
2. ツバメは家の軒下に巢を(作る)たり(する)て、とても忙しい。→
3. そんなところへ行って(遊ぶ)たりしてはだめです。→
4. 日曜日は映画を(見る)たり本を(読む)たりして過ごします。→

六、次の文を日本語に訳しなさい(将下列各句译成日语)。

1. 昨天我跟着哥哥登上了富士山。
2. 佐藤和朋友在酒馆里边喝酒边谈话。
3. 听说木造的房子对身体有好处。
4. 小鸟从窗户飞向了天空。
5. 他决定去上一个半月夜校。

だいじゅうさん か
第 13 課

- | | | |
|-------|-------------------------|------------------------------|
| 本 | 文： | 一、文化の日
二、看板
三、ひどい目にあった |
| 課外読物： | 一、静電気
二、手紙を出してから届くまで | |
| 文 | 法： | 一、被动语态与被动助动词
二、接续助词から |

本 文

一、文化の日

日本の気候は五月と十一月が一番良いとされていますが、十一月になると、菊の花が咲きます。菊は日本の国の花といわれていて、ご承知かもしれませんが、天皇の紋は菊の花です。菊の花には大きいのも、小さいのもありますが、十一月の初めに各地で菊の展覧会が催されます。

十一月三日は法律で文化の日と決められています。この日、政府は文化のために尽した人を選びますが、選ばれた人たちは皇居で天皇から文化勲章をいただいて記念の午餐会に招待されます。文化勲章は非常な名誉で、これをもらった人は一年に百万円の年金を受けることになっています。

この文化の日を記念して、全国の学校では学芸会とか運動会が行なわれますが、祭日ですから、秋のもみじを見に行く人も多いのです。

二、看板

「看板を出す」という言葉は、事業をおこす、仕事を始める、という意味で使われる。

看板——それは。商売を行う者が客に向けて送る自己紹介のメッセージであり、主張である、と思う。

自分をアピールするために知恵を絞り、繁栄への期待と、誇りを込めて作りあげたものが看板だとすれば、そこにはメッセージ、主張がおのずと含まれているはずで、時代や国民性も反映されているのではないだろうか。

街を歩いてみた。今さらのように、看板の多さに驚かされる。

外来語やアルファベットで表された、真新しい看板が目立つが、そのなかでぼつり、ぼつりと、「年代もの」に出合うことができた。それらは、周囲のビル群に圧倒されるのでもなく、孤立するのでもなく、ただ自然に、しかし堂々と生き続けていた。

「看板をおろす」とは、廃業することである。そのようにして消えていった看板も多いはずだ。「看板を守る」とは、事業を続けることである。

時代の急流の中で、日本の看板の伝統は生きているように見えた。

三、ひどい目にあった

A: ゆうべ、発表の準備をしましたか。

B: いいえ、友だちに來られて、勉強できませんでした。それに、不愉快なことがあって、そういう気にならなかったのです。

A: どうしたのですか。

B: 昨日はひどい目にあったのです。電車の中で、すりに財布をとられました。財布と一緒にパスポートもとられました。

A: それは困りましたね。警察に行きましたか。

B: ええ、そこで住所と名前を聞かれました。

新 出 語

- | | |
|-------------|----------------------|
| 1 き こう[気候] | (名)气候 |
| 2 きく[菊] | (名)菊花 |
| 3 しょう ち[承知] | (名・他サ)知道, 同意, 允许 |
| 4 てん のう[天皇] | (名)天皇 |
| 5 もん[紋] | (名)花纹, 花样, (日本各家的)家徽 |
| 6 かく ち[各地] | (名)各地 |

7	てん らん かい[展览会]	(名)展览会
8	もよおす[催す]	(他五)举办,举行
9	ほう りつ[法律]	(名)法律
10	せい ふ[政府]	(名)政府
11	つくす[尽す]	(他五)尽,竭尽,尽力
12	えらぶ[選ぶ]	(他五)选择,选
13	こう きょ[皇居]	(名)皇居
14	くん しょう[勲章]	(名)勋章
15	いただく[頂く]	(他五)(もらう的敬语动词)得到
16	き ねん[記念]	(名・他サ)纪念
17	ご さん かい[午餐会]	(名)午餐会
18	しょう たい[招待]	(名・他サ)招待
19	めい よ[名誉]	(名)名誉
20	もらう	(他五)接受,领受,取得
21	ねん きん[年金]	(名)年金,养老金
22	うける[受ける・承ける]	(他一)接受,继承,承受
23	ぜん こく[全国]	(名)全国
24	がく げい かい[学芸会]	(名)(小学校等)学习成绩汇报演出会
25	うん どう かい[運動会]	(名)运动会
26	おこなう[行う]	(他五)做,举行,进行
27	さい じつ[祭日]	(名)祭祀日,节日
28	もみじ[紅葉]	(名)红叶
29	かん ばん[看板]	(名)(商店等的)招牌,幌子
30	ことば[言葉]	(名)语言,词,语
31	じ ぎょう[事業]	(名)事业
32	むける[向ける]	(他一)向,朝,对
33	じ こ[自己]	(名)自己
34	しょう かい[紹介]	(名・他サ)介绍
	じ こ しょう かい[自己紹介]	自我介绍
35	メッセージ[messenger]	(名)消息,致词,信使
36	しゅ ちょう[主張]	(名・他サ)主张
37	アピール[appeal]	(名・他自サ)呼吁,(俗)受欢迎,得到好评;(有)魅力
38	ち え[知恵]	(名)智慧
39	しばる[絞る・搾る]	(他五)拧,硬挤,强逼
40	はん えい[繁栄]	(名)繁荣
41	き たい[期待]	(名・他サ)期待
42	ほこり[誇り]	(名)自豪,引以为荣,荣誉
43	こめる[込める]	(他一)装填;含有,带着

44	おのずと[自(ず)と]	(副)自然而然地
45	ふくむ[含む]	(他五)含有, 包括
46	はず	(名)(表示当然)应该, 理应
47	こく みんな せい[国民性]	(名)国民性
48	はん えい[反映]	(名・自他サ)反映
49	まち[街]	(名)街道, 大街
50	いまさらのように[今更のように]	(副)仿佛现在才发觉似地, 仿佛现在才知道似地(实际已经知道)
51	アルファベット[alphabet]	(名)罗马字母, 字母表
52	おどろく[驚く]	(自五)吃惊, 惊恐
53	あらわす[表す・現(わ)す]	(他五)表示, 表现, 显出
54	まあたらしい[真新しい]	(形)全新的, 崭新的
55	めだつ[目立つ]	(自五)引人注目, 显眼
56	ぼつりぼつり(と)	(副)断断续续地
57	ねん だい[年代]	(名)年代, 时代
58	であう[出合う・出会う]	(自五)(偶然)遇见, 碰见
59	しゅう い[周围]	(名)周围
60	ビルぐん[ビル群]	(名)建筑群
61	あっ とう[压倒]	(名・他サ)压倒, 凌驾
62	こ りつ[孤立]	(名・他サ)孤立
63	どうどう(と)[堂堂(と)]	(副)堂堂正正, 威风凛凛
64	おろす[下(ろ)す・降ろす]	(他五)放下, 弄下, 落下
65	いきる[生きる]	(自一)活(着), 生活
66	はい ぎょう[廃業]	(名・他サ)废业, 弃职, 倒闭
67	きえる[消える]	(自一)消失
68	きゅう りゅう[急流]	(名)急流
69	でん とう[伝統]	(名)传统
70	ひどい[酷い・非道い]	(形)残酷, 无情, 厉害
71	ゆうべ	(名)昨晚
72	ひどいめにあう[酷い目に合う]	(词组)遭殃
73	じゅん び[準備]	(名・他サ)准备
74	ふ ゆ かい[不愉快]	(名・形动)不愉快, 不高兴
75	すり	(名)扒手, 小偷
76	さい ふ[財布]	(名)钱包
77	パスポート[passport]	(名)护照, 身份证
78	けい さつ[警察]	(名)警察, 警察局
79	じゅう しょ[住所]	(名)住所, 住址
80	なまえ[名前・名まえ]	(名)姓名, 名字

慣 用 型

1. (用言终止形、词组、句)とすれば[修飾慣用型]
用以构成一个状语或状语从句,表示假定条件,可译作“如果……”“假如……”。例如:
看板が自己の主張だとすれば,自己の趣味も反映されているはずだ。/如果说招牌就是自己的主张,当然也就反映了自己的爱好。
2. (用言连体形)はずだ[補助慣用型]
表示根据客观事实推断理应如此,可译作“自然会……”“当然……”如上例。
3. (用言连体形・句)のではないだろうか[補助慣用型]
用以表示婉曲的断定,可译作“不是……吗?”例如:
それは堂堂と生きていたのではないだろうか。/它不是堂堂皇皇地生存下来了吗?
4. (用言连体形・体言十の)ように見える[補助慣用型]
用以表示婉曲的肯定或茫然的描写,可译作“看来好象……”,“看起来似乎……”。例如:
その店は廃業したように見える。/那家店铺看起来好象停业了一般。

課 外 読 物

一、静電気

ある物体がつくえの上においてある。このばあい,物体がつくえをおす力や,その反作用としてつくえが物体をさきえている力,ばねの力,摩擦力などは,物体と物体とが接触するときにはたらく力である。しかし,重力は,物体に接触しなくてもはたらく。重力だけでなく,磁力もそうである。鉄片は,磁石に接触しなくても,磁力によってひきつけられる。それでは,電気のばあいはどうであろうか。

プラスチックの下敷きと薄紙とをこすりあわせてからはがすと,薄紙は,下敷きのほうへひかれる。これは,摩擦によって下敷きと薄紙とに電気が生じ,静電気力がはたらくからである。物体に電気が生じることを帯電という。このとき,物体に生じた電気の量を電気量または電荷という。

また,ガラス棒を絹布でこすっても両方が帯電する。このガラス棒どうしは反発しあう。そのほか,いろいろな物質を組みあわせても,摩擦によ

て帯電することが知られている。生じた電荷がひきあうと考えれば、これらの現象は理解されやすい。絹布でこすったガラス棒に生じたもの、およびそれと同種の電荷は正電荷と呼ばれ、絹布に生じたもの、およびそれと同種の電荷は負電荷とよばれる。

物体の質量にはたらく重力は、つねに引力であるが、静電気力は、異種の電荷のあいだでは引力、同種の電荷のあいだでは斥力としてはたらく。

日常生活においても、われわれは、合成皮革のくつなどの表面が、ほこりでよごれやすいことに気がつく。その材料であるプラスチックとちりの粒子とが摩擦によって帯電し、引力をおよぼしあうからである。

二、手紙を出してから届くまで

手紙はどのようにして届くのでしょうか。私たちは手紙を書いて切手をはってポストに入れますね。ポストに入れられた手紙は、一日に何回か、郵便自動車で郵便局まで運ばれます。つまり、町のあちこちのポストからたくさんの手紙がここに集められるのです。そして、ここで近くの町や遠い地方、外国へ出す手紙などに分けられます。それらの手紙は、また各地の郵便局に送られ、そして手紙を待っている人に届けられるのです。一通の手紙にも、このように多くの人の作業を経て、安全に届けられるよう、注意がはらわれているのです。

选自《日语(理工科用)》第二版第二册第七课

注 釈

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1 おす〔押す〕 | (他五)推 |
| 2 ささえる〔(支)える〕 | (他一)支持, 支撑 |
| 3 ばね | (名)反弹; 弹簧 |
| 4 ひきつける〔引きつける〕 | (他一)吸引 |
| 5 プラスチック〔plastic〕 | (名)塑料 |
| 6 したじき〔下敷き〕 | (名)垫子 |
| 7 こする〔(擦)る〕 | (他五)擦 |
| こすりあわせる〔(擦)り合わせる〕 | (他一)使互相擦 |
| 8 はがす〔(剥)がす〕 | (他五)剥, 撕 |
| 9 しょうじる〔生じる〕 | (自他一)生, 发生 |
| 10 ガラスぼう〔荷 glass 棒〕 | (名)玻璃棒 |
| 11 どう し〔同士〕 | (接尾)彼此之间 |
| 12 はん ばつ〔反発〕 | (名・自他サ)反抗, 排斥 |
| 13 あう | (接尾)互相…… |
| 14 くみあわせる〔組み合わせる〕 | (他一)组合 |

15 やすい[(易)い]	(接尾)容易……
16 および[及び]	(接)以及
17 ごう せい ひ かく[合成皮革]	(名)人造革
18 ほこり[(埃)]	(名)灰尘
19 よごれる[(汚)れる]	(自一)弄脏
20 きがつく[気がつく]	(词组)留意
21 ちり[(塵)]	(名)尘土
22 およぼす[及ぼす]	(他五)施加
23 とどく[届く]	(自五)到达
24 きって[切手]	(名)邮票
25 はる	(他五)贴
26 ポスト[post]	(名)邮筒,信箱
27 ゆう びん じ どう しゃ[郵便自動車]	(名)邮车
28 あちこち	(名)到处,各处
29 あつめる[集める]	(他一)收集,集中
30 わける[分ける]	(他一)分
31 とどける[届ける]	(他一)送到
32 いっ ふう[一通]	(数)一封
33 へる[経る]	(他一)经过

文 法

一、被动语态与被动助动词

语态(相)指的是动词所表现的动作与主语的关系。日语有五种语态:主动语态(能動相)、被动语态(受動相)、使动语态(使役相)、可能语态(可能相)、敬语态(敬相)

以主动语态动词作谓语的句子叫主动句(能動文),在主动句中主语是动作的执行者(施事)。以被动语态动词作谓语的句子叫被动句(受動文),在被动句中主语是动作的承受者(受事)。

五段动词未然形接被动助动词れる,五段以外动词未然形接被动助动词られる,即可构成被动语态动词。如:

五段: かう→かわ+れる→かわれる

一段: おほえる→おほえ+られる→おほえられる

カ变: くる→こ+られる→こられる

サ变: 運転→運転せ+られる→運転せられる→運転される

要注意サ变动词要用せ接られる,せられる常約音為される。

将主动句变成被动句可分三步进行:

(1) 先把主动句里的宾语变成被动句中的主语。

すりが財布をとった。/小偷偷了钱包。

財布が……

(2) 再把主动语里的主语变成带に或からの补语,或者变成带惯用型によつて的状語。

財布がすりに(かゝ,によつて)……

(3) 最后把动词变成被动语态。

財布がすりにとられた。/钱包被小偷偷了。

有的被动句中仍然有宾语,如:

わたしは警察に住所と名前を聞かれました。/我被警察询问了住址和姓名。

这是由于主动句变被动句时,原来表示间接受事的补语(私に)变成了主语,原来表示施事的主语(警察が)变成了状语(或补语)的缘故。

另外还有一种宾语保留的情况,那是原宾语中的领属性定语变成了被动句中的主语。例如:

私はすりに財布をとられた。(すりは私の財布をとった。)

被动助动词れる,られる的形态变化与一段动词相同:见下表:

形 态 词 别	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
れる	れ	れ	れる	れる	れれ	れろ (れよ)
られる	られ	られ	られる	られる	られれ	られろ (られよ)
主要后续 词或用法	ない,ぬ, よう	て,た, ます	けれども,が と,し,结句	体言	ば	

各形态的用法如下:

(1) 未然形:

私は早く家に帰ったので,雨に降られなかった。/因为我很早就回家了,没有淋到雨。

科学の進歩につれて,渡り鳥のなぞもはっきりと解かれよう。/随着科学的进步,候鸟之谜一定也会被揭开的。

(2) 连用形:

これらの現象は理解されやすい。/这些现象容易被理解。

十一月の初めに各地で菊の展覧会が催されます。/十一月初,各地都举办菊展。

(3) 终止形

十一月三日は法律で文化の日と決められる。/法律规定十一月三日为

文化节。

(4) 连体形

つくえにささえられる物体はつくえをおす力がある。/被桌子支撑的物体有一个压向桌子的力。

(5) 假定形

友だちに来られれば、勉強ができなくなる。/要是朋友来了，就学不成了。

(6) 命令形

風に吹かれろ。/让风去刮吧。

另外，在日语里，有的自动词也有被动语态，此时多表示受损害。如：雨に降られる。/被雨淋。 父に死なれる。/丧父。

二、接续助词から

から接在用言和助动词的终止形后面，使所接单词、词组变成一个状语，或使一个句子变成从句，用以说明后面叙述的事项的主观理由。例如：

雨だったから行かなかったのだ。/因为下雨，所以没有去。

暑いから窓を開けて下さい。/天气热，请打开窗户。

練習

一、次の文を朗読して、そして、下線をつけたことばの漢字を書きなさい(朗读下列各句，然后写出划线单词的汉字)。

1. 菊は日本の国の花といわれていて、こしょうちかもしれませんが、てんのうのものは菊の花です。
2. 十一月みっかはほうりつで文化の日と決められています。
3. 文化くんしょうは非常なめいよで、これをもらった人は一年に百万円のねんきんを受けることになっています。
4. 「看板をだす」ということばはじぎょうをおこす、仕事を始める、といういみで使われる。
5. 看板にはじだいやこくみんせいもはんえいされているのではないだろうか。
6. こんどのはっぴょうのじゅんぴをしましたか。
7. ゆうべバス停ですりにさいふをとられました。
8. けいさつでじゅうしょとなまえを聞かれました。

二、今まで習った単語によって次の漢字の音読と訓読を言いなさい(根据已学单词说出下列汉字的音读和训读)。

1. 粒子・粒→粒；
2. 電子・子→子；

3. 方向・方→方:
4. 住所・所→所:
5. 木造・木→木:
6. 税金・金→金:
7. 汽車・車→車:
8. 休日・日→日:
9. 国民・国→国
10. 大体・体→体:
11. 労力・力→力:
12. 進歩・進む→進:
13. 最初・最も→最:
14. 発見・見る→見:
15. 分子・分かる→分:
16. 数・数字→数:
17. 最小・小さい→小:
18. 新聞・新しい→新:
19. 地中海・中→中:
20. 一週間・間→間:

三、ア、イ、ウ、から最も適当な助詞を一つ選んで、____の上に入れなさい
(从ア、イ、ウ中选择一个最合适的助词填空)。

1. 日本____桜の花____有名です。
ア の は イ が は ウ は の
2. 春が来る____花____咲く。
ア と は イ と が ウ し が
3. 李さんは歌が上手な____,今日は一つも歌いませんでした。
ア から イ のが ウ のに
4. 汽車はバス____速いです。
ア より イ ように ウ ような
5. とても忙しい____,彼はまだ毎日遊んでいる。
ア のが イ ので ウ のに
6. 昼は暖かい____,夜はまだ寒い。
ア が イ から ウ のに
7. あしたはどこ____行かない。
ア でも イ へも ウ まで
8. 部屋には一人____いない。
ア は イ が ウ も
9. バス____一時間かかったのだから,歩いたら大変だっただろう。
ア ても イ でも ウ が
10. 伊藤さんはフランス語____できない。
ア だけ イ しか ウ ぐらい

四、()の中の動詞を使って文を完成しなさい(用括号内的动词完成句子)。

1. 魚は猫に_____ (食べる)た。
2. 研究の進歩につれて、渡り鳥のなぞもはっきりと_____ (解く)よう。
3. 富士山は日本で一番高い山だと_____ (言う)ています。
4. 秋に入ると、各地で菊の展覧会が_____ (催す)ます。
5. 雨に_____ (降る)て困りました。
6. 日本の気候は五月と十一月が一番良いと_____ (する)ます。
7. 田中先生はすりに財布を_____ (とる)てしまった。
8. ゆうべ友だちに_____ (来る)て、勉強できなかった。
9. この本はだれによって_____ (書く)たのですか。
10. _____ (選ぶ)た人たちは皇宮で天皇から文化勲章をいただいて記念の午餐会に_____ (招待する)。

五、次の文を日本語に訳しなさい(将下列句子译成日语)。

1. 他在中国学了五年中文,中文理应很好。
2. 有樱花啦、桃花啦,各种各样的花。
3. 据说不管是谁每天晚上都会作梦。
4. 即使下雨,我们也去看电影。
5. 他在房子里来来去去,好象不安心似的。

だいじゅうよん か
第 14 課

本 文：一、インタビュー
二、日本語の授業
課外読物：一、新しい技術革命
二、電子計算機
文 法：一、使動語態与使動助動詞
二、副助詞ばかり
三、敬体助動詞ます

本 文

一、インタビュー

今日は、佐々木コーチにインタビューして、選手の様子や練習などについて、いろいろ尋ねることにした。我々放送研究会のメンバー（鈴木、小林、池田）は、約束の時間に佐々木コーチを訪問した。

鈴 木：さっそくですが、佐々木さんは、選手に一日どれぐらい練習させていますか。

佐々木：そうですね。今は、毎日必ず、六時間ぐらいやらせることにしています。

小 林：たいへんですね、それで、選手のかたがたの調子はどうですか。

佐々木：非常にいいです。私は選手に、悪いところをどんどん改めさせますが、よく言うことを聞いてくれます。

池 田：食べ物には、ずいぶん気をつけるでしょう。

佐々木：ええ、冷たい物を飲ませないようにしています。食事は、なるべく栄養のある物を食べさせています。あまり、ご飯ばかりたくさん食べさせないようにしています。

鈴 木：お酒も飲まないほうが、いいでしょうね。

佐々木:お酒は,もちろん飲ませないようにしています。それから,睡眠を十分にとらせます。昼寝も必ずさせています。
鈴 木:なるほど。練習時間以外は,できるだけ選手を休ませるようにしているんですね。選手に,映画やテレビを自由に見させていますか。
佐々木:ええ,気分を変えさせるのにいいですから,適当に見させています。
鈴 木:ああ,そうですか。それで,練習の方法は?
佐々木:現在は,技術を中心に練習させています。
池 田:ところで,今度の試合の相手は?
佐々木:来月の十日に,英国のチームと,試合することになっています。
池 田:そうですか。あと二週間ぐらいしかありませんね。しっかりがんばってください。
佐々木:ありがとうございます。ぜひ勝ちたいと思っています。
小 林:今日は,いろいろとありがとうございました。

二、日本語の授業

先生は,いつもどうやって学生に日本語を教え,覚えさせていますか。

——まず先生は単語と本文を読み,そのあとで学生にも読ませます。むずかしいところは何回も言わせて練習させます。

発音の練習や文法の説明が終わってからどうしますか。

——今度は文をつくらせて,学生から学生に質問させます。そして,質問された人に答えさせます。

会話の練習はどうしますか。

——二人でやさしい自由会話をやらせますが,これがいちばんむずかしいです。

ほかに,どんな教え方をしていますか。

——ときどき先生は習った単語や文型を使って短い話を聞かせます。そしてあとで質問の答えを選ばせたり内容をまとめさせたりします。また,レポートを書いて来させることもあります。

新 出 語

1 インタビュー[interview]	(名・自サ)会面,访问,采访
2 ささき[佐々木]	(名)佐佐木
3 コーチ[coach]	(名・他サ)教练,指导,(体育)教练员
4 せん しゅ[選手]	(名)选手,运动员
5 たずねる[尋ねる]	(他一)问,打听,寻求
6 われわれ[我々]	(代)我们
7 ほう そう[放送]	(名・他サ)广播,播送
8 けん きゅう かい[研究会]	(名)研究会
9 メンバー[member]	(名)成员
10 こばやし[小林]	(名)小林
11 いけだ[池田]	(名)池田
12 やく そく[約束]	(名・他サ)约,约会
13 ほう もん[訪問]	(名・他サ)访问
14 さっそく[早速]	(副)立刻,马上
15 かならず[必(ず)]	(副)一定,必定,必然
16 かたがた[方方]	(名)诸位
17 ちょう し[調子]	(名)状态,情况
18 わるい[悪い]	(形)不好的,坏的,次的,差的
19 あらためる[改める]	(他一)改,改变,改正
20 たべもの[食べ物]	(名)食物
21 ずい ぶん[随分]	(副)相当,非常
22 つめたい[冷たい]	(形)冷的
23 しょく じ[食事]	(名・自サ)饮食,(吃)饭
24 なるべく	(副)尽量,尽可能
25 えい よう[栄養]	(名)营养
26 ひるね[昼寝]	(名)午睡
27 なるほど[成(る)程]	(副)(肯定他人的主张意见等)的确、 诚然
28 じ ゆう[自由]	(名・形动)自由
29 き ぶん[気分]	(名)情绪、心绪
30 てき とう[適當]	(名・形动・自サ)适当,适合,正好
31 げん ざい[現在]	(名)现在
32 ぎ じゅつ[技術]	(名)技术
33 しあい[試合]	(名)比赛
34 あいて[相手]	(名)对方,对手,伙伴

35	らい げつ[来月]	(名)下月
36	えい こく[英国]	(名)英国
37	チーム[team]	(名)(体育)队
38	しっかり[確り]	(副・自サ)坚固,健壮
39	がんばる[頑張る]	(自五)坚持,努力
40	ありがとう[有(り)難う]	感谢,谢谢(敬语形式是ありがとうございます)
41	ぜひ[是非]	(副)一定,务必
42	かつ[勝つ]	(自五)胜,战胜
43	いつも	(副)经常,总是
44	おしえる[教える]	(他一)教,教授
45	まず[先ず]	(副)首先,开头,最初
46	たん ご[単語]	(名)单词
47	ほん ふん[本文]	(名)课文
48	かい[回]	(接尾)回数
	なんかい[何回]	(数)多少回
49	はつ おん[発音]	(名)发音
50	ぶん ぽう[文法]	(名)语法
51	せつ めい[説明]	(名・他サ)说明,解释
52	ぶん[文]	(名)句子,文章
53	しつ もん[質問]	(名・自サ)疑问,提问
54	かい わ[会話]	(名・自サ)会话
55	ときどき[時時]	(副)时常,有时,偶尔
56	ぶん けい[句型]	(名)句型
57	みじかい[短い]	(形)短的
58	まとめる	(他一)归纳,整理
59	レポート[report]	(名・他サ)报告
60	かいもの[買(い)物]	(名・他サ)买东西

本文の注釈

1. ぜひ勝ちたいと思っています。/我想一定要打赢。
たい是愿望助动词,接在动词连用形后,表示内心的愿望。
2. いろいろとありがとうございました。/多谢了。
いろいろ具有名词、形容动词、副词三种词性,作副词用时,有いろいろ和いろいろと两种词形。

慣 用 型

1. (动词连体形)ことにしている[補助慣用型]

前面学过,ことにする表示主观决定,但用ことにしている的形式时,表示一种经常性的安排。例如:

毎朝朗読の練習をすることにしている。/每天早晨作朗读练习。

2. (动词连体形)ようにする[補助慣用型]

用以表示作出某种安排以达到某一目标,例如:

冷たい物を飲ませないようにしている。/(安排)不让他们喝冷东西。

3. (名词)を(名词)に[修饰慣用型]

这是…を…にする的状语形式…を…にして,又省略了して而成,可译作“以……为……”。例如:

技術を中心に練習させている。/以技术为中心让他们练习。

4. (动词连体形)ことになっている[補助慣用形]

前面学过ことになる表示客观结果,结论等,而ことになっている则表示客观的安排或预定,例如:

来月の十日に、英国のチームと、試合することになっています。/下月十日预定和英国队比赛。

課 外 読 物

一、新しい技術革命

今日、世界の技術の進歩はめざましく、私たちの生活を大きく向上させようとしています。紡織機械の発明と応用によって起こった18世紀の産業革命を第一次産業革命、蒸気機械の発明によって18世紀末から19世紀初めにかけて起こった産業革命を第二次産業革命とすれば、19世紀末から20世紀初めの電気、化学工業、自動車工業などの発展は第三次産業革命といえます。そして、今、人類は新しい技術革命の時代に向かっているといわれています。この新しい技術革命は、電子技術、エネルギー、材料、生物技術、宇宙開発などの領域において明らかです。

電子革命。これは主にコンピューター、大型集積回路、ロボットなどによって、作業能力を高め、かつ迅速化せしめ、工業生産の自動化をもたらしつつあります。

エネルギー革命。地上の限られたエネルギー資源を有効に使うための研

究と、それにかわる代替エネルギーの開発も進んでいます。

材料革命。熱に耐え、さびない新しい金属、非金属、高分子材料の出現は、建築、運輸機関などを大きく発展させることになります。

生物技術革命。これは細胞を組みかえさせたり、融合させたりして、新しい遺伝学の分野を開拓しようとするもので、既に多くの実験も進んでおり、将来はこれを利用して新しい産業部門をもたらすものとさえ言われています。

二、電子計算機

普通の計算機は「計算」する機能しかなく、たんに早くて使いやすい「ソロバン」にすぎなかった。しかし、電子計算機となると、「計算」はその機能のほんの一部分で、そのほかにも、いろいろなすぐれた機能をもっている。すなわち

1 記憶する機能——記憶装置。

2 考え判断する機能——処理装置。これは記憶された資料を読む機能、計算する機能、判断する機能などの組合わせで達成される。

3 知る機能——入力装置。

4 知らせる機能——出力装置。すなわち人あるいは他の機械に電子計算機が処理した結果を知らせる機能である。

電子計算機は真空管の第一世代から、トランジスターの第二世代、集積回路(IC)の第三世代や大規模な集積回路(LIC)の第四世代へと発展して、今は第五世代に入ろうとしている。

第二世代におけるトランジスターの出現はたしかに電子計算機の信頼性を著しく向上せしめて、さらに大規模な電子計算機の製造を可能にした。第三世代は論理回路素子として集積回路を主に採用し、装置の信頼性を一段と向上せしめるとともに、価格、性能の面でも、飛躍的に進歩をとげたのである。

选自《日语(理工科用)》第二版第二册第八课

注 釈

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1 めざましい | (形)惊人,异常 |
| 2 (体言)から(体言)にかけて… | (惯用型)从……到…… |
| 3 むかう[向かう] | (自五)朝,向 |
| 4 エネルギー[德 Energie] | (名)能,能量 |
| 5 あきらか[明らか] | (形动)明显,明亮 |
| 6 おもに[(主)に] | (副)主要 |

7 しゅう せき かい ろ[集積回路]	(名)集成电路
8 ロボット[robot]	(名)机器人
9 たかめる[高める]	(他一)提高
10 かつ	(副)同时,一边……一边 (接)并且,而且
11 (動詞連用形)つつある	(惯用型)正在……,不断……
12 かぎる[限る]	(自他五)限定
13 かわる[代わる]	(自五)代替
14 たえる[耐える]	(自一)耐
15 さびる	(自一)生锈
16 くみかえる[組み替える]	(他一)重新组合
17 おん や[分野]	(名)领域,分支
18 すでに[既に]	(副)已经
19 たんに[単に]	(副)只是
20 そろ ばん[(算盤)]	(名)算盘
21 ほんの	(连体)仅仅,不过
22 すぐれる[優れる]	(自一)优秀
23 すなわち	(接)即
24 たっ せい[達成]	(名・他サ)完成,达到
25 にゅう りょく そう ち[入力装置]	(名)输入装置
26 しゅつ りょく そう ち[出力装置]	(名)输出装置
27 あるいは	(接)或者
28 トランジスター[transistor]	(名)晶体管
29 たしかに	(副)的确
30 いちじるしい[著しい]	(形)显著
31 そ し[素子]	(名)元件
32 いち だん と[一段と]	(副)更加,越发
33 とげる[送げる]	(他一)达到,完成

文 法

一、使动语态与使动助动词

主语使另一施事发出动作的动词形式叫做使动语态(使役相)。以使动语态的动词作谓语句的句子叫使动句(使役文)。在使动句里,主语不是动作的执行者,动作的执行者是句中的补语或宾语。也就是说,在使动句里存在着两种施事,主语所表示的施事并不直接发出动作,而只施加一种影响,迫使或促使

另一种施事(由补语或宾语表示)执行动作。

动词未然形接使动助动词せる,させる,しめる构成动词的使动语态,しめる只用在文章里。

五段动词接せる,其它动词接させる,しめる则都可以接,如:

五段:ならう→ならわ+せる→ならわせる

ならう→ならわ+しめる→ならわしめる

一段:考える→考え+させる→考えさせる

考える→考え+しめる→考えしめる

カ变:くる→こ+させる→こさせる

サ变:練習する→練習せ+させる→練習せさせる→練習させる

練習する→練習せ+しめる→練習せしめる

要注意サ变动词是用せ这个词尾接させる和しめる,接させる时,せ和さ约音成さ,于是成为させる。

有些自动词的相对他动词,原来是该自动词的使动语态,后来就作为一个独立词固定下来了,例如:

組合う(自五)→組合わせる(他一)/配合,组成。

文语的使动助动词す,さす在口语里也有残留,使动语态接て,た时常用す,さす。例如:

水を飲ました。/叫他喝了水。(=飲ませた)

す,さす也使某些自动词变成了一个固定的有使动意义的他动词。如:

働く→はたらか+す→はたらかす

飛ぶ→とば+す→とばす

动词由主动语态变成使动语态以后,句子的结构就要发生变化。主动句变使动句可分三步进行,例如:“ぼくは本を読む”变成“かれはぼくに本を読ませる”的步骤是:

(1) 先把主动句里的主语变成使动句里的宾语或带补格助词に的补语,或带をして的状态。

ぼくは本を読む

ぼくに…

如果原句已有を,就可变成に,已有を和に,就可变成をして,视情况而定。但を和をして的强迫意味较浓。

(2) 再把动词改成使动语态。

ぼくに本を読ませる。

(3) 最后,加上一个适当的主语。如果不必说明使动者,或者使动者是泛指时,可以不加。如:

かれはぼくに本を読ませる。/他让我看书。

使动助动词せる,させる,しめる的形态变化表。

词 形 态 别	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
せる	せ	せ	せる	せる	せれ	せろ(せよ)
させる	させ	させ	させる	させる	させれ	させろ(させよ)
しめる	しめ	しめ	しめる	しめる	しめれ	しめろ(しめよ)
主要后续词 或 用法	ない, ぬ, よう	て,た, ます	けれども, が,と,し, 结句	体言	ば	

各种形态的用例如下:

電子工業を發展させよう。/发展电子工业。(未然形)

かれをここに来させない。/不让他来这里。(未然形)

子どもを買い物に行かせた。/叫孩子买东西去了。(连用形)

安全のために。彼に注意させる必要がある。/为了安全,有必要提醒他。(连体形)

ぼくに言わせれば,それは正しくないと思う。/如果让我说,那是不对的。(假定形)

ぼくにも言わせろ。/也让我说。(命令形)

二、副助词ばかり

ばかり的接续方法和用法与くらい,だけ相同。

ばかり的主要意义如下:

(1) 接数量词,表示概数。例如:

二時間ばかり待っていた。/等了大约两小时。

その大学には学生が五千人ばかりいる。/那个大学有五千左右的学生。

(2) 限定一个范围,相当于汉语的“只”、“仅仅”。例如:

弟は自分のばかり持って行って,わたしのは残した/弟弟只拿走了自己的,我的留下了。

いつまでも本を読んでばかりいないで,公園へでも行って遊びましよう。/不要只是看书,也到公园玩玩去吧。

(3) 接在动词过去式后,在表示动作刚刚结束,相当于汉语的“刚”“才”。例如:

かれはけさ帰ったばかりです。/他今天早上刚回来

ならったばかりの知識でその質問に答えた。/用刚学到的知识回答了

那个问题。

三、敬体助动词ます

接在动词或一些助动词的连用形后面,构成敬体叙述句,表示一种庄重的语气,用于对长辈、生疏的人或在正式社交活动场合谈话。

形态变化如下表:

形态	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
	ませ① ましょ②	まし	ます	(ます)	(ますれ)	ませ まし
主要后续 词或用法	① ん ② う	た	结句, が,けれども, し,か,ね			

1. 未然形:ませ接否定助动词ん(ぬ)表示否定。ましょ接う所表示的意义与动词的情况相同。例如:

分子や原子はふつうの顕微鏡ではみえません。/分子和原子用普通的显微镜是看不见的。

私が読みましょう。/我来读吧。

では、いっしょに読みましょう。/那么,一起读吧。

あした天気がよくなりましょう(なるでしょう)/明天天气会好转吧。

2. 连用形接过去完了助动词た表示动词的过去或完了。例如:

二酸化炭素は酸素原子2個と炭素原子1個とからできているということが分かりました。/弄清楚了二氧化碳是由两个氧原子和一个碳原子组成。

3. 终止形。

わたしは朝六時に起きます。/我早上六点钟起床。

连体形ます,假定形ますれ已经很少使用,命令形ませ,まし则是用来构成最高敬语的。

在归纳指定助动词的形态变化时,因为であります涉及到ます,所以没有归纳它的变化。原来,であります是由である的连用形であり加ます构成的,现在掌握了ます的形态变化,であります的变化就迎刃而解了,见下表:

	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
形态	であります① でありましょ②	でありまし	であります	○	○	○
接 续	①ん ②う	た				

です是であります缩合而成的,只有否定式还保持であります的否定形式で(は)ありません。见下表:

	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
形态	で(は)あります① でしょ②	でし	です	○	○	○
接 续	①ん ②う	た				

練 習

一、次の文を朗読して、そして、下線をつけたことばの漢字を書きなさい(朗读下列各句,然后写出划线单词的汉字)。

1. 我々ほうそう研究会のメンバーは、やくそくの時間に佐々木コーチをほうもんしました。
2. 毎日六時間ぐらい練習させればせんしゅのちょうしはどうですか。
3. めんせつで忙しいから、ひるねをしません。
4. 今度のしあいのあいてはだれですか。
5. あなたのだいすきなうんどうは何ですか。
6. この車はじそく100キロでうんてんすることができるようにつくられています。

二、今まで習った単語によって次の漢字の音読と訓読を言いなさい(根据已学单词说出下列汉字的音读和训读)。

1. 子・様子→子;
2. 北・北海道→北;
3. 作る・製作→作;
4. 大学・大きい→大;
5. 高い・高級品→高;

三、例にならって文を完成しなさい(仿照例句完成句子)。

1. 例:子供は学校へ行く。

→父は子供を学校へ行かせる。

(1)この選手は四千メートル走る。→田中さんは

(2)李さんは王さんに質問します。→先生は

(3)私はこの川で泳ぐ。→お父さんは

(4)太郎は研究室の前で待つ。→私は

2. 例、学生は日本語の単語を覚える。

→先生は学生に日本語の単語を覚えさせた。

(1)自分の子は文をつくる。→池田さんは

(2)学生は本文を読む。→小林先生は

(3)学生は難しいところを何回も言う。→この先生は

(4)子供は好きなものを選ぶ。→佐藤さんは

(5)彼はフランス語で話す。→先生は

四、例にならって使役文を能動文になおしなさい(仿照例句将使动句改为主动句)。

例:私は田中さんに菓子を選ばせました。

→田中さんは菓子を選びました。

1. 彼はこの会社員に販売の利益を計算させました。→

2. お母さんは私に日本語を習わせました。→

3. 私はあの人をここへ来させました。→

4. 太郎は次郎にこの仕事をやらせました。→

5. 父は弟をあそこで待たせています。→

6. 私は李さんに新聞を持って行かせました→

五、次のことばを使って文を完成して、そして中国語に訳しなさい(用下列词语完成句子,然后译成中文)。

でも、まだ、すぐ、ほかに、たいへん、まっすぐ、からしれない、だいたい

1. そんなことは私____できる

2. 彼は朝早く家を出て、____帰っていません。

3. 小林さんは日本に着くと、____手紙を書いてくれました。

4. この道を____行けば、駅に着きます。

5. あしたは雪が降る____。

6. この事は____できる者はいない。

7. ____急いでいたので、財布を忘れて来た。

だいじゅうご か
第 15 課

- | | | |
|-------|----|---|
| 本 | 文: | 一、「ありがとう」の意味
二、力のモーメント
三、京都見物 |
| 課外読物: | | 一、さおばかり
二、図書館で |
| 文 | 法: | 一、補助動詞もらう,やる,くれる
二、接続助詞ながら
三、样態助動詞そうだ |

本 文

一、「ありがとう」の意味

わたしたちは、人から物をもらうと、「ありがとう」と言います。「ありがとう」と言わなかったら、物をくれた人は、きつとがっかりするでしょう。

ところが、アフリカのある所では、物をもらったほうの人ではなくて、物をあげたほうの人が「ありがとう」と言うのだそうです。不思議な気がします。説明を聞くと、その理由が分かります。

例えば、自分が大事にしている時計を人にあげるときには、「記念に時計をあげます。もらってくださいますか。ああ、よかった。おかげで、いい行いをすることができました。ありがたいことです」と考えるのだそうです。もらったほうの人も、もちろん嬉しいのですが、その喜びの気持ちは、時計をくれた人に向けられるのではなくて、神様に向けられるのだそうです。

それでは、日本語の「ありがとう」は、どういう意味でしょうか。これは「ある」と、「難しい」という意味の「難い」とに分けられる「ありがたい」からできた言葉で、「あることが難し

い」「こんなことは、めったにない」という意味です。作物が豊作だったり、病気が治ったりして嬉しい時、「こんな幸せなことはめったにない。」と、自然や神様に感謝することばだったと思われまゝす。これが、だんだん、人にお礼を言うときの言葉として、広く使われるようになったのです。

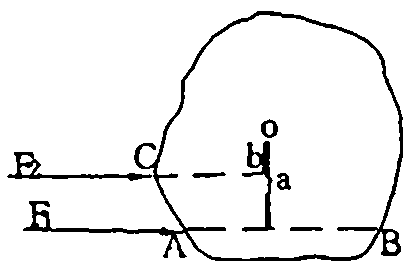
二、力のモーメント

「ねえさん、公園につれていってくれないか。」

きょうは日曜日なので、弟も楽しそうだ。それでは、公園へ行って遊びながら、力学の実験でもやってみよう。それを弟にも手伝ってもらおう。公園にはぶらんこがあるから、弟にかけさせて、私は後でぶらんこを押してやる。そうしたら、力のモーメントの実験もできるだろう。そう思いながら、近くの公園へ連れていった。さて、ぶらんこを押して動かしてみたら、肩の方を押すのとお尻の辺を押す場合とはぜんぜん違う感じがした。どちらが動きやすいかという、もちろんお尻の方にきまっている。

こういう例はいくらでもある。結局は図に示された現象にほかならない。

ある物体が支点Oで支えられている。 F_1 、 F_2 は大ききの等しい力とする。



力の作用する点AまたはCを通り、力の方向に引いた直線を作用線という。この作用線の上では力がどこで働いてもその効果は変わらないものである。例えば、 F_1 についていえば、A点で押しても、B点で引っぱっても物体に作用する効果は同じである。

aおよびbは F_1 、 F_2 の作用線に支点Oから下ろした垂直線である。 $F_1 \times a$ 、 $F_2 \times b$ がO点の回りの力のモーメントである。aはbより大きいので、結局 $F_1 \times a$ は $F_2 \times b$ より大きいものになってしまう。

要するに力のモーメントとは支点のまわりに物体を回転させる能力のことであり、支点から力の作用線が遠いだけモーメン

トは大きいのである。ぶらんこの原理も同じである。

三、京都見物

A: 昨日はどこへ行きましたか。

B: 友だちといっしょに京都に行きました。

A: 京都は初めてですか。

B: 初めてです。それで、先生に案内していただきました。

A: どこがいちばん良かったですか。

B: いろいろなところを見物しましたが、とくに金閣寺が良かったと思います。その建物は五百年以上も前に建てられたものだそうです。一度火事で焼けてしまいましたが、すぐ修復されました。

A: 写真をとりましたか。

B: カメラを持っていませんでしたから、友だちにとってもらいました。

A: なにかお土産を買いましたか。

B: 京人形と絵はがきを買いました。妹にやるつもりです。

新 出 語

- | | | |
|----|---------------|------------------------------|
| 1 | くれる[呉れる] | (他一)给 |
| 2 | きっと | (副)一定, 必定 |
| 3 | がっかり | (副・自サ)失望, 沮丧 |
| 4 | ところが | (接)可是, 不过 |
| 5 | あげる[上げる] | (他一)(敬)给 |
| 6 | り ゆう[理由] | (名)理由 |
| 7 | だい じ[大事] | (名・形动)大事, 重要, 珍惜 |
| 8 | とけい[時計] | (名)手表, 钟表 |
| 9 | くださる[下さる] | (他五)(くれる的敬语动词)给 |
| 10 | ありがたい[有(り)難い] | (形)(一般只用假名写)值得感谢, 感到高兴 |
| 11 | うれしい[嬉しい] | (形)高兴的 |
| 12 | よろこび[喜び] | (名)高兴 |
| 13 | きもち[気持ち] | (名)心情, 情绪 |
| 14 | かみさま[神様] | (名)神仙, 神灵 |
| 15 | わかる[分ける] | (他一)分开, 区别 |
| 16 | めったに | (副)(后与否定词呼应)(不)常..., (不)大... |
| 17 | さく もつ[作物] | (名)作物, 农作物 |
| 18 | ほう さく[豊作] | (名)丰收 |
| 19 | しあわせ[幸せ] | (名・形动)幸运, 幸福 |

20	かん しゃ[感謝]	(名・他サ)感谢
21	れい[礼]	(名)礼节,礼貌,感谢
22	モーメント[moment]	(名)矩,力矩
23	つれる[連れる]	(他一)带,领
24	あそぶ[遊ぶ]	(自五)玩耍,游玩
25	りき がく[力学]	(名)力学
26	てつだう[手伝う]	(他五)帮忙
27	ぶらんこ	(名)秋千
28	かける[掛ける]	(自・他一)坐,挂,架
29	おす[押す]	(他五)推,按,压
30	さて	(接)那么,却说
31	かた[肩]	(名)肩
32	おしり[お(尻)]	(名)臀部
33	へん[辺]	(名)一带,附近
34	かんじ[感じ]	(名)感觉
	かんじがする[感じがする]	(词组)感觉
35	れい[例]	(名)例子,先例
36	いくら	(名)(价钱、重量、数量、时间等)多少
37	ず[図]	(名)图
38	しめす[示す]	(他五)表示
39	げん しょう[現象]	(名)现象
40	ぶつ たい[物体]	(名)物体
41	し てん[支点]	(名)支点
42	おおきさ[大きさ]	(名)大小,尺寸
43	ささえる[支える]	(他一)支持,支撑,阻止
44	ひとしい[等しい]	(形)相等
45	さ よう[作用]	(名・自サ)作用,起作用
46	てん[点]	(名)点
47	とおる[通る]	(自五)通过,通
48	ちょく せん[直線]	(名)直线
49	さ よう せん[作用線]	(名)作用线
50	かわる[変(わ)る]	(自五)变,变化,改变
51	ひっぱる[引っ張る]	(他五)拉,曳
52	および[及び]	(接)(以)及,与,和
53	すい ちょく せん[垂直線]	(名)垂线,铅垂线
54	かい てん[回転]	(名・自サ)旋转
55	のう りょく[能力]	(名)能力
56	げん り[原理]	(名)原理,原则
57	けん ぶつ[見物]	(名・他サ)游览,参观

58	はじめて[初めて]	(副)初次,第一次
59	あん ない[案内]	(名・他サ)向导,导游,通知
60	きん かく じ[金閣寺]	(名)金閣寺
61	たてもの[建物]	(名)建筑物
62	か じ[火事]	(名)火灾
63	やける[焼ける]	(自一)烧,焚烧
64	しゅう ふく[修復]	(名・他サ)修复
65	しゃ しん[写真]	(名)相片,照片
66	みやげ[土産]	(名)土特产,礼品
67	にん ぎょう[人形]	(名)布娃娃,玩偶
	きょう にん ぎょう[京人形]	(名)京都布娃娃
68	え[絵]	(名)画,图画
69	はがき[葉書]	(名)明信片
	えはがき[絵葉書]	(名)风景明信片

本文の注釈

1. “大事にしている”来源于…を大事にする,是“把……当作珍贵(要紧)的东西”的意思,所以“大事にする”可以当作一个他动词看,是“珍惜”“看重”的意思。

2. 公園につれていってこないか。/带我到公园去好吗?

这类句子通常不出现主语,一般只出现呼语,例如本句的“ねえさん”。

つれていってこないかの组成是(連れて+て+行く+て+くれる+ない+か),用否定疑问的形式表示要求。

3. 支点から力の作用線が遠いだけモーメントは大きい。

副助词だけ在这里表示“相当于……程度”。这是“遠ければ遠いだけ”的省略。这句话直译出来是“力矩的大小与力的作用线距支点远近的程度相当”。意译出来是“力的作用线距支点越远,力矩越大。”

4. “ $F_1 \times a$ ”读作“エフいち かける エー”。

慣 用 型

1. (动词连体形)気(感じ)がする[补助惯用型]

気がする,感じがする表示“感到……”,“觉得……”的意思。例如:
不思議な気がする。/感到奇怪。

違う感じがする。/觉得不同。

2. (句)と思う(思われる)[补助惯用型]

用以表示说话人的看法,是一种婉曲的断定,…と思われる比…と思う更婉曲。

3. (体言)として[修饰惯用型]

用以表示资格、名义、名目等,可译作“作为……”例如:

お礼として時計をさしあげた。/送了只手表作为礼物。

4. (动词连体形)ようになる[补助惯用型]

表示一种新情况的出现,可译作“……了”,“……起来了”。例如:

日本語が話せるようになった。/会说日语了(以前不会说)。

5. (体言・用言连体形)にきまっている[补助惯用型]

这个惯用型用以表示强烈的断定,可译作“肯定是……”,“一定是……”,“必定……”。例如:

その公園にはぶらんこがあるにきまっている。/那个公园里肯定有秋千。

6. (体言・用言连体形)にほかならない[补助惯用型]

这也是表示强烈断定的惯用型,可译作“不外乎是……”“无非是……”。例如:

結局は図に示された現象にほかならない。/结果不外乎是图上所示的现象。

7. (体言)についていえば……[修饰惯用型]

这个惯用型用来构成状语,用以提出一个范围,可译作“就……而言”,“就……来说”。例如:

ぶらんこについていえばその原理も同じである。/就秋千来说,其原理也相同。

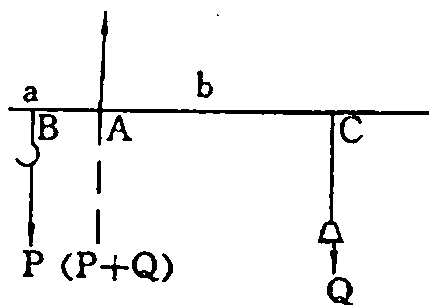
課外読物

一、さおばかり

われわれの日常生活の中で使われているさおばかりも力のモーメントおよび力のつりあいから説明することができる。

図を見てもらう。A点で支えられているさおばかりの両端B、CにそれぞれP、Qの重さがかけてあるとする。AB間をaとし、AC間をbとする。支点Aの回りのモーメントを考えてみれば、左回りは $P \times a$ 、右回りは $Q \times b$ 、この二つのモーメントが等しい時、すなわち釣り合っている時は

$$P \times a = Q \times b$$



となる。

このとき、さおばかりは水平に保たれ、PとQは平行して下方に向いている。すなわち支点Aで上向きに引っばっている状態である。言いかえれば、P+Qの重さと力Fが釣り合っていることである。

选自《日语(理工科用)》第二版第二册第九课

二、図書館で

こちらが書庫です。

——新しく出た本や、外国から届いた本が、ずいぶん増えていますね。
なにかおもしろそうな本でも見つけましたか。

——友だちに頼まれた本を捜しているのですが、適当なものがありません。

どんな本ですか。

——電気工学関係の本です。

そんな本なら、私も持っています。貸してあげましょう。

——そうですか。じゃ、あとで友だちに取りに行かせます。

私は経営管理の雑誌を見てきますから、ちょっと待っていてください。

——ああ、どうぞ。

お待たせしました。コピーしたいのですが、どうしたらいいですか。

——受付のところに行って、用紙をもらう、それに書き込んでコピーしたい資料といっしょに出せば、すぐやってくれます。

选自《日语(理工科用)》第二版第二册第十一课

注 釈

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 さおばかり〔(竿秤)〕 | (名)杆秤 |
| 2 つりあう〔釣り合う〕 | (自五)平衡 |
| 3 おもさ〔重さ〕 | (名)重量 |
| 4 みぎまわり〔右回り〕 | (名)顺时针, 右转 |
| 5 ひだりまわり〔左回り〕 | (名)反时针, 左转 |
| 6 たもつ〔保つ〕 | (他五)保持 |
| 7 むく〔向く〕 | (自五)向 |
| 8 うわむき〔上向き〕 | (名)朝上 |
| 9 いいかえる〔言い替える〕 | (他一)换言之 |
| 10 みつける〔見付ける〕 | (他一)找到, 发现 |
| 11 たのむ〔頼む〕 | (他五)托(人办事), 请求 |
| 12 かす〔貸す〕 | (他五)借(给) |

- | | | |
|----|------------|-----------------|
| 13 | コピー[copy] | (名・他サ)复印 |
| 14 | うけつけ[受け付け] | (名)回事处, 承办处, 传达 |
| 15 | ようし[用紙] | (名)专用纸 |
| 16 | かきこむ[書き込む] | (他五)写入, 填好 |

文 法

● 补助动词もらう, やる, くれる

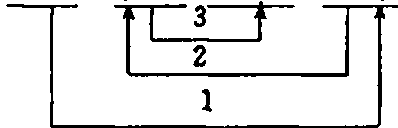
もらう作实义动词用时, 是“领受”的意思。作补助动词时是“请……做……”的意思。有补助动词もらう的句子, 结构和使动句很相似, 也就是说谓语动词所表现的动作不是主语发出的, 而是补语(用补格助词に)发出的。例如:

私は弟に手伝ってもらう。/我请弟弟帮忙。

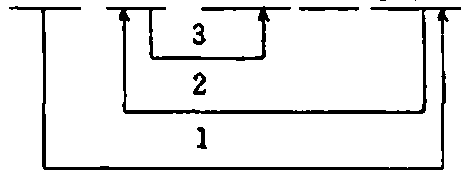
王さんにも来てもらった。/也请老王来了。

使动句和这种句子不同之处在于: 使动句主语代表的人物迫使或者促使补语、宾语代表的人物发出动作, 而这种句子是主语代表的人物请求补语代表的人物为自己做什么事情。然而在结构上却是相近的, 图解比较如下:

私は 弟に 手伝わ せる。/我叫弟弟帮忙。



私は 弟に 手伝っ てもらう。/我请弟弟帮忙。



- 1 主语(第一施事)施加影响
- 2 影响及于第二施事(受事兼施事)
- 3 第二施事执行动作

もらう还可以接在使动态动词后作补助动词, 这样, 句子中的授受关系就更复杂了, 但也只要记住这种句子中的主语便是施事就行了。

させてもらう, せてもらう的结构相当于汉语的“请……允许……”“承蒙……允许……”。例如:

では, 読ませてもらいます。/那末, 请允许我读一下。

もらう的相对敬语动词是いただく, 意义完全相同, 但语气要恭敬得多。

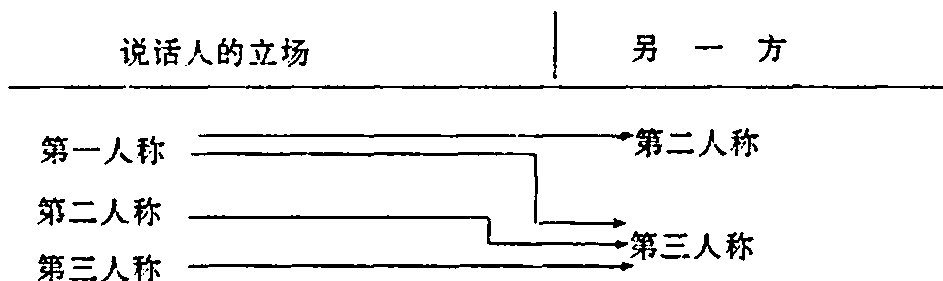
例如：

この問題について、あのかたに教えていただきました。/请他指教这个问题。

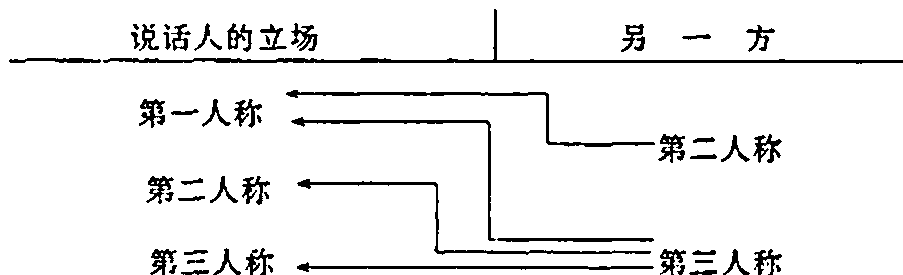
やる和くれる都是表示施授意义的动词。两个都是“给”的意思，但方向性很强。やる是外向性的，即只能是第一人称给第二人称或第三人称；第二人称（此时说话人站在与此第二人称同一立场）给第三人称；第三人称（此时说话人站在与此第三人称同一立场）给另一个第三人称。くれる则正好相反，是内向性的。

其主要施授关系如下：

やる所表示的施授关系：



くれる所表示的施授关系：



例如：

私は王さんがくれた本を弟にやった。/我把小王给我的书给了弟弟。

きのう私は彼に手紙をやった。/昨天我给了他一封信。

兄さんは新しい万年筆をくれた。/哥哥给了我一支新钢笔。

作补助动词用时，就是表示动作的方向性，表示谁给谁做事。使用やる、くれる的句子结构与主动句相同，即动作是主语发出的。在这种句子里，不一定要说出动作的受惠者来，因为从やる和くれる可以大致判断得出来。例如：

本をよんでやる。/读给他（你）听。

かれは力学の実験をしてくれた。/他给我们做了力学实验。

日本語を教えてやった。/教了（他）日语。

やる的相对敬语动词是“上げる”与“差し上げる”（后者更恭敬）。くれる的相对敬语动词是“下さる”。（くださる是文语残留下来的动词，接ます时要

说成くださいます。命令形用ください,其他形态按五段动词变。)例如:

ちょっと読んであげよう。/给你读一下吧

先生はこの問題を説明していただきました。/老师给我们说明了这个问题。

早く言ってください。/请快说。

よく考えてください。/请仔细考虑一下。

二、接续助词ながら

ながら接在动词和按动词形式变化的助动词的连用形、形容词和按形容词形式变化的助动词的终止形或名词、副词后,表示:

(1)两个动作同时进行,相当于汉语的“一面……一面……”例如:

彼は走りながらだれかを呼んでいる。/他一面跑一面在喊什么人。

公園へ行って遊びながら、力学の実験でもやってみよう。/到公园去一面玩,一面做一下力学实验。

(2)表示转折,相当于汉语的“虽然……但是……”例如:

彼は知っていながら口に出さない。/他虽然知道但嘴里不说。

この機械は小さいながらも作業能力は高い。/这台机器虽然小,但效率很高。

三、样态助动词そうだ

样态助动词そうだ接在动词和按动词变化的助动词的连用形后,形容词和按形容词变化的助动词的词干后,形容动词的词干后,但在接形容词“良い”ない时要用よさそうだ,なさそうだ的形式。如:

动 词:降る→降りそうだ

できる→できそうだ

形 容 词:おもしろい→おもしろそうだ

よい→よさそうだ

ない→なさそうだ

形容动词:豊富だ→豊富そうだ

助 动 词:言われる→言われそうだ

見られる→見られそうだ

待たせる→待たせそうだ

変えさせる→変えさせそうだ

できない→できなそうだ

样态助动词そうだ形态变化见下页的表。

这个助动词表示看样子情况好象是那样。例如:

雨が降りそうだったから、早く帰りました。/好象要下雨了,所以很快

就回来了。

未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
そうだろ	そうだった そうで そうに	そうだ	そうな	そうなら	○
そうでしょ	そうでし	そうです	○	○	○

弟は楽しそうに遊んでいる。/弟弟玩得很开心似的。

花が咲きそうです。/花好象要开了。

練習

一、下線をつけた漢字の振仮名を付けなさい。

1. 作物が豊作だったり、病気が治ったりして、嬉しい時、「こんな幸せなことはめったにない」と、自然や神様に感謝することばだっと思われま
2. 肩の方を押すのとお尻の辺を押す場合とはぜんぜん違う感じがしました。
3. 結局は図に示された現象にはかならない。
4. その建物は五百年以上も前に建てられたものだそうです。
5. 金閣寺は一度火事で焼けてしまいましたが、すぐ修復されました。
6. 私は昨日京都で京人形と絵はがきを買いました。妹に送ってやろうと思います。

二、次の文の____にはどんな言葉を入れたらよいか。ア、イ、ウから最も適当なものを一つ選びなさい。

1. わたしたちの会社はこの____にあります。
ア ビール イ テーブル ウ ビル
2. ____して、家に財布を忘れてきてしまった。
ア うっかり イ しっかり ウ がっかり
3. 日本の面積は____中国の二十六分の一です。
ア たいへん イ たくさん ウ だいたい
4. 伊藤さんはいっしょうけんめいに勉強しました。____成績がよくなりました。
ア それで イ けれども ウ それから

5. このなぞは____難しいので,なかなか解けない。
ア つまり イ あまり ウ まるで
6. お父さんは太郎____カメラをあげた。
ア ヘ イ を ウ に
7. 彼は走り____,だれかを呼んでいる。
ア ながら イ から ウ たら
8. 趣味もいろいろある。せんたくの好きな人も____,料理が趣味という人もいる。
ア いれば イ いても ウ いると

三、例にならって次の文を書きなおしなさい。

例:私はお母さんに新しいカメラを買ってもらいました。→お母さんは私に新しいカメラを買ってくれました。

1. 私は父に雑誌を送ってもらいました。→
2. 学生は佐々木先生に日本の歴史を教えてくださいました。→
3. 私は先生に単語の意味を説明していただきました。→
4. 私はお父さんに昔のことを話してもらいました。→
5. 私はお姉さんに手伝ってもらった。→

四、次の動詞から適当なものを選んで,適当な活用形に変えてから____の上に入れなさい。

やる,さしあげる,くれる,くださる,もらう,いただく

1. この時計は田中さんが旅行の記念に____たのです。
2. きノウ,友だちから手紙を____た。
3. この本をあなたに____ましょう。
4. これは先生が____た本です。
5. 私は弟に果物を____ました。
6. あまり分かりませんから,もう一度説明して____。
7. 私は田中先生に東京を案内して____ました。
8. 弟はそのパスポートを持って来て____ました。
9. 私は妹に英語を教えて____ました。

五、例にならって文を完成しなさい。

例:兄を迎えに行く。

→兄を迎えに行ってください。

1. 約束の時間を守る。→
2. 熱いものを食べる。→
3. このなぞを解く。→
4. 朝日新聞を読む。→
5. いっしょうけんめいに勉強する。→
6. 好きなものを選ぶ。→
7. 高級品だから,大事にする。→

六、次の文中の「そうだ」は、様態の助動詞なら、()に“a”を、伝聞の助動詞なら、“b”をつけなさい。

1. ()あの方は若く見えるが、もう五十歳だそうです。
2. ()彼は知らないそうだよ。
3. ()このコンピューターはよさそうだ。
4. ()彼は一人でできそうです。
5. ()五時までに授業が終りそうです。
6. ()彼はおいしそうに食べ物を食べている。
7. ()むずかしそうだから、くりかえして読もう。
8. ()ここにはいい物がなさそうだ。
9. ()十月の始め、学校で運動会が行なわれるそうです。

だいじゅうろっ か
第 16 課

本 文：一、音の伝わりかた
二、住んでいる所
三、なかなか覚えられません

課外読物：位置エネルギー

文 法：一、可能語態与可能助动词
二、补助动词おく

本 文

一、音の伝わりかた

静かな水面に石を投げ込むと、波ができ、投げ込まれた点を中心に、円状に広がっていくのが見られる。このとき、途中にコルク栓を浮かべておくと、コルク栓は上下に動くだけで、波といっしょに波の広がる方向に進まない。水面に高い所と低い所ができるのが波であるが、それは水の移動ではなく、次次にまわりの水がゆり動かされて四方に伝わっていくのである。一箇所の水は、上下運動をしているだけで、前後に動くわけではない。

音の伝わりかたも同じようである。物体の振動が空気に伝わり、この振動が空中を進む。だから、空気のない所では音が伝わっていけない。真空の中で鈴を鳴らしても、わたしたちの耳には音が感じられないだろう。

空中を進む音の振動とは、長いばねの一方をはじいたとき、ばねのちぢんだ所と伸びた所が次次に場所を変えていくように、空気の密の所とまばらの所ができ、変化を伝えていくことである。

音は、空気だけでなく、水やいろいろな物質の中でも伝わる。糸電話の実験で、糸をつまむと音が聞こえず、糸をぬらすとよく

聞こえたりする。また音を伝える物によっても伝わる速度は変わってくる。

二、住んでいる所

あなたの住んでいる所は便利ですか。

——ええ、勤務先まで歩いて十分で行けますから、たいへん便利です。

近くにデパートやスーパーがありますか。

——はい、大きな店がいくつもあって日用品もいろいろ買えます。もちろんいつも新鮮な野菜や肉が食べられます。

大衆食堂もありますか。

——はい、いくつもあります。やすくておいしい料理がいただけます。

ほかに、どのような施設がありますか。

——公園があって子供が楽しく遊べます、図書館では、いろいろ資料が調べられるし、本も自由に借りられます。また、最近いい映画館ができたので、遠くまで行かなくても見られるようになりました。

それでは、ずいぶん便利で住みやすい所ですね。

——でも、問題点がひとつあります。それは近くに前から工場があって、空気や水が汚れ、川には魚もすめなくなってきたことです。しかし、最近は公害対策に力を入れはじめています。

三、なかなか覚えられません

A: ごめんください。

B: よくいらっしゃいました。どうぞおはいりください。

A: おひさしぶりでした。お元気ですか。

B: おかげさまで、元気です。

A: 勉強ですか。李さんは勉強家ですね。

B: はい、日本語を習っています。

A: いつごろ習い始めたのですか。

B: 八月から習い始めたのです。もう一か月になります。

A: そうですか、仮名はもう全部習いましたね。覚えていますか。

B:平仮名は覚えています,片仮名はなかなか覚えられません。

A:単語はどのくらい習いましたか。

B:毎日 30ぐらいずつ習っていますが,なかなか正しく読めません。

A:もう日本語で手紙が書けますか。

B:短い手紙は書けますが,長い手紙はまだ書けません。

A:日本語で電話を掛けられますか。

B:いいえ,まだ掛けられません。

A:では,頑張ってください。

新 出 語

- | | |
|------------------|--------------|
| 1 つたわる[伝わる] | (自五)传,传播 |
| 2 すい めん[水面] | (名)水面 |
| 3 いし[石] | (名)石,石子 |
| 4 なげる[投げる] | (他一)投,掷,扔 |
| なげこむ[投げ込む] | (他五)投入 |
| 5 なみ[波] | (名)波,波浪 |
| 6 えん じょう[円状] | (名)圆形,圆状 |
| 7 ひろがる[広がる] | (自五)扩展,推广 |
| 8 と ちゅう[途中] | (名)中途 |
| 9 コルク[荷 cork] | (名)软木 |
| 10 せん[栓] | (名)塞子 |
| コルクせん[cork 栓] | (名)软木塞 |
| 11 うかべる[浮かべる] | (他一)浮 |
| 12 おく[置く] | (他五)放置 |
| 13 じょう げ[上下] | (名・自他サ)上下 |
| 14 い どう[移動] | (名・自他サ)移动,转移 |
| 15 つぎつぎに[次次に] | (副)一个接一个 |
| 16 ゆりうごかす[揺り動かす] | (他五)摇动 |
| 17 し ほう[四方] | (名)四方,四面八方 |
| 18 か しょ[箇所] | (接尾)处,地方 |
| いっかしょ[一箇所] | (数)一个地方 |
| 19 ぜん ご[前後] | (名)前后 |
| 20 しん どう[振動] | (名・自サ)振动 |
| 21 くう ちゅう[空中] | (名)空中 |

22	だから	(接)因此
23	しん くう[真空]	(名)真空
24	すず[鈴]	(名)鈴, 鈴铛
25	ならす[鳴らす]	(他五)使……响
26	かんじる[感じる]	(他一)感觉, 感到
27	ばね	(名)发条, 弹簧
28	いっ ぼう[一方]	(名)一端, 一方面
29	はじく[弾く]	(他五)弹
30	ちぢむ[縮む]	(自五)缩
31	のびる[伸びる・延びる]	(自一)延伸, 扩大
32	ば しょ[場所]	(名)场所
33	みつ[密]	(名・形动)密
34	まばら[疎]	(名・形动)疏
35	へん か[変化]	(名・自サ)变化
36	つたえる[伝える]	(他一)传, 传播
37	いと[糸]	(名)线, 绳
	いとでんわ[糸電話]	(名)牵绳电话
38	でん わ[電話]	(名)电话
	でんわをかける[電話を掛ける]	(词组)打电话
39	つまむ	(他五)捉, 抓
40	きこえる[聞こえる]	(自一)听得见
41	ぬらす[(濡)らす]	(他五)弄湿
42	そく ど[速度]	(名)速度
43	きんむさき[勤務先]	(名)工作单位
44	ちかく[近く]	(名)近处, 附近
45	デパート[department store]	(名)百货商店
46	スーパーマーケット[super market]	(名)超级市场, 自选市场
47	にち よう ひん[日用品]	(名)日用品
48	しん せん[新鮮]	(名・形动)新鲜
49	や さい[野菜]	(名)蔬菜
50	にく[肉]	(名)肉
51	たい しゅう しょく どう[大衆食堂]	(名)大众化饭馆
52	やすい[安い]	(形)便宜, 价廉
53	し せつ[施設]	(名)设施
54	し りょう[資料]	(名)资料
55	かりる[借りる]	(他一)借
56	えい が かん[映画館]	(名)电影院
57	もん だい[問題]	(名)问题
58	こう じょう[工場]	(名)工厂

59	よごれる[汚れる]	(自一)弄脏,污染
60	こう がい[公害]	(名)公害
	こう がい たい さく[公害対策]	(名)防治污染措施
61	ちからをいれる[力をいれる]	(词组)积极对待,下功夫, 努力
62	ごめん[御免]	(名)(敬)允许,许可
	ごめんください	(词组)对不起,里面有人吗, 劳驾
63	いらっしゃる	(自五)(敬)在,来,去
	よくいらっしゃいました	(表示欢迎的寒喧语)欢迎
64	ひさしぶり[久し振(り)]	(名)隔了好久,许久
	おひさしぶりでした	久违久违
65	かな[假名]	(名)假名
66	ひらがな[平假名]	(名)平假名
67	かたかな[片假名]	(名)片假名
68	ただしい[正しい]	(形)正确的

本文の注釈

1. …投げ込まれた点を中心に…/以投入点为中心……

这里面含有作状语的惯用型“…を…にして”(以……为……),其中的して经常省略,这个句子便是这种情况。

2. 糸電話の実験で糸をつまむと音が聞こえず…/在牵绳电话实验中,抓住绳子就听不见声音……

“聞こえず”中的ず是否定助动词ぬ的连用形,表示中顿。

3. 川には魚もすめなくなってきた。/在河里,鱼已无法生存了。

表示一种情况消失,可用否定助动词ない的连用形なく加なる的形式。

4. 副助词ずつ接在数词或常接在副词すこしの后面,表示按比例地或平衡地增加或减少。

慣 用 型

1. (动词连体形)わけではない[补助惯用型]

用以否定某一理由或内容,可译作“并非……”。例如:
前後に動くわけではない。/并非前后移动。

2. (体言・用言连体形)だけでなく[修饰惯用型]

用以兼提两种情况,表示“不但……而且……”的意思。例如:

日本語だけでなく、英語もできる。/不但会日语,也会英语。

課外読物

位置エネルギー

水車の原理を考えれば、位置エネルギーのことがよく分る。

要するにある高さからある量の水が落ち、水車を回転させ、その回転によって機械を動かすのが水車の原理である。普通この仕事をなしうる能力を位置エネルギーと言う。水車の例では回転する水車が位置エネルギーを持っているのではない。水が持っているのである。外力を与えなければ、自然の状態では、水は高いところから低いところへ流れる。高いエネルギーの状態から低いエネルギーの状態に移動するのは水ばかりではない。普通物体は位置が高くなれば、その持つ位置エネルギーも大きくなる。

例えば、質量 m の物体に重力加速度 g が働いて重さ $m \cdot g$ となる。これを高さ h まで引きあげれば、この物体に与えられた仕事量は $m \cdot g \cdot h$ である。与えられた仕事量は仕事をなしうる能力として物体内に保有される。したがって、上記の例では

$$\text{位置エネルギー} = m \cdot g \cdot h$$

となる。

选自《日语(理工科用)》第二版第二册第十课

注 釈

- | | |
|----------------|------------|
| 1 おちる[落ちる] | (自一)落下, 掉下 |
| 2 うごかす[動かす] | (他五)移动, 驱动 |
| 3 なす[成す] | (他五)做, 作 |
| 4 あたえる[与える] | (他一)给予, 提供 |
| 5 ひきあげる[引き上げる] | (他一)提高, 升高 |
| 6 ほ いう[保有] | (名・他サ)保存 |

文 法

一、可能语态与可能助动词

表示施事能够做某种动作的动词形式叫可能语态(可能相)。以可能语态

的动词作谓语的句子叫可能句(可能文),可能句表示动作是在施事的能力范围内的(相当于汉语的“能够”、“会”)或表示允许施事执行某一动作(相当于汉语的“可以”)或表示利用特定的手段、工具、方法、情况使某一动作得以实现(相当于汉语的“可能”)。

可能语态的形式有三种:

(1)动词未然形接可能助动词れる,られる。れる接在五段动词后面,られる接在其他动词的后面。如:

五段:使う→つかわ+れる→つかわれる→つかえる

読む→よま+れる→よまれる→よめる

一段:食る→たべ+られる→たべられる

考える→かんがえ+られる→かんがえられる

力变:来る→こ+られる→こられる

サ变:運転する→運転せ+られる→運転せられる→運転される

要注意五段动词有约音现象,五段动词接れる时,其未然形词尾与れ拼成一新的音,如:か+れ→け,ま+れ→め,于是,动词变化为:書く→書ける,読む→読める。这种动词叫可能动词。可能动词常容易与一段动词相混,阅读时必须注意。サ变动词可能语态有时也有约音现象,约音方法与变被动语态相同,但用这种方法表示可能的情况较少,常用下面两种方法。

(2)利用补助动词できる。一般用ことができる(ことは形式体言)的形式与动词连体形相接,如:

五段:知る→知ることができる

一段:支える→支えることができる

力变:来る→来ることができる

サ变:運転する→運転することができる

サ变动词除了这种形式外,还可以利用它的词干构成简略形式:“運転ができる”或“運転できる”。

(3)利用补助动词“得る”。“得る”有两种读音:うる,える。うる是文语的残余。うる,える接动词连用形,例如:

ある→あり+うる→ありうる

ひきつける→ひきつけ+える→ひきつけえる

成功する→成功し+うる→成功しうる

有的自动词本身就有可能的意义,这些动词就不要再以上方法来改变语态了。如:“聞こえる”,“見える”等。

动词变可能语态后,句子结构不象被动句、使动句变化那样大,在动词为他动词时,按照传统语法,要把宾格助词を变为主格助词が,成为主谓谓语句的形式,不过现在使用を的情况逐渐多起来了。例如:

彼は日本語を話す。/他说日语。

彼は日本語が話せる。/他会说日语。

彼は日本語を話せる。/他会说日语。

れる、られる的变化与被动助动词相同,五段动词的可能态按一段动词变化。

形 例 詞	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
読める	よめ	よめ	よめる	よめる	よめれ	○
考えられる	考えられ	考えられ	考えられる	考えられる	考えられれ	○
接続	よう、な い、ぬ	ます、 た、て	と、けれど も、から、か	体育、 ので	ば	

得る有按文语(うる)和按口语(える)两种变化法:

形 例 詞	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
得る	え	え	うる	うる	うれ	○
得る	え	え	える	える	えれ	○

二、补助动词おく

おく作实义动词用时,是“放置”的意思,作补助动词用时,表示预先做好某种准备,或者表示让某一动作、状态持续下去,它通过て与动词的连用形相接。例如:

この問題を説明する前に、まずaとbの間に直線を引いておく。/在说明这个问题之前,先在a和b之间划一条直线。

このことを頭に置いておく。/把这件事记在脑子里。

暑いから、窓を開けておいて下さい。/天气热,开着窗户吧。

練習

一、下線をつけた漢字の振仮名を付けなさい。

1、静かな水面に石を投げ込むと、波ができる。

2、真空の中で鈴を鳴らしても、私たちの耳には音が感じられないだろう。

3、ドイツの気候は何月が一番良いですか。

4、兄に日本の伝統文化について紹介してもらいました。

5、時代の急流の中で、日本の看板の伝統は生きているように見えた。

6、地下鉄で財布をとられて、不愉快な感じがした。

二、次の文の _____ にはどんな言葉を入れたらよいか。ア、イ、ウ、エから最も適当なものを一つ選びなさい。

1、_____ 声で言われたので、よく聞こえなかった。

ア はやい イ うすい ウ すくない エ ちいさな

2、田中さんは _____ で日用品を買った。

ア メンバー イ メッセージ ウ デパート エ テーブル

3、二時間も準備したのに、_____ よくできなかった。

ア 結論 イ 結局 ウ 結果 エ 結構

4、夏休みはなん日 _____ ありますか。

ア ぐらい イ など ウ ごろ エ だいたい

5、今度の学芸会は _____ 行なわれましたか。

ア まだ イ もう ウ また エ すぐ

6、高級品 _____ 大事にしてください。

ア ので イ のに ウ から エ だから

7、わたしたちは毎日 30ぐらい _____ 単語を習っています。

ア ずいぶん イ つまり ウ まず エ ずつ

8、今 _____ 十二時です

ア ちょうど イ ほとんど ウ なるほど エ ちょっと

9、_____ いらっしゃいました。

ア ときどき イ 常に ウ いつも エ よく

三、例にならって次の文を書きなさい。

例：私は日本語を話します。

→ 私は日本語を話せます。

→ 私は日本語を話すことができます。

1、小林さんは中国語でレポートを書きます。

→

→

2、弟と妹は十時に帰ります。

→

→

3、あした、あなたは来ますか。

→

→

4、あなたは自動車を運転しますか。

→

→

5、あの人は速く泳ぎます。

→

→

四、例にならって文を完成しなさい。

例、あしたから旅行に行くから、(今晚準備します)

→あしたから旅行に行くから、今晚準備しておきます。

1、来週入学試験だから、(よく勉強します)

→

2、発表する前に、(準備をします)

→

3、お客さんがあした遊びに来るから、(花を買います)

→

4、来月、運動会があるから、(練習します)

→

5、先生を訪問する前に、(電話します)

→

五、次の文を日本語に訳しなさい

1、不知道好不好吃，我先尝尝吧。

2、昨天，李老师让我们用日语作介绍。

3、我想把我在东京照的像片送给老师。

4、一到秋季，全国各地的学校就经常开运动会。

5、听说那家公司倒闭了。

だいじゅうなな か
第 17 課

本 文：一、バスの中のできごと
二、牛乳屋の問題
三、日本人の家庭について
課外読物：温度と熱量
文 法：一、比況助動詞ようだ
二、推量助動詞う、よう
三、提示助詞さえ

本 文

一、バスの中のできごと

ぼくは、毎日、山田町の警察署の前からバスに乗って、学校へ通っている。朝は、通勤や通学の人たちで、バスがたいへんこむ。警察署前からは、なかなか乗れないことが多い。乗る人は、なんとかして乗りこもうと、力いっぱい前の人をおす。ぼくも、力を出して前の人をおすのだが、なかなか乗れない。毎朝、とても苦勞してしまう。

ところが、乗ってみると、バスの後ろのほうは、案外すいていることが多い。みんなが、もう少しずつめれば、まだ何人も乗れるはずなのに、乗った人たちは入口の近くに固まっていて、ちっとも動こうとしない。ぼくは、ひとりでも多く乗せてあげようと思っておくへつめようとするが、ぼくだけの力では、どうすることもできない。逆におし返されたり、何をするのだといったような目で見られたりすることさえある。そんな時、ぼくは、声を出して

「おくへつめてあげてください。」

と言おうと思うのだが、その声は、のどまで出かかって止まっ

てしまう。

きのうの朝も、いつもと同じように、バスがこんでいた。ぼくがようやく乗りこんで、少し中の方へはいった時、すぐ後ろで、「もっと、おくへはいつてあげてください。だれでもみんな急いでいるのですから。」

と、バスの中にひびきわたるような声で言った人があった。見ると、それは、少し年をとった男の人だった。その声で、みんな少しずつ、おくへつめた。

ぼくは、自分が言いたいと思いながら言えなかったことを、この人が堂々とやってくれたので、ほんとうにうれしかった。でも、それとともに、どうしてぼくには言えなかったのかと思うと、残念な、はずかしい気持ちになった。

この男の人のように、自分のことだけでなく、みんなのことを考える人、そして、それをはっきりと口に出して言える人、こういう人が、世の中でいちばんりっぱな人だと思う。ぼくは、この人のように、みんなのためにいいと思うことを進んで言える人になりたいなあ、と思った。

二、牛乳屋の問題

牛乳屋が、牛乳がいっぱい入ったかんを二つ持っていた。それは、牛乳がちょうど40リットル入るかんだった。そこへお客が二人来て、牛乳を2リットルずつ買いたいと言った。

一人の客は、5リットル入るかん、もう一人の客は、4リットル入るかんを持ってきた。この客の持ってきた二つの小さいかんと、牛乳屋の持っていた大きいかん(牛乳がいっぱい入っている)二つだけを使って、ちょうど2リットルずつ客に牛乳を売ることができるだろうか。

三、日本人の家庭について

A: ごめんください。

B: あ、李さん、ようこそいらっしゃいました。どうぞお上りください。

A: お邪魔いたします。

B: どうぞお掛けください。コーヒーがいいですか、ジュースがい

いですか。

A:どうぞおかまいなく、今日は実は日本人の家庭の様子を知りたいと思って参りました。

B:そうですか。何でもどうぞ。

A:あのう、普通の家庭では、子どもさんが小さい時は、母親は働きますか。

B:小さいうちはあまり働きません。子どもの世話をしなければなりませんから。

A:奥さんが外に出ると、家事はどうしますか。

B:男性も協力しますが、家事の合理化も進んでいます、電子レンジ、電気洗濯機、トースターなどを使ったり、インスタント食品、冷凍食品などをうまく利用しています。

A:家庭電化製品は、どの程度普及していますか。

B:さきほど言った物はもちろん、そのほか、電気掃除機、電気毛布、電気ごたつなどもほとんどどの家にもあります。

A:外で食事をすることもありますか。

B:ええ、土曜日の夜などは外で食べます。

A:今日はいろいろ教えていただきまして、どうもありがとうございました。

新 出 語

- | | | |
|---|------------|--|
| 1 | できごと[出来事] | (名)(偶发的)事件、变故 |
| 2 | ちょう[町] | (名)(介于市与村之间的
自治团体)镇,街
(市街区划单位)街,巷,胡同 |
| 3 | しょ[署] | (名)官署 |
| 4 | かよう[通う] | (自五)往来,来往,通行;
(特指从家里)上学,走读,
上下班 |
| 5 | つう がく[通学] | (名・自サ)上学,走读 |
| 6 | なんとか[何とか] | (副)想办法,设法 |
| 7 | く ろう[苦劳] | (名・自サ・形动)辛苦,劳苦,
艰苦 |
| 8 | のりこむ[乗り込む] | (自五)坐进,坐上 |

9	あん がい[案外]	(副・形动)意想不到, 出乎意外
10	すく[透く・空く]	(自五)有空隙,有缝儿;空
11	つめる[詰める]	(他一)装,填,塞
12	いりぐち[入口]	(名)入口
13	かたまる[固まる]	(自五)聚在一起,成群;变硬, 凝固
14	ちっとも	(副)(后接否定语)一点也不(不)
15	おく[奥]	(名)里头,内部,深处
16	おしかえす[押し返す]	(他五)推回去,顶回去,退回去
17	のど[咽・喉]	(名)咽喉,喉咙
18	でかかる[出掛かる・出懸かる]	(自五)将出来,出来一半
19	ようやく	(副)好不容易,勉勉强强,渐渐
20	もっと	(副)更,更加,进一步。
21	ひびく[響く]	(自五)发出音响,响,打动
22	こえ[声]	(名)声音
23	とし[歳]	(名)年龄
24	とも[共]	(名)共同,同样
25	ざん ねん[残念]	(形动)遗憾,可惜,抱歉;悔恨
26	はずかしい[恥ずかしい]	(形)害羞的;于心有愧的
27	くち[口]	(名)嘴,口;出入口,门口
28	りっぱ[立派]	(形动)优秀,出色;高尚;漂亮
29	ぎゅう にゅう[牛乳]	(名)牛奶
30	や[屋]	(接尾)(表示经营某种营业或 有某种专长的人);店,铺
31	かん[缶]	(名)罐,筒;罐头(盒)
32	リットル[法 litre]	(名)公升
33	ひま[暇・隙]	(名)闲暇,闲工夫;休假
34	べつ[別]	(名・形动)别,另外;区别, 尤其
35	よう じ[用事]	(名)(应办的)事情,工作
36	か てい[家庭]	(名)家庭
37	あ	(感)(打招呼)喂;是; (表示突然、吃惊或想起什么)。 呀! 噢呀
38	じゃ ま[邪魔]	(名・他サ)干扰;影响
39	コーヒー[coffee]	(名)咖啡
40	ジュース[juice]	(名)汁液,果汁
41	じつ[実]	(名)其实,实际

42 かまう[構う]	(自他五)(常用否定,禁止或反语形式)照顾,执行;介意
43 しる[知る]	(他五)知道,理解,认识
44 まいる[参る]	(自五)(“行く”,“来る”的自谦语和郑重语)去,来
45 なんでも[何でも]	(副)不管什么,什么都……
46 あのう	(感)喂,啊,嗯,(招呼人时,说话踌躇或不能立即说出下文时的用语,有时也用“あの”)
47 ははおや[母親]	(名)母亲
48 せ わ[世話]	(名・他サ)帮助;照顾,照管
49 おくさん[奥さん]	(名)夫人,太太
50 か じ[家事]	(名)家事,家务
51 だん せい[男性]	(名)男性,男子
52 きょう りょく[協力]	(名・自サ)协助,共同努力
53 ごう り か[合理化]	(名・他サ)合理化
54 レンジ[range]	(名)(西式)炉灶
55 せん たく き[洗濯機]	(名)洗衣机
56 トースター[toaster]	(名)烤面包器
57 インスタントしょくひん[instant 食品]	(名)快速食品,方便食品
58 れい とう[冷凍]	(名・他サ)冷冻,冻
59 り よう[利用]	(名・他サ)利用
60 でん か せい ひん[電化製品]	(名)电气化制品
61 ふ きゅう[普及]	(名・自他サ)普及
62 そうじき[掃除機]	(名)除尘器
63 もう ふ[毛布]	(名)毛毯
64 こたつ[火爐・炬燵]	(名)(用以取暖的)被炉

本文の注釈

1. みんなが,もう少しずつめれば…/如果大家都各自再挤紧一点……
副助词ずつ在此表示“各自……”的意思。本课中还有一句:
牛乳を2リットルずつ買いたいと言った。/说各自想买二升牛奶。(“買いたい”是“買う”的连用形接愿望助动词“たい”)
2. まだ何人も乗れるはずなのに…/本来还可以坐好几个人,可是……
はずなのに是由补助惯用型はずだ加接续助词のに构成,指定助动词だ本无连体形,但在有特殊需要时就按形容动词词尾变化方式来接续。

3. 愿望助动词たい将在第 19 课学, 本课出现「三处, 都是用…たいと思うの句型。

…人になりたいなあ, と思った。/ 真想成为……的人啊!

日本人の家庭の様子を知りたいと思って…/ 想了解日本人的家庭情况……

4. 用お(动词连用形)ください可以构成尊敬语, 表示“请……”的意思, 如: お上りください/ 请进。お掛けください/ 请坐。另外, 用お(或ご)+动词连用形(或サ变动词词干)+する(或いたす)可以构成自谦敬语, 如: お願いします。お願い致します。/ 拜托您。お邪魔いたします。/ 打扰您。

おかまいなく用于请别人不必特意执行的情况, 可译作“不必客气”。其结构是: 接头词お+“構う”的连用形+形容词ない的连用形, おかまい后面省去了一个主格助词が。

慣 用 型

(体言)はもちろん,(体言)も…[惯用句型]

在这个句型中, もちろん后面省掉了动词或整个谓语部分, 这个句型可译作“……不用说, ……也……”例如:

日本語はもちろん, 英語もできる。/ 日语不用说, 英语也会。(省了できる)

課 外 読 物

温度と熱量

「病気じゃないか。熱が高いようだ。」

熱という言葉は体温と混同して、「熱が高い」といっているくらい, あいまいに使われているようである。

温度と熱量(普通, たんに「熱」といっている)とは別で, 区別して考えねばならぬ。熱はエネルギーであり, 温度とは与えられた熱量の客観的表示である。たとえば, 「この食品には五千カロリーばかりの熱量が含まれている」と言ったり, 「熱エネルギーの問題はボイラーだけの問題でなく, 工学の各分野で考えなければならない問題である」と言ったりする。これは熱量のことを指す。また「体温は高くない」と言ったり, 「ここだけは日が当たらないのでとても涼しい」と言ったりする。これは温度のことを指す。日常, 使用している摂氏温度は次のように決められている。一気圧

の下で水のとけつつある温度を零度(0℃),また,一気圧で沸騰している水の温度を100℃と定め,その間を100等分して温度を表わす。

温度計や体温計のようなものは水銀やアルコールのような,体積膨脹が温度と比例するものをガラスの細管の中に入れた計器であり,それに接触するものの持つ温度によって水銀やアルコールを膨脹収縮させ,細管の中に上下せしめ,温度をはかるものである。

前に述べたように物体の温度は与えられた熱量による。その熱は太陽熱でも,石油や石炭の燃焼熱でも同じである,したがって熱エネルギーを計る単位を定める必要がある。すべての生物は太陽のエネルギーによって育成される。だから,食品の熱も同じ単位で計られることになる。その単位がカロリーである。

选自《日语(理工科用)》第二版第二册第十二课

注 釈

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1 あい まい[曖昧] | (形动)含糊 |
| 2 カロリー[德 kalorie] | (名)卡 |
| 3 ボイラー[boiler] | (名)锅炉 |
| 4 さす[指す] | (他五)指 |
| 5 あたる[当たる] | (自五)碰,当(阳),晒 |
| 6 さだめる[定める] | (他一)规定 |
| 7 アルコール[alcohol] | (名)酒精 |
| 8 はかる[計る・量る・測る] | (他五)计,称,测 |
| 9 のべる[述べる] | (他一)叙述,说 |
| 10 ねん しょう ねつ[燃焼熱] | (名)燃烧发出的热 |

文 法

一、比况助动词ようだ

这个助动词接用言和助动词连体形、“体言+の”和指示连体词之后。

这个助动词所表示的语法意义主要是:

(1)表示比喻,这是它的基本用法,所以叫做比况助动词,相当于汉语的“好象……”“宛如……”例如:

自動車が飛ぶように走っている。/汽车象飞一样在奔驰。

山の上は涼しくて,秋のようだった。/山上很凉爽,就象秋天一样。

(2)表示同等关系,或表示质量相同,相当于汉语的“和……一样”。例如:
きのうの朝も、いつもと同じように、バスがこんでいた。/昨天早晨也和往常一样,公共汽车很挤。

(3)表示举例。举出一个代表性的事物以概括其他事物,相当于汉语的“……一类的”“……之类的”。例如:

新鮮な野菜や肉のようなものを買いました。/买了新鲜的蔬菜和肉之类的东西。

わたしはその男のような人になりたい。/我想成为一个象那个男人一样的人。

(4)表示不很肯定,相当于汉语的“似乎……”。例如:

病気じゃないか。熱が高いようだ。/是不是病了? 好象发烧。

教室にはだれも居ないようだ。/教室里似乎一个人也没有。

3 形态变化。与形容动词相同。

基本形	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
ようだ	ようだろ	ようだっ① ようで② ように③	ようだ	ような	ようなら	○
ようです	ようです	ようでし④	ようです	○	○	○
ようである	ようである	ようであっ① ようであり	ようである	○	ようであれ	○
主要后续词 或用法	う	①た ②ない ③用言		体言	ば	

二、推量助动词う、よう

う接在五段动词、形容词、形容动词、指定助动词、ます的未然形后,よう接在一段动词、力变、サ变动词以及れる,られる,せる,させる等的未然后。

う,よう的形态变化已不全,常用的只有终止形,连体形只限于接こと,もの等几个形式体言。

其语法意义是表示推测、意愿、祈使等。如:

早く行こう/快去吧。

よく考えてみよう/好好想想吧。

あすは雨だろう/明天会下雨吧。

いっしょに行きましょう/一起去吧。

三、提示助词さえ

提示助词(係助詞)さえ接在体言、动词连用形等后面,起提示作用。さえ还可以同も重叠。さえ表示以下语法意义:

1. 提出一个极端的情况作为例子,以类推其他情况。例如:

最近は忙しくて、新聞を読む暇さえなかった。/最近忙得连看报的时间也没有。

そこは電気さえないような山の中です。/那里是连电灯都没有的山沟里。

2. 在已有的事物的基础上,再加上一个。例如:

風が強いばかりでなく雨さえも降り始めた。/不但风大,又下起雨来了。

3. 用“(体言)さえ(用言假定形)ば”、“(动词连用形)さえすれば”的形式表示只要有一项条件就足够了,可译作“只要……便……”。例如:

これさえあればよい。/只要有这个便行了。

きみが行きさえすればいいのだ。/只要你去就行了。

練習

一、下線をつけたことばの漢字を書きなさい。

1. ぼくは、毎日、やまだちょうのけいさつしょの前からバスに乗って、学校へ行きます。

2. あさは、つうきんやつうかくの人たちで、バスがたいへん込みます。

3. 鈴木さんはせんしゅにぎじゅつをちゅうしんに練習させます。

4. らいげつのとおかに、えいこくのチームと、しあいすることになっています。

5. 先生はときどき学生に習ったたんごやぶんけいを使って短いはなしを聞かせます。

二、次の文の____にはどんな言葉を入れたらよいか。ア、イ、ウ、エから最も適当なものを一つ選びなさい。

1. バスに乗る人は____乗りこもうと、力いっぱい前の人をおす。

ア どうして イ なにをして ウ なにとかして エ なんとかして

2. バスに乗ってみると、後ろのほうは、____すいていた。

ア 案内 イ 案内 ウ 以外 エ 以上

3. ご飯を少し____食べてください。

ア ずつ イ まず ウ はず エ だけ

4. 彼は____気が____。

ア 少し つかなかった イ 全然 つかなかった
ウ 全然 ついた エ ちっとも ついた

5. わたしたちはぜひ____と思う。

ア 勝つたい イ 勝ちつもり ウ 勝つつもり エ 勝ちたい

6. 山田さんは来週たぶん____。

ア ひまなでしょう イ ひまだでしょう ウ ひまでしょう エ
ひまにでしょう

7. わたしたちは食べ物 _____ ずいぶん気をつけなければならない。

ア に イ を ウ へ エ で

8. この机の上に鈴木さんのレポート _____。

ア だけありません イ しかあります ウ だけです エ しか
ありません

9. あしたは雪 _____。

ア のようです イ ようです ウ のようなです エ のように
です

10. 私は冷たいビールを _____。

ア 飲みたい イ 飲むたい ウ 食べたい エ 食べるたい

11. 睡眠を _____ とすることができれば、体にいいです。

ア ずいぶん イ じゅうぶん ウ たぶん エ じぶん

三、例にならって文を完成しなさい。

1 例: 私は日本に長く _____ (いる) と思います。 → 私は日本に長く いよ
う と思います。

(1) わたしは先生に _____ (なる) と思います。

(2) 私はドイツ語を _____ (勉強する) と思います。

(3) 私は兄に手紙を _____ (書く) と思います。

(4) わたしは日本へ _____ (行く) と思います。

2 例: わたしはテレビを _____ (買う) とします。 → わたしはテレビを 買
おう とします。

(1) 彼はこれから _____ (頑張る) とします。

(2) 佐佐木さんは力のモーメントの実験を _____ (する) とします。

(3) 兄は電話を _____ (かける) とします。

(4) 太郎は習った本文をまとめてレポートを _____ (書く) とします。

四、次の文を日本語に訳しなさい。

(1) 那本语法书我已经读完了。

(2) 你回国以后, 想做什么?

(3) 你上大学以后, 打算学什么?

(4) 听说明天中国队有比赛。

(5) 据说现在的金阁寺是火灾后修复的。

だいじゅうはつか
第 18 課

本 文：一、科学と人の心

二、病院で

課外読物：一、摩擦電気

二、植物の世界のうつりかわり

文 法：一、提示助词こそ

二、副助词か、并列助词か、とか

三、副助词ほど

四、推量助动词らしい

本 文

一、科学と人の心

科学はどんどん進歩していく。そして、科学の力も、それといっしょに大きく強くなっていく。そのため、人々は、科学の力でできないことはない、というように考えやすい。しかし、ほんとうに科学の力でできないことはないようになるだろうか。これは、よくよく考えてみなくてはならないことである。

原子爆弾というような、たいへんなものが、とうとう発明されてしまった。このごろでは、原子の持つ大きな力を、爆弾のように、一時に出させるのはあぶないから、少しずつ出させようという研究も、盛んに行なわれているそうだ。だから今に、原子の力で電気をおこしたり、汽車や汽船や飛行機を走らせたりすることに成功するかもしれない。

原子の力の利用というほどでなくても、アメリカでも、テレビジョン放送というような科学技術が、どんどん盛んになってきている。

アメリカは、日本などに比べると、各方面にわたって、著しく進歩している。

けれども、いかにアメリカでも、これからさき、科学の力だけで、なんでもやっていけるものではなかろう。政治とか、文学とか、美術とか、音楽とか、宗教とかいうものは、科学だけで盛んにするわけにはいかない。それゆえ、科学の力だけでなんでもできるとするのは、正しくないのである。

私は今、日本の科学の研究を盛んにして、自分らの国のためにも、世界じゅうの国のためにも、科学を進歩させなければならないと思っている。しかし、それと共に、人々の心を、おだやかに、健やかに、けだかく、愛情深く、正しくすることが大事だと考えている。そうして、そういう国、そういう社会にこそ、ほんとうの科学の進歩が行なわれるのだと信じている。

家に戸じまりがなくても、どろぼうがはいらない。畑や庭の野菜や花やくだものを盗む人がない。電車や汽車は、こむにはこんでも、先を争ったりする人がない。配達された牛乳や、郵便や、新聞は、安心して、軒下に置いておける、自分だけ楽をしたり、いいことをして、他人のことを心配しないような人がいない。

こういう状態は、だれでも望ましいと思うだろう、しかし、それは私たちの国のように、戦争に負けた国、人口の多い国では、実現することができないことであろうか。私は、決してそんなことはないと思う。

多くの人、私の考えは夢のようなものだ、というかもしれない。しかし、私はこの夢を、ただ夢として終わらせたくない。

二、病院で

医者：どうしましたか。

患者：先生、どうも風を引いたらしいです。体もだるいし、食欲もないし…

医者：それはいけませんねえ。ちょっと口を開けてください。ああ、のどが赤いですね…。やっぱり、風邪ですね。

患者：昨日雨にぬれたのが悪かったようです。

医者：今とてもはやっているんですよ。風邪で休みになった学校もあるそうです。

患者:そうですか。

医者:じゃあ、この薬を飲んでください。どうぞお大事に。

患者:どうもありがとうございました。

新 出 語

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 か がく[科学] | (名)科学 |
| 2 こころ[心] | (名)心 |
| 3 よくよく | (副)好好地,仔细地;非常,特别 |
| 4 ばく だん[爆弾] | (名)炸弹 |
| 5 とうとう | (副)终于 |
| 6 はつ めい[発明] | (名・他サ)发明 |
| 7 いち じ[一時] | (名・副)某时,暂时,一时,当时 |
| 8 あぶない[危ない] | (形)危险的;令人担忧的 |
| 9 さかん[盛ん] | (形动)盛,兴旺 |
| 10 でん き[電気] | (名)电气,电 |
| 11 き せん[汽船] | (名)轮船 |
| 12 ひ こう き[飛行機] | (名)飞机 |
| 13 せい こう[成功] | (名・自サ)成功,成就 |
| 14 り よう[利用] | (名・他サ)利用 |
| 15 アメリカ[America] | (名)美国,美洲 |
| 16 かく[各] | (接头)各…… |
| 17 ほう めん[方面] | (名)方面,领域 |
| 18 いちじるしい[著しい] | (形)显著的,明显的 |
| 19 けれど(も) | (接)但是,然而,可是 |
| 20 いか[如何に] | (副)如何,怎样 |
| 21 これから | (名)今后,从现在起,从这里起 |
| 22 さき[先] | (名)前面,尖端,将来 |
| 23 おん がく[文学] | (名)文学 |
| 24 び じゅつ[美術] | (名)美术 |
| 25 おん がく[音楽] | (名)音乐 |
| 26 しゅう きょう[宗教] | (名)宗教 |
| 27 ゆえ[故] | (名)理由,情况 |
| 28 じゅう[中] | (接尾)整个……,全……,在…期间 |

29 おだやか[穏やか]	(形动)平静,温和,安稳
30 すこやか[健やか]	(形)健壮,健全
31 けだかい[気高い]	(形)高尚,高雅
32 あい じょう[愛情]	(名)爱,爱情
33 シャ かい[社会]	(名)社会
34 しんずる[信ずる]	(他サ)相信,信仰
35 とじまり[戸締(ま)り]	(名)关门,锁门
36 どろぼう	(名)小偷,贼
37 にわ[庭]	(名)庭院,院子
38 ぬすむ[盗む]	(他五)偷盗,骗
39 あらそう[争う]	(他五)争夺,竞争,争论
40 はい たつ[配達]	(名・他サ)投递,送信报等
41 ゆう びん[郵便]	(名)邮件,邮政
42 あん しん[安心]	(名・自サ)安心,放心
43 た にん[他人]	(名)别人
44 しん ばい[心配]	(名・自サ・形动)担心,不安,挂念
45 のぞましい[望ましい]	(形)符合心愿的,值得高兴的
46 せん そう[戦争]	(名)战争
47 まける[負ける]	(自一)输,屈服
48 じつ げん[実現]	(名・自他サ)实现
49 けっして[決して]	(副)(后与否定语呼应)决不…千万別…
50 かんがえ[考え]	(名)想法,意见,主意,打算
51 い シャ[医者]	(名)医生
52 かん ジャ[患者]	(名)患者,病人
53 かぜ[風邪]	(名)感冒,伤风
54 だるい	(形)懒倦的,无力的
55 しょく よく[食欲]	(名)食欲
56 あける[開ける]	(他一)打开
57 ぬれる	(自一)弄湿
58 はやる	(自五)流行,兴旺
59 ジャあ	(接)那么(では的略音)
60 くすり[薬]	(名)药品

本文の注釈

終わらせたくない中的たく是愿望助动词たい的连用形。

慣 用 型

1. (动词未然形)なくてはならない[补助惯用型]

与第8课所学的“なければなりません”(简体为なければならぬ)的用法,意义相同。

2. (体言)にわたって[修饰惯用型]

表时间、场所、事项的范围,含有“遍及……”的意思,可灵活翻译。例如:

各方面にわたって…/在各个方面都…

6時間にわたって…/整整6个小时内…

3. (动词连体形)わけにはいかない[补助惯用型]

表示在道理上,情理上不可能怎么样做。可译为“不能……”“不会…”。

4. (动词连体形)には(同一动词)[惯用句型]

表示姑且承认某一情况,后面又出现相反结果,例如:

行くには行くが,すぐ帰る。/去是去,但马上就回来。

5. 決して…ない[呼应惯用型]

副词“決して”一定与否定式谓语呼应,表示“绝不……”“决不……”的意思。

課外読物

一、摩 擦 電 気

毛糸のシャツやセーターを脱ぐとき,パチパチと音を立てることがある。このようなときには,薄紙の千切ったものを近づけると吸いつけられてしまう。下敷きを布でこすったり,くしを髪の毛でこすったりしたときも,同じことが起こる。これを,摩擦電気が起きたとか,静電気を帯びたとか言っている。

静電気にはプラスとマイナスの二種類があり,プラスチックを毛皮でこすると,プラスチックにマイナスの電気が,ガラス棒を布でこすると,でラス棒にプラスの電気が起こる。

このプラスとマイナスの電気を帯びたものをくっつけると,火花を出して放電し,電気が消えてしまうが,同じ電気を近づけるとはじきあう。

ある物質とほかの物質をこすり合わせたときにできる電気の種類はきまっている。身のまわりのいろいろな物質で実験した結果,摩擦序列という順序もわかった。

选自《日语(理工科用)》第二版第二册第十一课

植物の世界のうつりかわり

植物も、最初は全部が海にすむソウ類であった。そのころまでは死の世界であった陸地に、最初に生活するようになった植物は、緑色のソウ類の一部が進化したコケのようなもので、水辺だけに生活していたのであろう。いまから約三億年ぐらい前になると、根・茎・葉の発達したシダ類が繁茂するようになった。このようなシダ類の化石は、現在、大陸の石炭としてほりだされている。これは、ちょうど原始的な両生類が地上にあらわれた時代で、そのころは、すでに古いコンチュウなどもあらわれていた。

キョウリュウの時代になると、シダの森林はおとろえ、裸子植物がしげるようになり、さらにホニウ類の時代になると被子植物がこれに代わるようになった。

选自《日语(理工科用)》第二版第二册第十三课

注 釈

- | | | |
|----|----------------|-----------|
| 1 | けいと〔毛糸〕 | (名)毛线 |
| 2 | シャツ〔shirt〕 | (名)衬衫 |
| | けいとシャツ〔毛糸のシャツ〕 | (名)绒衫 |
| 3 | セーター〔sweater〕 | (名)毛衣 |
| 4 | ぬぐ〔脱ぐ〕 | (他五)脱 |
| 5 | パチパチ(と) | (副)啪啪(响) |
| 6 | おとをたてる〔音を立てる〕 | (词组)发出声响 |
| 7 | ちぎる〔千切る〕 | (他五)弄碎,切细 |
| 8 | すいつける〔吸い付ける〕 | (他一)吸住 |
| 9 | くし | (名)梳子 |
| 10 | かみのけ〔髪の毛〕 | (名)头发 |
| 11 | おびる〔帯びる〕 | (他一)带 |
| 12 | くっつける | (他一)靠近 |
| 13 | みのまわり〔身の回り〕 | (名)身边 |
| 14 | うつりかわり〔移り変わり〕 | (名)变迁 |
| 15 | ソウ るい〔(藻)類〕 | (名)藻类 |
| 16 | こけ | (名)藓苔 |
| 17 | シダ〔(羊歯)〕 | (名)羊齿(植物) |
| 18 | ほりだす〔掘り出す〕 | (他五)挖出 |
| 19 | りょう せい るい〔両生類〕 | (名)两栖类 |
| 20 | コン チュウ〔(昆)虫〕 | (名)昆虫 |

21	あらわれる[現われる]	(自一)出現
22	キョウ リュウ[恐竜]	(名)恐龙
23	おとろえる[衰える]	(自一)衰微,衰老
24	しげる[茂る]	(自五)茂盛
25	ほ にゅう[(哺)乳]	(名)哺乳

文 法

一、提示助词こそ

提示助词こそ的接续方法和作用基本上与は相同,但它的提示作用比は强,它是从许多事物中单提出一项来,加以突出强调,可译作“才是”、“正是”、“就是”等。

它可以顶替が、を,也可以同补格助词重叠,它还可以接在接续助词て、は、から后面。

これこそわたしの願いです。/这就是我的愿望。

あなたが行ったこそ,みなさんがお喜びになるのですよ。/只有你去了大家才高兴呢。

二、副助词か、并列助词か、とか

副助词か接在体言、用言与助动词连体形后,常和表示疑问的词连用,用以表示不定。例如:

だれかに聞こう。/问问什么人吧。

何かほしいものがありますか。/想要点什么吗?

并列助词か接在体言或用言终止形后面,构成并列词组,用以表示从两个以上并列的事物或动作中选择一个,相当于汉语的“……还是……”“……或者……”。例如:

行くか行かないか,早く決めてくれ。/去还是不去快点决定。

とか是由并列助词と和副助词か结合而成的,接在体言或用言终止形后,用于举例性列举事物或动作,相当于“……或者……”。例如:

午後は図書館へ行くとか,音楽を聞くとかして過す。/下午或者去图书馆或者听听音乐,这样来渡过。

三、副助词ほど

接在体言或用言连体形后,和ばかり、だけ、くらい一样可以同格助词、提示助词重叠,也可以在后面接だ、です、である。

其语法意义是：

(1)常接在数量词或一些こそあと系词汇后面,表示大致的程度或分量。

例如：

かぜをひいて十日ほど学校を休みました。/感冒了,有十天左右没上学。

きょうはきのうほど暑くないようだ。/今天似乎没有昨天热。

これほど言っているのにまだわからないのか。/说了这么多还不懂吗？

(2)用[用言假定形+ば+同一用言连体形+ほど]的惯用型表示“越……越……”的意思。例如

手伝いの人が多ければ多いほどよい。/帮手越多越好。

思えば思うほど残念だ。/越想越遗憾。

四、推量助动词らしい

推量助词らしい接在动词、形容词、助动词れる、られる、せる、させる、ない、ぬ、た、たい等的终止形后,还可以接在体言或副词、形容动词词干之后,该助动词用以表示说话人以一种有相当把握的客观根据来判断为某种情况,可译为“好象”,“看来”等。例如：

李さんは日本語がよくできるらしいです。/老李好象日语很好。

王さんが言ったことは本当らしい。/老王说的好象是真的。

らしい的形态变化类似形容词,但没有未然形、命令形、假定形也已经不用了。

基本形	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
らしい		らしく① らしかつ②	らしい	らしい		
主要 后续词		①て,ても ②た,たり	が,から, か	体言,の で,のに		

練 習

一、下線をつけた漢字の振仮名を書きなさい

1. 科学はどんどん進歩していく。そして、科学の力も、それといっしょに大きく強くなっていく。
2. 原子爆弾というやうなものがとうとう発明されてしまった。
3. 原子の力で電気をおこしたり、汽車や汽船や飛行機を走らせたりすることに成功した。
4. 政治とか、文学とか、美術とか、音楽とか、宗教とかいうものは、科学の

力だけで盛んにするわけにはいかない。

5. 配達された牛乳や、郵便や、新聞は、安心して、軒下に置いておける。

6. 先生、どうも風邪を引いたらしいです。体もだるいし、食欲もありません。

二、次の文の____にはどんな言葉を入れたらよいか。ア、イ、ウ、エから最も適当なものを一つ選びなさい。

1. ここは夏の名所____有名です。

ア そして イ が ウ で エ は

2. 鈴木先生は力のモーメントの実験____成功した。

ア で イ に ウ を エ が

3. お姉さんは今年____ですか。

ア いくつ イ いつも ウ いくら エ いつ

4. あなたは____えはがきを買いに行きますか。

ア つい イ ずつ ウ いつに エ いっ

5. 科学は____進歩していく。

ア ときどき イ まっすぐ ウ とうとう エ どんどん

6. このことについて、____考えてください。

ア よく イ いく ウ いい エ よくに

7. ____して作りますか。

ア 常に イ 更に ウ いかに エ それに

8. 風邪をひいて三日間____学校を休んだ。

ア ほど イ しか ウ で エ に

9. アメリカは日本____比べると、各方面____わたって著しく進歩している。

ア と、を イ に、を ウ と、と エ に、に

三、“ようだ”を適当な活用形に変えて次の____に書き入れなさい。

1. あの人は日本人の____上手に日本語を話します。

2. あの店は絵はがきや人形の____ものを売っています。

3. よくわかる____教えてください。

4. 今日は寒くて、まるで冬の____です。

5. きょうは風邪を引いている____ですね。

6. だれか来た____ですから、ちょっと見て来ます。

7. 彼はもう寝た____です。

8. その____言われては私は困ります。

四、“らしい”を適当な活用形に変えて次の____に書き入れなさい。

1. 図書館の周りは静か____です

2. 昨日私は汽車の中で学生____人を見た。

3. その人は毎日朝早く家を出て夜遅くまで帰ります、本当に忙しい____。

4. あの人は日本人____です。

5. 男は男 _____ してください。

五. () のことばを使って次の文を日本語に訳しなさい。

1. 今年没有去年那么热。(ほど)
2. 我把中国茶作为礼物送给了老师。(…として…)
3. 虽说没有钱,也不能偷别人的东西。(わけにはいかない)
4. 我们必须尽力研究公害问题。(力を入れる, なければならない)
5. 蔬菜呀、水果呀, 妈妈买了一大堆。(とか)
6. 这正是我要买的书。(こそ)

だいじゅうきゅう か
第 1 9 課

- | | | |
|-------|----|-------------------|
| 本 | 文： | 一、就職 |
| | | 二、旅行に行きたい |
| 課外読物： | | 一、電流計や電圧計を使うときの注意 |
| | | 二、健康のありがたさ |
| 文 | 法： | 一、愿望助动词たい |
| | | 二、被使動句 |

本 文

一、就職

昭和 62 年にこの大学院に来てから、中国文化史を専攻してきましたが、やっと、今年の六月に MA がもらえることになりました。卒業したらすぐ帰国して、日本でいい職業につきたいので、日本の有名な大学をはじめ、いろいろな研究所や新聞社などに履歴書を送りました。まだ仕事は決まりませんが、できれば、地方にある小さくても、いい大学で教えたいと思っています。

私は、山口県で小学校長をしていた父の長男として生まれ、中学に入学するまで山口市で育てられました。私が小学校を卒業した年に、父が文部省の「教育研究所」に転勤させられたので、家族と一緒に東京に住むことになりました。中野高校から都立大学に入学して、大学では政治学を専攻しましたが、私は社会科学よりも文学や歴史のほうが好きで、日本はもちろん、中国の文学や歴史の本をよく読みました。

大学を卒業してから、英語も習いたがったし、アメリカやヨーロッパの文化も勉強したがったから、「アメリカ文化センター」に勤めることにしました。ここではアメリカの新しい音楽や文学、映画などについて教えられたし、英会話も習わせられました。仕事のため九州から北海道までいろいろな地方へ旅行しました。その後、東大の「アジア経済研究会」に勤めましたが、こ

ここでは中国と日本の経済関係について書かれた英語の本を訳す仕事をさせられました。

ここに勤めている間に、日中関係について考えさせられて、ぜひ、大学院に入って、中国文化を研究したいと思うようになりました。運よく、「文化センター」の米国人の知人が、アメリカの大学について詳しく教えてくれて、スポンサーにもなってくれたので、アメリカの東南部にある大学院の東洋研究科で研究することができるようになりました。

初めに行った大学院には、いい図書館がなかったので、次の学期に、今いる大学院に変わりました。ここでは、歴史研究科で、中国文化史を専攻していますが、りっぱな先生も多く、設計のいい図書館や研究室があつて、非常に気持ちよく研究ができて喜んでいます。

この夏には帰国しますが、日本に適当な仕事があるかどうか心配しています。

二、旅行に行きたい

今度はどこへ旅行に行きたいですか。

——京都のような古い静かな町へ行ってみたいです。

日本に関心がある人はみんな京都へ行きたがりますね。

——そうですね。わたしの友だちもみんな京都へ行きたがっています。

あなたは京都へ行って、どんなところを見たいですか。

——二条城や金閣寺のような名所旧跡を見てまわりたいです。それから、いろいろと調べたいことがたくさんあります。

にぎやかな所へは行きたくないのですか。

——はい。わたしはにぎやかな所はあまりすきではありません。

新 出 語

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1 しゅう しょく[就職] | (名・自サ)就取, 就业 |
| 2 しょう わ[昭和] | (名)(日本年号)昭和 |
| 3 だい がく いん[大学院] | (名)研究生院 |

4	ぶん か し[文化史]	(名)文化史
5	せん こう[専攻]	(名・他サ)专业, 专攻
6	やっと	(副)好不容易, 终于, 勉勉强强
7	エム・エー[MA]	(名)硕士课程, 硕士学位
8	そつ ぎょう[卒業]	(名・自サ)毕业
9	き こく[帰国]	(名・自サ)回国, 回家乡
10	しよく ぎょう[職業]	(名)职业
11	けん きゅう しょ[研究所]	(名)研究所
12	しん ぶん しゃ [新聞社]	(名)报社
13	り れき しょ[履歴書]	(名)履历书
14	ち ほう[地方]	(名)地方, 地区
15	けん[県]	(名)县
16	やまぐち[山口]	(名)山口
17	こう ちょう[校長]	(名)校长
18	ちち[父]	(名)父亲
19	ちょう なん[長男]	(名)长子
20	うまれる[生(ま)れる・産(ま)れる]	(自一)出生, 诞生
21	ちゅう がく[中学]	(名)中学
22	し[市]	(名)市
23	そだてる[育てる]	(他一)培养, 抚养, 抚育
24	もん ぶ しょう[文部省]	(名)文部省(日本政府的教育部)
25	きょう いく[教育]	(名)教育
26	てん きん[転勤]	(名・自サ)调动工作
27	か ぞく[家族]	(名)家族, 一家人
28	なかの[中野]	(名)中野
29	と りつ[都立]	(名)东京都立, 东京都办的
30	せい じ がく[政治学]	(名)政治学
31	ほん[本]	(名)书
32	センター[center]	(名)中心, 中央
33	つとめる[勤める]	(自一)工作, 服务
34	とう だい[東大]	(名)东京大学
35	やくす[訳す]	(他五)翻译
36	うん[運]	(名)命运, 时运
37	べい こく[米国]	(名)美国
38	ち じん[知人]	(名)熟人, 相识
39	くわしい[詳しい・精しい]	(形)详细的, 精通
40	スポンサー[sponser]	(名)(广播、电视)资助者, 提供

		商业广告节目者, 广告户
41	とう なん ぶ[東南部]	(名) 东南部
42	とう よう[東洋]、	(名) 东洋, 东方
43	けん きゅう か[研究科]	(名) 研究科
44	がっ き[学期]	(名) 学期
45	せつ び[設備]	(名) 设备
46	けん きゅう しつ[研究室]	(名) 研究室
47	よろこぶ[喜ぶ・悦ぶ]	(自五) 欢喜, 高兴
48	かん しん[関心]	(名) 关心, 感兴趣
49	に じょう じょう[二条城]	(名) 二条城
50	めい しょ きゅう せき[名所旧跡]	(名) 名胜古迹
51	まわる[回る]	(自五) 转, 旋转

慣 用 型

(体言)をはじめ[修飾慣用型]

作状語, 举出一个典型事項为例用以推及其他, 可译作“以……为首”“……以及……”。例如:

京都をはじめいろいろなところを見学した。/ 参观了京都和其他许多地方。

課 外 読 物

一、電流計や電圧計を使うときの注意

電解しているとき, 電解質の中を流れる電流の大きさをはかるのには, 電流計を用いる。また, 両極間にかかっている電圧の大きさを知るために, 電圧計を用いる。電解中の一定の条件を保つために, また電解している間, どんな具合に電解が進むものかを知るために, 電流とか電圧の大きさを知ることがたいせつである。次に, これらの計器を使ううえでの注意を述べておきたい。

a. 電流や電圧をはかるためにメーターをつなぐとき, それらのつなぎ方を間違えないこと。直流を使っているときは, とくに注意を要する。すなわち, 電流計は回路に直列に入れ, 電圧計は並列に入れることをよくおぼえておかなければならない。なお, このとき, 電圧計は回路に接続したままにせ

ず、その値を読みとるときだけ、キーをたたいて回路を閉じるようにした方がよい。

b. はかろうとする値よりもじゅうぶん大きい値まではかれる計器を使用すること。たとえば、3Aほどの電流をはかるときには5Aくらいまでの目盛りのある電流計を用いる。もし、このとき1Aまでしかはかれない電流計を用いると、メーターをこわすことがあるから、注意を要する。

c. 電解では直流を用いるから、直流用のメーターを使用すること。ふつう、メーターの目盛りの下に符号が付いていて、このメーターは直流用か交流用かそれとも交直両用かがしるしてある。

d. 電流も電圧も、はかりたい精度に応じて、その目的にかなう精度のメーターを用いること。

e. 電流計、電圧計は安定した場所に置くこと。

二、健康のありがたさ

ごぶさたしております。

——ほんとうにお久しぶりですね。

去年、胃の手術をなさったそうですが、よくなりましたか。

——ええ、おかげさまで、もうすっかりよくなりました。

お見舞いに伺おうと思っていたのですが、つい忙しくて失礼してしまいました。

——過労と不注意から胃をこわしてしまったのだと思います。

あまり無理をなさるからですよ。自分の体は自分で気をつけなければいけませんね。

——はい、病氣して、はじめて健康のありがたさがわかりました。今度こそ病氣にならないように、健康に注意するつもりです。

选自《日语(理工科用)》第二版第二册第十四课

注 釈

- | | |
|---------------|-------------------------|
| 1 もちいる[用いる] | (他一)用,使用 |
| 2 ぐあい[具合・工合] | (名)情况,状况 |
| 3 たい せつ[大切] | (形动)重要 |
| 4 メーター[meter] | (名)仪表 |
| 5 つなぐ | (他五)联结,系住 |
| 6 ちょく れつ[直列] | (名)直排,(电)串联 |
| 7 なお[(尚)] | (接)再者,还有
(副)还,仍然,更,再 |

8	よみとる〔読み取る〕	(他五)读出
9	キー〔key〕	(名)开关,键
10	たたく〔(叩)く〕	(他五)打,按,扣
11	めもり〔目盛り〕	(名)刻度,标度
12	こわす〔(毀)す〕	(他五)弄坏,打碎
13	しるす〔(印)す〕	(他五)作记号,标记
14	かなう〔(適)う〕	(自五)适应,适合
15	ありがたさ〔(有難)さ〕	(名)可贵
16	ごぶさた〔御無沙汰〕	(名・自サ)久疏问候
17	すっかり	(副)完全
18	みまう〔見舞う〕	(他五)探望,问候
19	うかがう〔伺う〕	(他五)拜访,打听
20	かろう〔過労〕	(名)过分劳累
21	むり〔無理〕	(名・形动・自サ)勉强,过分

文 法

一、愿望助动词たい,たがる

接在动词和れる,られる,せる,させる等助动词的连用形后。和指定、比况、推量等助动词重叠时,たい一定在前面。

五段:なろう→なりたい,ならいたがる

一段:みる→みたい,みたがる

カ变:くる→きたい,きたがる

サ变:使用する→使用したい,使用したがる

れる:出される→出されたい,出されたがる

られる:決められる→決められたい,決められたがる

せる:聞かせる→聞かせたい,聞かせたがる

させる:信じさせる→信じさせたい,信じさせたがる

たい表示动作主体的内心愿望,用断定形式时,主语一般是第一人称,用推测、疑问等形式时,主语可以是第二、三人称。たがる表示形之于言表的愿望,主语的人称一般不受限制。

形态变化如下表:

形態	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形
たい	たかろ①	たかっ①たく②	たい	たい	たけれ
たがる	たがろ① たがら②	たがり③ たがっ④	たがる	たがる	だかれ
主要后 续词或 用法	①う ②ない、 ぬ	①た、たり ②て、ても ③ます、な がら ④た、て、 ても、たり	そうだ、 らしい、 が、けれ ども、し、 か	ようだ、 ので、 のに	ば

(1) 未然形:接う表推测,但实际谈话中多用たいだろう,たがるだろう的形式。

かれも行きたかろう。(行きたがろう。)/他也想去吧。

(2) 连用形

私も行きたかった。/我也想去。

そんなことはしたくない。/不想干那种事。

弟も行きたがった。/弟弟也想去。

あなたは新しいものを見ると、すぐ買いたがりますね。/你一看到新东西就马上想买呀。

(3) 终止形

次に、これらの製品を使ううえでの注意を述べておきたい。/下面我想说一下使用这些产品的注意事项。

かれも行きたらしい。/好象他也想去。

友だちも行きたがる。/朋友也想去。

(4) 连体形

あなたが行かせたい時に行かせればいい。/你什么时候想让(他)去,就让他去好了。

人形を買いたがる人もいます。/也有想买(玩具)娃娃的。

(5) 假定形

あなたたちは行きたければ、行ってもいい。/你们想去就去吧。

他动词接上たい,たがる以后,宾格助词を可以变成主格助词が,也可以不变。例如:

わたしは水を飲みます。→わたしは水が飲みたいです。→わたしは水を飲みたいです。

二、被使动句

以动词+せる,させる+れる,られる构成的语态,叫被使动语态,以被

使动语态动词作谓语句的句子叫“被使动句”(「させられる」文)。

这种句子一般表示两种语法意义:

1、表示被迫、身不由己。例如:

貿易会社に勤めたので、英語を習わせられた。/因为在贸易公司工作，所以也不得不学了英语。

2、表示情不由禁。例如:

その映画を見て、感動させられた。/看了那电影，很感动。

練習

一、下線のつけた漢字の振仮名を書きなさい

1. 私は卒業したらすぐ帰国して、中国でいい職業につきたいのです。
2. 父が文部省の「教育研究所」に転勤させられたので、家族と一緒に東京に住むことになりました。
3. 鈴木さんは大学に入学して、政治学を専攻します。
4. 初めに行った大学院には、いい図書館がなかったので、次の学期に、今いる大学院に変わりました。
5. 私は二条城や金閣寺のような名所旧跡を見てまわりたいです。

二、次の文の____にはどんな言葉を入れたらよいか。ア、イ、ウ、エから最も適当なものを一つ選びなさい。

1. 昨日私は____で買物をしました。

ア アパート イ デパート ウ メンバー エ パス

2. 私は有名な大学____初め、いろいろな研究所や新聞社などに履歴書を送りました。

ア ヘ イ に ウ から エ を

3. 日本____関心がある人はみんな京都へ行きたがります。

ア ヘ イ を ウ に エ の

4. それがあって____,みんながおお喜びになったのですよ。

ア こそ イ だけ ウ ので エ しか

5. コルク栓は上下に動く____で、波といっしょに波の広がる方向に進まない。

ア こそ イ だけ ウ しか エ ほど

6. 糸電話で、糸をぬらすと____聞こえます。

ア いい イ よくよく ウ よい エ よく

7. 彼はこの資料を____。

ア 借りつもりです イ 借りたいです

ウ 借りるたいです エ 借りたがります

8. 真空の中で鈴を____,わたしたちの耳には音が感じられないだろう。

ア 鳴してから イ 鳴しているので

ウ 鳴しても エ 鳴しでも

9. 最近は公害対策 ____ 力を入れはじめています。

ア ヘ イ に ウ で エ が

10. 「私は知人に電話を掛けた。」という文の「知人」というのは ____ です。

ア 私の名前を知っている人 イ 私の知っている人

ウ そのことを知っている人 エ みんなに知られている人

三、例にならって文を書きなさい。

1. 例: わたしは新鮮な野菜を食べます。

→ わたしは新鮮な野菜を食べたいです。

(1) 私は電話をかけます。

→

(2) 私は国へ帰ります。

→

(3) 私はこの工場で働きます。

→

(4) 私は電車で通学します。

→

(5) 私はこれからでかけます。

→

2. 例: 陳さんは果物を食べます。

→ 陳さんは果物を食べたがっています。

(1) 池田さんはもっと安い車を買います。

→

(2) 彼は大学院で文法を研究します。

→

(3) 兄は飛行機で旅行に行きます。

→

(4) 私の知人はこの仕事をします。

→

四、次の文を中国語に訳しなさい。

1. 私はこの「アメリカ文化センター」で中国と日本の経済関係についての本を訳す仕事をさせられました。

2. 私は自然科学よりも文学や歴史のほうが好きです。

3. 子供も行きたがっていたので、連れて行ってやりました。

4. 私の住んでいる所はずいぶん便利で住みやすい所です。

- 本 文：一、発明と練習
二、蜜柑
実用会話(1)：出迎え
課外読物：一、植物の生長のもとは何か
二、植物は光合成をして生きている
文 法：一、否定助動詞ない、ぬ
二、推量助動詞まい
三、補助動詞ある

本 文

発明と練習

人類の歴史は、見ようによっては、不可能を可能にする過程の連続である。それは、一つは発明によって、一つは練習によって行なわれる。

鳥のごとく空を飛び、魚のごとく水をもぐりたいとは、人類あって以来の宿願であった。今や人は、飛行機により潜水艇により、どんな鳥よりも魚よりも、よく空を飛び、よく水をもぐる。月の世界に遊ぶということは、かつては不可能な空想の別名であった。しかし、今や、きのう月世界の旅行から帰ってきたという人に会っても、それほど驚かない、と言いうるところまでに、われわれは来ている。それは、発明によって不可能が可能にされた実例である。

他面、われわれ人類は、無数の不可能を練習によって可能にしつつある。早い話が水泳である。水泳を知らない者は、水に落ちれば、おぼれて死ぬ。水泳を知る者は、たやすく浮かぶ。水に落ちて死ぬ者と浮かんで生きる者とは、別種類の動物だといっ

ていいくらいの違いである。幼児が水に落ちたのを目前に見て、黙って見ていなければならぬ人間と飛び込んで助けうる人間とでは、道徳的にも別種類の人類だといわねばなるまい。そうして、それは練習をするかしないかによって分かれる。

これは一例に過ぎぬ。他の無数の場合において、練習は、不可能を可能にするのである。10メートルの高さから水に飛び込むことは、練習しなければ、いかなる勇士もあえてしない。また、練習しなければ、100メートルを15秒で走ることさえも不可能であろう。さらに、あの器械体操で、ほとんど重力というものを無視したかと思われるさまざまな人体の動きや姿勢は、練習ということ度を外視しては、ほとんど思いもよらぬことであろう。

あれらこれら無数の場合において、無数の不可能を可能にするものは、説明でなく、説教でなく、ただ黙々として続けられる練習、これのみである。

二、蜜柑

太郎は、毎朝、家のそばを30分ぐらい走ることになっていた。冬のある日、太郎はいつものように朝早く起きて、果物屋のところまで走ってきた。その時、太郎は、店の前に蜜柑が一つ置いてあるのを見た。近くには、だれもいなかった。

太郎は、静かに店の前へ歩いて行って、その蜜柑をポケットの中に入れた。

次の日、前の日と同じように、果物屋の前まで来ると、今度は二つ置いてあった。

「今日も、もらおう。」

店の前に置いてある蜜柑は、毎日一つずつ増えていった。一か月後で、店の前には、一枚の紙が置いてあった。それには、こう書いてあった。

「この一か月の間、どうもありがとうございました。蜜柑は一つ20円でございます。蜜柑のお金を全部で9300円いただきます。」

実用会話(1)

出迎え

A: 失礼ですが、李さんですか。

B: はい、李です。

A: よくいらっしやいました。私は田中です。初めまして、どうぞよろしく。

B: こちらこそ。お忙しいところをありがとうございます。

A: どういたしまして。疲れましたか。

B: いいえ、ちっとも疲れませんでした。

A: そうですか。荷物はこれだけですか。

B: はい、みんなここにあります。

A: それでは、どうぞ。車が来ていますから。

B: それはどうも。たいへんお手数をおかけしました。

新 出 語

- | | | |
|----|---------------|----------------|
| 1 | じん るい[人類] | (名)人類 |
| 2 | ふ か のう[不可能] | (名・形動)不可能 |
| 3 | か てい[過程] | (名)过程 |
| 4 | れん ぞく[連続] | (名・自他サ)连续 |
| 5 | もぐる[潜る] | (自五)潜 |
| 6 | い らい[以来] | (名)以来 |
| 7 | しゆく がん[宿願] | (名)宿愿 |
| 8 | いまや[今や] | (副)现在(比いまは语气强) |
| 9 | せん すい かん[潜水艦] | (名)潜水艇 |
| 10 | げっせかい[月世界] | (名)月球 |
| 11 | かつて | (副)曾, 曾经 |
| 12 | くう そう[空想] | (空)空想 |
| 13 | べつ めい[別名] | (名)别名 |
| 14 | それほど | (副)那样, 那种程度 |

15	える・うる[得る]	(接尾)能
16	じつ れい[实例]	(名)实例
17	ためん[他面]	(名)另方面
18	むすう[無数]	(名・形动)无数
19	はやいはなし[早い話]	(词组・接)简便的例子
20	すい えい[水泳]	(名・自サ)游泳
21	おちる[落ちる]	(自一)掉,落
22	おぼれる	(自一)溺,淹(死)
23	たやすい[容易い]	(形)容易,轻易,不难
24	うかぶ[浮(か)ぶ]	(自五)漂浮,呈现
25	べつ[別]	(接头)别的,另一个
26	どう ぶつ[動物]	(名)动物
27	よう じ[幼児]	(名)幼儿
28	もく ぜん[目前]	(名)眼前
29	だまる[黙る]	(自五)沉默,不说话
30	にん げん[人間]	(名)人类,社会
31	とびこむ[飛(び)込む]	(自五)跳进,突然闯进
32	たすける[助ける]	(他一)帮助,救助
33	どう とく てき[道德的]	(形动)道德上的。
34	そうして	(接)然后,于是,而且
35	た[他]	(名)别,他,其他,别人
36	いかなる	(连体)什么样的
37	ゆう し[勇士]	(名)勇士
38	あえて	(副)敢
39	びょう[秒]	(接尾)秒
40	き かい[器械]	(名)器械,仪器
41	たい そう[体操]	(名)体操
42	じゅう りょく[重力]	(名)重力
43	む し[無視]	(名・他サ)忽视
44	さまざま[様様]	(形动)种种、各种
45	じん たい[人体]	(名)人体
46	し せい[姿勢]	(名)姿势,态度
47	ど がい し[度外視]	(名・他サ)置之度外,忽视
48	おもいもよらぬ[思いも寄らぬ]	(词组・形)想不到,意外的
49	せつ きょう[説教]	(名・自サ)说教,(喻)规劝
50	もくもくとして[黙々として]	(副)不声不响地
51	みかん[蜜柑]	(名)桔子
52	ポケット[Pocket]	(名)衣袋,口袋
53	ふえる[増える,殖える]	(自一)增加,增多

54	まい[枚]	(接尾)张,块
55	かみ[紙]	(名)纸
56	でむかえ[出迎(え)]	(名)迎接,迎接的人
57	どういたしまして [どう致しまして]	(词组)(回答对方道谢道歉时的 谦逊语)不敢当,岂敢,算不了什么。
58	つかれる[疲れる]	(自一)疲乏,劳累
59	にもつ[荷物]	(名)行李,货物
60	てすう[手数]	(名)费事,麻烦

本文の注釈

1. 文语(古代日语)里有些语法现象还残存在口语(现代日语)里,本文出现了几个:

助动词ごとし,接在用言连体形、体言十の之后,表示“如同……”“好象……”的意思,在口语中常用的是其连用形ごとく(作状语),连体形ごとき(作定语)。如:

鳥のごとく空を飛ぶ。/象鸟一样在空中飞。

魚のごとき潜水艦は水の中にもぐり込んだ。/象鱼一样的潜水艇潜入了水中。

文语系助词や,在口语中接在副词后或名词后,加强语气。如:

今や月世界の旅行もできるようになった。/现在呢,到月球去旅行都可能了。

文语助动词のみ,相当于だけの用法:

これのみである。=これだけである。/仅此而已。

文语补助动词“得”,在日语里用“得る”的形式,接动词连用形表示可能,如,言いうる/可以说,助けうる/可以救助。

2. こちらこそ是こちらこそよろしくお願いします之略,直译是“我这方面才要请您多关照”的意思。

慣用型

1 (动词连用形)つつある[补助惯用型]

つつ是文语接续助词,相当于口语的ながら,つつある相当于している,し続ける。如:

科学は進歩しつつある。/科学正在不断进步。

2 (用言终止形,体言)とっていいくらい[修饰惯用型]

用以作状语,如果该惯用型后续の就可以作定语,くらい还可以换用ほど。意义是“可以说是……的”。如:

日曜日きっとといていいくらい(ほど)図書館へ行く。/星期天可以说是必去图书馆

3 (动词未然形)なければならぬ[补助惯用型]

用法、意义与なければならない,なければなりません相同。

4 (动词未然形)ねばなるまい[补助惯用型]

なければならない中的ない换用ぬ,即成ねばならぬ,这个惯用型的ぬ换用否定推量助动词まい,即成ねばなるまい,所以这个惯用型等于なければならぬだろう。

5 (体言)において[修饰惯用型]

表示时间、场所、相当于汉语的“於”字的意义。例如:

人類の歴史において,そういう過程はよく見られる。/在人类历史上常可见到这种过程。

課外読物

一、植物の生長のもととは何か

いまから二千三百年ほど前,ギリシアの大学者,アリストテレスは,「植物の口は根である。植物は,その生活や生長に必要な物質を,すべて土の中から得ている」と説明した。そのころは,植物の体のつくりやはたらきについて,まだ,あまり多くのことがわかっていなかったので,この考えは二千年の長い間,多くの人に信じられていた。

ところが,いまから三百五十年ほど前に,ヘルモントは,「もしも,アリストテレスの考えが正しいとすれば,植物の重さがふえただけ土の重さは減ったはずである」と考え,重さをはかることによって,アリストテレスの考えを確かめようとした。

ヘルモントは,乾燥した土 90kgを植木鉢に入れ,そこへ重さ 2kgの柳の苗を植えて水をやった。そして,五年間,水だけをあたえて育てた結果,柳の木は76kgになった。そのとき,植木鉢の土をとり出し,乾燥させてはかったところ,わずか 60g 減っただけであった。そこで,ヘルモントは「植物のからだをつくるおもな材料は水である」と考えた。

ヘルモントの考えには正しくない部分もあったが,この実験がきっかけとなって,植物の研究が進められ,やがて光合成のはたらきがわかるようになった。

二、植物は光合成をして生きている

動物は、ほかの生物のからだを食べて栄養分を得ているが、ふつうの植物は、自分のからだのなかで、光合成をして栄養分をつくっている。この栄養分がもとになって、生長したり、生活したりしていくことができる。そのために、植物は、ほかの植物などの日かげになって日光がよくあたらなくなると、生長できなかつたり、かれたりする。たとえば、たけの高い植物が生い茂っているところでは、たけの低い草などは、日光にじゅうぶんあたることができず、よく生育できない。

选自《日语(理工科用)》第二版第二册第十三课

注 釈

- | | | |
|----|----------------------|-----------------|
| 1 | ギリシア[拉 Graecia] | (名)希腊 |
| 2 | アリストテレス[Aristoteles] | (名)亚里士多德 |
| 3 | ヘルモント[Helmont] | (名)赫尔曼 |
| 4 | へる[減る] | (自五)减少, 磨损 |
| 5 | たしかめる[確かめる] | (他一)弄清, 验证 |
| 6 | うえきばち[植木鉢] | (名)花盆 |
| 7 | うえる[植える] | (他一)种植 |
| 8 | わずか | (副・形动)一点点, 少, 微 |
| 9 | そこで | (接)因此 |
| 10 | きっかけ | (名)契机 |
| 11 | やがて | (副)不久 |
| 12 | ひかげ[日陰] | (名)阴凉处 |
| 13 | かれる[枯れる] | (自一)枯萎 |
| 14 | たけ[(丈)] | (名)高矮 |
| 15 | おいしげる[生い茂る] | (自五)生长茂盛 |

文 法

一、否定助动词ない, め

ない和め都接在动词和助动词れる, られる, せる, させる的未然形后, め还可以接在ます的未然形后, 构成ませぬ, 读音为ません(书写时一般也写ません)而ない不能接ます。和サ变动词相接时, ない接未然形词尾し, め接未

然形 词尾せ。例如：

动词：

五段：走ら }
一段：食べ } ない
か变：こ } ぬ(ん)
サ变：し——ない
 せ——ぬ(ん)

助动词：

表わされ }
決められ } ない
使わせ } ぬ(ん)
答えさせ }
使用せしめ }
定めませ——ぬ(ん)→定ぬません

要注意动词ある不能接ない和ぬ，不说あらない和あらぬ。ある的否定，直接使用形容词ない。

否定助动词表示的语法意义是：

(1)表示否定，这是这个助动词的基本用法。相当于汉语的“不”，“没有”。

例如：

彼は午後図書館へ行かない。/他下午不去图书馆。

だれも行きませんでした。/谁也没有去。

(2)采用疑问的形式结尾，构成否定疑问形式，表示一种委婉的疑问、希望、要求、邀请。例如：

ねえさん，第二十課の本文を説明してくれないか。/姐姐，给我讲一下第二十课的课文好吗。

ほんとにしょにやってみないか。/(你)是不是同我一起来做做？

(3)构成惯用型なければならない，ねばならぬ等。なければならない由[ない的假定形なけれ+接续助词ば+动词なる的未然形なら+ない]构成，ねばならぬ由[ぬ的假定形ね+接续助词ば+动词なる的未然形なら+ぬ]构成。例如：

温度と熱量を区別して考えなければならない。/必须把温度和热量区别开来。

形态变化如下：

形 态 助 动 词	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
な い	なかろ	なく① なかつ②	な い	な い	なけれ	○
ぬ	○	ず	ぬ(ん)	ぬ(ん)	ね	○
主要后续词	う	①て，ても ②た，たり	けれども， が，のに， から，と	体言：とう だ，ので， のに	ば	

注：①ぬ常读为ん，②表示中顿一般用ず。

(1)未然形：

在谈话中用的很少,一般用…ないだろう形式代替。

(2)连用形:

后面连接用言用なく,接て时有なくて和ないで两种形式,接ても也用なく,接た,たり用なかつ,表示中顿用ず,作状语也用ず(也常用ず加に构成ず的的形式)例如:

かれは知らなくても知らぬと言わない。/他即使不知道,也不说不知道。

かれはなにも話さず,ただ聞いているばかりです。/他什么也不说,只是听着。

今日は日曜日だが,彼は遊ばず,勉強ばかりしている。/今天虽然是星期天,但他不玩,整天在学习。

思わず涙が出た。/不由得落下泪来。

(3)终止形:

頭が割れるように痛くて,なにもできない。/头痛得象要裂开一样,什么也干不了。

(4)连体形:

ここだけは日が当たらないので,とても涼しい。/只有这里太阳照不到,所以很凉快。

学校へ行かない時は,うちで日本語を勉強します。/不上学的时候,就在家里学日语。

(5)假定形

雨が降らなければ図書館へ行くつもりです。/不下雨的话,打算去图书馆。

二、推量助动词まい

接五段动词,ます,たがる的终止形后,五段以外动词,れる,られる,せる,させる未然形后,力变动词常用くるまい,有时也用きまい。

语法意义是:

1. 表示否定推测,是“不会……吧”意思。例如:

あの人は行くまい。/他不会去吧

2. 表示否定意志,是“决不……”的意思。例如:

これからは何もうまい。/今后什么也不说

三、补助动词ある

ある通过て接在他动词的后面,即用“动词连用形(五段动词要发生音变)+てある”的形式。它表示某一动作所造成的状态一直存在。他动词后续てある之后,在强调状态的时候,它的宾语就变成主语。例如:

つくえの上にテレビが置いてある。/桌子上放着电视机。
窓が開けてあるから、すずしくなるだろう。/窗子开在那儿,会凉快些吧。

練習

一、下線をつけた漢字の振仮名を付けなさい。

1. 鳥のごとく空を飛び、魚のごとく水をもぐりたいことは、人類あって以来の宿願であった。
2. 月の世界に遊ぶということは、かつては不可能な空想の別名であった。
3. これは一例に過ぎぬ。他の無数の場合において、練習は、不可能を可能にするのである。
4. 私は今、日本の科学の研究を盛んにして、自らの国のためにも、世界じゅうの国のためにも、科学を進歩させなければならないと思っている。
5. 自分だけ楽をしたり、いいことをして、他人のことを心配しないような人がいない。
6. 私は昭和 62 年にこの大学院に来てから、中国文化史を専攻してきました。

二、次の文の ____ にはどんな言葉を入れたらよいか。ア、イ、ウ、エから最も適当なものを一つ選びなさい。

1. 何の ____ ですか

ア お大事 イ ご用事 ウ お用事 エ ご大事

2. お酒を少し飲むと食飲が ____ と言われています。

ア 出す イ なる ウ でる エ いる

3. 水泳を知らない者は、水 ____ 落ちればおぼれて死ぬ

ア に イ を ウ へ エ で

4. 私は昨日陳さんに ____ 会いませんでした。

ア ほど イ しか ウ こそ エ のみ

5. どうぞ熱い ____ 食べてください。

ア いえに イ 中で ウ うちで エ うちに

6. 彼 ____, 飛行機の切符を買うことができた。

ア ので イ のに ウ ゆえ エ のおかげで

7. この手紙を明日の昼 ____ 出してください。

ア まで イ までに ウ から エ ぐらい

8. 日本語が上手で、まるで日本人 ____。

ア のようです イ のらしいです ウ のそうです エ でしょう

9. 人 ____ 趣味が違うはずでしょう。

ア にとって イ によって ウ に対して エ について
10. 仕事が進むに____, 忙しくなって来た。

ア 向けて イ よって ウ したがって エ 通って
11. ____安いのはありませんか。

ア ちっとも イ やっと ウ もっと エ きっと
12. 鳥 ____空を飛ぶたいことは, 人間の夢でした。

ア ように イ らしい ウ のごとく エ のごとし
13. 人類の歴史は見ようによっては, 不可能 ____ 可能 ____ する過程の連続である。

ア から, まで イ を, へ ウ を, に エ に, を
14. どうぞお体 ____ 気 ____ つけてください。

ア を, に イ に, を ウ を, を エ へ, を
三, 例にならって動詞のあとに「ない」, 「ぬ」, 「まい」をつけなさい。

例, 行く → 行かない → 行かぬ → 行くまい

1. 見る →

2. 覚える →

3. 通う →

4. 来る →

5. する →

6. 通学する →

7. 誘われる →

8. 行かせる →

9. 来させる →

10. 会いたがる →

四, 次の文を中国語に訳しなさい。

1. どうしてほくに言えなかったのかと思うと, 残念な, はずかしい気持ちになった。

2. 原子爆弾というような, たいへんなものが, とうとう発明されてしまった。

3. 多くの人は, 私の考えは夢のようなものだ, というかもしれない。

4. 最近, 風邪で休みになった学校もあるそうです。

5. この夏には帰国しますが, 日本に適當な仕事があるかどうか心配しています。

第 21 課

本 文: 一、お礼の手紙
二、手紙
実用会話(2): 初対面のあいさつ
課外読物: いろいろな書式
文 法: 敬語表示法

本 文

一、お礼の手紙

寒さが一段と厳しいこのごろですが、皆様お元気でいらっしゃいますか。

お正月に伺った時は、家族の一員のように、温かく迎えてくださいまして、本当にありがとうございました。

おかげさまで、外国での初めての新年をとても楽しく過すことができました。日本のお正月の伝統的な行事や料理、遊びなど、どれもみな珍しいものばかりで、一度にたくさんの経験ができたことを喜んでおります。さっそく国の両親にも便りを致しましたが、私が充実した留学生生活を送っているのを知って、さぞ安心していることでしょう。

あの時の写真ができましたので、同封致します。使いなれないカメラでとったので、写っているかどうか心配でしたが、どうにかとれていたのでほっとしました。美知子さんの美しい和服姿の写真やテーブルいっぱい並んだお正月料理の写真は、いい記念になるでしょう。大切にしまっておこうと思います。

聞くところによると、悪い風邪がはやっているそうですが、くれぐれもお体を大切になさってください。

さようなら

一月二十日

〇〇〇

二、手 紙

だいふ秋らしくなつてまいりました。皆様お変わりございませんか。

休み中はたいへんお世話になり、ありがとうございました。そちらで毎日、日本語だけで生活したのは、とてもよい経験になりました。おかげで私の日本語も、だいふ上達致しました、三郎さんが上京なさるのは、いつごろでございますか。お待ちしております。上京されるまでに、今よりもっと正確な日本語が話せるよう、毎日勉強しておきます。それから、来月の学会のことですが、斎藤さんに昨日電話を掛けて見ましたが、おるすでした。また連絡してみます。鈴木さんには速達を出しておきました。

日本語を書くのがたいへん苦手なので、お礼やご報告の手紙がおそくなりました。どうぞお許してください。なお、国から送ってきた物を少々お送りいたしました。お受け取りになってください。

では、くれぐれもお体をお大切に。ご家族の皆様によろしくお伝えください。

昭和五十二年九月十五日

〇〇〇

実用会話(2)

初対面のあいさつ

A: やあ、李さん、おはようございます。

B: おはようございます。

A: ご紹介します。この方は木村さんです。私の友達です。

C: 木村と申します。はじめまして、よろしくお願いします。

B: 私は李明と申します。はじめまして、どうぞよろしく。

C: 日本ははじめてですか。

B: はい、はじめてです。

C: 日本にどのくらいいるつもりですか。

B: 一年くらいです。

C: そうですか。そのうちいろいろな所をご案内しましょう。

B: ありがとうございます。

A: では、いっしょに参りましょう。

C、B: はい。

新出語

- | | |
|-------------------|--|
| 1 いちだん(と)[一段(と)] | (副)更加, 越发 |
| 2 さま[様] | (接尾)(接在人名或表示人的名词下)表示敬称; (接在表示心意的用语下)表示郑重或客气的语气 |
| 3 しょうがつ[正月] | (名)正月 |
| 4 うかがう[伺う] | (自五)拜访
(他五)请教, 打听, 听说 |
| 5 いち いん[一員] | (名)一员 |
| 6 しん ねん[新年] | (名)新年 |
| 7 でん とう[伝統] | (名・他サ)传统 |
| 8 ぎょう じ[行事] | (名)(按照惯例或一定计划举办的)仪式、活动 |
| 9 めずらしい[珍しい] | (形)少见的, 珍奇的 |
| 10 けい けん[経験] | (名・他サ)经验, 体验 |
| 11 りょう しん[両親] | (名)双亲 |
| 12 たより[便り] | (名)信, 消息 |
| 13 いたす[致す] | (他五)(“する”的谦恭说法, 也用作自动词)做, 办; 招致 |
| 14 じゅう じつ[充実] | (名・自サ)充实, 富 |
| 15 りゅう がく せい[留学生] | (名)留学生 |
| 16 せい かつ[生活] | (名)生活 |
| 17 さぞ | (副)想必, 谅必 |
| 18 どう ふう[同封] | (名・他サ)附在信内 |
| 19 うつる[写る] | (自五)照相; 映现 |
| 20 どうにか | (副)好歹, 总算; 设法 |
| 21 ほっと | (副・自サ)放心貌, 轻微叹气貌 |
| 22 みちこ[美知子] | (名)美知子 |
| 23 わ ふく[和服] | (名)和服 |
| 24 すがた[姿] | (名)姿态; 面貌, 风采 |
| 25 たい せつ[大切] | (形)保重; 要紧 |
| 26 くれぐれ[呉呉] | (副)(常下接“も”)反复, 周到, 仔细 |

27	さようなら	(感)再见
28	だい ふ[大分]	(副)很,颇,相当地
29	じょう たつ[出達]	(名・自サ)上进,进步
30	さぶろう[三郎]	(名)三郎
31	じょう きょう[上京]	(名・自サ)到东京去
32	せい かく[正確]	(名・形动)正确,准确
33	がっ かい[学会]	(名)学会
34	さい とう[斎藤]	(名)斋藤
35	るす[留守]	(名・自サ)不在家
36	れん らく[連絡]	(名・自サ)联络,联系
37	そく たつ[速達]	(名)快信,快(递)件
38	にがて[苦手]	(名・形动)不擅长(的事物); 不好对付(的人)
39	ほう こく[報告]	(名・他サ)报告
40	なお	(接)再者,还有; (副)还,仍然;更,再
41	しょう しょう[少少]	(名・副)少许,一点儿
42	うけとり[受(け)取り]	(名)收(领);收据,收条
43	しょ たい めん[初対面]	(名)初次见面
44	あいさつ	(名・自サ)问候;致词
45	やあ	(感)呀,哎呀;(用于打招呼)喂,啊
46	ねがう[願う]	(他五)请求,恳请
47	りめい[李明]	(名)李明

課外読物

いろいろな書式

家族の間の話ならば,ある一つの事がらを特に決まって話さなくても,ほかの話のついでに,なにげなく言うこともできるし,また,言い方にしても,特にきまった形式があるわけではありません。また,手紙で知らせる場合にしても,先生や友人にあてた私的な手紙ならば,おおよその形式はきまっています,必ずしもそれに従わなくてもよいわけです。

しかしながら,学校・役所・会社などのように多くの人々の集まった団体では,家庭のようなわけにはいきません。団体生活の秩序を保っていくために,いろいろな形式があり,規則があります。たとえば,「学校を休んだときは,欠席届を出すこと」,「住所を変更したときは,住所変更届を出すこと」などと規則できめています。そして,このような公の書類は,事務

として、できるだけ能率的に処理する必要があります。したがって、これらの書類には一定の形式をきめて、その能率をあげるようにしています。

書き方の形式を「書式」といい、書式の見本を「ひな型」といいます。

いろいろな書式を知っていれば、簡単に、しかも、たやすく自分の義務を果たすことができるが、それを知らないと、自分の義務をおこたるようなことになります。したがって、いろいろな書式を知っておくことが必要です。

次に、社会生活に必要なと思われるひな型をあげてみましょう。(書式例1)

何 某 殿	○ ○ ○ 高等 学校 校長	右 保 証 人 氏 名 印	右は病氣のため、○日間(○月○日 から○月○日まで)欠席いたしましたし けたから(医師の診断書を添えて)お届 けいたしました。 昭和○年○月○日	第○学年○組	欠 席 届
-------------	-------------------------------	---------------------------------	--	--------	-------------

(注意)

- 一、きまった大きさの用紙を用いること。
- 二、ていねいに、楷書で書くこと。
- 三、定められた時期に提出すること。
- 四、欠席することが前もってわかっているときは、あらかじめ届けておくこと。そのときは、欠席願とすること。
- 五、病気で一週間以上続けて欠席したときは、医師の診断書を添えること。

(書式例2)

欠 勤 届	
私は病気のため、○日間(○月○日から○月○日まで)欠勤いたしましたから、(医院の診断書添えて)お届けいたします。	
昭和○年○月○日	○○課
○○株式会社社長	氏 名 (印)
何 某 殿	

(書式例 3)

住 所 変 更 届	
旧住所 ○市(県)区(郡)○町(村)○番地 新住所 ○市(県)○区(郡)○町(村)○番地 右のとおり住所を変更いたしましたから、明細図を添えてお届けいたします。	
昭和○年○月○日	右
株式会社○○銀行○○支店長	氏 名 (印)
何 某 殿	

(書式例 4)

領 收 証	一金貳百円也
但、(当用漢字の書き方)二冊代	右の金額確かに受け取りました。
昭和○年○月○日	山川書店印
何 某 殿	

(注意)

領収証に書く金額の数字には、一、二、十を用いず、壹、貳、拾を使う。また、書きちがえた字を訂正した場合には、そこに印をおさなければならない。

(書式例 5)

- | | |
|-----------------|----------|
| 15 まえもって[前以って] | (副)預告,事先 |
| 16 けっきんとどけ[欠勤届] | (名)请假条 |
| 17 めいさいず[明細図] | (名)详细图表 |
| 18 ひっとうしゃ[筆頭者] | (名)榜首,户主 |

文 法

敬语表示法

敬语是对听话人或第三者表示尊敬语气的语言表达形式。日语的敬语一般分郑重语(丁寧語)、尊他语(尊敬語)和自谦语(謙讓語)等三类。

一、郑重语：在叙述上表示郑重，以对听话人表示客气。有如下几种表达方式：

1、在句末使用敬体助动词です，ます。例如：

この写真はとてもきれいです。/这张照片很漂亮。

外国での初めての新年をととても楽しく過ごすことができました。/外国的第一个新年过得很愉快。

2、在句末使用郑重敬语动词ござる。例如：

皆様、お変わりございませんか。/大家身体好吗？

荷物はたくさんございますね。/行李有很多呀！

ござる还可作补助动词使用，当ございます接形容词连用形时，形容词要发生う音便。例如：

田中先生の部屋はここでございますか。/田中先生的房间是这里吗？

今日は寒くございません。/今天不冷。

これでよろしゅうございますか。 /这样行吗？

二、尊他语：尊敬的表达方式叙述听话人或第三者的行为动作，以对听话人或第三者表示尊敬，其表达方式有如下几种：

1、使用尊他動詞いらっしゃる，おっしゃる，くださる，なさる等。这几个敬语动词是特殊变化五段动词，即：连用形词尾是い，命令形词尾也是い。例如：

三郎さんが上京なさるのはいつごろでございますか。/三郎何时来京？

先生は研究室にいらっしゃいます。/老师在研究室。

2、使用敬语助动词れる，られる。其形态变化与被动助动词相同。例如：

お父さんも行かれるのですか。/您父亲也去吗？

鈴木さんはもう出掛けられました。/铃木君已经出去了。

3、使用表示尊他的惯用型：

お+动词连用形 } +になる
 ご+サ变动词词干 }

お+动词连用形 } +くださる(なさる)
ご+サ变动词词干 }

お+动词连用形 } +です
ご+サ变动词词干 }

动词连用形+てくださる

例如:

お疲れになりましたか。/您累了吗?

ご紹介くださいまして、どうもありがとうございました。/非常感谢
您的介绍。

これからお帰りますか。/你现在回家吗?

田中さんは住所を教えてくださいました。/田中把住址告诉了我了。

4、使用敬语接头词ご、お和敬语接尾词さん、君等。例如:

お名前をここに書いてください。/请把你的姓名写在这里。

お礼やご報告の手紙が遅くなりました。/向您表示感谢和汇报的信写
晚了。

この方は李さんです。/这位是小李。

三、自谦语:用谦让的表达形式叙述自己或自己一方的行为、动作以对他
人表示尊敬。有以下表达方式:

1、使用自谦动词参る、伺う、致す、申す、いただく等。例如:

あの時の写真ができましたので同封致します。/当时的照片已经印
出,随信寄上。

私は李明と申します。どうぞよろしく。/我叫李明,请多关照。

それでは、ごいっしょに参りましょう。/那么,我同您一块儿去吧。

2、使用表示自谦的惯用型:

お+动词连用形 } +する(いたす)
ご+サ变动词词干 }

动词连用形+てあげる(さしあげる)

动词连用形+てもらう(いただく)

注意使用“动词连用形+てもらう(いただく)”时,动作主体由补格助词
に或から构成。例如:

お待ちしております。/我等着您。

わたしはこちらの様子を先生に紹介してあげました。/我向老师介绍
了这边的情况。

あまり分からないので、先生にもう一度説明していただきました。/
因为不太懂,又请老师解释了一次。

練習

一、下線をつけた漢字の振仮名を付けなさい。

1. 私が充実した留学生生活を送っています。
2. お正月の写真はいい記念として、大切にしまっておこうと思います。
3. 日本語を書くのがたいへん苦手なので、お札やご報告の手紙は遅くなりました。
4. ご家族の皆様によりしくお伝えください。
5. 他面、われわれ人類は、無数の不可能を練習によって可能にしつつある。

二、次の文の____にはどんな言葉を入れたらよいか。ア・イ・ウ・エから最も適当なものを一つ選びなさい。

1. どこかで見たような気が____が、思い出せない。
ア ある イ なる ウ する エ いる
2. 去年負けている____, 今年はずいぶん勝ちたい。
ア のに イ だけに ウ のみ エ しか
3. 私は人々の心をおだやかに、健やかに、けだかく、愛情深く正しくすることが____だと考えている。
ア 大変 イ 大事 ウ 大体 エ 大切
4. 太郎は____のように朝早く起きました。
ア ときどき イ いつも ウ 常に エ よく
5. ____いい職業に就きたいでしょう。
ア だれ イ だれにも ウ だれでも エ だれか
6. お母さん、____風邪を引いたらしいです。
ア どうぞ イ どうも ウ どうして エ どう
7. このごろ悪い風邪は____いるそうです。
ア はやい イ たくさん ウ はやって エ 増えて
8. 彼の名前を____忘れてしまった。
ア はっきり イ しっかり ウ がっかり エ すっかり
9. 庭に出て、____空気を吸いましょう。
ア しんせん イ しんせん ウ あたらしい エ いい
10. 私でしたら____そうしなかったでしょう。
ア 決まって イ 決して ウ 決めて エ 決める
11. 「耳にする」とは____です。
ア 耳に入ること イ よく聞こえること
ウ よく聞こえないこと エ 聞くこと
12. 「転動する」とは____です。
ア 移動すること イ 廃棄すること
ウ 勤め先のかわること エ 勤めること

三、例にならって文を書きなおしなさい。

1. 例：本を読みます。
→ 本をお読みにになります。
→ 本を読まれます。

(1) 手紙を書きます。

→

→

(2) うちへ帰ります。

→

→

(3) バスに乗ります。

→

→

(4) 電話をかけます。

→

→

(5) これからでかけます。

→

→

2. 例: わたしは本を返しました。(先生に)

→ わたしは先生に本をお返ししました。

→ わたしは先生に本をお返しいたしました。

(1) わたしは手紙を書きました。(山田先生に)

→

→

(2) わたしは雑誌を送りました。(先生に)

→

→

(3) わたしは図書館の前で待ちました。(先生を)

→

→

(4) わたしは写真を送りました。(国のお母さんに)

→

→

四、次の文を中国語に訳しなさい。

1. あの大学のことをよくご存じですか。

2. お兄さんはいつ卒業されますか。

3. 私はさっそく両親にお便りを致します。

4. だいふ秋らしくなってまいりました。皆様お変わりございませんか。

5. 聞くところによると、悪い風邪がはやっているそうですが、くれぐれもお体を大切になさってください。

第 22 課

本 文：緑と青の自然
実用会話(3)：交通機関
文 法：一、句素
二、拡張的句素
三、阅读指导(一)

本 文

緑と青の自然

日本列島の自然は、どんな特色をもっていたであろうか。また、その自然は、日本人の生活様式やものの考え方に、どのような影響を与えてきたであろうか。

まず、日本列島が、熱帯と寒冷地域との中間にあって湿潤であり、植物の繁茂に極めて適していることを指摘しなければならない。日光は強すぎず弱すぎず、しかも年間を通して適度の降雨があり、地球上で最も植物の豊かな地域の一つである。

だから、日本人の生活は、昔からすべてにわたって植物への依存度が高かった。家屋は木材を使って建てられている。衣料では、麻や木綿のような植物繊維がはなはだ重要な材料となっている。食生活についても同様である。農耕が日本人の暮らしの中心になったことも、その結果として当然であった。

日本の自然の特色をもう少し考えてみよう。日本人のだれかに「自然の色は何色か。」と尋ねてみると、いちばん多い答は緑である。緑に次いで多いのが青であり。さらに茶色である。このことは何を意味しているだろうか。

自然界をいろどる緑の正体は、植物の葉である。つまり、日本人が「自然の色は？」と聞かれて、まっさきに緑を思い浮かべるのは、日本の山野にいかに植物が多いかの表れである。さらに、青を思い浮かべるのは、晴れた日の空の色が美しく、また、地上

にきれいな水が豊富にあることを表している。そして茶色は、いうまでもなく土の色である。

水に関連して、水蒸気の使用も挙げなければならない。よく歌の文句にも「山紫に水清く」などという言葉が登場するが、「水清く」はよいとして、山が紫とはどういうことであろうか。それは、山肌をおおっている植物の緑の上に、もう一つ別の要素が加わることを示している。そして、別の要素というのは、水蒸気が正体である「かすみ」である。日本の気候が湿潤であることの証拠といえよう。

かすみのような現象によって、植物の鮮やかな緑が、くすんだ紫色に変えられる。つまり、本来の鮮明な色彩が和らげられるわけである。日本の自然は、鮮やかな原色よりも、むしろ中間色が多いということになる。

水と植物、この二つは、人間の生命を支えるために欠くことのできない資源である。これが豊かにあることは、日本列島が、人間の暮らしにとって、まことに恵まれた土地であることを示している。それに加えて、中間色で和らげられた風景が周囲を取り巻き、それが日本人に、自然を極めておだやかなものとして印象づけているのである。

(光村図書(四語一))

実用会話(3)

交通機関

A: ちょっとすみません。

B: はい、何ですか。

A: 新宿へはどう行けばいいのですか。

B: タクシーで行けます。

A: そこへ行くには、タクシーしかありませんか。

B: いいえ、地下鉄もあります。

A: 地下鉄でしたら、乗り換えなければなりませんか。

B: そうですね。二回ほど乗り換えます。

A: 地下鉄ですと、どのぐらいの時間がかかりますか。

B: 大体二十五分ぐらいです。

A: どうもありがとうございます。

B: どういたしまして。

新出語

1 みどり[緑]	(名)绿色
2 れっ とう[列島]	(名)列島, 群岛
3 とく しょく[特色]	(名)特色
4 どのよう	(形动)怎样, 如何
5 えい きょう[影響]	(名・他サ)影响
6 あたえる[与える]	(他一)给, 给予
7 ねっ たい[熱帯]	(名)热带
8 かん れい ち いき[寒冷地域]	(名)寒冷地区
9 ちゅう かん[中間]	(名)中间
10 しつ じゅん[湿润]	(形动)湿润
11 しょく ぶつ[植物]	(名)植物
12 はん も[繁茂]	(名・自サ)茂盛生成
13 きわめて[極めて]	(副)极其
14 てきする[適する]	(自サ)适宜
15 し てき[指摘]	(名・他サ)指出
16 にっ こう[日光]	(名)日光
17 しかも[然も・而も]	(接)而且, 并且
18 ねん かん[年間]	(名)一年中
19 とおす[通す]	(他五)通过, 整个……
20 てき ど[適度]	(名・形动)适度
21 こう う[降雨]	(名)降雨
22 ち きゅう じょう[地球上]	(名)地球上
23 ゆたか[豊か]	(形动)丰富
24 すべて	(名, 副)总共, 全部
25 い ぞん ど[依存度]	(名)依赖程度
26 か おく[家屋]	(名)房屋
27 もく ざい[木材]	(名)木材
28 い りょう[衣料]	(名)衣服, 衣料
29 あさ[麻]	(名)麻
30 も めん[木綿]	(名)棉
31 せん い[纖維]	(名)纤维
32 はなはだ	(副)甚, 相当
33 じゅう よう[重要]	(形动)重要
34 しょく せい かつ[食生活]	(名)饮食

35	どう よう[同様]	(名・形动)同样
36	のう こう[農耕]	(名)农耕
37	くらし[暮(ら)し]	(名)生活,生计
38	とう ぜん[当然]	(名・副・形动)当然
39	こたえ[答]	(名)回答
40	つぐ[次ぐ]	(自五)接连,次于
41	ちゃ いろ[茶色]	(名)茶色
42	し ぜん かい[自然界]	(名)自然界
43	いろどる[彩る]	(他五)装点,打扮
44	しょう たい[正体]	(名)原形,真面目
45	は[葉]	(名)叶
46	まっ さき[まっ先]	(名)最先
47	おもいうかべる[思い浮かべる]	(他一)想起
48	さん や[山野]	(名)山野
49	はれる[晴れる]	(自一)晴朗
50	ち じょう[地上]	(名)地上
51	いうまでもない	(词组)不用说
52	つち[土]	(名)土,泥土
53	かん れん[関連]	(名・自サ)有关
54	すい じょう き[水蒸気]	(名)水蒸气
55	そん ざい[存在]	(名・自サ)存在
56	あげる[挙げる]	(他一)举出
57	もん く[文句]	(名)语句;不满
58	むらさき[紫]	(名)紫色
59	きよい[清い]	(形)清爽
60	とう じょう[登場]	(名・自サ)出现,出场
61	やまはだ[山肌]	(名)秃山的地表
62	おおう[覆う]	(他五)覆盖
63	よう そ[要素]	(名)要素,因素
64	くわわる[加わる]	(自五)加
65	かすみ	(名)霞,彩霞
66	しょう こ[証拠]	(名)证据
67	あざやか[鮮やか]	(形动)鲜明
68	くすむ	(自五)不鲜明
69	ほん らい[本来]	(名・副)本来
70	せん めい[鮮明]	(形动)鲜明
71	しき さい[色彩]	(名)色彩
72	やわらげる[和らげる]	(他一)使柔和
73	げん しょく[原色]	(名)原色
74	むしろ	(副)宁可,莫如

75	ちゅう かん しょく[中間色]	(名)中间色
76	せい めい[生命]	(名)生命
77	かく[欠く]	(他五)缺少
78	まことに	(副)的确,真是
79	めぐまれる[恵まれる]	(自一)受惠,天赋
80	くわえる[加える]	(他一)加
81	ふう けい[風景]	(名)风景
82	とりまく[取り巻く]	(他五)包围
83	いん しょう[印象]	(名)印象
	いんしょうづける[印象づける]	(他一)留下印象
84	き かん[機関]	(名)设施,机械;机关
85	すみません	(道谦时用语)抱谦,对不起
86	しん じゅく[新宿]	(名)新宿
87	のりかえる[乗り換える]	(自他一)换乘,改乘

慣 用 型

1. (体言)はいうまでもなく…[惯用句型]

与前面已学的“(体言)はもちろん……”的意义、用法相同,可译为“…不用说,……”。

2. (体言)にとって…[修饰惯用型]

这个惯用型用以构成状语,表示某一事物对于某人(物)来说具有什么意义或作用,可译作“对于……(来说)”例如:

それはわたしにとって興味のある問題です。/对我来说,这是一个很有趣的问题。

文 法

一、句素

句法是研究组词成句规则、句子类型等的一门学问。怎样把一些词组成一个句子是受句法规则约束的。

一个单词要进入句子就要变成句素。句素是句子的最小单位,也是句法研究的基本单位。例如“植物”是一个名词,它不能直接进入句子。进入句子时它必须同助词、助动词等结合在一起,成为“植物が”“植物を”“植物だ”等形式。这种形式就叫句素。

在日语里,构成句素的方法主要有三种:

1. 实词加虚词。这主要是指体言加助词、助动词。例如：植物が，植物を，植物の，植物だ，これに，一つの，等等

2. 实词通过形态变化成为句素。例如用言变成连体形，就可以进入句子作定语（豊かな，美しい等），变成连用形可以进入句子作状语（豊かに，美しく等）。

3. 实词通过词序手段可以与别的词构成修饰限定关系。副词、连体词、感叹词、接续词放在别的词的前面就可以成为起修饰限定作用的词素，例如：この（植物），すこし（つくる）。

二、扩展的句素

词组是两个以上的实词通过一定的语法手段结合而成的，在词组中实词之间的关系一般有如下几种：

1. 主谓关系，例如：

温度が上がる

日光が強い

2. 动宾关系，例如：

生命を支える

物体を放置する

3. 动补关系，例如：

米でつくる

夜学に出る

土から得る

物体へ移る

4. 修饰限定关系，例如：

冷たい水

必要なもの

日本の人口

そのとき

よくあたる

光合成によってつくる

5. 并列关系，例如：

春と夏

生活や生長

生長したり生活したり

麻か木綿か

中国、日本

词组并不是句法单位，它的性质和单个词是一样的。例如“じふんの葉の細胞”“冷たい水”“電流と電圧”就相当于一个体言，叫体言性词组；“温度が上がる”“栄養分を運ぶ”“細胞でつくる”等相当于一个用言，叫用言性词组

(词组中最后一个词是体言的叫体言性词组,最后一个词是用言的叫用言性词组)。词组不能直接进入句子,因为它还不是句素,例如“じふんの葉の細胞”只有加上で等,才能成为句素(扩展的句素);“温度が上がる”等只有在它的最后一个用言变成终止形、连体形、连用形等才能成为句素(扩展的句素),在此之前它只相当于一个基本形的用言。

扩展的句素的形成也要通过三种语法手段,所以它的形式也有三种:

1. 词组加虚词,例如:

春と夏 (天気)

麻か木綿 (つくる)

冷たい水 (入れる)

2. 通过形态变化,例如:

夜学に出 (人)

土から (栄養分)

3. 通过词序,例如:

そのとき (取り出す)

あしたの午後 (やる)

三、阅读指导(一)

要能顺利地阅读日文书刊,必须掌握相当数量的词汇,掌握必要的语法知识,同时还必须进行适当的阅读练习,掌握正确的阅读方法。

阅读必须从精读入手,也就是运用已学的词汇和语法知识去正确地分析以便透彻理解一篇文章,然后加快阅读速度,培养快速阅读的能力。

无论是精读还是快速阅读,首先必须能够正确地辨认句素,能够正确地把一个句子分解成一个一个的句素。以本课课文第一段为例,要能把它作如下分解:

日本列島の/自然は/どんな/特色を/もって/いたであろうか。/また/その/自然は/日本人の/生活様式や/ものの/考え方に/どのような/影響を/与えてきたであろうか。

进一步,就要能以扩展的句素为单位来读,即分解成:

日本列島の自然は/どんな特色を/もっていたであろうか。/また/その自然は/日本人の生活様式やものの考え方に/どのような影響を/与えてきたであろうか。

練習

一、例にならって次の文を文素に分けなさい。

例：日本列島の/自然は/どんな/特色を/もっていたであろうか。

1. 私は仕事のために九州から北海道までいろいろな地方へ旅行しました。
2. 最近、日本でも日曜日以外に休日のある職場が多くなりました。
3. きょうは、田舎に住んでいるおじいさんの家へ遊びに行く日です。
4. いま、汽車は野原を走っています。
5. アメリカは日本などに比べると各方面にわたって著しく進歩している。
6. 日本の自然の特色をもう少し考えてみよう。

二、次の連語を用言相当連語と体言相当連語に分けなさい。

1. いっしょうけんめいに語学を勉強する
2. 日本語で数を数える方法
3. 日本の首都
4. 漢語の数え方と和語の数え方
5. よくよく考えてみる
6. 原子の持つ大きな力
7. 夢として終わる

三、例にならって次の連語の展開過程を示しなさい。

例：日本の国の花といわれる

1. 日本の南のほう
2. 車を運転する人
3. 事故を起こすおそれ
4. おじいさんの住んでいる村に着きました
5. 夢を見ると言う人
6. 夢を見たことを覚えている人

四、例にならって次の文を文素に分けなさい。

例：自然界を/いろどる/緑の/正体は/植物の/葉である。

このように、時には台風や地震などの災害はあっても、総じて日本人は、自然に恵まれてきた民族であるといえよう。その結果として、日本人には、自然を人間と対立するものとみなす思想は生まれなかった。自然を敵であるとは考えないのである。むしろ、自然を人間の味方として考え、人間が暮らしてゆくうえで、頼りにし、甘えることのできるものとしてとらえようとする傾向が強いのである。

その一つの例として、衣服のことを思い浮かべてみよう。衣服の材料のことはさきにも触れたが、ここではそれよりも、衣服に描かれている模様に注目したいと思う。成人式や結婚パーティーなどに着用する晴れ着の場合がいちばんはっきりしているが、女性の和服に描かれている模様には、植物を図案化したものが圧倒的に多い。また、衣服以外にも、ふろしきなどに、植物の模様がいろいろ使われている。

日ごろ何気なく見過ごしているこのような習慣を分析してみると、日本

人は、年じゅう自分の身の回りに自然というものを置いて、それを楽しんでいることがわかる。こんな習慣がごく自然に受け入れられているのは、日本人の心の中に、自然は人間を祝福してくれるものである、という気持が、無意識の前提としてあるからではなかろうか。だいたい人間は、本能的に、不愉快なものを身にまとうとは思わないはずである。

次に、住居について考えてみよう。日本の家屋の特色として、戸外と屋内の区別が極めてあいまいであることが挙げられる。これは西洋建築と比較してみるとよい。西洋建築の特色は、壁で四方をしきることである。これが基本原則となっている。つまり、外界とはほぼ完全に遮断された人間だけの城をつくっているわけである。これに対して、日本の家屋は、壁もむろんあるけれども、唐紙や障子を開け放してしまえば、家の内と外とのしきりはほとんどなくなってしまふ。

それに加えて、障子を閉めきった場合にも、自然の風物を家の内部にまで持ちこもうとする傾向がある。例えば、古い家や寺院のふすま絵などを見ると、そこには、自然の風物がいかにたくさん描かれていることか。せいぜい油絵の額が飾ってある程度の洋間の壁とは大違いで、日本人は、家の中にいても、自分たちの周囲に絶えず自然を置きたがっているわけである。

これらのことも、日本人が、自然を親しいものと考え、常にその恩恵に触れていたいと念願していることの表れではないだろうか。

注 釈

- | | |
|--------------------|------------|
| 1 そうじて[総じて] | (副)总的说来 |
| 2 みなす[見成す] | (他五)看作 |
| 3 たより[頼り] | (名)依赖, 依靠 |
| 4 あまえる[甘える] | (自一)任性索取 |
| 5 パーティー[Party] | (名)社交集会 |
| けっこんパーティー[結婚パーティー] | (名)婚礼 |
| 6 はれぎ[晴れ着] | (名)盛装 |
| 7 ふろしき[風呂敷き] | (名)包袱皮儿 |
| 8 ひごろ[日頃] | (名)平日 |
| 9 なにげなく[何気なく] | (副)无所谓地 |
| 10 みのまわり[身の回り] | (名)身边 |
| 11 まとう | (他五)纏上, 穿上 |
| 12 からがみ[唐紙] | (名)花纸; 隔扇 |
| 13 しょうじ[障子] | (名)纸拉门 |
| 14 しめきる[閉め切る] | (他五)全部关闭 |
| 15 もちこむ[持ち込む] | (他五)拿进 |

- | | | |
|----|---------------|------------|
| 16 | ふすまえ[ふすま絵] | (名)画在隔扇上の画 |
| 17 | せいぜい | (副)充其量 |
| 18 | がく[額] | (名)匾額,画框 |
| | あぶらえのがく[油絵の額] | (名)油画框 |
| 19 | ようま[洋間] | (名)西洋式房間 |
| 20 | ねんがん[念願] | (名・他サ)期望 |

五、例にならって次の文を展開的文脈に分けなさい。

例:まず//日本列島が/熱帯と寒冷地域との中間にあって/湿潤であり/
植物の繁茂に/極めて適している/ことを//指摘しなければならない。

ところで、ヨーロッパでは、日本と事情が違っていたと考えられる。例えば、日本とヨーロッパの自然環境を比較する一つのめやすとして、両者の緯度を調べてみよう。左の地図(図略)で、ヨーロッパが日本に比べて、全体としていかに北に寄っているかは、一目瞭然である。もちろん気温とか天候とかは、緯度だけで決まるものでなく、海流とか風とか、そのほかさまざまな要因がからみ合っているから、いちがいにはいえないが、しかし、全体的にみて、ヨーロッパが、日本ほど自然環境に恵まれていないことが推察できるであろう。

こういうことから、ヨーロッパでは、自然は人間と対立するものであるという思想が広まりやすかった。人間が生きてゆくためには、自然と闘い、これを征服し、人間にとって利用できる部分は利用し尽くし、利用しにくい部分は利用しやすいように改造しなければならない、という考えが育ってきた。

しかし、これと同時に、人間が生きるにために、自然を有効に利用するには、無制限にうばい取るばかりではだめで、一方では、自然を保護しなければならぬ、さらに保護するだけではなく、積極的にこれを育成しなければならぬ、とする考えが芽生えてきた。

そうしなければ、もともと豊かでない自然を、長期にわたって利用し続けることができなかつたわけである。そういうところから、ヨーロッパにおいては、自然の開発と並んで、自然の保護が昔から切実な問題であったのである。

ところが、日本の場合は、自然に非常に恵まれていたために、人間のほうから特に働きかけなくても、自然はひとりで恩恵を与えてくれるものだ、という思想が長い間に常識のようになり、日本人の考え方を支配するようになったのである。

現在、日本では、山野の樹木が、次々と切り倒され、山という山がくずされてゆく。自然の緑が失われるばかりでなく、水害や土砂くずれなどの災害が副次的に起こってくる。そういう問題なども、もとをただせば、日本人のような自然に対する安心感が、自然への過度の甘えになったためだとも考えられるのである。(光村図書「国語一」)

注 釈

- | | | |
|---|--------------------------|----------------------|
| 1 | めやす[目安] | (名)标准,目标 |
| 2 | いかに…か。 | (呼应惯用型)是多么的……呀 |
| 3 | からみあう[絡み合う] | (自五)互相牵扯,交织在一起 |
| 4 | いちがいにはいえない
[一概には言えない] | (词组)不能一概而论 |
| 5 | …ばかりではだめだ | (补助惯用型)只……是不行的 |
| 6 | めばえる[芽生える] | (自一)萌芽 |
| 7 | (体言)という(同一体言)
山という山 | (修饰惯用型)所有的……
所有的山 |
| 8 | ただす
もとをただす[元をただす] | (他五)追究
(词组)追根究底 |

第 23 課

本 文: 川と人間
実用会話(4): 道を尋ねる
文 法: 一、句子成分
二、阅读指导(二)

本 文

川と人間

人間は、昔からさまざまな方法で川に頼って生き続けてきた。

古代文明の発祥地も、黄河やナイル川のような大河の流域である。人間にとって、川は、飲み水をはじめ生活に必要な水の供給源であったし、物資を運ぶための重要な交通路でもあった。また、雨季になれば、上流からよく肥えた土を運んできて、農業の発展をうながすことになった。こうした川の恵みを存分に受けながら、人類は繁栄への道を歩み始めたのだといっている。

二千年も前から水田を耕作していた日本では、人々は、川から農業用水を取ることによって水田を潤していた。また、飲み水としても、井戸をほって地下水をくみ上げるよりもずっと前から、川の水は利用されていた。やがて、大きな町に人口が集中するにつれ、水の需要も増し、川の水を取り入れるための大規模な上水道が造られ始めた。明治時代になると、流水の力で電気を起こす水力発電が行われるようになったし、工業の発達とともに、川の水は、工業用水としても重要な役割を占めることになった。

このようにして、川は常に、人間が生きていくために欠かすことのできない水資源を提供してきたのである。

だが一方、川の力は、時おりおそろしい災害を引き起こしている。台風や集中豪雨のときに、水かさを増した川は、各地で洪水を起こし、家や田畑や、時には多くの人命さえもうばうことがあ

る。つまり、流域に住みついてきた人々に対して、川は豊かな恵みをもたらす反面、凶暴な破壊者に変身することもあるのだ。そこで、人々は、自分たちの生活と財産を水害から守るためにさまざまな工夫をこらしてきた。

大昔から人間は、一方では川を利用するとともに、他方では川を治める努力を怠らなかった。しかし、現代の人間は、目先の利益にとらわれて、川本来の性質を無視してきたのではないだろうか。その結果、予想もしなかったような災害が人間自身に降りかかってきている。人間が水害の種をまいているといってもいいだろう。

人間にとって、川とは何か、自然とは何か、ということ、わたしたちは、今改めて考え直してみる必要があるのではないだろうか。自然の中で人間が生き続けていけるかどうかは、自然と人間とのつり合いをどのようにとらえ、どこに調和点を見いだすか、ということにかかっているのである。（光村図書「国語一」）

実用会話(4)

道を尋ねる

A: ちょっとお尋ねいたします。

B: はい、どうぞ。

A: 丸の内ホテルへ行きたいんですが、どう行ったらいいですか。

B: ええと、この道をまっすぐ行って、三つ目の信号を左に曲がります。

A: 三つ目の信号を左に曲がりますね。それからどう行きますか。

B: それからまっすぐ行けばいいんです。

A: ここから歩いて何分ぐらいでしょうか。

B: 十五分ぐらいでしょうね。

A: はい、分かりました。ありがとうございました。

B: いいえ、どういたしまして。

新出語

1 たよる[頼る]	(自五)依赖
2 こ だい[古代]	(名)古代
3 ぶん めい[文明]	(名)文明
4 はっ しょう ち[発祥地]	(名)发祥地
5 こう が[黄河]	(名)黄河
6 ナイルがわ[Nile 川]	(名)尼罗河
7 たい が[大河]	(名)大河
8 りゅう いき[流域]	(名)流域
9 のみみず[飲み水]	(名)饮用水
10 きょう きゅう げん[供給源]	(名)供应来源
11 はこぶ[運ぶ]	(他五)搬运,推行
12 こう つう ろ[交通路]	(名)通道
13 う き[雨季]	(名)雨季
14 じょう りゅう[上流]	(名)上游
15 こえる[肥える]	(自一)肥沃
16 のう ぎょう[農業]	(名)农业
17 はっ てん[発展]	(名・自サ)发展,扩展
18 うながす[促す]	(他五)促进
19 めぐみ[恵み]	(名)恩惠,好处
20 ぞん ぶん[存分]	(形动・副)随心所欲,充分
21 あゆむ[歩む]	(自五)步,走
22 すい でん[水田]	(名)水田
23 こう さく[耕作]	(名・他サ)耕作
24 よう すい[用水]	(名)用水
のう ぎょう よう すい[農業用水]	(名)农业用水
こう ぎょう よう すい[工業用水]	(名)工业用水
25 うるおす[潤す]	(他五)滋润
26 いど[井戸]	(名)水井
27 ほる[掘る]	(他五)挖掘
28 ち か すい[地下水]	(名)地下水
29 くみあげる[くみ上げる]	(他一)汲取
30 ずっと	(副)远远,很,……得多
31 やがて	(副)不久,即将
32 しゅう ちゅう[集中]	(名・自他サ)集中
33 じゅ よう[需要]	(名)需要
34 ます[増す]	(自五・他五)增加

35	とりいれる[取り入れる]	(他一)收入,采用
36	だい き ぼ[大規模]	(名・形动)大规模
37	じょう すい どう[上水道]	(名)上水道
38	めい じ[明治]	(名)明治(日本年号)
	めい じ じ だい[明治時代]	(名)明治时代(1868—1912)
39	りゅう すい[流水]	(名)流水
40	すい りょく はつ でん[水力発電]	(名)水力发电
41	はっ たつ[発達]	(名・自サ)发达
42	やくわり[役割]	(名)任务,作用
43	しめる[占める]	(他一)占
44	かかす[欠かす]	(他五)欠缺
45	てい きょう[提供]	(名・他サ)提供
46	たが	(接)但是
47	ときおり[時折]	(副)有时
48	おそろしい[恐ろしい]	(形)可怕
49	ひきおこす[引き起こす]	(他五)引起
50	ごう う[豪雨]	(名)暴雨,大雨
51	みずかさ[水かさ]	(名)水量
52	こう ずい[洪水]	(名)洪水
53	たはた[田畑]	(名)田地
54	じん めい[人命]	(名)人命
55	うばう[奪う]	(他五)夺取
56	すみつく[住み着く]	(自五)长住,安居
57	たいする[対する]	(自サ)对;对于
58	はん めん[反面]	(名)反面,另一方面
59	きょう ぼう[凶暴]	(形动)狂暴
60	は かい しゃ[破壊者]	(名)破坏者
61	へん しん[変身]	(名・自サ)化身,化成
62	ざい さん[財産]	(名)财产
63	すい がい[水害]	(名)水灾
64	く ふう[工夫]	(名・他サ)想方设法,方法
65	こらす[凝らす]	(他五)集聚
	くふうをこらす[工夫を凝らす]	(词组)千方百计
66	た ほう[他方]	(名・副)另一方面
67	おさめる[治める]	(他一)治理
68	ど りょく[努力]	(名・自サ)努力
69	おこたる[怠る]	(他五)懒惰
70	げん だい[現代]	(名)现代,当代
71	めさき[目先]	(名)眼前,当前
72	とらわれる[捕らわれる]	(自一)被抓住,受束缚

73	よ そう[予想]	(名・他サ)估计,预测
74	じ しん[自身]	(名)自己,本身
75	ふりかかる[降り懸かる]	(自五)落到,突然降临
76	たね[種]	(名)种子
77	まく	(他五)播,种
78	あらためて[改めて]	(副)重新,再次
79	かんがえなおす[考え直す]	(他五)重新考虑
80	つりあい[釣り合い]	(名)平衡
81	とらえる[捕らえる]	(他一)抓住,捕捉
82	ちょう わ てん[調和点]	(名)协调之处
83	みいだす[見出す]	(他五)找出
84	かかる[係る]	(自五)与……有关,决定于 ……,关系到……
85	まるのうち[丸の内]	(名)丸之内
86	ホテル[hotel]	(名)旅馆,饭店
87	ええと	(感)(一时想不起来而思考时 所发出的声)啊,嗯

慣用型

1 (用言终止形)とっていい。[补助惯用型]

表示可以作出某种结论,可译作“可以说是……”。例如:

こうした川の恵みを存分に受けながら,人類は繁栄への道を歩み始めたのだとっていい。/可以说人类是在接受河流的这种恩惠而走上繁荣的道路的。

人間が水害の種をまいているとっていいだろう。/可以说是人类播下了水灾的种子。

2 (体言,用言连体形)につれ…[修饰惯用型]

在句中构成状语或从句,表示后项随着前项的发生而发生,可译作“随着……”。这个惯用型也可以用“…につれて…”的形式。例如:

大きな町に人口が集中するにつれ,水の需要も増し,川の水を取り入れるための大規模な上水道が造られ始めた。/随着人口向大城镇集中,水的需要量增加了,提取河水的大型水道工程也开始兴建了。

3 (体言,用言终止形)とともに…[修饰惯用型]

这个惯用型用以构成状语,表示同时或一起做某一动作,或表示两个事项同时发生。可译作“与……一起”“与……同时”。例如:

工業の発達とともに,川の水は,工業用水としても重要な役割を占めることになった。/在工业发达的同时,河水作为工业用水,也有着重要的作用。

たいていの物質は、温度の降下とともに体積が減少し、密度が増加する。/一般物质都随着温度的下降而缩小体积,增加密度。

4 (体言)に対して…[修饰惯用型]

这个惯用型用以构成状语,用以表示动作作用的对象,或表示相对于某一情况来说,可译作“对于……”。例如:

つまり、流域に住みついてきた人々に対して、川は豊かな恵みをもたらす反面、凶暴な破壊者に変身することもあるのだ。/也就是说,对于长期居住在该流域的人们,河流一方面带来很大的好处,另一方面有时也会变成狂暴的破坏者。

5 (体言)を(体言)からまもる

(体言)から(体言)をまもる[惯用句型]

这个句型表示“保护……以免……”的意思。例如:

人々は、自分たちの生活と財産を水害から守るために、さまざまな工夫をこらしてきた。/人们为了保护自己的生活 and 财产不受水害,想尽了各种办法。

文 法

一、句子成分

一个句子是由一个或若干个句素构成的,一个句素(或扩展的句素)在句中有一定的职能,按其不同职能命名的单位叫句子成分。句子成分有:主语、谓语、宾语、补语、状语、定语、独立语等。

1. 主语

主语(主語)是表示句子的主体的,在说明“谁是什么”“谁怎么样”“谁干什么”的句子中,表示“谁”的部分便是主语。

体言、体言性词组加が可以构成主语,用言、用言性词组以至句子后续形式体言再加が,也可以构成主语。在需要提示时,が可以被は,も等提示助词顶替,在定语从句中可以用の。例如:

温度が上がる。/温度上升。

かすみのような現象によって、植物の鮮やかな緑が、くすんだ紫色に変えられる。/由于彩霞的影响,植物鲜明的绿色变成不鲜明的紫色。

農耕が日本人の暮らしの中心になったことも、その結果として当然である。/农耕成为日本人生活的中心,就其结果来说是很自然的。

在日语中,主语并不是必不可少的,只要语言环境或语言条件允许,主语常可省略,或根本不需要主语。所谓语言环境,在会话中指的是对话环境,在文章中指的是上下文。所谓语言条件,指的是句子本身所具备的条件,例如表示命令、命名、一般操作的句子等一般都不需要主语。例如:

次の文を読んで、あとの問に答えなさい。/阅读下列文章,回答后面的问题。

2. 谓语

谓语(述語)是对于主语的说明,说明主语“是什么”“怎么样”“干什么”。谓语是日语句子成分中最重要的成分,是日语句子的中心。

谓语由用言、用言性词组等构成。一个句子中,有时有两个或更多的谓语、形成并列关系。例如:

人間は、昔からさまざまな方法で川を利用し、川に頼って生き続けてきた。/人类自古以来就用各种方法利用河流,依靠河流生存下来。

3. 宾语

宾语(目的語)是表示他动词所表示的动作的对象或结果的。宾语由体言、体言性词组加を构成。用言、用言性词组以至句子后续形式体言再加を也可构成宾语,を可以被提示助词等顶替。例如:

このことは何を意味しているだろうか。/这件事意味着什么呢?

まず、日本列島が、熱帯と寒冷地域との中間にあって湿潤であり、植物の繁茂に極めて適していることを指摘しなければならない。 /首先必须指出:日本列岛处于热带和寒冷地区之间,气候湿润,极其适合植物的生长。

4. 补语

补语(補語)是补充说明动词(包括部分形容词、形容词动词)的。补语原则上由体言、体言性词组、用言与用言性词组后续形式体言加补格助词构成,但与,より也可以直接接在用言后面。例如:

それに加えて、中間色で和らげられた風景が周囲を取り巻き、それが日本人に、自然を極めておだやかなものとして印象づけているのである。 /再加上,由中间色调柔和了的风景包围四周,它给日本人以自然界极其温和的印象。

5. 状语

状语(連用修飾語)是修饰、限定用言、用言性词组或句子的成分。副词、时间名词、数量词、形容词与形容词动词的连用形、用言和用言性词组加接续助词或副助词、体言和体言性词组加副助词等,均可作状语。例如:

日本人のだれかに「自然の色は何色か」と尋ねてみると、[いちばん]多い答えは緑である。/向一个日本人询问“自然的颜色是什么?”时,回答得最多的是绿色。

家屋は[木材を使って]建てられている。/房子用木材建成。

茶色は、[いうまでもなく]土の色である。/茶色不用说就是土的颜色。

6. 定语

定语(連体修飾語)是修饰、限定体言的成分,不过它只是扩展的句素中的一部分,不是独立的句子成分,体言和体言性词组加の、连体词、用言连体形等,均可作定语。例如:

(日本列島の)自然/日本列岛的自然

(どんな)特色/什么样的特色

(熱帯と寒冷地域との)中間/熱帯和寒冷地区之間
 (重要な)材料/重要的材料
 (自然界をいろどる)緑/裝点自然界的綠色
 (人間の生命を支えるために欠くことのできない)資源/支持人的生命所不可缺少的資源

7. 独立語

獨立語(獨立語)是与其他句子成分无直接关系、独立于句子结构之外的成分。能作獨立語的词有:感叹词、接續词等。例如:

はい、そうです。/是,是的。

だから、日本人の生活は、昔からすべてにわたって植物への依存度が高かった。/因此,日本人的生活自古以来就在一切方面都对植物的依赖程度很高。

本书划线分析句子成分的记号为:

主語	——	謂語	——
賓語	≈≈	補語	≈≈
狀語	[]	定語	()
獨立語		

例如:植物は、[動物とちがって]、栄養分を、[光合成によって](じぶんの葉の)細胞でつくり出している。

二、阅读指导(二)

我们必须学会在阅读过程中准确而迅速地辨认、分析句子成分,在此基础上,准确而迅速地看出句子成分的省略,以及こそあど系词汇在句中的作用。

训练仍然必须先从精读入手,首先力求分析得正确,然后过渡到快速阅读。

1. 划线分析一篇文章的句子成分

这种方法当然只适用于精读,但这一步训练是必不可少的,只有在具备了这种能力以后才能过渡到快速阅读。

分析首先要从细线条的分析开始,即把每个句子分析到简单的句素。经过一段练习后,就过渡到粗线条的分析,即只分析每个句子的主要成分,对包含在主语、宾语、补语、谓语中的定语、状语不作详细分析。

细线条分析例:

((自然界をいろどる)緑の)正体は、(植物の)葉である。つまり日本人が「(自然の)色は?」と聞かれて、[まっさきに]緑を思い浮かべるのは、((日本の)山野に[いかに]植物が多いかの)表れである。[さらに]晋を

思い浮かべるのは、(((晴れた)日の)空の)色が美しく、また、地上に(きれいな)水が[豊富に]あることを表している。そして茶色は[いうまでもなく](土の)色である。

粗线条分析例:

自然界をいろどる緑の正体は、植物の葉である。つまり、日本人が「自然の色は?」と聞かれて、まっさきに思い浮かべるのは、日本の山野にいかに植物が多いかの表れである。[さらに]、青を思い浮かべるのは、晴れた日の空の色が美しく、また、地上にきれいな水が豊富にあることを表している。そして茶色は[いうまでもなく]土の色である。/装点自然界的绿色实际上就是植物的叶子。即，日本人被问到“自然的颜色是什么?”时，最先想到绿色，表明日本的山上和田野里植物是多么的多。再想到兰色，就表明，晴天的天空颜色很美，地上有大量的明彻的水。茶色不用说就是土地的颜色。

2. 分析句子成分的省略

在句子中，常有主语、谓语、宾语、补语省略的现象，我们要善于根据上下文、句型条件等看出省略的是什么。

常见的省略情况有：

(1) 承前省：当前面的句子中已出现过某事物(出现在主语、宾语、补语或全句的意思中均可)而后面又出现说明这个事物的成分时，便可以因承接前句文意而省略。这种情况常见于主语的省略，也见于宾语、补语的省略。例如：

人間にとって、川は、飲み水をはじめ生活に必要な水の供給源であったし、物資を運ぶための重要な交通路でもあった。また雨季になれば、上流からよく肥えた土を運んできて、農業の発展をうながすことになった。/对人类来说，河川是饮用水及生活用水的水源，又是运输物资的重要交通线，还从上游运来肥沃土壤，促进农业发展。(第二句承第一句省略了“川は”)

(2) 蒙后省：这是承蒙(由于)后面的文意出现的省略，常见于特定的句式中。例如并列复合句的两个谓语是同一动词时，前面的谓语可以省去动词(或与动词搭配的成分中的助词也省去)。例如：

このような物質は酸素，そのような物質は水素という。/这种物质叫氧，那种物质叫氢。(“酸素”后面省略了“という”)

(3) 泛指省：当句子叙述的不是某一特定人物的动作行为，而是一般人的操作，或表示一般性的命名、或表示季节、天气、时间等自然现象时，一般不出现主语。例如：

季節によって風向きを交える風を季節風という。/因季节而改变风向的风叫季风。

(4) 自述省：用第一人称口气写文章，发表看法时，一般省略主语。例如：

[まず],日本列島が、熱帯と寒冷地域との中間にあって湿潤であり、植物の繁茂に極めて適していることを指摘しなければならない。/首先必須指出,日本列島处于热带和寒冷地区之间,气候湿润,极其适合植物的繁茂生长。

(5) 对称省:表示祈使、商量、邀请、命令、号召的句子,一般不出现主语。例如:

日本の自然の特色を[もう少し]考えてみよう。/再来想想日本自然的特色吧。

3. 注意こそあと系词汇的指代

我们在阅读过程中,必须时刻注意こそあと系词汇在句中指代了上文的哪一个成分或句素。例如:

よく歌の文句にも「山紫に水清く」などという言葉が登場するが、「水清く」はよいとして、山が紫とはどういうことであろうか。それは、山肌をおおっている植物の緑の上に、もう一つ別の要素が加わることを示している。(“それ”指代“山が紫”)

水と植物、この二つは、人間の生命を支えるために欠くことのできない資源である。これが豊かにあることは、日本列島が、人間の暮らしにとって、まことに恵まれた土地であることを示している。それに加えて、中間色で和らげられた風景が周囲を取り巻き、それが日本人に、自然を極めておだやかなものとして印象づけているのである。/在和歌的语句中常出现“山青水秀”这样的话“水秀”暂且不论,那么“山青”又是什么意思呢?水和植物,这两样是支持人的生命所不可缺少的资源。这些资源很丰富,说明日本列岛对于人类的生活是一片多么难得的土地,再加上用中间色软化了的风景包围周围,它给日本人以自然界极其温和的印象。(この是“水と植物の”意思,これ指代“水と植物”それに中的これ指代“日本列島が人間の暮らしにとってまことに恵まれた土地であること”,それが中的これ指代“それに加えて中間色で和らげられた風景が周囲を取り巻くこと”。)

練習

一、記号で詳しく次の文の成分を分析しなさい。

1. 家屋は木材を使って建てられている。
2. だから、日本人の生活は、昔からすべてにわたって植物への依存度が高かった。
3. かすみのような現象によって、植物の鮮やかな緑が、くすんだ紫色に変えられる。
4. 朝は、通勤や通学の人でバスがたいへんこむ。
5. それは、牛乳がちょうど40リットル入るかんだった。
6. 自然界をいろどる緑の正体は、植物の葉である。

7. そして茶色はいうまでもなく土の色である。
 8. 日本の自然の特色をもう少し考えてみよう。
- 二、次の文の主語の成り立ちを説明しなさい。
1. 原子爆弾というような、たいへんなものが、とうとう発明されてしまった。
 2. 日本人の好きな色のなかで緑に次いで多いのは青である。
 3. つまり、本来の鮮明な色彩が和らげられるわけである。
 4. 農耕が日本人の暮らしの中心になったことも、その結果として当然であった。
- 三、第23課の本文を複習して、次の文で省略されている主語を()に補ってみなさい。
1. ()日光は強すぎず弱すぎず、しかも年間を通して適度の降雨があり、地球上で最も植物の豊かな地域の一つである。
 2. 緑に次いで多いのが青であり、さらに()茶色である。
 3. ()日本の気候が湿潤であることの証拠といえよう。
 4. さらに、()青を思い浮かべるのは、暗れた日の空の色が美しく、また、地上にきれいな水が豊富にあることを表している。
- 四、次の文の述語の成り立ちを説明しなさい。
1. ゆうべ、発表の準備をしましたか。
 2. ご家族の皆様によろしくお伝えください。
 3. 山田さんは来年の四月中国に来られる。
 4. 中国はどこにありますか。
- 五、次の文の主語、述語、目的語、補語、連用修飾語をそれぞれ記号で示しなさい。

地球と生物圏

生物は、地球の長い歴史の中で、いつ、どんな姿で出現したのだろうか、このことを探るために、まず、現在の生物について、地球上のどのような場所に集まり、環境とどんなにかかわりをもって生育しているかを調べ、過去の生物を考える手がかりにしよう。

地球のまわりは、大気の層でかこまれている。大気は、地表から高さを増すごとに、しだいに薄くなる。ロケットなどを使った観測によれば、地表からおよそ1000kmの高さの所では、大気はなくなってしまう。地球のもっとも外側にあって、大気が存在する層を気圏という。

地球の表面の70%は、海である。海の深さは、平均約3800mで、もっとも深いところでは、1万m以上にもなる。海のように、地球の表面をおおう水の部分を水圏という。海に比べると面積はずっと小さいが、湖沼や河川も水圏に含まれる。

陸地の大部分は、岩石からできている。陸地の高さは、平均約800mで、地

地球上でいちばん高いチョルモルンマ峰は、8448mである。地球の表面にあって、岩石からなる層を岩圏という。

このように、地球の表面は、気圏・水圏・岩圏の3つの部分からできている。

生物は、三圏のそれぞれで生活しているが、それでも、生活できる範囲には限界がある。このように、生物が生活できる範囲を生物圏という。生物圏の中でも、多数の生物が生活している範囲となると、さらにそれが限定されている。

たとえば、空中を飛ぶ鳥では、地表から高さ100m以内のものが多い。水中で生活する生物の大部分は、深さ10mぐらいまでの浅い所に集まっている。岩圏では、地表からわずか2~3mまでの深さの所が生物の住む処である。

また、生物は、生物圏のあらゆる所に、一様に生活しているわけではない。乾燥した砂ばくや、低温の極地には、ごく少数の、しかもかぎられた種類の生物しか生存していない。

いっぽんに、生物は、太陽の光が届き、空気と水に恵まれた所で生活している。このような場所は、水圏・気圏・岩圏の触れ合っている所で、地球の表面のごく薄い層である。そして、この生物圏の中でも、とくに多数の生物が生活している所は、熱帯から温帯までの間である。

生物圏では、生物と環境は、互いに影響し合っている。たとえば、植物は光合成によって、二酸化炭素を吸収し、酸素を放出する。それと同時に、あらゆる動物は呼吸によって、酸素を吸収し、二酸化炭素を放出する。自然界では、この二つの働きがほぼ釣り合っているので、大気中の二酸化炭素と酸素の割合は、ほぼ一定に保たれることになる。

大気の成分が、一定になったのは、いまから約4億年前で、それ以前の地球では、酸素がごく少なかったとされている。

しかし、地球上に緑色の植物が増え、その光合成の働きによって、大気中に酸素が多く含まれるようになると、さらに、この酸素を利用する動物などが現れてきたのであろう。

このように、大気の成分は、生物の出現により、しだいに変化し、それに伴って生物の種類も変わってきて、現在の地球の姿になったと考えられる。

(啓林館「新訂理科2下」)

注 釈

- 1 てがかり[手掛り]
- 2 かこむ[囲む]
- 3 …ごとに[…毎に]
- 4 ロケット[rocket]

- (名) 线索
(他五) 包围
(修飾慣用型) 毎……
(名) 火箭

5 チョルモルンマほう[チョルモルンマ峰] (名)珠穆朗玛峰

6 …とされている

(補助慣用型)一般认为……

六、次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

木の特性

木は、木綿や絹と同様に、生物から生まれた材料です。①こういう生物系の材料は、人工の材料とは違った特性をもっているようです。例えば強さを取り上げれば、鉄やプラスチックのような材料は、新しいときがいちばん強く、なくなるにつれてほぼ直線的に弱くなっていきます。ところが、木はいささか事情が違うのです。

今、千三百年たった法隆寺の古い柱と、新しいヒノキの柱と、どちらが強いかと②聞かれたら、皆さんはおそらく、新しいほうだと答えるでしょう。しかし、その答えは正しくありません。③なぜならヒノキは切られてから二、三百年の間は、強さや剛性がじわじわと増して二、三割も上昇し、その時期を過ぎて後、今度は緩やかに下降していきます。④その下がりカーブの、新材とはほぼ同じくらいの強さのところに、千三百年たった法隆寺が位置しているからです。

バイオリンは古くなると音が冴えるといいますが、胴の部分の剛性が増せば音色はよくなるはずですから、この材質の変化によって音の冴える理由を説明することができます。そして、古くなればなるほど音色がよくなるのではなく、ある時期を過ぎたら元にもどっていくだろうということも。⑤このことから推測することができるわけです。

わたしたちの長い生活の歴史の中で、木はいちばん身近に使われてきた材料でした。しかし、その優秀性を数量的に証明することは困難です。なぜなら、強さとか、保温性とか、遮音性とかいった、どの物理的性能を取り上げてみても、木はほかの材料に比べて、最下位ではないにしても、最上位にはならないからです。例えば、強さなら木よりも鉄鋼が強く、保温性なら木よりもプラスチック系のものが優れているというように、木はどれをとっても中位の成績です。だから優秀性を証明しにくい、というわけです。

しかし、⑥それは、抽出した項目についていちばん上位のものを最優秀だと見成す、項目別の縦割り評価法によったからです。今、見方を変えて、横割りの総合的な評価法をとれば、木はどの項目でも上下に偏りのない優れた材料の一つということになります。木綿も絹も同様で、縦割り評価法でみていくと最優秀にはなりません。しかし、「ふうあい」まで含めた繊維の総合性で⑦判断すると、これらが優れた繊維であることは、実は専門家のだれもが知っていることなのです。総じて、生物系の材料というものはそういう性質をもつもののようです。

(光村図書「国語二」)

注 釈

- 1 いささか (副) 少々
- 2 ヒノキ (名) 日本扁柏
- 3 さ (终助词) 表示断定的语气
- 4 じわじわと (副) 一步一步地
- 5 さがりカーブ[下がりcurve] (名) 下行曲线
- 6 パイオリン[violin] (名) 小提琴
- 7 さえる[冴える] (自一) 清亮
- 8 どう[胴] (名) 身躯, (小提琴的) 琴身
- 9 (形容词连用形) なればなるほど (修饰惯用型) 越……越……

- 10 ふうあい[風合] (名) (纺织品接触时的) 柔软感等

問① 「こういう…」は何を指していますか。次の答えの中から正しいのを選んで、その()に(○)をつけなさい。

- () 木
- () 木綿や絹
- () 木や木綿や絹

問② 「聞かれる」の主語を次の中から選んで、その()に(○)をつけなさい。

- () 書き手
- () 読み手
- () ほかの人

問③ 「なぜなら」という連用修飾語はどこまでかかりますか。次の中から選んで、その()に(○)をつけなさい。

- () ……上升し
- () ……下降していきます
- () ……位置しているからです

問④ 「その下がりカーブの」という連体修飾語はどこまでかかりますか。次の中から選んで、その()に(○)をつけなさい。

- () 新材
- () 新材とほぼ同じくらいの強さ
- () 新材とほぼ同じくらいの強さのところ

問⑤ 「このこと」の意味を本文から言葉を抜き出して説明しなさい。

問⑥ 「それ」は何を指していますか。本文から言葉を抜き出して説明しなさい。

問⑦ 「判断する」の目的語は省略されています。それを補ってみなさい。

第 24 課

本 文: 音とは
实用会話(5): 切手を買う
文 法: 一、陈述方式
二、阅读指导(三)

本 文

音とは

小松 清

音楽は、音を材料とする芸術である。しかし、自然の中に存在している音を残らず使うというわけではない。その中からある種類のものを選択し、その各々の持っている固有の性質、及び、音と音との相互の関係から生まれる性質を利用して材料とするのである。

丁度画家が、限られたわずかな絵の具を材料として、無限に豊富な色彩を創造する様に、音楽家の取り扱う音も無制限に存在するのではなくて、その数は比較的に少ないのである。しかし、これによって作り出される音の関係と組み合わせは無限であって、どんなにたくさんの天才が今まで生まれたにしろ、後世の作曲家たちは、自分の腕を振るう余地が無くなったなどと悲観する必要は無い。

鑑賞する人々の立場も同じである。ある限られた時代、ある限られた社会の作曲家の作品ばかりを愛好し、これを絶対的のものと信じて他のものを退ける様な態度は、音楽の広い領域、その未来への無限の可能性に対して目を閉じるものである。

古い話だが、かつて、ある詩人が詩と音楽の優劣を比較して、音楽はド・レ・ミ・ファ・ソ・ラ・シ・ドの八つの音を材料としている、どうして複雑な内容の表現など出来ようかと言った

ことがある。これは、音楽の材料と性質について、知識が無いために生じた言葉だろうと思われるが、この詩人ばかりではなくて、音楽を無意味な幾つかの音の組み合わせから成る（無意味を幾ら重ねても有意義とはならないというわけで）無意味な遊戯か娯楽としか考えない人も多く居る。音楽には、銀行の帳簿の計算や新聞の三面記事の報道の様なことを行なう能力は無い。しかしそれは、我々が物を考えたり感じたりする力の、大変直接な働きの一つの現われなのである。

それでは、音とは一体どんなものか。音は、物理的に見れば、物体の振動である。物体の振動が媒介物によって私たちの聴神経に作用して、音の感覚を生ずるのである。この媒介物には、空気・液体・固体それぞれのものがあるが、普通私たちの聞く音は、空気を通してである。すなわち、ある物体が振動すると、それが周囲の空気を動かして空気の中に濃淡の波を生じ、いわゆる音波となって耳の鼓膜を動かして知覚されるのである。今、一つの物体があつて、それが前後に振動するとする。この物体が前に出た場合には、その前の空気は急に押されて濃くなる。そして、この濃い部分がまたその前にある空気を押し、こんなふうにして空気の濃い部分が順々に前の方に進んで行く。次に、この物体が後ろに退くと、この前の空気は急に薄くなり、その薄くなった部分はまたその前の空気を引っ張って薄くし、前と同じ様に薄い部分が順々に進んで行くのである。丁度、青く茂った稲田の上を風が通る時に、稲が順々に倒れて起きて行くのと似ている。そして、振動する物体が振動を続けている間は、絶えず前後に動いているから、空気中には濃淡の波が絶えず周囲に動いて行くのである。

しかし、物体の振動が空気の波となつても、すべてが音として知覚されるわけではなくて、一定の限界がある。人によって多少の違いはあるが、普通私たちが聞くことの出来る音の範囲は、一秒間の振動数が十六から三万までの間であつて、それ以上やそれ以下はもう音としては知覚されない。

もし、これ以外の振動も音として知覚出来るとしたら、私たちの音の世界は、大いに面目を異にするだろう。たとえば、「伸びゆく草木のいぶき」とか、「流れる星の音楽」とか、「愛人の心臓のささやき」とかというものを、実際に聞くことが出来るか

もしれない。

実用会話(5)

切手を買う

A: すみません。62 円の切手 5 枚と 41 円のはがき 10 枚ください。

B: 41 円のはがきは、今売り切れなんです。

A: それじゃ、62 円の切手 5 枚をください。

B: 62 円の切手 5 枚ですね。

A: はい。そうです。

B: 310 円になります。

A: 1000 円をお願いします。

B: はい、690 円のお返しです。

A: それから、小包を福岡に送りたいんですが、いくらかかり
ますか。

B: ええと、1 キロまで 800 円、それから 1 キロごとに 80 円ずつ増
えます。

A: そうですか。何日かかりますか。

B: 四日間ぐらいです。

A: どうもありがとう。

B: またいらっしゃい。

新出語

1 げい じゆつ[芸術]

(名) 艺术

2 のこらず[残らず]

(副) 全部, 一个不剩

3 せん たく[選択]

(名・他サ) 选择, 挑选

4 おのおの[各各]

(名・副) 各自, 分别

5 こ ゆう[固有]

(名・形动) 固有, 原有

6 そう ご[相互]

(名) 相互, 彼此

7 が か[画家]

(名) 画家

8 かぎる[限る]

(自他五) 限定, 限于

9 わずか

(副・形动) 一点点, 少, 微

10 く[具]

(名) 工具, 方法

11	むげん[無限]	(名・形動)无限,无止境
12	そう ぞう[創造]	(他サ・名)创造
13	おん がく か[音楽家]	(名)音乐家
14	とりあつかう[取り扱う]	(他五)处理,使用
15	む せい げん[無制限]	(名・形動)无限制
16	ひかく[比較]	(名・他サ)比较
17	ひ かく てき[比較的]	(副)比较
18	つくりだす[作り出す・造り出す]	(他五)创作,写出;制造出来
19	くみあわせ[組み合わせ]	(名)配合,组成,编组
20	てん さい[天才]	(名)天才
21	こう せい[後世]	(名)后世,将来
22	さっ きょく か[作曲家]	(名)作曲家
23	うで[腕]	(名)胳膊
24	ふるう[振るう]	(他五)显示,发挥;挥动
	うでをふるう[腕を振るう]	(词组)显本领,发挥特长
25	よ ち[余地]	(名)余地
26	ひ かん[悲観]	(名・自サ)悲观
27	かん しょう[鑑賞]	(名・自他サ)欣赏
28	たちば[立場]	(名)立脚点,立场
29	さく ひん[作品]	(名)作品
30	あい こう[愛好]	(名・他自サ)爱好
31	ぜっ たい てき[絶対的]	(形動)绝对的
32	しりぞける[退ける]	(他一)拒绝,排除,斥退
33	たい ど[態度]	(名)态度
34	りょう いき[領域]	(名)领域
35	み らい[未来]	(名)未来
36	か のう せい[可能性]	(名)可能性
37	とじる[閉じる]	(自他一)关闭
38	し じん[詩人]	(名)诗人
39	し[詩]	(名)诗
40	ゆう れつ[優劣]	(名)优劣
41	ふく ざつ[複雑]	(名・形動)复杂
42	ひょう げん[表現]	(名・他サ)表现,表达
43	ち しき[知識]	(名)知识
44	しょうずる[生ずる]	(自他サ)产生,出现
45	む い み[無意味]	(名・形動)无意义,没价值
46	いくら	(副)(后与ても呼应) 不论怎么……也
47	かさねる[重ねる]	(他一)重复,反复
48	ゆう い ぎ[有意義]	(名・形動)有意义

49	ゆう ぎ[遊戯]	(名・自サ)游戏,玩耍
50	ご らく[娯楽]	(名)娱乐
51	ぎん こう[銀行]	(名)银行
52	ちょう ぼ[帳簿]	(名)帐簿,帐本
53	さん めん[三面]	(名)(报纸的)第三版
54	き じ[記事]	(名)(报纸、杂志)报道,消息
	さん めん き じ[三面記事]	(名)社会新闻,第三版消息
55	ほうどう[報道]	(名・他サ)报道,报导
56	ちよく せつ[直接]	(名・副・形动)直接
57	はたらき[働き]	(名)工作,劳动,能力
58	いっ たい[一体]	(副)大体上,究竟,到底
59	ぶつ り[物理]	(名)物理
60	ばい かい ぶつ[媒介物]	(名)媒介物,介质
61	ちょう しん けい[聴神経]	(名)听神经
62	かん かく[感覚]	(名・他サ)感觉
63	えき たい[液体]	(名)液体
64	こ たい[固体]	(名)固体
65	すなわち	(接)即,也就是
66	うごかす[動かす]	(他五)移动
67	のう たん[濃淡]	(名)浓淡,深浅
68	いわゆる[所謂]	(连体)所谓,一般人说的
69	おん ば[音波]	(名)音波,声波
70	こ まく[鼓膜]	(名)鼓膜
71	ち かく[知觉]	(名・他サ)知觉,感觉
72	こい[濃い]	(形)浓,深
73	ぶ ぶん[部分]	(名)部分
74	じゅん じゅん(に)[順々に]	(副)逐渐,按顺序,依次
75	しりぞく[退く]	(自五)退,后退
76	うすい[薄い]	(形)薄的,淡的,浅的
77	しげる[茂る]	(自五)繁茂,茂密
78	いなた[稲田]	(名)稻田
79	いね[稲]	(名)稻子
80	たおれる[倒れる]	(自一)倒下,倒塌,倒台
81	にる[似る]	(自一)似,象
82	たえず[絶えず]	(副)不断,经常
83	いっ てい[一定]	(名・自他サ)一定,固定,统一 (規定)
84	げん かい[限界]	(名)界限,极限
85	た しょう[多少]	(名)多少,多寡 (副)多少,稍微

86	はん い[範囲]	(名)范围
87	い か[以下]	(名)以下,以后
88	もし	(副)如果,假如
89	おおいに[大いに]	(副)大,很,非常
90	めん ほく[面目]	(名)面目,脸面
91	くさき[草木]	(名)草木
92	いぶき[息吹(き)]	(名)呼吸;气息,气氛
93	ほし[星]	(名)星
94	あい じん[爱人]	(名)情人;情夫,情妇
95	しん ぞう[心臟]	(名)心脏
96	ささやき	(形动)细小,微小
97	きって[切手]	(名)邮票
98	うりきれ[売り切れ]	(名)全部售完
99	それじゃ	(接)那么
100	かえし[返し]	(名)找回来的钱
101	こづつみ[小包]	(名)小包
102	ふくおか[福岡]	(名)福岡

文 法

一、陈述方式

语言是用来交流思想的,人们说每一句话,都是采取一定的陈述方式来描述一个客观事实。例如,说话人对他描述的事情是肯定还是否定?是确信还是推测?是发表自己的看法还是询问听话人的意见?如此种种,都是说话人的陈述方式。

说话人的陈述方式通过某种形式体现在句子里,但不影响句子成分的搭配,它是属于另外一系统的。例如说:かれが図書館で本を読むだろう的时候,句中的だろう是表推测的,但并不是句子的主语かれが的推测,而是说话人的推测,这属于说话人的陈述方式。

陈述方式包括肯定、否定、委婉、强调、愿望、祈使、感叹、可能、传闻、比况、推测、假定、疑问、反诘等等,一般通过以下方法来体现:

1. 谓语的陈述方式

(1)作谓语的用言变成终止形,表示肯定的陈述方式;变成命令形,则表示命令的陈述方式。例如:

こちらにいらっしゃい。/请到这里来。

(2)在作谓语的用言后面添加除被动助动词れる,られる,使动助动词せる,させる,しめる以外的助动词,或添加除もらう(いただく)以外的补助用

言,或添加补助惯用型,或添加终助词。是添加一种还是同时添加几种,全看陈述的需要。例如:

熱が高いようだ。/好象温度高。

病気になったね。/生病了吧。

その結果,予想もしなかったような災害が人間自身に降りかかってきている。/结果,想都想不到的灾害就降到了人类身上。

人間が水害の種をまいているといってもいいだろう。/也许可以说是人播下了水灾的种子。

2. 提示助词出现在一个或几个句子成分中,与谓语的陈述方式相呼应,共同表示一种陈述方式。但当它顶替が、を等格助词的时候,它除了表示陈述方式外,还要兼起格助词的作用。例如:

かれは行く。/他是去。(他不是不去。)

试比较:

かれが行く。/他去。

再如:

かれは行くのです。/他是去的。(他不是不去的。)

试比较:

かれが行くのです。/是他去。(而不是别的情况。)

在上例中,は是顶替が的,它既表陈述方式,又兼起が的作用。又如:

かれが行くだろう。/可能他会去吧。

かれは行くだろう。/他可能会去吧。

かれが日本語をならうばかりでなく,(かのじょも日本語をならう。)/不但他学日语,(而且她也学日语。)

かれは日本語をならうばかりでなく,(英語もならう。)/他不但学日语,(还学英语。)

从这里也可以看出が和は的区别:が只管到谓语本身,管不到谓语的陈述方式,而は则正好是与谓语的陈述方式呼应的;因此,が只管到作谓语的用言(包括动词+れる、られる、せる、させる、しめる、てもらう)为止,而は则管到句末。就上面的例子来说,かれが只管到“行く”(第二句中管到ならう),而かれは管到だろう(在第二句子中管到ばかりでなく以及句末的ならう的肯定的陈述方式)为止。反过来从谓语的陈述方式来说,没有提示助词的时候,谓语的陈述方式要管全句;有了提示助词的时候,它一般只管到提示助词为止。

3. 陈述副词与谓语的陈述方式相呼应,共同表示一种陈述方式。陈述副词与情态副词(如すぐ、しばらく、ますます、やかて、はっきり等)程度副词(如たいへん、もっと、ちょっと、かなり等)不同,它不是修饰限定用言的实质意义的,而是限定谓语的陈述方式的,所以陈述副词总要与谓语的一定的陈述方式相呼应。

例如：

もし、これ以外の振動も音として知覚出来るとしたら、私たちの音の世界は、大いに面目を異にするだろう。/假定除此之外的振动也能作为声音感觉到的话，那么我们的声音世界就面貌全非了。

熱の伝わる速度、時間はもちろん違ってきます。/热传播的速度、时间当然也不同。

おそらくかれは来るだろう。/恐怕他会来吧。

常见的陈述副词有：

与肯定式谓语呼应的：かならず、きっと、ぜひ、ほんとうに

与否定式谓语呼应的：けっして、すこしも、ちっとも、かならずしも

与强调式谓语呼应的：かならず、さすが

与祈使式谓语呼应的：どうぞ、どうか

与比况式谓语呼应的：まるで、ちょうど、あたかも

与推测式谓语呼应的：おそらく、たぶん、さぞ

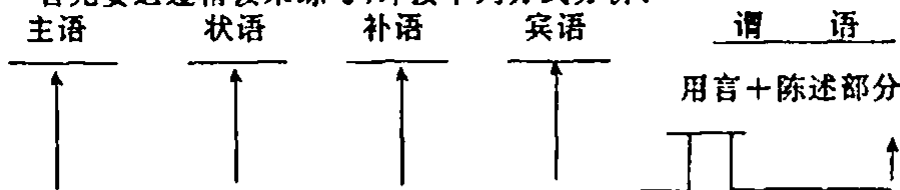
与疑问式谓语呼应的：どうして、なぜ、いかに

与假定式谓语呼应的：もし、かりに、たとい

二、阅读指导(三)

谓语是日语句子的中心，在阅读的时候，特别要注意谓语。谓语中必然有一个用言(广义的用言，包括体言加指定助动词等)，我们要根据这个用言往前找与之搭配的主语、宾语、补语、状语等，往后找陈述部分。

首先要通过精读来练习，即按下列方式分析：



例如：

ジオファントスは記号で[いろいろ]方程式を解いた。



当然，我们在实际阅读的时候，不可能先从谓语部分读起，而只能从前面的主语、状语等开始往后读。但我们必须记住，每个句子都有陈述方式，在阅读时必须注意主语、宾语、补语、状语等部分中是否有提示助词和陈述副词。如果有，就要注意它们同谓语的陈述部分的呼应；如果没有，谓语的陈述部分就要管全句。所以我们在阅读时，对句子部分的理解过程应该是(实线表示阅读过程，虚线表示陈述)：

ある数の $\frac{2}{3}$ と $\frac{1}{2}$ と $\frac{1}{7}$ をその数に加えると、37になる。 / 将某数的 $\frac{2}{3}$ 、 $\frac{1}{2}$

和 $\frac{1}{7}$ 加于该数,结果为37。

その数はいくつか。 / 该数为多少?

特别要注意“は”的陈述力,它不仅可以管两个谓语,有时它还可以管到下一句子去。例如:

人間にとって、川は、飲み水をはじめ生活に必要な水の供給源であったし、物資を運ぶための重要な交通路でもあった。また、雨季になれば、上流からよく肥えた土を運んできて、農業の発展をうながすことになった。 / 对于人类来说,河川是饮用水以及生活用水的水源,又是运输物资的重要交通线,还从上游运来肥沃土壤,促进农业发展。

另一方面又要注意,并不是所有的提示助词或陈述副词都是管到句末的,分析陈述方式首先得考虑句子成分之间的搭配。例如:

人間にとって、川とは何か、自然とは何か、ということ、を、わたしたちは、今改めて考え直してみる必要があるのではないだろうか。 / 我们是不是必须重新考虑一下这样一个问题呢? 即: 对人类来说, 所谓河川意味着什么? 所谓自然意味着什么?

上句中两个…とは中的は都不管到句末,而只管到“何か”的か。

練習

一、例にならって、次の文の述語の陳述部分を点線で示しなさい。

例: 日本……の自然の特色をもう少し考えてみよう。

1. まず、日本列島が、熱帯と寒冷地域との中間……にあって湿潤であり、植物の繁茂に極めて適していることを指摘しなければならない。
2. かすみのような現象によって、植物の鮮やかな緑が、くすんだ紫色に変えられる。
3. つまり、本来の鮮明な色彩が和らげられるわけである。
4. それに加えて、中間色で和らげられた風景が周囲を取り巻き、それが日本人に、自然を極めておだやかなものとして印象づけているのである。
5. ねえちゃん、公園につれていってくれないか。

二、例にならって、係助詞と述語の陳述部分との呼応を示しなさい。

例: 人間は、昔からさまざまな方法で川を利用し、川に頼……って生きてきた。

1. 古代文明の発祥地も、黄河やナイル川のような大河の流域である。
2. 川の力は、時おり、おそろしい災害を引起こしている。
3. 現代の人間は、目先の利益にとらわれて、川本来の性質を無視してきたのではないだろうか。

4. 農耕が日本人の暮らしの中心になったことも、その結果として当然であった。

5. 自然の中で人間が生き続けていけるかどうかは、自然と人間とのつり合いをどのようにとらえ、どこに調和点を見いだすか、ということにかかっているのである。

三、例にならって、陳述副詞と述語の陳述部分との呼応を示しなさい。

例：おそらくかれは来るだろう。

1. この本は、少しも難しくありません。

2. 彼は日本語がまるで話せない。

3. どうも、風邪を引いたらしいです。

4. なぜ何も言いませんか。

四、次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

数の表し方

オーストラリアとニューギニアの間にあるマレー諸島に住む原住民は、1=ネタット、2=ネイスという2つの数のことばしかもっていない。3以上は、3=ネイス・ネタット、4=ネイス・ネイスというように、2つの数のことばをくりかえして使う。これは、数を2でまとめて表す二進法である。電子計算機も、真空管やトランジスタに電流が通じているか切れているかの、2つの表し方しかもたないので、二進法を使っている。

5をひとまとめにして数える「五進法」は、人間の片手の指が5本あることから、かなり昔から使われていたらしい。ローマ数字で4をⅣ、5をⅤ、6をⅥと書くのも、Ⅴをひと区切りとして表したなごりであろう。

現在でもアフリカのカメルーンやソロモン諸島などの原住民は、5を「一本の草木」「片手いっぱい」などといって、五進法を使っている。

現在もっとも広く使われている十進法も、やはり人間の両手の指が10本であることに由来している。今から5000年ほど前のエジプト人は棒で数を表し、6は𐍌と書いたが、10は𐍌のように10本の棒をひとまとめに書き、のちには中の棒をはぶいて、𐍌だけで10を表した。

「十二進法」もかなり昔から使われ、いまでも鉛筆などは12本を1ケース、12ケースで1grossというように、十二進法で数える。12は10よりも約数が多いので、十二進法のほうが十進法よりすぐれていると主張して、自分の国で十二進法を使わせようとしたのはスウェーデンのカール十二世(1682-1718)であったが、実現はしなかった。

紀元前3000年ごろのバビロニア人は、1年を360日としたので、それに対応させて円周を360度に分け、そこから「六十進法」が起こったのであろうといわれている。1回転の角を360度、1度を60分、1分を60秒とし、また、1時間を60分、1分を60秒とする現在の角度と時間の単位は、このバ

ピロニアの六十進法に起源をもつものと考えられる。

(東京書籍株式会社「新訂 新しい数学」)

注 釈

- | | |
|----------------------|--|
| 1 オーストラリア[Australia] | (名) 南オーストラリア、南オーストラリア、
南オーストラリア連邦(国名) |
| 2 ニューギニア[New Guinea] | (名) 新几内亚 |
| 3 マレーしょとう[Mare 諸島] | (名) 马来群岛 |
| 4 ネタット | (名) 1(马来土语译音) |
| ネクス | (名) 2(马来土语译音) |
| 5 ひとまとめ | (名) 总在一起, 一个总数 |
| 6 かたて[片手] | (名) 一只手 |
| 7 ローマ[Roma] | (名) 罗马(地名) |
| 8 ひとくぎり[一区切り] | (名) 一个段落 |
| 9 なごり | (名) 痕迹 |
| 10 アフリカ[Africa] | (名) 非洲 |
| 11 カメルーン[Cameroun] | (名) 喀麦隆(国名) |
| 12 ソロモン[Solomon] | (名) 所罗门(群岛) |
| 13 はぶく[省く] | (他五) 省略 |
| 14 ダース[dozen] | (名) 打(单位, 十二个为一打) |
| 15 グロス[gross] | (名) 罗(单位, 十二打为一罗) |
| 16 スウェーデン[Sweden] | (名) 瑞典(国名) |
- 問一 ①の部分はどこまでかかっていますか。次の答えの中から正しいのを選んで、
その()に○をつけなさい。
()…(もた)ない
()…(使って)いる
- 問二 ②の部分はどこまでかかっていますか。問一と同じ方法で答えなさい。
()…ある
()…(使われて)いた
()…らしい
- 問三 ③の部分は主語ですか、目的語ですか。
()主語
()目的語
- 問四 ④の部分は「いう」の目的語ですか、「数える」の目的語ですか。
()「いう」の目的語
()「数える」の目的語
- 問五 ⑤の部分はどこまでかかっていますか。
()…(し)た
()…分け

()…(起っ)たのであろう

()…といわれている

五、次の文章を読んで、線を引いた文を中国語に訳しなさい。

三平方の話

今から5000年も前に建てられた、エジプトのピラミッドの底面は、きわめて正確な正方形になっている。これは、当時はなわばり師という人たちがいて、寺院やピラミッドの建築のとき、正確な測量をしたからだといわれている。

かれらは、12の長さ(単位は任意)のなわを3・4・5の長さの割合に折り、それを張るとき直角ができることを用いた。すなわち、3辺が3・4・5の割合になるような三角形は直角三角形になることを、経験的に知っていたわけである。これは、三平方の定理の逆を利用したものである。

3・4・5のほか、5・12・13も直角三角形の3辺を作ることは、中国やインドなどでも古くから知られていた。なお、インドでは8・15・17, 12・35・37も知られていたことが記録に残っている。このことは、実用に役だっただけでなく、たいへん人々の興味をひく問題だったので、多くのところでこのような数を見つけようとする努力がなされた。

(東京図書株式会社「新訂 新しい数学3」)

注 釈

- | | |
|------------------|-----------|
| 1 きんへいほう[三平方] | (名)勾股弦 |
| 2 ピラミッド[Pyramid] | (名)金字塔 |
| 3 なわばりし[縄張り師] | (名)圈縄定界的人 |
| 4 なわ[縄] | (名)绳子 |
| 5 わりあい[割合] | (名)比例 |
| 6 はる[張る] | (他五)拉直 |
| 7 やくだつ[役立つ] | (自五)起作用 |
| 8 きょうみをひく[興味を引く] | (词组)引起兴趣 |
| 9 みつける[見つける] | (他一)找出 |

第 25 課

本 文：動物の数学
実用会話(6)：買物
文 法：一、简单句的分析
二、阅读指导(四)

本 文

動物の数学

数をかぞえることができるといわれた動物はたくさんあります。なかでも、「かしこいハンス」とよばれたドイツのウマは、いちばん有名です。この話は今から60年ほど前のことです。このウマを育てた人は、動物でも人間と同じようにいろいろと考えることができ、その能力は訓練さえすれば、はっきりと示すことができると思っていました。この人は「ハンス」という名のウマを訓練して、算術の問題に答えることができるようにしました。ハンスは「かしこいハンス」とよばれるようになりました。ハンスは、一方の足では一の位の数、もう一方の足では十の位の数をたたくように教えられました。ハンスは加え算だけでなく、分数を小数に変える問題でも、正しく答えました。問題を口で伝えないで、紙に書いて示されても、正しく答えました。

この話は新聞に大きくとりあげられ、科学者にたのんで、このウマの驚くべき能力をしらべる委員会ができました。科学者たちは注意ぶかく研究した結果、ハンスを訓練した飼い主は正直な人で、サーカスの動物たちがやるように、正しい答のときにかすかな合図をして、ウマが前足で地面をたたくのを止めるように訓練していないことを発表しました。これがごかしでないことは、飼い主がいないときでも、委員会の人たち自身がハンス

から正しい答をうけることができた事実で明らかです。

ハンスは実際に考えたり、数をかぞえたりできるように思われました。しかし、この委員会の発表のすぐ後に、ほかの科学者が真相を見つけました。この科学者は、ハンスは立ち会っている人がだれも答えを知らない問題には答えられないことを発見したのです。いちばん簡単な問題でもだめでした。このときは、質問する人が読めないように紙を裏がえしてハンスに見せて問題をだします。もし質問者が知っているときには、ハンスは紙に書かれた問題を見て、前足で答えたのですが、だれも問題を見ていないときには、ハンスは答えられなかったのです。科学者は、このことから、真相はつぎの通りであると考えました。ハンスは答を知っている質問者の、眼にも見えないような体の動きに反応しているのであり、このような体の動きは質問者も意識していないので、自分が体を動いていることを知らないのに、ハンスにはわかるのであると考えました。質問者はウマが数をたたいているときには注意していて、自分でもその数をかぞえています。ハンスがちょうど答の数をたたいたときに、質問者の緊張がゆるみ、それが非常にかすかな体の動きになってあらわれます。ハンスはこの動きに反応して、足でたたくのを止めるのです。質問者が答を知らないときは、この動きがありませんから、ウマは困ってしまいます。ハンスは、ほんとうは、このかすかな動きに反応するように訓練されたのです。いつも穀物や砂糖を賞品にもらって、最善をつくすように誘導されたのです。

この例は、動物の感覚の研究にたいへん重要な技術の改良をもたらしました。生物学者はこれを“「かしこいハンス」の誤り”とよんで、感覚の研究のときには、観察する者は動物に見られないようにかくれていることになりました。同じような誤りをさけるように注意するようになったのです。研究者はのぞき穴から観察し、合図はかくされたボタンを押してあたえるようにくふうされました。(H. M. フォックス著 朝日穂藤本佳佑訳「動物の知恵」)

実用会話(6)

買 物

スーパーマーケットで

- A: いらっしゃいませ。
B: すみません。お茶はどこにありますか。
A: あそこのコーヒーの所です。
B: 中国茶もありますか。
A: ええ,ありますよ。
B: どうもありがとう。

八百屋で

- A: いらっしゃい。何にしましょう。
B: たまねぎと人参を買いたいです。
A: どれくらいにしましょうか。
B: それぞれ一袋ください。
A: はい,ほかに何か。
B: あ,ピーマンありますか。
A: すみません,ピーマンは売り切れなんです。
B: じゃ,いいです。いくらですか。
A: 300円になります。
B: 1000円をお願いします。
A: はい,700円のお返しです。毎度ありがとうございます。
B: どうも。

新 出 語

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 なかでも[中でも] | (副)特別,尤其 |
| 2 かしこい[賢い] | (形)聪明,伶俐 |
| 3 ハンス | (名)汉斯(马名) |
| 4 くん れん[訓練] | (名・他サ)训练 |
| 5 な[名] | (名)名字 |

6	さん じゅつ[算術]	(名)算术,算法
7	あし[足]	(名)脚
8	まえあし[前足]	(名)前脚
9	じめん[地面]	(名)地面
10	たたく[叩く]	(他五)敲,叩
11	くらい[位]	(名)位
12	くわえざん[加え算]	(名)加法
13	ぶん すう[分数]	(名)分数
14	しょう すう[小数]	(名)小数
15	とりあげる[取り上げる]	(他一)采用,提出
16	か がく しゃ[科学者]	(名)科学家
17	たのむ[頼む]	(他五)委托,恳求,请
18	い いん かい[委員会]	(名)委员会
19	ちゅう いぶかく[注意深く]	(副)非常仔细地
20	かいぬし[飼い主]	(名)饲养人
21	しょう じき[正直]	(形动)老实
22	サーカス[circus]	(名)马戏团
23	かすか[微か]	(形动)微弱
24	あいず[合図]	(名)信号,暗号
25	やめる[止める]	(他一)停止
26	ごまかし[誤魔化し]	(名)欺骗,哄人,假冒
27	じ じつ[事実]	(名)事实,真实情况
28	しん そう[真相]	(名)真相
29	みつける[見付ける]	(他一)找出
30	たちあう[立ち会う]	(自五)在场
31	かん たん[簡単]	(名・形动)简单,容易
32	うらがえす[裏返す]	(他五)翻过来
33	しつ もん しゃ[質問者]	(名)提问的人
34	い しき[意識]	(名・他サ)意识,意识到
35	きん ちょう[緊張]	(名・自サ)紧张
36	ゆるむ[緩む・弛む]	(自五)松弛
37	こく もつ[穀物]	(名)谷物
38	さ とう[砂糖]	(名)砂糖
39	しょう ひん[賞品]	(名)奖品
40	さい ぜん[最善]	(名)最好
41	ゆう どう[誘導]	(名・他サ)引导,诱导
42	かい りょう[改良]	(名・他サ)改良
43	あやまり[誤り]	(名)错误

45	かん さつ[観察]	(名・他サ)观察
46	かくれる[隠れる]	(自一)躲藏
47	さける[避ける]	(他一)避免,躲开
48	のぞきあな[のぞき穴]	(名)窥视孔
49	かくす[隠す]	(他五)藏起来
50	ボタン[button]	(名)按钮
51	やおや[八百屋]	(名)蔬菜店
52	たまねぎ[玉葱]	(名)洋葱,葱头
53	にん じん[人参]	(名)胡萝卜
54	ふくろ[袋]	(接尾)……袋
55	ピーマン[法 piment]	(名)圆辣椒,柿子椒
56	まい ど[每度]	(名)经常,屡次,每次

慣 用 型

1. (动词连用形・サ变动词词干)さえすれば[修饰惯用型]

(体言)さえ(动词假定形)ば

这是作状语用的惯用型,其作用是提出一个确切的情况作为条件,表示只要这个条件得到了满足,其他的一切都不成问题了。可译作“只要……就……”。例如: これはやさしいから,練習さえすれば,すぐじょうずになる/这个很容易,只要练习就能练好。

暇さえあればすぐ行きます。/只要有空,立刻就去。

2. (用言连体形)ように思われる。[补助惯用型]

这个惯用型用以表示一种婉曲的断定,可译作“似乎……”好象……。例如: ハンスは実際に考えたり,数をかぞえたりできるように思われました。/汉斯似乎真的会思考,会数数。

文 法

一、简单句的分析

句子可分为独词句和主谓句两类,独词句由体言或体言性词组构成,分不出主语、谓语两个成分来,主谓句可以分出主语和谓语来。独词句如:

春。/春。動物と植物。/动物和植物。

主谓句根据其主谓关系,又可以分为两类:简单句(单文)、复合句(复文)。复合句又分三种:包孕句(有属文)、主从句(合文)、并列句(重文)。本课

先学简单句的分析。

简单句中只有一层主谓关系,主语和谓语既可以由简单的句素充任,也可以由扩展的句素充任,但扩展的句素不能扩展到成为句子(或含有句子)的地步。

前面学过,一个句子中包含着两种关系,一种是句子成分的搭配关系,一种是陈述方式的呼应关系。分析句子的时候,必须把这两种关系都分析清楚,否则就无法全面正确的掌握一个句子。因此,分析句子可以按两个步骤进行。

1. 分析句子成分的搭配关系

这种分析必须以谓语为中心来进行,根据谓语依次找出与它搭配的主语、宾语、状语、独立语。如果句中缺少某一成分,就看它是否是谓语所要求的。如果是必须要有的,就是省略,可分析一下省略的是什么;如果不是谓语要求的,就不是省略。例如他动词作谓语,一般会有宾语,如果没有就是省略,可分析一下省略了什么;自动词作谓语,就不要求宾语,没有宾语是正常现象,不存在省略问题。在必要的时候,还要对扩展的句素作进一步的分析。

分析的实例如下:

例1 (合成皮革のくつの)表面が,ほこりで[よく]よこれやすい/人造革鞋子的表面因爱着灰尘,容易被弄脏。

- (1) 与よこれる搭配的主语应是“合成皮革のくつの表面が”。
- (2) よこれる是自动词不需要去找宾语。
- (3) ほこりで由体言ほこり加补格助词で构成,是与よこれる搭配的补语。
- (4) よく是副词,是修饰限定谓语よこれる的。
- (5) 主语是一个扩展的句素,其结构为:

合成皮革のくつの表面が

例2 [例4にならって], (次の)小数を分数になおせ。 /仿照例4,将下列小数变成分数。

- (1) 谓语是他动词なおす的命令形,命令句一般不出现主语,所以不必再去找主语。
- (2) 从句子的末尾往前找宾语,发现“次の小数を”是由体言性词组加宾格助词を构成的宾语,正好与なおす搭配。
- (3) 从句子末尾往前找补语,“分数に”是表示なおす的结果的补语。“例4に”也是补语形式,但它是与ならう搭配的,因此不是なおす的补语。
- (4) “例4にならって”是由动补关系的词组“例4にならう”加接续助词て构成的方式状语,是限定“次の小数を分数になおす”的。

例3 (この)(栄養物をつくる)働きを光合成と呼ぶ。 /这种制造养分的作用叫光合作用。

- (1) 谓语呼ぶ是个他动词。这个句子采用命名的……を……と呼ぶ:句

型,这种句型一般无主语,因此不必再去找主语。

(2) 宾语はこの栄養物をつくる働きを。宾语中含有两个定语,动宾词组“栄養物をつくる”是修饰“働き”的,连体词この修饰栄養物をつくる働き。

(3) 补语是“光合成と”。

如果谓语中含有被动助动词れる・られる、使动助动词せる・させる、しめる、补助动词もらう(いただく),就要把它们和动词一起看作一个单位来分析。例如:

[次の方程式によって] $x=84$ が求められる。/用下列方程式可求出 $x=84$ 。

温度計を(温度測定をしようとする)物に接触させる。/让温度计接触要测温度的物体。

弟にてつだってもらう。/请弟弟帮忙。

如果谓语中含有其他助动词、补助用言、补助惯用型、终助词等,分析的时候,暂时不去管它。提示助词也暂时不去管它,如果提示助词是顶替了格助词,则可在该提示助词上用括号标出被顶替了的格助词,然后根据这个格助词去分析句子成分的搭配。如果句子中有陈述副词,在分析搭配关系时也暂时不去管它。这些都留待下一步分析。例如:

ギリシアでは[3世紀ごろ],ジオファントスが[記号を用いて][いろいろ]方程式を解いた。[かれの年齢について],(次のような)詩が残っている。/在希腊,三世纪前后,狄番都用符号解了各种方程。关于他的年龄,留下了如下诗句。

人間は(が),昔からさまざまな方法で川を利用し,[川に頼って]生き続けてきた。/人类自古以来就用各种办法利用河川,并依靠河川生存下来。

2. 分析陈述方式

如果句子中没有提示助词、陈述副词,就只需考虑谓语的陈述方式。要注意的是,谓语的陈述方式不只是管谓语而已,它要管全句。另外,单个用言的终止形是一种肯定陈述方式。本书在分析时用虚线表示陈述方式。例如:

かれの年齢について,次のような詩残がっている。关于他的年龄,留下了如下诗句。

つまり,本来の鮮明な色彩が和らげられるわけである。/即,本来鲜明的色彩被弄得柔和了。

如果句子中有提示助词,就应考虑提示助词与谓语陈述方式的呼应。提示助词的作用本来就是提出一个事物要求后面的谓语加以强调的说明,因此这时谓语的陈述方式一般只管到提示助词后面的部分,不再管到提示助词前面去,这种句子译成汉语时,一般先译有提示助词的部分,然后再译提示助词后面的部分。如果有陈述副词,也要考虑其与谓语中陈述部分的呼应。例如:

上・中・下の稲の1束の実は。それぞれ何斗か/上、中、下种稻束各一捆

分別收多少斗？

川の力は、時おりおそろしい災害を引き起こしている。/河川的力量有时引起可怕的灾害。

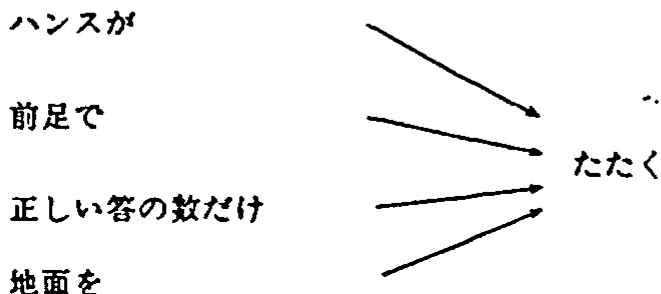
おそらくかれは来るだろう。/可能他会来。

二、阅读指导(四)

上面说过，日语句子以谓语为中心，析句时，可以采用从句末往前推的方法，即根据谓语去找搭配。一对一对搭配找对了，句子的结构就清楚了。用图来表示就如下例：

ハンスは前足で正しい答の数だけ地面をたたくことができました。/汉斯能够用前蹄敲打地面，正好敲出正确的答数了。

第一步——分析句子成分的搭配



第二步——分析陈述方式

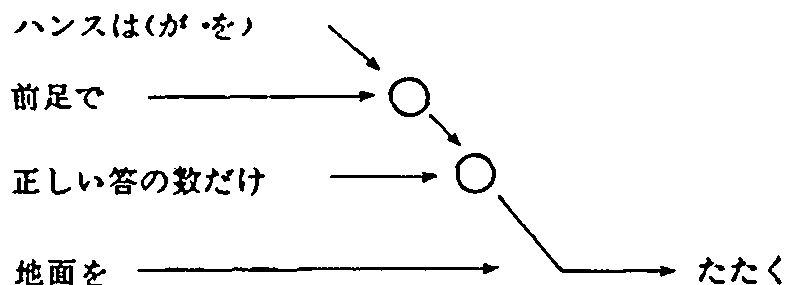
但是，这种方法只适合于对个别句子、作具体分析。日本人在思考、说话、听话时绝不是从后往前的，只能是从前往后，我们理解日语句子的过程也只能是从前往后。当我们听到(或看到)“ハンスは”时，在意义上理解的是一匹叫“汉斯”的马，在语法上想到这可以是主语或宾语，并据此来推测后面的谓语。往下听到“前足で”时，因为“で”可表示工具、方法等语法意义，推测谓语的范围就缩小了。再读“正しい答の数だけ”这个状语，范围更小了。再读“地面を”这个宾语，范围就明确了。最后读到“たたく”，就完成了全部搭配过程即理解过程，用图来表示这个理解过程就应该是如下页所示。

……は←……ことができました

陈述方式的理解过程也是这样：

ハンスは…→ことができました。

我们坚持用这种方法来练习，随着阅读的文章的增加，理解日语句子的能力就会越来越强，阅读的速度就会越来越快了。



練習

一、次の文の中の「その」、「それ」はそれぞれ何を指していますか。

1. このウマを育てた人は、動物でも人間と同じようにいろいろと考えることができ、その能力は訓練さえすれば、はっきりと示すことができると思っていました。

その能力＝

2. 質問者はウマが数をたたいているときには注意していて、自分でもその数をかぞえています。

その数＝

3. ハンスがちょうど答の数をたたいたときに、質問者の緊張がゆるみ、それが非常にかすかな体の動きになってあらわれます。

それが＝

二、主語と述語、動詞と目的語・補語などの組みあわせの関係を考えて、次の文を完成してみなさい。

1. 私は毎日午後六時ごろ家へ_____。
2. あまり速く話すと、学生には先生の話が_____。
3. 学校では毎日五時間ずつ日本語を_____。
4. わたしは毎朝ラジオの天気予報を_____。
5. 何時に家を_____。
6. 病気で一週間学校を_____。

三、例にならって、次の文中の文の成分の組み合わせを分析しなさい。

例：二千年も前から水田を耕作していた日本では、人人は、川から農業用水を取ることによって水田を潤していた。

[分析]

……日本では	→	潤していた
人々は	→	
……ことによって	→	
水田を	→	

1. 日本列島の自然は、日本人の生活様式やものの考え方に、どのような影響を与えてきたであろうか。
2. かすみのような現象によって、植物の鮮やかな緑が、くすんだ紫色に変えられる。
3. 人間は、昔からさまざまな方法で川を利用してきた。
4. 二千年も前から水田を耕作していた日本では、人人は、川から農業用水を取ることによって水田を潤していた。
5. 現代の人間は、目先の利益にとらわれて、川本来の性質を無視してきたのではないだろうか。

四、次の文の陳述部分を点線で示しなさい。

例：人間が水害の種をまいているといってもいいだろう。

1. その結果、予想もしなかったような災害が人間自身に降りかかってきている。
2. 日本列島の自然は、どんな特色をもっていただろうか。
3. 日本人の生活は、昔からすべてにわたって植物への依存度が高かった。
4. 家屋は木材を使って建てられている。
5. 衣料では、麻や木綿のような植物繊維がはたはだ重要な材料となっている。
6. 飲み水としても、井戸をほって地下水をくみ上げるよりもずっと前から、川の水は利用されていた。

五、次の文章を読んで、文中の単文の下に線を引きなさい。

一、温度と熱量について

水を熱すると温度が上がり、それを放置しておくと、温度は下がる。温度の高い物体と、温度の低い物体とをふれさせておくと、高いほうの温度は下がり、低いほうの温度は上がって、ついには、両方の温度が等しくなる。このとき、熱が温度の高い物体から低い物体へ移ったという。このように、熱には物体の温度を変えるはたらきがある。

熱は、熱い物質から冷たい物質へ移って、やがて両方の温度が等しくなるが、それには時間がかかることがわかる。

熱の量をはかる単位としては、カロリーが用いられる。1gの水の温度を、1℃だけ上げるのに必要な熱量を、1カロリーといい、1000カロリーを、1キロカロリーという。

二、植物のからだのはたらき

植物は、動物とちがって、栄養分を、光合成によってじぶんの葉の細胞でつくり出している。

単細胞の植物ならば、細胞でつくり出した栄養分は、そのまま細胞で用いられるが、多細胞の植物では、葉の細胞から、からだ全体、とくに、生長のさかんな部分に運ばれなければならない。

三、電流計による測定の誤差

回路を流れる電流をはかるには、電流計を回路に直列につなぐ。また、回路の中の2点間の電圧をはかるには、電圧計をその2点間に並列につなぐ。

電流計は内部抵抗の小さい計器であるが、それでも内部抵抗がゼロではないから、電流計を回路に直列に入れたことによって、入れないときよりも、回路を流れる電流が、わずかではあるが、小さくなる。この誤差は、電流 I (電流計を入れないとき) と I' (入れたとき) との差として生じる。

注 釈

- | | |
|------------------------|--------|
| 1 キロカロリー[kilo calorie] | (名)千卡 |
| 2 つくりだす[造り出す] | (他五)造出 |
| 3 ゼロ[zero] | (名)零 |

六、次の文章を読んで、()の部分を中国語に訳しなさい。

幾何学とユークリッド原本

エジプトやバビロニアのように、古くから文化が進んでいたところでは、測量などの必要から、図形についての知識が経験的に知られていた。エジプトでは毎年ナイル川の水があふれ、そのあとで人人の土地の持ち分を調べるために「測量術」が発達したことを、ギリシアの歴史家が記録している。

これらの知識は経験から得られたもので、

「なぜそれが正しいか」

という理由は示されていなかった。しかし、いろいろな図形の性質のなかには、簡単なものと複雑なものがあり、簡単なものから複雑なものを理論的に説明できる場合のあることが、しだいに人人に気づかれてきた。

エジプト人の豊富な知識をもとに、このような方法で図形に関する学問を築いたのはギリシア人であった。

(ギリシア人は、図形に関する「定義」を明確にし、図形の基本性質やす

で明らかにされた性質を使って、結論が正しいことを「証明」という方法で、研究を進めていった。

こうして発展したギリシアの幾何学は、紀元前 3 世紀ごろ、ユークリッドによって「原本」とよばれる 13 巻の本にまとめられた。17 世紀にこの本が中国語に訳されたとき、「幾何原本」と名づけられたので、中国や日本では、図形に関する学問が「幾何学」とよばれるようになった。）

原本は、アラビアを経てヨーロッパに伝わり、世界の多くの国にギリシアの幾何学を伝えた。数学の古典としてもっとも重要なものの 1 つで、西洋では 100 年ほどそのまま幾何学の教科書として使われた。

注 釈

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1 ユークリッドげんぽん[Euclid 原本] | (名) 欧几里得原本 |
| 2 あふれる | (自一) 溢出, 充滿 |
| 3 もちぶん[持ち分] | (名) 份額 |
| 4 しだいに | (副) 逐漸地 |
| 5 …をもと(にして) | (修飾慣用型) 以……为根据 |
| 6 なづける[名づける] | (他一) 命名 |

第 26 課

本 文：天動説と地動説
実用会話(7)：理髪
文 法：一、包孕句的分析
二、阅读指导(五)

本 文

天動説と地動説

天体の運動については、地球こそ宇宙の中心で、太陽をふくめてすべての天体はそのまわりをまわっているという天動説がローマ教会の権威とむすびついて支配的であった。コペルニクスは、地球が太陽のまわりをまわっているという地動説をはじめてはつきりと主張したが、かれの説にははげしい批判が加えられた。そのなかには、地面が動いているなら塔の上からおとした物体は地面が動いただけ後方におちるはずなのに、じっさいはまっすぐおちるではないか、いや、それどころか、地球がまわっているなら地上にはものすごい風がふくはずではないか、という反対論もあった。

ガリレイは、自分で 遠鏡をつくって天体を観察し、金星のみちかけや木星の衛星を 見つけた。かれは、まのあたりにみたこれらの現象から、地動説の 強い支持者となった。「天文学対話」という本のなかには、慣性の法則をもとにして、地動説にたいする上の反対論が、けっして大地の不動を示すことにならないと力説されている。そのたい、ガリレイは、ローマ教会の怒りにふれて宗教裁判にかけられ 不遇な晩年をおくったが、「それでも地球は動く」という考えはすてなかった。

(東京書籍株式会社「新訂物理Ⅰ」)

実用会話(7)

理 髪

A: すみません。どのくらいかかりますか。

B: ちょっとかかりますよ。半時間ぐらいですか。いいですか。

A: ええ、待ちます。

.....

B: どうもお待たせしました。こちらへどうぞ。

A: 今と同じ形で少し短かくしてください。

B: はい、分かりました。ブローはしませんか。

A: ええ、ブローは結構です。

B: はい、分かりました。……これでいかがですか。

A: はい、結構です。いくらですか。

B: カットだけですから、千八百円いただきます。

A: はい、どうぞ。

B: 二千円お預りします。二百円のおつりです。

A: どうも。

B: ありがとうございます。

新出語

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1 てん どう せつ[天動説] | (名)地心説 |
| 2 ち どう せつ[地動説] | (名)日心説 |
| 3 てん たい[天体] | (名)天体 |
| 4 う ちゅう[宇宙] | (名)宇宙 |
| 5 ふくめる[含める] | (他一)包含 |
| 6 ローマ[Roma] | (名)罗马帝国(国名) |
| 7 きょう かい[教会] | (名)教会 |
| 8 けん い[權威] | (名)权威 |
| 9 むすびつく[結び付く] | (自五)结成一体, 密切相关 |
| 10 し はい てき[支配的] | (形动)占统治地位的 |
| 11 コペルニクス[Copernicus] | (名)哥白尼(人名) |
| 12 せつ[説] | (名)学说, 主张 |

13	はげしい[激しい]	(形)激烈
14	ひ はん[批判]	(名・他サ)批评
15	とう[塔]	(名)塔
16	おとす[落す]	(他五)扔下
17	こう ほう[后方]	(名)后方
18	いや	(感)不,否
19	それどころか	(接)岂止如此,相反地
20	ものすごい	(形)可怕,惊人的
21	はん たい ろん[反对論]	(名)反对论
22	ガリレイ[Galile'i]	(名)伽利略(人名)
23	ほう えん きょう[望远镜]	(名)望远镜
24	きん せい[金星]	(名)金星
25	みちかけ[満ち欠け]	(名)(星的)盈亏,圆缺
26	もく せい[木星]	(名)木星
27	えい せい[衛星]	(名)卫星
28	まのあたり[目の当り]	(名・副)亲眼,直接
29	し じ しゃ[支持者]	(名)支持者
30	てん もん がく[天文学]	(名)天文学
31	たい わ[対話]	(名)对话
32	かん せい[慣性]	(名)惯性
33	ほう そく[法則]	(名)法则,定律
34	だい ち[大地]	(名)大地,陆地
35	ふ どう[不動]	(名)不动,坚定
36	りき せつ[力説]	(名・他サ)强调,极力主张
37	いかり[怒り]	(名)发怒
38	ふれる[触れる]	(自一)触及;碰;感觉
39	しゅう きょう さい ばん [宗教裁判]	(名)宗教审判
40	かける[掛ける]	(他一)使……受
41	ふ ぐう[不遇]	(名・形动)境遇不佳
42	ばん ねん[晩年]	(名)晚年
43	それでも	(接)尽管如此
44	すてる[棄てる]	(他一)抛弃,扔掉
45	り はつ[理発]	(名・自サ)理发
46	ブロー[blow]	(名)吹风
47	けっこう[結構]	(形动)可以;优秀
48	いかが	(副・形动)如何
49	カット[cut]	(名・他サ)剪头发;切

50 あずかり[預(か)り]

(名)收存;存单;保留

51 おつり[お釣り]

(名)找的零钱,找头

慣 用 型

1. (体言・用言连体形)ではないか,[补助惯用型]

这个惯用型用以表示强烈的断定,可译作“不是……吗”“就是……”。例如:

じっさいはまっすぐ落ちるではないか、/实际上不是笔直落下来吗。

地上にはものすごい風がふくはずではないか。/在地上不是应该刮很强劲的风吗。

2. (体言・用言连体形)どころか……[修饰惯用型]

这个惯用型用以构成状语,与ばかりでなく意义相近,可译作“不但……而且……”“岂止……”。例如:

英語どころか、日本語もじょうずだ。/岂止会英语,日语也很好。

文 法

一、包孕句的分析

有的句子,其中某一成分或几个成分本身就是句子,这叫包孕句。在包孕句中,存在着两层以上的主谓关系。分析这种句子的时候,可以把作句子成分的句子叫做从句,从句有:主语从句、谓语从句、宾语从句、补语从句、状语从句、定语从句等六种。

1. 包孕有主语从句的包孕句

在分析句子,根据谓语找主语的时候,如果发现主格助词(或顶替主格助词的提示助词)的前面是一个形式体言,就要对这个主语作进一步的分析。这个主语有可能是“用言或用言性词组+形式体言+が(或提示助词等)”,也有可能是“句子+形式体言+が(或提示助词)”,如果是后者,就是一个包孕有主语从句的包孕句。

例如:

これが豊かにあることは、日本列島が、人間の暮らしにとって、まことに恵まれた土地であることを示している。

有时从句通过という与形式体言相接。例如:

天体の運動については、地球こそ宇宙の中心で、太陽をふくめてすべての天体はそのまわりをまわっているという天動説がローマ教会の権威と

むすびについて支配的であった。

主语从句与主格助词之间一定是形式体言(有时形式体言可省略)如果是实质体言,从句就是定语从句而不是主语从句了。尤其是こと、もの等,有时它们是形式体言,有时是实质体言,要注意分析。在判断是宾语从句还是定语从句、是补语从句还是定语从句、是谓语从句还是定语从句时常常也要作这种分析。例如:

天体の運動については(地球こそ宇宙の中心で、太陽をふくめてすべての天体はそのまわりをまわっているという)天動説がローマ教会の權威とむすびについて支配的であった。(括号部分的后面是体言“天動説”,所以是定语从句,不是主语从句。)

主语从句中的主语一般用が,有时用の,偶而也有用提示助词顶替的时候。

2. 包孕有谓语从句的包孕句

这种包孕句有两种情况,一种是第一册学过的主谓谓语句。

例如:

日本人の生活は、昔からすべてにわたって植物への依存度が高かった。

另一种是谓语从句的后面有“形式体言+指定助动词(如の、ことだ、ものである、はずです、わけです等)、推量助动词らしい、だろう、比况助动词ようだ和补助惯用型”等,这种句子和上述主谓谓语句不一样,从句主语与整个句子的主语之间不一定有部分与整体,主体与能愿的对象等关系,例如:

電気も水と同じように電位の差で電圧が生じるわけです。/电也同水一样,因电位差而产生电压。

如果从句后面是一个实质性体言,就是定语从句而不是谓语从句了。从句后面有“形式体言+指定助动词”时,从句的主语中的格助词可以用の。

3. 包孕有宾语从句的包孕句

宾语从句的构成形式一般是“从句+形式体言+を”,を有时可被提示助词顶替,从句中的主格助词可以用の。を前面如果是实质体言,该从句就是定语从句而不是宾语从句了。例如:

この科学者は、ハンスは立ち会っている人がだれも答えを知らない問題には答えられないことを発見したのです。

4. 包孕有补语从句的包孕句:

补语从句的构成形式一般是“从句+形式体言+补格助词”,补语从句中的主格助词可以用の。补格助词前面如果是实质体言,该从句就是定语从句而不是补语从句了。另外,如果补格助词是と和より,就不一定有形式体言。例如:

科学者は、このことから、真相は次の通りであると考えました。/科学家根据这一点,认为真相如下。

5. 包孕有定语从句的包孕句

定语是修饰限定体言的,定语从句当然也是修饰限定体言的,它所修饰限定的体言仍可以构成主语、谓语、宾语、补语等句子成分。只有在对主语、谓、宾、补四种主要的句子成分作进一步分析时,才会分析到定语从句。区分定语从句的主要标志是它修饰限定的体言,如果是实质体言就是定语从句,否则就是其他种类的从句。定语从句中的主格助词可以用の。例如:

質問者は(ウマが数をたたいている)ときには注意していて,自分でもその数をかぞえています。/提问题的人,在马数数时全神贯注,自己也在数那个数。

6. 包孕有状语从句的包孕句

状语是修饰限定用言的,状语从句当然也是修饰限定用言的。谓语是广义上的用言,所以状语从句也可修饰谓语。状语从句的标志是:从句后面往往接有接续助词、副助词、修饰惯用型、比况助动词的连用形等。例如:

このときは,[質問する人が読めないように]紙を裏がえしてハンスに見せて問題をだします。/这时把纸翻过来让汉斯看,这样来提出问题,使提问者看不到。

句子也是广义上的用言,状语可以修饰限定句子,状语从句也可以修饰限定句子。但当状语从句修饰限定的是一个句子时,就不再是包孕句,而是下课将要学习的主从句了。

有的包孕句有多层包孕,即从句中又再包孕一个从句。例如:

これがごまかしでないことは、((飼い主がいない)ときでも、委員会の人たち自身がハンスから正しい答をうけることができた)事実で明らかです。/根据养马的人不在场时委员会的人也能从汉斯那里得到正确答案这一事实,证明这不是骗人的。

日本人が「自然の色は?」と聞かれて、まっさきに緑を思い浮かべるのは、(日本の山野にいかに植物が多いかの)表れである。/日本人被问到“自然的颜色是什么?”时,首先想起绿色,这表明日本的山里和田野里,植物是多么多。

二、阅读指导(五)

句子的结构往往是有层次的,包孕句就是一种典型的有层次的结构。从最外层看,是一个句子,存在着主谓搭配关系,往里层看,又有小句子,又存在着主谓搭配。我们只有把不同层次的主谓搭配都搞清楚,才不会错误地理解一个句子。

理解句子的过程,就是满足一组一组搭配的过程,读包孕句也象读简单句一样,要注意句子成分的搭配。只不过最外层的搭配是最后得到满足,句中的搭配是先于外层得到满足的。

我们可以把理解过程即满足一组一组搭配的过程图解如下:

1. 包孕有主语从句的包孕句

主語……賓語……補語……謂語……从句標志(形式體言+助詞)=謂語。例如:

農耕が 日本人の 暮らしの中心に なった ことも、その結果 とし
主語 補語 謂語 从句標志 狀語
て当然であつた。/農耕成了日本人生活的中心,其結果也是當然的。

2. 包孕有謂語从句的包孕句

主語——主語……謂語……(補助用言或慣用型)。例如:

象は、鼻が長い。/象鼻子長。

主——主——謂

3. 包孕有賓語从句或補語从句的包孕句

主語——主語……謂語……从句標志(形式體言+を或補格助詞等)
——謂語。例如:

コペルニクスは地動説のほうが 正しいと信 じました。/哥白尼相
主語 主語 謂語 从句標志 謂語
信天心說是正確的。

4. 包孕有定語从句的包孕句

主語——主語……謂語——體言+助詞(或助動詞)——謂語。例如:

コペルニクスは、地球が太陽のまわりをまわって いると いう地
主語 主語 補語 謂語 从句標志
動説を主張した。/哥白尼主張天心說,即地球是繞太陽旋轉的。

賓語——謂語

5. 包孕有狀語从句的包孕句

主語——主語……謂語……狀語標志……——謂語。例如:

川は常に、人間が生きていく ために 欠かす ことので きない
主語=狀語 主語 謂語 狀語標志 用言 (定語)
水資源を提供してきたのである。/河川提供了人類要生存下去所不可缺少

賓語——謂語

的水資源。

練 習

一、次の文中の、文の成分になっている「文」の下に線を引きなさい。

1. 天体の運動については、地球こそ宇宙の中心で、太陽をふくめてすべての天体はそのまわりをまわっているという天動説がローマ教会の權威とむすびついて支配的であつた。
2. コペルニクスは、地球が太陽のまわりをまわっているという地動説をはじめてはっきりと主張した。
3. 「天文学対話」という本のなかには、慣性の法則をもとにして、地動説に対する上の反対論が、けつして大地の不動を示すことにならないと力説されている。

4. そのため、ガリレイは、ローマ教会の怒りにふれて宗教裁判にかけられ、不遇な晩年をおくったが、「それでも地球は動く」という考えをすてなかった。
 5. この人は「ハンス」という名のウマを訓練して、算術の問題に答えることができるようにしました。
 6. これがごまかしでないことは、飼い主がいなくても、委員会の人たち自身がハンスから正しい答をうけることができた事実で明らかです。
 7. この科学者は、ハンスは立ち会っている人がだれでも答えを知らない問題には答えられないことを発見したのです。
 8. このときは、質問する人が読めないように紙を裏がえしてハンスに見せて問題をだします。
 9. だれも問題を見ていないときには、ハンスは答えられなかったのです。
 10. 質問者はウマが数をたたいているときには注意していて、自分でもその数をかぞえています。
- 二、次の文章を読んで、文章の中の有属文の下に線を引き、あとの問に答えなさい。

地球は宇宙の中心ではない

ポーランドのフラウエンブルグの町は、バルト海にのそんだところにあります。丘の上の寺院には、小さな見はりの塔がついていました。

いまから500年ほど前のこと、夜になると、その塔から、いつも星空を見まわしているひとりの男がいました。ニコラス・コペルニクスは、ポーランドのクラコウ大学で数学や天文学を学び、さらにイタリアへいって、神学と医学を勉強しました。1505年に、ポーランドに帰ってきて、フラウエンブルグ教会の役員になりました。そして、いそがしい仕事のあいまに、好きな天体の観測をつづけていたのです。

天体の観測といっても、望遠鏡はまだ発明されていません。自分の目と、木でつくった星の高さをはかる器械があるだけでした。

コペルニクスは星の観測をつづけるうちに、そのころ考えられていた天文学の理論が、まちがっているのではないだろうか、と思うようになりました。

そのころの人びとは、

——地球は宇宙の中心にじっと、動かないでいるもので、太陽や月や星は、この地球のまわりを回転しているのだ。

と信じていました。これは天動説といって、アレキサンドリアの天文学者プトレマイオスの考えがもとになっています。

プトレマイオスは、2世紀ころ、「アルマゲスト」という本で天動説の理論を発表しました。地球のまわりを月、水星、金星、太陽、火星、木星、土星のじゅんでまわっているとしたのです。

でも、これだけでは、実際の惑星の動きにあいません。そこで、惑星の一つ一つに地球を中心とする大きな円をかき、その円の上にまた小さな円をかいて惑星がこの小さな円の上をまわり、そして、小さな円の中心が大きな円の上を動いていって地球のまわりをまわるのだ、と考えました。

プトレマイオスの天動説は、しくみが複雑で、いまからみればまちがいです。しかし、そのころとしてはたいへんよくできた理論だったので、それ以後なんと1400年もの長い間、人びとに信じられてきたのです。

コペルニクスは「宇宙って、こんなに複雑なのだろうか」と考えました。

「宇宙はもっとととのったものではなからうか。プトレマイオスの《天動説》には、まちがいがあるのではなからうか。」

そして、古いギリシアの本を読んでみると、プトレマイオスのまえに、ギリシアのアリスタルコスなどが「太陽が地球のまわりをめぐっているのではなく、地球が太陽のまわりをめぐっている」という説をとなえていることを知りました。天動説に対して、これを地動説といいます。けれども、アリスタルコスの地動説は、その時代の人に受けいれられませんでした。

コペルニクスは「地動説のほうが正しい」と信じました。地球やその他の惑星が、太陽のまわりを回っていると考えたほうが、理論がずっとかんたんになるし、観測した実際の星の動きにもよく合います。

コペルニクスは、太陽を動かない中心において、そのまわりを、水星、金星、地球、火星、木星、土星が円をえがいてまわっていると考えました。また月は、地球のまわりを回転する衛星であるとししました。

でも、これは危険な考え方でした。うっかりそんなことをいったら、天動説を信じている当時の人にバカにされて、相手にされなくなってしまいます。それに、キリスト教の教えにもそむきます。聖書には、人間のすみかである大地は宇宙の中心にある、と書いてあるのです。

コペルニクスは、自分の考えに自信をもっていましたが、それを発表するのは慎重でした。自分の考えをかんたんな論文にしましたが、それは親しい友だちにしか見せませんでした。

やがて、コペルニクスの考えに賛成する人たちがこの説を発表するように、熱心にすすめました。そこで、コペルニクスも、やっと自分の論文を出版することを承知しました。

こうして「天体の回転について」という題のコペルニクスの本が世に出ることになりました。けれども、この本が出版されたとき、70歳のコペルニクスは重い病気にかかり、死の床に横たわっていました。

1543年5月24日、印刷所からとどいたばかりの本を手にして、コペル

ニクスはさびしく息をひきとりました。

地球が宇宙の中心でないということは、大変なことです。それまでの地球中心の考え方から、太陽中心の考え方へと変わったのです。コペルニクスの地動説は、天文学だけでなく、哲学、文学、その他の分野に、大きなえいきょうを与えました。このため、なにか大きな変革のことを「コペルニクスの転回」といわれているほどです。

けれども、コペルニクスの地動説が、すぐさま当時の人びとに受け入れられたわけではありません。地動説が一般に信じられるようになるまでには、それからまた長い年月がたちました。

コペルニクスにつづく多くの天文学者たちが、そのために苦しい努力をつづけたのです。

——小学館の学習百科図鑑 10《宇宙(星と観測)》 古畑正秋 監修

注 釈

- 1 ポーランド(国名)波兰
- 2 フラウエンブルグの町(地名)弗洛恩堡
- 3 バルト海(名)波罗的海
- 4 のぞむ[臨む](自五)临, 面临
- 5 丘[おか](名)丘陵, 山冈
- 6 見はりの塔(词组)观察楼, 瞭望塔
見はり[み張り](名)警戒, 观察
- 7 “いまから500年ほど前のこと”是表示时间的一个状语, 由独立的句子“……ことです简化而来。
- 8 見まわす[み回す](他五)环视, 各处看
- 9 クラコウ大学(名)克拉科大学
- 10 イタリア(国名)意大利
- 11 役員[やくいん](名)工作人员
- 12 あいま[合間](名)余暇, 空闲时间
- 13 “…うちに”是个构成状语的修饰惯用型, 接于“体言+の”或用言连体形后, 表示“在……之中”, “在……过程中”, 有时意为“趁着……”。
- 14 じっと(副)一动不动, 稳稳当当
- 15 “動かないでいる”是“動く”的否定式持续态, 意为“一直……着”。
- 16 アレキサンドリア(古地名)亚历山大
- 17 プトレマイオス(人名)托勒玫(古希腊天文学家、数学家、地理学家)。
- 18 アルマゲスト(書名)《大综合论》
- 19 惯用型“……とする”接于用言终止形后时除可表示“假设……”“设定……”外, 还可表示“主张……”“认为……”。这里就是后一意义。

- 20 なんと(副)多么,如何
- 21 “って”在这里是“というのは”的缩合,这种说法只用于口语中。
- 22 ととのう[整う](自五)齐整,完备
- 23 アリスタルコス(人名)阿里斯塔恰斯(古希腊天文学家)
- 24 めぐる[巡る](自五)旋转,围绕……转
- 25 となえる[唱える](他一)提倡
- 26 这里的“…において”不是“在…方面”之意,用的是“置く”的本义,“……を”为其宾语,“……に”为其补语。
- 27 うっかり(副・自サ)不注意,不留神
- 28 バカ(名)愚蠢,笨蛋。“ばかにする”是“愚弄”“看不起”“欺负”之意。这里用的是被动态。
- 29 キリスト教[葡 Christo きょう](名)基督教
- 30 そむく[背く](自五)违背,违反
- 31 すみか[住み処](名)住处,居住地
- 32 親しい[したしい](形)亲近,亲密
- 33 すすめる[勧める](他下一)劝告,劝诱
- 34 やっと(副)好不容易,勉强勉强
- 35 承知[しょうち](名・他サ)应允,同意;知道
- 36 “天体の回転について”是书名,汉译本为“天体运行”。
- 37 世に出る[よにでる](词组)出世,走上社会。这里意为“问世”。
- 38 かかる[罹る](自五)患(病)
- 39 横たわる[よこたわる](自五)躺倒,横卧
- 40 惯用型“……たばかり”意为“刚刚”,其后接“だ”即为补助惯用型,可作谓语的补助成分,其后接“の”即可修饰体言构成定语。
- 41 さびしい[寂しい](形)寂寞的,凄凉的
- 42 息をひきとる[いきを引き取る](词组)死掉,断气
- 43 “……から……へと”是把补格助词“と”接在“……から……へ”后构成的,可以看作一个惯用型,表示事物的发展趋势,可译为“由……到……”。
- 45 すぐさま(副)马上,立刻
- 46 “地動説が一般に信じられるようになるまでには”“到日心说被普遍相信的阶段”。“まで”在这里是副助词,“までに”表示这一状态形成的开始期限。

問: 次の文を読んで、文章の意味に合えば、()に「○」を、合わなければ、「×」を付けなさい。

1. () ニコラス・コペルニクスはポーランド人です。
2. () コペルニクスは望遠鏡や、星の高さをはかる器械で、天体を観測していました。
3. () そのころの人人は地球が宇宙の中心だと信じていました。
4. () 天動説のもとにはアリスタルコスの考えです。

5. ()2世紀ころプトレマイオスは天体の回転についてという本で天動説の理論を発表しました。
6. ()アリストアルコスがギリシア人で、天動説をとらえていました。
7. ()始めに地動説をとらえたのはコペルニクスです。
8. ()コペルニクスは自分の考えを論文にして、そのころの人に信じられるように、多くの人人に見せました。
9. ()コペルニクスが死んだ後、「天体の回転について」という本は出版されました。
10. ()コペルニクスの地動説はすぐ当時の人々に受けいれられました。

第 27 課

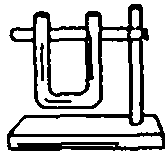
本 文：水平面
実用会話(8)：病気
文 法：一、主从句的分析
二、并列句的分析
三、阅读指导(六)

本 文

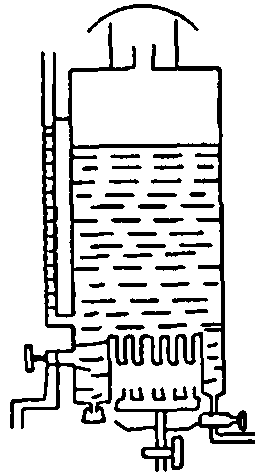
水平面

水面の状態

容器に水を入れて静かにしておくと、水面はまったく平らに



1 図 U 字管



2 図 液面計

なる。この容器を動かしたりかたむけたりすると、水はゆれたりこぼれたりするが、しまいには平らな水面をつくって静止する。

1 図のように、太いガラス管でつくったU字管に水を入れて

つくえの上に置き、左右の水面の高さを比べてみると、両方の水面は同じ高さであることがわかる。

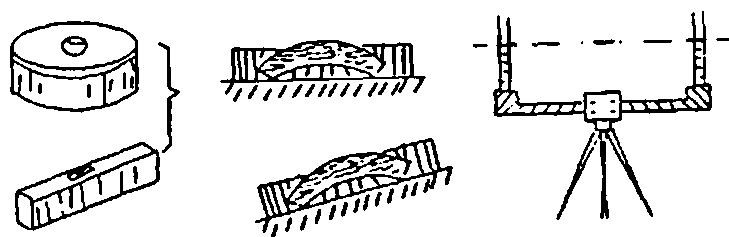
いっぽんに、水は連らくさえていれば、容器の形にかかわらず、水面がつねに同じ高さになってとまる性質がある。このことを利用すると、2図のように中を見ることのできないタンクやボイラーの水面の高さを、横につけたガラス管(液面計)の水面の高さで知ることができる。

問題 やかんの口の高さは、どのぐらいにつくるのが適当であろうか。

水平面と鉛直線

[実験] 糸の先におもりをつけ、水そうの水にひたす。分度器を使って、糸が水面とどんな角度にあるか調べてみる。

おもりをつけに糸の示す方向を鉛直線といい、上の実験でわかるように、広い水面は、いつも鉛直線と直角になっている。このように、鉛直線と直角になっている水面を水平面という。



3図 水準器のいろいろ

3図(a)のように、中央がややもりあがった容器に液体を満たし、これにあわを入れた器具を使うと、あわの動きから、台や地面が水平であるかどうかを調べることができる。また、U字管の2つの水面を見通して、同じ高さであるかどうかを知ることができる(b)。このように、水平面の性質を利用して、高さのちがいや面のかたむきを知る器具を水準器とよんでいる。

問題 かたむいた地面に家を建てる場合に、糸とおもり、水準器をどのように利用すればよいか。

実用会話(8)

病 気

A: かけてください。どうしましたか。

B: ちょっと胃が痛いんです。

A: いつからですか。

B: 一週間ぐらい前からです。

A: 食欲はどうですか。

B: 少しもありません。それから、吐き気がしますが、どうしても吐けません。

A: じゃ、診てみましょう。そこで横になってください。…おなかを壊されただけで、たいしたことはありませんが、今日は肉やたまごを食べないでください。ご飯もおかゆにしたほうがいいです。薬を上げますから、食後に飲んでください。

B: はい、ありがとうございます。食後ですね。

A: ええ、そうです。では、お大事に。

B: 先生、どうもありがとうございました。

新 出 語

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1 すい へい めん[水平面] | (名)水平面 |
| 2 よう き[容器] | (名)容器 |
| 3 まったく[全く] | (副)完全 |
| 4 たいら[平ら] | (名・形動)平静, 平坦 |
| 5 かたむける[傾ける] | (他一)使……倾斜 |
| 6 ゆれる[揺れる] | (自一)揺動, 颠簸 |
| 7 こぼれる[零れる] | (自一)洒, 洒落 |
| 8 しまい[終い・仕舞(い)] | (名)最后; 末了; 结束 |
| 9 せい し[静止] | (名・自サ)静止 |
| 10 いち ず[1 図] | (名)1 図 |
| 11 ガラスかん[glaaa 管] | (名)玻璃管 |
| 12 つくえ[机] | (名)书桌 |
| 13 さ ゆう[左右] | (名・他サ)左右 |

14	りょう ほう[両方]	(名)两方
15	いっば ん[一般]	(名・副)一般
16	タンク[tank]	(名)箱,槽
17	ボイラー[boiler]	(名)锅炉,汽锅
18	つける[着ける]	(他一)安装,入席,就
19	えき めん けい[液面計]	(名)液位计
20	や かん[薬(缶)]	(名)水壶
21	えん ちょく せん[鉛直線]	(名)垂直线
22	おもり[重り]	(名)秤砣,重锤
23	すい そう[水(槽)]	(名)水箱
24	ひたす[浸す]	(他五)浸,泡
25	ぶん ど き[分度器]	(名)量角器
26	かく ど[角度]	(名)角度
27	ちゅう おう[中央]	(名)中央
28	ちょっ かく[直角]	(名)直角
29	やや	(副)稍微
30	もりあがる[盛上がる]	(自五)隆起,涌上来
31	みたす[満す]	(他五)弄满,充满
32	き ぐ[器具]	(名)器具,仪器
33	だい[台]	(名)台架
34	みとおす[見通す]	(他五)看透,看穿
35	かたむき[傾き]	(名)倾斜
36	すい じゅん き[水準器]	(名)水平仪
37	い[胃]	(名)胃
38	いたい[痛い]	(形)疼的,难受的
39	はきけ[吐(き)気]	(名)恶心,要吐
40	はく[吐く]	(他五)吐,吐露
41	おなか[お中・御腹]	(名)腹,肚子,胃肠
42	こわす[壊す]	(他五)弄坏,损害
43	たいした[大した]	(下接否定)没什么了不起,不值一提
44	おかゆ	(名)粥
45	しょく ご[食後]	(名)饭后

本文の注釈

1. いっぱんに、水は連らくさえていれば、容器の形にかかわらず、水面がつねに同じ高さになってとまる性質がある。/一般來說,水有一種性質,只要使之连通,就不管容器的形狀如何,水面总是以同一高度静止下来。

“にかかわらず”接体言后,构成状语,表示“不管……”的意思。

2. かたむいた地面に家を建てる場合に、糸とおもり、水準器をどのように利用すればよいか。/在倾斜的地面上盖房子的时候,应怎样利用绳和锤以及水平仪呢?

惯用型“…ばよい”由[接续助词ば+よい]构成,接在动词假定形后表示适宜,可译为“应……”“……做就行了”。

文 法

一、主从句的分析

主从句(合文)有两层或两层以上主谓关系,其中有一层主谓关系是主句,其他的是从句。主从句中的从句实际上都是状语从句,主从句与包孕有状语从句的包孕句不同的是:主从句中的从句是修饰限定整个主句的,一般放在主句前面,通过接续助词、修饰惯用型等同主句关联;而包孕句中的状语从句是修饰限定某一用言或句子成分(如谓语)的。

主从句中的从句表示的意义主要有如下几种:

1. 表示条件,包括假定条件(一般用接续助词ば、と助动词た的假定形たら、だ的假定形なら、惯用型とすれば、としたら、とすると、として等关联)和既定条件(一般用接续助词と、て、形式体言かぎり、いじょう等关联),不定词与も、ても呼应就变成无条件句。例如:

[かれの一生を x 年とすれば]次の方程式によって $x=84$ が求められる。/设他的一生为 x 年,用下列方程式可求出 $x=84$ 。

[これを、いまの書き方で式に書くと]次のような1次方程式になる。/将它用现在的写法写成式子,就得下列一次方程式。

[力がどこで働いても],その効果は変わらない。/力在任何地方起作用,效果都一样。

2. 表示尽管有某种前提,仍然出现相反的结果,包括转折与让步。一般用接续助词けれど(も)、が、のに、ながら、ても、惯用型とはいえ等关联。例如:

[ギリシアでは答が負になる問題はさけていたが],12世紀のインドのバースカラは、負の数になるものをふくめて、いろいろな方程式を解いた。/在希腊,回避了答数为负数的问题,但是十二世纪印度的巴斯卡拉解了包括答数为负数在内的各种方程式。

[電圧を加えられても],電流は流れません。/即使加上电压,也无电流通过。

3. 表示原因,常用接续助词から、ので、て、惯用型ため(に)、によっ

て、だけに、だけあって等关联。例如：

〔きょうは日曜日なので〕、末の弟もたのしそうだ。/今天是星期天，最小的弟弟也很高兴。

〔食塩の水溶液とか食塩の融解したものの中には、イオンが存在して自由に動きうるために〕、これらの液体は電気をよく導く。/由于食盐的水溶液或融解的食盐中存在离子，能自由活动，这些液体能导电。

4. 表示目的、目标、常用惯用型ために、には等关联。例如：

〔電解中一定の条件を保つために、また電解しているあいだどんな具合に電解が進むものかを知るために、〕電流とか電圧の大きさを知ることがはたいせつである。/为了在电解过程中保持一定的条件，为了了解在电解过程中电解进行的程度，了解电流或电压的大小是很重要的。

5. 表示比喻、同等、举例、方式等，常用比况助动词ようだ的连用形ように关联。例如：

〔上の実験でわかるように〕、広い水面はいつも鉛直線と直角になっている。/从上述实验可以看出，宽阔的水面总是与垂线成直角。

6. 表示程度，常用副助词ほど、くらい、ばかり、だけ等关联。例如：

〔支点から力の作用線が遠いだけ〕モーメントは大きいのである。/力的作用线距支点越远，力距就越大。

二、并列句的分析

并列句(重文)也有两层以上的主谓关系，它的两层(或两层以上)主谓关系是并列的，互不依赖的，这是它与包孕句、主从句不同之处。前面的分句谓语用中顿形式或通过接续词し、て、が、惯用型とともに、と同時に、に対して等与后面的分句关联。例如：

大きな店がいくつもあって、日用品もいろいろ買えます。/有好几家大商店，可以买到各种日用品。

図書館では、いろいろ資料が調べられるし、本も自由に借りられます。/图书馆里可以查阅各种资料，也可以自由借书。

注意并列句与并列谓语不同，前者有两层主谓关系；而后者虽有两个谓语，但两个谓语是同属于一个主语的。例如：

ガリレイは、自分で望遠鏡をつくって天体を観察し、金星のみちかけや木星の衛星を発見した。 /伽利略自己制造望远镜观察天体，发现了金星的盈亏和木星的卫星。

以上学习了三种复合句。在实际语言中，三种复合句常常是交叉存在的，有时包孕句中包孕的从句是一个并列句或主从句，有时主从句中也含有并列句(并列从句或并列主句)或者包孕句，有时并列句中有一个分句是包孕句或主从句。因此必须注意弄清层次关系。分析复合句，尤其是分析多层次的复合句，一般是先根据关联词等分清楚层次关系，然后再作进一步分析。

多层次复合句如：

さらに、青を思浮かべるのは、晴れた日の空の色が美しく、また、地上にきれいな水が豊富にあることを表している。/再想起蓝色，就表明晴天的天空颜色很美，地上有大量明彻的水。（包孕有主语从句、宾语从句的包孕句，宾语从句本身是并列句。）

もし質問者が知っているときには、ハンスは紙に書かれた問題を見て、前足で答えたのですが、だれも問題を見ていないときには、ハンスは答えられなかったのです。/如果提问的人知道答案时，汉斯就看着写在纸上的问题，用前蹄回答；如果谁也没有看到问题时，汉斯就答不出来。（主从句，从句和主句中包孕有定语从句）。

三、阅读指导(六)

随着学习的深入，对日语的表达方式越来越熟悉，阅读的速度就会越来越快。就阅读主从句来说，读完从句，一般就能推测出主句的表达方式和内容。阅读并列句，也能在读完前一分句就能推测出第二个分句的表达方式和内容。

阅读主从句的关键是要注意接续助词和表示接续关系的修饰惯用型。例如，读完…から，就能推测出后面的句子是表达说话人主张，要求等的，读完…ば，就知道后面的主句是表示结论或结果的。以本课课文第一句为例，当我们读完

容器に水を入れて静かにしておく

的时候，我们根据从句使用了接续助词と这一信息，推测得出后面的一个表示结果的句子，又根据前面提到的内容是谈“水”的情况这一信息，就能推测出后面将围绕水如何如何。在这样一种思想准备的基础上，读到

水面はまったく平らになる

这个主句，立刻就能理解了。

并列句的两个分句一般可以表示并列、对比、递进、转换等关系，常用的句型是：

并列，…（用言连用形）…

…て…

…し…

…と同時に…

…とともに…

…に対して…

对比，…は…，…は…

…は…て…は…

…は…が…は…

递进，…て…

…(用言连用形)…

转换:…が…

我们进行阅读练习的时候,仍然要先从精读入手,读完主从句的从句或并列句的第一个分句的时候,停下来想一想后面可能出现什么句子,等到有了一定功力的时候,阅读的速度就快了。

練習

一、次の文について、合文なら()に(1)を、重文なら(2)を書きなさい。

()私たちは健康なとき、常に36度から37度ぐらいの体温を保っていますが、その体温は、わたしたちの食べた物が消化作用によって熱を起こして生じるのです。

()人間は食べた物から直接エネルギーや栄養分を得ているわけですが、植物の場合はどうですか。

()植物の葉の細胞には、葉緑素があり、これが太陽の光を利用して炭酸ガスと水からでんぷんをつくっているのです。

()そのころは、植物の体のつくりやはたらきについて、まだ、あまり多くのことがわかっていなかったので、この考えは、二千年もの長い間、多くの人に信じられていた。

()分解して掃除をすればすぐ直るでしょう。

()もしも、アリストテレスの考えが正しいとすれば、植物の重さがふえただけの重さは減ったはずである。

()体もだるくて、何も出来ません。

()最近は天気が変わりやすいから、注意して下さい。

二、次の文章を読んで、文中の合文を()で、重文を「 」で囲みなさい。

導体・半導体・絶縁体

物質の中で電気をよく通すのは導体と呼ばれて、通さないものは絶縁体と呼ばれています。導体としてはたくさんの種類の金属があり、絶縁体にはガラス、磁器、ゴム、樹脂、ペークライト、ダイヤモンドなどあります。みなさんが知っているように、電気はマイナスの電気をもった電子によって運ばれます。物質は多数の原子が化学的に結合したのですが、電子が電気を運んでいるとはいえ、これらの原子がもっている全部の電子が電気を運ぶわけではありません。物質が電気をよく通すか通さないかは、その物質内に自由に動ける電子がたくさん存在するかどうかによってきまります。

この問題を説明するために、金属の代表としてナトリウムについて考え

てみましょう。ナトリウム原子は原子核のまわりに11個の電子をもっていますが、この原子が集まってナトリウムという金属のかたまりをつくれれば、一番外側の1個の電子だけが結合にあずかり、かたまりの中を自由に動き回っています。これより内側にいる電子は、原子核としっかり結びついていて自由に動きません。このような結合の仕方を金属結合といいます。ナトリウムでは原子1個につき自由な電子が一個いることになります。1cm³のナトリウムのかたまりの中には、自由な電子が約10²³個います。ほかの金属でもナトリウムの場合と同じように説明することができます。一方、絶縁体は金属と違った化学結合をしているから、電子は原子から離れて自由に動きまわることは困難です。したがって、絶縁体では自由な電子がない(自由な電子があってもごくわずかです)ので、それは電圧を加えられても電流は流れません。

半導体とは電流の流れやすさが導体と絶縁体の中間にあるもののことですが、半導体と金属、半導体と絶縁体の間にはっきりした境界はありません。

さて固体には結晶とそうでないものがあります。結晶とはそれをつくっている原子の並び方が規則正しいもので、結晶にはたくさんの物質があります。結晶でないものの代表的なものにガラスがあり、原子の配列が規則的ではありません。また、結晶には単結晶と多結晶とがあり、単結晶とはそのかたまり全体で原子配列が規則的なもので、多結晶とは小さな単結晶がたくさん集まって、一つのかたまりになっているもののことです。質のよい単結晶をつくることは半導体工業において非常に大切なことになっています。

注 釈

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1 ゴム[荷 gom] | (名) 橡胶 |
| 2 ベークライト[bakelite] | (名) 电木 |
| 3 ダイヤモンド[diamond] | (名) 金剛石 |
| 4 …とはいえ | (修饰慣用型) 虽说是…… |
| 5 ナトリウム[natrium] | (名) 钠 |
| 6 かたまり | (名) 团块 |
| 7 あずかる | (自五) 参与 |
| 8 しっかり | (副) 牢固地 |
| 9 しかた[仕方] | (名) 方法 |
| 10 …につき | (修饰慣用型) 每…… |

三、次の文章を読んで、それから文章を見ないで問に答えなさい。

電 力 系 統

電力系統は次の通りである。

電力が発電所で発生し、送電線、変電所を通過して配電用変電所へ送られ、さらに、配電用変電所から配電線によって需用家へ送られる。

実際の電力系統はもっと複雑で、数百の発電所と何千という変電所および需用家が広い地域に分散しており、送電線や配電線で互に接続されている。

電力は発電所で発生するといっても、各発電所はそれぞれかつてに発電しているのではなく、給電所は、その日はどのくらいの電力が使われるかを予想し、これに基づいて、どこかの発電所でいくら発電すれば経済的であるかを計算して各発電所へ指令を出し、各発電所はこの指令に基づいて発電する。発生した電気は送電線を通して変電所へ送られると、変電所は多くの配電用変電所へ分配する。配電用変電所は電流を各需用家へ送り届けるために、低い電圧にかえ、電流を多くする。

需用家に送られた電力は、電灯やラジオなどの家庭電器から、工場の大きな機械の動力源まで、いろいろな目的に使われる。

電灯などは抵抗分だけなので、有効電力を消費するだけである。モーターなどはインダクタンス分があるから、有効電力のほかに無効電力をも消費する。したがって、供給する電力も有効電力と無効電力の二種類が必要である。

電力はつねに(発電力)=(消費電力)でなければならないけれども、消費電力は絶えず変動している。発電力と消費電力のバランスがとれていたら、そのときの発電機の入力も、その発電力にみあった量になっている。しかし、消費電力が増えると、それには新たな入力が必要となる。入力もとのままなら、発電機は無理しても電力を供給しようとするため、回転数がさがる。これが回転数変動の原因である。

周波数の変動は有効電力の供給と消費のアンバランスによるのに対して、電圧の変動は無効電力の供給と消費のアンバランスによるものである。

注 釈

- | | | | |
|---|-----------|----------------|-------------|
| 1 | かつてに | | (副)随意地 |
| 2 | …にもとづいて | […に基づいて] | (修飾慣用型)根据…… |
| 3 | インダクタンス | [inductance] | (名)电感 |
| | インダクタンスぶん | [inductance 分] | (名)电感部分 |

4	バランス	[balance]	(名)平衡
5	みあう		(自五)相适应
6	ふやす		(他五)増加
7	まま		(名)照……不动
	もとのまま		(词组)照原样不动
8	アンバランス	[unbalance]	(名)不平衡
9	…にたいして	[…に対して]	(修饰惯用型)与……相对,与……相反

問 次の文を完成しなさい。

1. 電力が発電所で発生し,送電線,変電所を通して配電用変電所へ_____,さらに,配電用変電所から配電線によって需用家_____.
2. 電力は発電所で発生するといっても,各発電所はそれぞれかってに_____.
4. 電力はつねに(発電力)=(消費電力)でなければならないけれども,消費電力は_____.
5. 周波数の変動は有効電力の供給と消費のアンバランスによるのに対して,電圧の変動は無効電力の_____.

四、次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

良質な電気

一般家庭や工場などに送られる電気は、電圧の大きさや周波数がきめられているとは皆さんもよく知っていると思います。

そこでわたくしたちが電気の質を考えると、その基準として何をとりましょうか。電圧が低すぎて電灯が暗くてはいやでしょう。また電気時計がいつも合わないということになってはいやですね。停電はなおさらいやです。こう考えますと、電気の質をきめるものは、停電の有無や電圧、周波数ということになります。

停電はないほうがよいのは、もちろんのことですが、もし停電がなくても、電圧や、周波数が決められた値よりも高すぎたり、低すぎたりしたら、わたくしたちにどのような影響があるか考えてみましょう。たとえば、電圧が低すぎたら電灯が暗くなります。逆に、高すぎると今度は電球が切れやすくなったり、電気機器の寿命が縮まります。

つぎに周波数の変動ですが、これはすこしくらい低い場合はわたくしたちの感覚には直接感じませんが、電気時計をくるわせたり、モーターなどの回転数に変化して工業製品に悪影響を与えます。高すぎても同じです。

このように、電圧や周波数の変動の大きい電気はわたくしたちにいろいろ悪影響を与えるので、良質な電気とはいえません。

問 良質な電気とは(1)____(2)____(3)____ということになります。

中級阶段自测题(一)

問題 I 次の文の____の漢字(漢字と仮名)は、どう読みますか。
1・2・3・4からいちばんいいものを一つ選びなさい。
(5点)

① 走って行けば、授業¹の時間²に十分²間に合うでしょう。

- | | | | | |
|--------|---|--------|---|-------|
| (1) 授業 | 1 | じゅうぎよ | 2 | じゅぎょう |
| | 3 | じゅうぎょう | 4 | しゅぎょう |
| (2) 十分 | 1 | じっぶん | 2 | じゅっぶん |
| | 3 | じゅうぶん | 4 | じゅうぶん |

② 両親¹に便り²をしました。

- | | | | | |
|--------|---|-------|---|-------|
| (1) 両親 | 1 | りょしん | 2 | にょうしん |
| | 3 | りょうしん | 4 | りょうじん |
| (2) 便り | 1 | たより | 2 | べんり |
| | 3 | おくり | 4 | つくり |

③ 京都見物¹はだれに案内²してもらいましたか。

- | | | | | |
|--------|---|------|---|------|
| (1) 見物 | 1 | みもの | 2 | けんもの |
| | 3 | けんぶつ | 4 | けんぶん |
| (2) 案内 | 1 | あんねい | 2 | あない |
| | 3 | あんない | 4 | あんうち |

④ 私は先生に写真¹を送って²さしあげました。

- | | | | | |
|---------|---|-------|---|-------|
| (1) 写真 | 1 | ししん | 2 | しゃしん |
| | 3 | しゃっしん | 4 | しゃあしん |
| (2) 送って | 1 | もらって | 2 | とって |
| | 3 | つくって | 4 | おくって |

⑤ 植物は日光¹にじゅうぶん当たることができなければ、よく
育た²ない。

- | | | | | |
|--------|---|------|---|------|
| (1) 日光 | 1 | ひかり | 2 | ひさし |
| | 3 | にちこう | 4 | にっこう |
| (2) 育た | 1 | そだた | 2 | たた |

3 いくた

4 うまれそだた

問題Ⅰ 次の文の____の言葉は、漢字(漢字と仮名)でどう書きますか。1・2・3・4からいちばんいいものを一つ選びなさい。(5点)

① たいふう¹がくるから、いそい²でうちへかえりましょう。

(1) たいふう 1 大風 2 台風 3 台风 4 雨風

(2) いそいで 1 急いで 2 忙いで 3 足いで 4 速いで

② あの¹かぞく²はみんなしんせつ²で、よくせわをしてくれます。

(1) かぞく 1 家庭 2 家屬 3 家俗 4 家族

(2) しんせつ 1 親切 2 新接 3 親接 4 新切

③ やまださんとは、けさ¹こうじょう²のいりぐちでわかれ²しました。

(1) けさ 1 今早 2 今朝 3 昨朝 4 昨早

(2) わかれ 1 忘れ 2 離れ 3 別れ 4 分かれ

④ きくところによると、わるい¹かぜ²がはやっているそうです。

(1) わるい 1 良い 2 強い 3 重い 4 悪い

(2) かぜ 1 数 2 風邪 3 病氣 4 水

⑤ のってみると、バスのうしろ¹のほうはあんがい²すいている。

(1) うしろ 1 後ろ 2 後 3 前 4 中

(2) あんがい 1 案内 2 安全 3 安外 4 案外

問題Ⅱ 次の文の____にどの言葉を入れますか。1・2・3・4からいちばんいいものを一つ選びなさい。(20点)

① ここで車と言っているのは、自動車の____¹で、自転車とか、電車とかは____²。

(1) 1 もの 2 の 3 わけ 4 こと

(2) 1 入っていない 2 入っている 3 含んでいる
4 含まれている

② わたしの国____¹そんなことは____²起こらない。

(1) 1 では 2 には 3 とは 4 からは

(2) 1 よく 2 とても 3 ぜったいに 4 また

③ 多くの意見がでました₁____,みんな₂____役に立ちませんでした。

(1) 1 から 2 ので 3 が 4 しかし

(2) 1 あまり 2 たいへん 3 とても 4 非常に

④ 家のうしろの山に,いろいろな木₁____たくさん植えて₂____。

(1) 1 を 2 で 3 に 4 が

(2) 1 います 2 あります 3 きます 4 いきます

⑤ よく見える₁____前のほう₂____座りましょう。

(1) 1 ように 2 ようで 3 ような 4 ようだ

(2) 1 で 2 に 3 が 4 を

⑥ 急に暗く₁____今にも雨が₂____そうです。

(1) 1 なれば 2 なる 3 なって 4 なりて

(2) 1 降り 2 降る 3 降ら 4 降って

⑦ デパートだ₁____何でも売っている₂____限りません。

(1) 1 ので 2 から 3 のに 4 でも

(2) 1 には 2 のは 3 とは 4 では

⑧ 日本人の生活₁____,古いものと新しいものとが共存している₂____とよく₂____。

(1) 1 には 2 では 3 のは 4 とは

(2) 1 言います 2 言わせます 3 言えます 4 言われます

⑨ これは難しすぎて,₁____あなたに読める本₂____。

(1) 1 少しも 2 ちょっとも 3 とても 4 めったに

(2) 1 です 2 ではありません 3 でしょう 4 だろう

(10)あの方は体が₁____ので,学校を休みがち₂____。

(1) 1 よわい 2 いい 3 つよい 4 おもい

(2) 1 そうだ 2 ようだ 3 ではない 4 だ

問題Ⅳ 次の文の____のところに何を入れますか。1・2・3・4からいちばんいいものを一つ選びなさい。(10点)

(1) ともだちがびょうきでにゅういんしたので,きのう____に

いきました。

1 おいおい 2 おみまい 3 おれい 4 おねがい。

(2) やまださんはことし____です。

1 ついたち 2 ようか 3 はつか 4 はたち

(3) コーヒーにさとうをいれると、____なります。

1 おいしく 2 あたらしく 3 やさしく 4 おもしろく

(4) あなたはいまどこの____にとまっていますか。

1 レストラン 2 デパート 3 ホテル 4 ビル

(5) わたしはにほんへ行って、にほんごのべんきょうが____です。

1 する 2 したい 3 します 4 すき

(6) かのじょはおおきなこえでだれかを____います。

1 みて 2 よんで 3 きいて 4 なって

(7) きょうしつのかべににほんのちずが____あります。

1 はって 2 いれて 3 おいて 4 つけて

(8) わたしたちのせんせいはめがねを____います。

1 かけて 2 きて 3 かぶって 4 はいて

(9) わたしは____しかえいがをみにいきません。

1 いつも 2 あまり 3 すこし 4 たまに

(10) このくすりを____, いえでやすみなさい。

1 たべて 2 くって 3 のんで 4 もって

問題V 次の文章を読んで、後の質問に答えなさい。(20点)

中学一年の時、ボランティア活動を始めました。二つの団体に入って、毎週いろいろな施設へ行くようになりました。たとえば、目の見えない子どものところとか、体の不自由な子どものところへ、行きました。バスに乗って、船に乗って、Aバスに乗って、遠くまで行きました。

私はまだ12~13歳でした。同じ年ごろなのに、目の見えない子や体の不自由な子がたくさんいて、すごくかわいそうだなと思いました。でも、みんないっしょうけんめい生きていました。その子たちのために、お正月とかクリスマスとかに、パーティーをやりたいけど、お金がない。

どうしようかとみんなで考えて、じゃ、歌を歌ってお金を集め

ようということになったのです。私がギターをちょっと弾けたから、グループを作って、10セントとか20セントとかの入場券で集まってもらって、聞いてもらいました。

そうやってお金を集めていたのですが、だんだんみんな来なくなってしまいました。どうすればいいか。私たちの学校は女子中学校と高校だったから、男の子のボランティアグループを呼べば、みんな来てくれるんじゃないかと考えました。そうしたら本当に、たくさん来て[B]ようになったんです。

注：ボランティア活動(公益活動), すごくかわいそうだ(十分可怜), クリスマス(圣诞节), セント(美分)

質問1 上の文章の[A]と[B]にそれぞれ何を入れますか。1, 2, 3, 4からいちばんいいものを一つ選びなさい。

(1) [A] 1 まだ 2 また 3 もう 4 それで

(2) [B] 1 やる 2 いる 3 もらう 4 くれる

質問2 次の文は上の文章の内容とあっていますか。あっている文の番号に「○」、あっていない文の番号に「×」を付けなさい。

1. この文章を書いた人は、小学生のころからボランティアグループにいた。
2. この人は、一週間に一度同じところへ行き、子どもたちに会った。
3. この人は、自分の家のそばの施設にしか行かなかった。
4. この人は、体の不自由な子どもをバスや船に乗せてあげた。
5. 歌を歌ったのは、パーティーのためのお金がほしかったからだ。(ほしい＝必要)
6. 歌を聞きに来てくれる人の数は少しずつ減った。
7. 男の子のボランティアグループに来てもらったのは良い考えだった。
8. この人は、女の子だけの学校に男の子を呼ぶのは良くないと考えている。

問題Ⅵ 次の文章を中国語に翻訳しなさい。(40点)

日本の気候

日本は温帯にあります。国土が南北に細長いので、南と北では気候がたいへんちがいます。また、夏と冬では気温の差が大き

く、夏は熱帯と同じくらい暑くなる所もあります。

日本では、春・夏・秋・冬の四季がはっきりわかれています。また、梅雨があるし、台風がたびたび来る時期もあります。このように、気候に変化があり、複雑なのは、日本は季節風の影響を強く受けるためです。季節風というのは、毎年きまった時に吹く風です。日本では夏は太平洋から暖かい南東の季節風が吹き、冬は大陸から冷たい北西の季節風が吹きます。

梅雨は、毎年6月のなかばから7月のなかばにかけて降る雨です。毎日雨が降り、降らない日でも、いい天気になることはあまりありません。この雨は、西南日本ではたくさん降り、本州の東北部へ行くと少なくなります。北海道では、つゆはありません。日本では、このつゆの時に、田植えをします。つゆがおわると、暑い夏になります。

台風は8月から10月にかけてたびたび日本へ来ます。台風の進み方はだいたい決まっていて、関東地方から西の太平洋側とか、四国や九州に上陸することが多いです。台風が上陸したり、進路になる所は、大きな被害を受けることがたびたびあります。

夏でも気温が低く、つゆもない北海道は別にして、日本の気候は、国土の中央部を背骨のように走っている山脈のため、太平洋側と日本海側では非常にちがいます。

太平洋側の気候は、夏は、太平洋から吹いて来る季節風の影響で雨が多く、むし暑い日が続きます。しかし、冬は、かわいた風が吹き、いい天気の日が多いです。このような気候を太平洋式気候といいます。

日本海側の気候は、冬は、シベリヤから吹いて来る冷たい風が、日本海の上で水分をたくさんすい、中央部の高い山にぶつかって雪を降らせるので、雪がたくさん降ります。また、夏は、太平洋側ほどは雨は降りませんが、気温は太平洋側と同じくらい高くなります。このような気候を日本海式気候といいます。

このほかに、日本には、瀬戸内海沿岸の地方や、中央高地のように季節風の影響をあまり受けない、雨の少ない地方もあります。

このように所によってさまざまにちがう日本各地の気候は、人々の生活や産業に大きな影響をあたえています。

中级阶段自测题(二)

問題Ⅰ 次の文の____の漢字(漢字と仮名)はどう読みますか。
1,2,3,4からいちばんいいものを一つ選びなさい。(5点)

① 日本列島の自然は、どんな特色をもっていたでしょうか。

- (1) 列島 1 れつとう 2 れっとう 3 れっとう
4 れっしま
- (2) 特色 1 とくしょく 2 とくちょう 3 とくしき
4 とっちょう

② 寒い 冬が近づいてくると、南の国へ帰っていきます。

- (1) 寒い 1 つめたい 2 あつい 3 さもい 4 さむい
- (2) 冬 1 あき 2 はる 3 ふゆ 4 とう
- (3) 南 1 なん 2 みなみ 3 にし 4 きた
- (4) 帰って 1 もどって 2 まわって 3 かえって 4 か
えりって

③ 来年こそ海外旅行をするつもりです。

- (1) 来年 1 ことし 2 らいねん 3 らいとし 4 きょね
ん
- (2) 旅行 1 りょこう 2 りょうこう 3 りゅこう 4 た
びゆき

④ 現在は技術を中心に練習させています。

- (1) 技術 1 ぎじゅうつ 2 ぎじゅつ 3 きじゅつ 4 ぎ
しゅつ
- (2) 練習 1 れんしゅ 2 ふくしゅう 3 がくしゅう 4
れんしゅう

問題Ⅱ 次の文の____のことばは、漢字(漢字と仮名)でどう書きますか。1,2,3,4からいちばんいいものを一つ選びなさい。(5点)

① やまださんはとうきょうのこうがいからつうきんしてい

る。

(1) こうがい 1 効果 2 公害 3 郊外 4 構外

(2) つうきん 1 通学 2 痛感 3 通行 4 通勤

② かれはともだちのしょうかい¹でぎんこうにしゅうしょく²した。

(1) しょうかい 1 商会 2 紹介 3 照会 4 紹介

(2) しゅうしょく 1 就職 2 修飾 3 秋色 4 重職

③ このくつはかるくて¹はき²やすいですね。

(1) かるくて 1 重くて 2 安くて 3 古くて 4 軽くて

(2) はき 1 呕き 2 履き 3 吐き 4 掃き

④ そのにもつ¹をえき²までももっていってください。

(1) にもつ 1 貨物 2 何物 3 荷物 4 品物

(2) もって 1 運って 2 送って 3 担って 4 持って

⑤ ねつにはものの¹おんど²をかえる¹はたらき²がある。

(1) かえる 1 変える 2 帰る 3 買える 4 返る

(2) はたらき 1 動き 2 輝き 3 働き 4 役割

問題Ⅱ 次の文の____にはどんな言葉を入れたらよいか。1,2,3,4から最も適当なものを一つ選びなさい。(10点)

(1) そんなにたくさん____としても無理ですよ。

1 持って 2 持ったり 3 持ちたい 4 持とう

(2) 雨がやみ____すれば、出かけられるんですけど。

1 も 2 さえ 3 だけ 4 ながら

(3) もし、だれかに10万円____,どうしますか。

1 もらっても 2 もらって 3 もらったので 4 もらったら

(4) 手紙で連絡しましょうか____電報のほうがいいでしょうか。

1 それで 2 それとも 3 それなのに 4 それでも

(5) 今度の日曜日、ぜひ、映画を見に____。

1 行けます 2 行くでしょう 3 行きたい 4 行きましょう。

(6) 約束したんですから、行かない____にはいきません。

1 わけ 2 の 3 こと 4 もの

(7) 田中さんは今日お金を持ってこなかったので、やまださんに_____。

1 貸しました 2 買いました 3 借りました 4 返しました

(8) 弟は先生にいろいろなことを_____。

1 伺いました 2 やりました 3 もらいました 4 くださいました

(9) 新しい水を持って_____ください。

1 いて 2 して 3 きて 4 しまつて

(10) 走って行けば、出発の時間_____間に合うでしょう。

1 で 2 を 3 の 4 に

問題Ⅳ はじめの文と同じ意味の文はどれですか。それぞれの1,2,3,4から一つ選びなさい。(10点)

(1) けさは何も食べませんでした。

- 1 きょうのあさは何も食べませんでした。
- 2 きょうのひるは何も食べませんでした。
- 3 きょうの朝は何も食べませんでした。
- 4 きょうの晩は何も食べませんでした。

(2) 山田さんはきのうけっせきしました。

- 1 山田さんはきのうせきにいました。
- 2 山田さんはきのうくにへかえりました。
- 3 山田さんはきのうやすみました。
- 4 山田さんはきのうきました。

(3) このまちはじんこうがおおいです。

- 1 このまちにこうじょうがふえました。
- 2 このまちに車がたくさんあります。
- 3 このまちに人がおおぜいすんでいます。
- 4 このまちに大きいじんこうがあります。

(4) 私はともだちをしんぱいさせました。

- 1 私はともだちにしんぱいをかけました。
- 2 私はともだちをしんぱいしました。
- 3 ともだちは私にしんぱいされました。
- 4 ともだちは私にしんぱいをかけました。

(5) 私は兄に数学を教えてもらいました。

- 1 兄は私に数学を教えられました。
- 2 私は兄に数学を教えてあげました。
- 3 私は兄に数学を教えてやりました。
- 4 兄は私に数学を教えてくれました。
- (6) 私のうちの近くはとてにぎやかです。
 - 1 私のうちの近くはうるさくないです。
 - 2 私のうちの近くはしずかではありません。
 - 3 私のうちの近くはおとがしません。
 - 4 私のうちの近くはさびしいです。
- (7) やくそくのじかんにまにあいました。
 - 1 やくそくのじかんにちこくしました。
 - 2 やくそくのじかんまでにつきました。
 - 3 やくそくのじかんのあとでできました。
 - 4 やくそくのじかんにおくれました。
- (8) 王さんは李さんに本をわたしました。
 - 1 王さんは李さんに本をかりました。
 - 2 李さんは王さんに本をかえしました。
 - 3 李さんは王さんから本をうけとりました。
 - 4 王さんは李さんから本をもらいました。
- (9) こんどのにちようびはどこかへいきたいです。
 - 1 こんどのにちようびはどこへもいきません。
 - 2 こんどのにちようびはうちでゆっくりやすみます。
 - 3 こんどのにちようびはうちにいません。
 - 4 こんどのにちようびはでかけるかどうかわかりません。
- (10) ごはんをたべてからてがみをかきます。
 - 1 ごはんをたべながらてがみをかきます。
 - 2 てがみをかいてからごはんをたべます。
 - 3 ごはんをたべるまえにてがみをかきます。
 - 4 ごはんのあとてがみをかきます。

問題Ⅴ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(20点)

先月、わたしは学校の友だちといっしょに、沖縄へ旅行に行きました。東京から飛行機で、2時間半ぐらいのところで、海がきれいな島です。わたしたちは、旅行の前に、沖縄から来た日本人の友だちにいろいろ(1)。友だちは、「沖縄は東京よりずっと

南だから、とても暑いよ。〔2〕、夏の服をたくさん持っていったほうがいい」と言いました。そのころ東京はまだ4月だったので、気温が14度ぐらいでした。〔3〕、わたしは、おしおれのおくから、夏の洋服を出して、カバンにいっぱい入れて出掛けることにしました。二泊三日の旅行ですが、一日中、沖縄の町を見物したり、海で泳いだりするので、洋服はたくさんあったほうがいいと思ったのです。

さて、出発の日になりました。わたしも、友だちも夏の洋服を着て、空港にきました。東京はとてもいい天気で、ちよって寒かったけれど、みんな元気に出発しました、飛行機の中では、友だちとトランプをして遊びました。一人で飛行機に乗ることはありますが、友だち五人といっしょに乗るのははじめてでした。楽しくトランプをしたり、話したりしているうちに、あつという間に

^①
沖縄に着いてしまいました。まどの外から沖縄の空港が見えます。みんな、「ああ、雨が降っている。なんだか、寒そうだね」と心配そうに外を見ています。飛行機から降りたとき、わたしたちは本当にびっくりしました。東京より寒いのです。「こんなこと

^②
は、めずらしいことだ」と〔4〕も言っていましたが、とにかく、わたしたちが、沖縄に着いていちばんはじめ行ったところは〔5〕でした。みんな、傘とセーターを買いました。

注：おしおれ（壁櫛）、カバン（提包）、二泊（两晩）、トランプ（扑克）、とにかく（总之）、セーター（毛衣）

問1 文中の(1)～(5)の〔 〕には、どんな言葉が入りますか。

1, 2, 3, 4の中からいちばんいいものを一つ選びなさい。

(1) 1 話しました 2 聞きました 3 言いました 4 答えました

(2) 1 だけど 2 だから 3 すると 4 それから

(3) 1 それで 2 それに 3 ところが 4 そうすると

(4) 1 沖縄から来た日本人の友だち 2 いっしょにいた友だち 3 わたし 4 沖縄の人

(5) 1 デパート 2 ホテル 3 きつさてん 4 うみ

問2 「わたし」はどうして夏の洋服をカバンにいっぱい入れ

ることにしたのですか。1,2,3,4の中からいちばんいいものを一つ選びなさい。

- 1 おしおれのおくに洋服がたくさんあったから
- 2 二泊三日の旅行だから
- 3 沖縄でいろいろなところに行くから
- 4 沖縄が暑いかどうか分からないから

問 3 出発の日、「わたし」たちは沖縄の天気がどうだと思っていたのでしょうか。1,2,3,4の中からいちばんいいものを一つ選びなさい。

- 1 晴れていて、暑いと思っていた。
- 2 少し寒いですが、晴れていると思っていた。
- 3 寒くて、雨がふっていると思っていた。
- 4 暑くて、雨が降っていると思っていた。

問 4 「わたし」たちは飛行機を降りたとき、どうしてびっくりしたのですか。1,2,3,4の中からいちばんいいものを一つ選びなさい。

- 1 雨が降っていたから
- 2 珍しかったから
- 3 東京より寒かったから
- 4 沖縄ははじめてだから

問 5 ①「あっという間に」というのはどんな意味だと思いますか。1,2,3,4からいちばんいいものを一つ選びなさい。

- 1 びっくりして
- 2 すぐに
- 3 なにもしないで
- 4 楽しく

問 6 ②「こんなこと」は、何を指しますか。1,2,3,4からいちばんいいものを一つ選びなさい。

- 1 わたしたちがびっくりしたこと
- 2 わたしたちが「寒い、寒い」と言ったこと
- 3 雨が降っていること
- 4 とても寒いこと

問題Ⅵ 次の文章を中国語に訳しなさい。(50点)

都会と若者

日本の大都市、東京なり大阪なり横浜なりを歩いてみると若者が多いのに気づく。電車に乗っても、食堂や映画館に入っても、若い人が多い。これは単なる印象にとどまらず、実際の数字に当たってみても、東京二十三区の人口の二十歳代の人口は全人口の二十三パーセント、京都では二十四パーセントを占める。ミラノでは十三パーセント、ニューヨークでは十二パーセント

に過ぎない。つまり、西欧の主要都市の二倍ということになる。

もちろん、世界中どここの国でも農村から都市への人口流入はある。アメリカでは、南部から北部への人口流入のほか、プエルトリコやメキシコなどから多数の人が北部や西部の大都市へ入って行く。イタリアなどでも、南部の農村から北部の都会へ大量の人口流入が見られる。ただ日本と違うのは、欧米の場合、機械化が進んだため失業した人などが一家を挙げて移住することが多いということである。

日本では、農村にちゃんと一家が残り、その家から若者だけが離れて単身大都会へ出て来るという形が多い。この場合、全国の教育水準の驚くべき均一化と標準語の普及が大いにものを言う。きのう農村から出て来た若者が大都市の工場へ入っても、互いにすぐ話も自由に通じるし、上役から言われた仕事も理解でき、一応こなせる。こういう有能な若者が農村の自然の中で元気に育ち、大都会へ出て来て、安い賃金で勤勉に働き、貯蓄にも励んで、日本経済の推進力となってきたのである。

今まではそれでよかったかもしれない。だが、問題はこれからである。水質汚染も進み、空気の汚れもひどくなって、都会へ出て来た若い労働力の健康がむしばまれていく現状を無視するわけにはいかなかったのである。

また、貿易面に現れた食糧自給率の極端な低下に象徴的に示されているように、日本の農業政策の励みも大きくクローズアップされてきた。農村では、妻と子供、それに老人が寂しく家を守っている所も多い。若者たちは都会に出て行き、父親もまた、一年の半分近くを都会へ出稼ぎに行っているのである。このように過疎化した農村からは、もう今までのように若い労働力を送り出し続けることはできない。それどころか、農家の後継者不足自体が問題になっているのである。

このままの状態を放っておいてよいわけではない。といって何かの規制を作って、都会の環境汚染がこれ以上進まないようにするとか、農村へ人が戻って来るように奨励金制度を設けるとかいうような末梢的な方法では、問題の解決にはなるまい。都会だけを、また農村だけを考えるのではなく、より総合的な、抜本的対策が必要なのである。

注：単なる(只是)、とどまる(停留)、ミラノ(米兰)、プエルトリコ(波多

黎各島),メキシコ(墨西哥),ちゃんと(好好地),上役(上司),励む(努力),
むしばむ(损害),励み(倾斜),クローズアップ(引起注意),出稼ぎ(外出打
短工),放る(放任),設ける(设立),末稍的(细枝末节)